



ApeosPrint C5570
ApeosPrint C4570
リファレンスガイド

目次

| | |
|--|-----------|
| 1 はじめに | 7 |
| 2 お使いになる前に | 8 |
| 2.1 本機のマニュアル | 8 |
| セットアップガイド (冊子) | 8 |
| リファレンスガイド (本書) (公式サイト) | 8 |
| 2.2 マニュアルの表記 | 8 |
| 本機について | 9 |
| 2.3 機械管理者情報の変更 | 9 |
| 2.4 各部の名称と働き | 10 |
| 前面 | 10 |
| 左側面と背面 | 11 |
| 内部 | 12 |
| 大容量給紙トレイ B1 (オプション) | 13 |
| 大容量給紙トレイ B2 (オプション) | 13 |
| 2トレイモジュールモデル (オプション) | 14 |
| フィニッシャー B (オプション) | 14 |
| フィニッシャー C (オプション)、中とじフィニッシャー C (オプション)、紙折リユニット CD3 (オプション) | 16 |
| 操作パネル | 17 |
| 2.5 本機で使用している記号 | 20 |
| 3 本機のセットアップ | 22 |
| 3.1 セットアップの流れ | 22 |
| 3.2 電源について | 23 |
| 電源を入れる | 23 |
| 電源を切る | 23 |
| 3.3 本機をコンピューターに接続する | 24 |
| 有線 LAN で接続する | 24 |
| USB で接続する | 25 |
| 無線 LAN で接続する | 25 |
| Windows 用のソフトウェアをインストールする | 29 |
| Mac 用のソフトウェアをインストールする | 32 |
| Linux 用のプリンタードライバーをインストールする | 34 |
| メール機能の設定 | 34 |
| IP アドレスを変更する | 36 |
| 4 本機の基本操作 | 38 |
| 4.1 タッチパネルディスプレイ | 38 |
| 画面の操作 | 38 |
| 文字の入力 | 39 |
| ログイン | 39 |
| 画面のカスタマイズ | 40 |
| オンライン / オフラインの切り替え | 42 |
| 4.2 ジョブの操作 | 43 |
| 実行中ジョブの一時停止 | 43 |
| ジョブの確認 / 中止 / プリント | 43 |
| 4.3 本機の状態の確認 | 44 |
| [詳細情報] | 45 |
| [メーター確認] | 45 |
| [消耗品確認] | 47 |
| [通知] | 47 |

| | |
|---|-----------|
| [用紙トレイ] | 47 |
| [レポート/リストの出力] | 48 |
| [インターネットサービスの接続先] | 50 |
| [ストレージの上書き消去] | 50 |
| [プリンターモード] | 50 |
| [無線 LAN の接続状態] | 50 |
| 4.4 節電機能について | 51 |
| 節電状態に移行する | 51 |
| 節電状態から復帰する | 51 |
| 4.5 用紙について | 52 |
| 推奨する用紙 | 52 |
| 各トレイの給紙性能 | 52 |
| 使用できない用紙 | 53 |
| 用紙の保管と取り扱い | 53 |
| 4.6 用紙をセットする | 54 |
| 用紙をさばく | 54 |
| トレイ 1 ~ 4 (3、4 はオプション) に用紙をセットする | 55 |
| トレイ 1 (封筒/はがきトレイ) (オプション) にセットする | 57 |
| トレイ 5 (手差し) に用紙をセットする | 60 |
| 長尺サイズの用紙をセットする | 62 |
| トレイ 6 (大容量給紙トレイ B1 (オプション) / 大容量給紙トレイ B2 (オプション)) に用紙をセットする | 63 |
| 用紙の設定を変更する | 66 |
| 自動トレイ選択について | 67 |

5 プリント 68

| | |
|---|-----------|
| 5.1 コンピューターからプリントする | 68 |
| プロパティダイアログボックスで設定できる便利なプリント機能 | 68 |
| コンピューターで処理中のデータのプリントを中止する | 69 |
| 5.2 封筒/はがきにプリントする | 70 |
| 5.3 定形外サイズの用紙にプリントする | 71 |
| 定形外サイズを登録する | 71 |
| 定形外サイズの用紙にプリントする | 73 |
| 5.4 USB メモリーに保存されたデータをプリントする | 75 |
| 文書プリント | 75 |
| USB メモリーの取り外し | 76 |
| 機能リスト | 77 |
| 5.5 出力結果を確認してからプリントする - サンプルプリント - | 78 |
| サンプルプリントについて | 78 |
| サンプルプリントをする | 78 |
| 5.6 指定した時刻にプリントする - 時刻指定プリント - | 80 |
| 時刻指定プリントについて | 80 |
| 時刻指定プリントをする | 80 |
| 時刻指定プリントを中止する / 指定した時刻より前にプリントする | 81 |
| 5.7 機密文書をプリントする - セキュリティープリント - | 82 |
| セキュリティープリントについて | 82 |
| セキュリティープリントをする | 82 |
| 5.8 機密文書をプリントする - プライベートプリント - | 84 |
| プライベートプリントについて | 84 |
| プライベートプリントの設定をする | 85 |
| プライベートプリントをする | 87 |
| プライベートプリント (一括出力) をする | 88 |
| 5.9 機密文書をプリントする - 認証プリント - | 88 |
| 認証プリントについて | 88 |
| 認証プリントの設定をする | 89 |
| 認証プリントをする | 89 |
| 5.10 電子メールを使ってプリントする - メール受信プリント - | 90 |
| メール受信プリントについて | 90 |
| メール受信プリントをする | 91 |

| | | |
|----------|--|------------|
| 6 | モバイル機器からのプリント | 93 |
| 6.1 | 本機をモバイル機器と接続する | 93 |
| | Wi-Fi で接続する | 93 |
| | Wi-Fi Direct で接続する | 93 |
| 6.2 | Print Utility を使ってプリントする | 96 |
| | QR コードで接続する | 96 |
| 6.3 | その他のサービスを利用する | 96 |
| | AirPrint | 96 |
| | Mopria プリントサービス | 97 |
| 7 | 本機の設定 | 99 |
| | [用紙トレイ設定] | 100 |
| | [システム設定] | 101 |
| | [アプリ設定] | 114 |
| | [監査ログ設定] | 120 |
| | [ネットワーク設定] | 121 |
| | [認証 / 集計管理] | 137 |
| | [保守] | 143 |
| | [リセット] | 148 |
| 8 | 便利な使い方 | 149 |
| 8.1 | インターネットサービスを使う | 149 |
| 8.2 | 本機のソフトウェアを使う | 149 |
| | Print & Scan Hub (Windows) | 150 |
| | ContentsBridge Utility (Windows) | 150 |
| | Supply Monitor (Windows) | 150 |
| 8.3 | 暗号化機能を設定する | 151 |
| | 証明書の種類 | 151 |
| | 暗号化機能について | 151 |
| | HTTP の通信を暗号化するための設定 | 152 |
| | IPsec を使用して暗号化するための設定 | 153 |
| | 無線 LAN で IEEE 802.1X を使用するための設定 | 155 |
| 8.4 | 認証と集計管理機能 | 156 |
| | 概要 | 156 |
| | ユーザー認証機能を有効にする | 159 |
| | IC カード読み取り装置 (オプション) で認証するための設定 | 165 |
| 9 | 日常管理 | 168 |
| 9.1 | 消耗品を交換する | 168 |
| | 消耗品の取り扱い | 169 |
| 9.2 | ホチキス針を交換する | 170 |
| | ホチキス針を交換する (フィニッシャー B) | 170 |
| | 平とじ用ホチキス針を交換する (フィニッシャー C/ 中とじフィニッシャー C) | 171 |
| | 中とじ用ホチキスカートリッジを交換する (フィニッシャー B 中とじユニット) | 173 |
| | 中とじ用ホチキス針を交換する (中とじフィニッシャー C 装着時) | 174 |
| 9.3 | パンチダストボックスのパンチくずを捨てる | 176 |
| 9.4 | 画質調整 | 176 |
| | 階調を補正する | 176 |
| | アライメント調整を行う | 181 |
| | 転写出力調整 | 185 |
| | 出カイメージの手動濃度調整 (手動面内ムラ調整) | 188 |
| 9.5 | フィニッシャー (オプション) の調整 | 189 |
| | 製本折り位置の調整 | 189 |
| | パンチ位置の調整 | 191 |

| | |
|-------------------------------|------------|
| 紙折り位置の調整 | 192 |
| パンチユニットの設定 | 200 |
| 折りを補助する筋の設定 | 201 |
| 9.6 清掃する | 202 |
| 本体外部を清掃する | 202 |
| 本体内部 (LED プリントヘッド部) の清掃 | 203 |

10 困ったときには 206

| | |
|--|------------|
| 10.1 紙詰まりの処置 | 206 |
| 10.2 ホチキスカートリッジの針が詰まった場合 | 206 |
| ホチキスカートリッジの針詰まり (フィニッシャー B) | 207 |
| 平とじホチキスカートリッジの針詰まり (フィニッシャー C/ 中とじフィニッシャー C) | 208 |
| 中とじホチキスカートリッジの針詰まり (中とじフィニッシャー C) | 210 |
| 10.3 トラブルを解決する | 212 |
| 機器本体のトラブル | 212 |
| 画質のトラブル | 213 |
| トレイや用紙送りのトラブル | 217 |
| プリントのトラブル | 218 |
| 無線 LAN 接続時のトラブル | 219 |
| 外部認証 (LDAP) の設定 | 221 |
| IC カード登録のトラブル | 221 |
| 追加型アプリケーション更新のトラブル | 223 |
| 10.4 エラーコード | 224 |

11 オプション製品の取り付け 225

| | |
|---|------------|
| 11.1 無線キットの取り付け | 225 |
| 11.2.2 トレイモジュール、スタンド、キャスター台の取り付け | 226 |
| 11.3 封筒 / はがきトレイの取り付け | 233 |
| 封筒 / はがきトレイを取り付ける | 233 |
| 封筒 / はがきトレイを取り外す | 234 |
| 11.4 長尺用紙セットガイドの取り付け | 236 |
| 11.5 インナー排出トレイの取り付け | 237 |
| 11.6 ストレージの取り付け | 238 |
| 11.7 セカンダリーイーサネットキットの取り付け | 240 |
| 11.8 ソフトウェアオプションの有効化 | 242 |
| 11.9 地震対策キット (バンドタイプ) の取り付け | 243 |

12 付録 245

| | |
|--|------------|
| 12.1 主な仕様 | 245 |
| 大容量給紙トレイ B1 (オプション) | 248 |
| 大容量給紙トレイ B2 (オプション) | 248 |
| 封筒 / はがきトレイ (オプション) | 249 |
| サイドトレイ (オプション) | 249 |
| フィニッシャー B4 / B5 (オプション) | 249 |
| フィニッシャー C4 / C5、中とじフィニッシャー C4 / C5 (オプション) | 251 |
| 紙折りユニット CD3 (オプション) | 252 |
| 無線キット 2 (オプション) | 253 |
| 12.2 消耗品、定期交換部品の寿命について | 253 |
| 消耗品の寿命について | 253 |
| 使用済み消耗品の回収 | 254 |
| 定期交換部品の寿命について | 254 |
| 補修用性能部品について | 255 |
| その他の消耗品について | 255 |
| 12.3 最新ソフトウェアを入手する | 255 |
| 12.4 エミュレーションについて | 255 |

| | |
|--------------------------------------|------------|
| エミュレーションモード | 255 |
| HP-GL、HP-GL/2 エミュレーション固有の事項..... | 259 |
| 設定項目 | 266 |
| 12.5 ダイレクトプリント | 279 |
| 12.6 外部アクセスについて | 280 |
| 接続先を登録する | 280 |
| 外部サービスに接続する | 282 |
| サーバー証明書の検証を行う場合の設定 | 282 |
| 12.7 IC カード登録..... | 282 |
| IC カード登録の設定 | 282 |
| IC カードの登録..... | 285 |
| 12.8 追加型アプリケーション更新..... | 286 |
| 本機の設定 | 286 |
| 自動更新を設定する | 286 |
| 自動更新の結果の確認..... | 287 |
| 追加型アプリケーションを手動で更新..... | 287 |
| 12.9 複合機追加型アプリケーション設定複製 | 287 |
| 12.10 ライセンス | 288 |
| 12.11 使用権許諾条項 | 288 |
| アドビ社のソフトウェアの使用に関する条項..... | 288 |

13 商品のお問い合わせ先について 290

1 はじめに

- このマニュアルの編集、変更、または無断で転載はしないでください。
- このマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- このマニュアルに記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OSのバージョンによって異なることがあります。

- このマニュアルのなかで▲と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。
- プリンターで紙幣をプリントしたり、有価証券などを不正にプリントしたりすると、そのプリント物を使用するかどうかにかかわらず、法律に違反し罰せられます。
- 万一、本体の補助記憶装置に不具合が発生した場合、受信したデータ、蓄積されたデータ、設定登録されたデータなどが消失することがあります。データの消失による損害については、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- コンピューターウイルスや不正侵入などによって発生した障害については、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

商標

Adobe、PostScript、および PostScript 3 は、米国ならびに他の国における Adobe の登録商標または商標です。

Microsoft、Windows、および Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Apple、iPhone、AirPrint、iPad、Bonjour、macOS、OS X、Mac、and Macintosh are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. The trademark “iPhone” is used in Japan with a license from Aiphone K.K.

IOS is a trademark or registered trademark of Cisco in the U.S. and other countries and is used under license.

Android および Google Play は、Google LLC の商標です。

この製品は、eT-Kernel を利用しています。eT-Kernel は、イーソル株式会社の日本およびその他の国における商標です。

Mopria および Mopria ロゴは、Mopria Alliance, Inc. の米国およびその他の国における登録商標およびサービスマークです。無断使用は固く禁じられています。

QR コードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

その他の社名または商品名などは、各社の登録商標または商標です。

Microsoft Corporation の許可を得て画面写真を使用しています。

FUJIFILM、および FUJIFILM ロゴは、富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。

ApeosPrint は、富士フイルムビジネスインノベーション株式会社の登録商標または商標です。

2 お使いになる前に

2.1 本機のマニュアル

セットアップガイド（冊子）

本機の基本的な操作手順や、本機を安全にご使用いただくための注意事項などについて説明しています。

リファレンスガイド（本書）（公式サイト）

本機の設置が終わってからプリントするまでの準備、プリント機能の設定方法、操作パネルの項目、トラブルの対処方法、オプション製品の取り付け方法、および日常の管理について説明しています。



- 本機ではオプション製品を用意しています。製品によっては設置手順などを説明したマニュアルが付属しています。

2.2 マニュアルの表記

- お客様の設定内容によっては、本書に掲載している画面が実際の画面と異なる場合があります。
- 本書では、説明する内容に応じて、次のマークや記号を使用しています。

| | |
|---|--|
|  注記 | 操作の前に知っていただきたいことや、注意していただきたい重要事項を記述しています。 |
|  補足 | 補足事項を記述しています。 |
|  参照 | 参照先を記述しています。 |
| 「」 | <ul style="list-style-type: none">• 本書内にある参照先を表しています。• 機能の名称、入力文字などを表しています。• 参照するマニュアルを表しています。 |
| [] | <ul style="list-style-type: none">• 本機のタッチパネルディスプレイに表示されるメッセージやメニューなどの名称を表しています。• コンピューターの画面に表示されるメニュー、ウィンドウ、ダイアログボックスなどの名称と、それらに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。 |
| <> | 操作パネル上のハードウェアボタンを表しています。 |
| > | 操作パネルやコンピューターで順に項目を選ぶ手順を、省略して表しています。 |

- 本書では、用紙の向きを、次のように表しています。
、よこ置き：本機を正面から見て、用紙をよこ長にセットした状態を表しています。
、たて置き：本機を正面から見て、用紙をたて長にセットした状態を表しています。
- 本書では、オプション製品の、データ上書き消去キットとストレージ（SSD）を総称して「ストレージ」と表記します。
- 本書では、オプション製品の IC カードリーダーを「IC カード読み取り装置」と表記します。
- 本書では、ステープルを「ホチキス」、ステープル針を「ホチキス針」と表記します。

- 本書では、「フィニッシャー B4」、「フィニッシャー B5」を総称して「フィニッシャー B」と表記します。
- 本書では、「フィニッシャー C4」、「中とじフィニッシャー C4」、「フィニッシャー C5」、「中とじフィニッシャー C5」を総称して「フィニッシャー C」と表記します。
- 本書では特に断りのないかぎり、コンピューターを使った手順では、Microsoft Windows 10 および macOS 11 を例に説明しています。
- 「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。
- 「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。
- このマニュアルに記載されているプリントスピード、給紙容量などは、C²紙（70 g/m²）を使用した場合の値です。
- 「長尺」用紙とは、よこ：488.1 mm 以上の用紙を示します。

本機について

- 機能によっては、オプション製品の追加またはカスタマーエンジニアの設定が必要になります。詳しくは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。
- フィニッシャーを使用するにはストレージ（オプション）と2トレイモジュール（オプション）が必要です。
- 認証状態や取り付けられているオプションによって、タッチパネルディスプレイに表示される項目は異なります。
- OHP フィルムをカラーでプリントしたものを反射型プロジェクターで投影すると、映像が黒っぽく映し出されることがあります。輝度の高いプロジェクターを使用すると、解消されることがあります。
- 水、雨、蒸気などの水分によって、プリント面の画像がはがれることがあります。詳しくは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。
- ジョブ履歴利用時は次のことに注意してください。
 - ジョブ履歴で取得したページカウントと機械本体のメーターおよびカウンターは、一致しないことがあります。取得したデータは目安としてご利用ください。
 - 機械本体のトラブルやストレージの交換・初期化で、ジョブ履歴が消失する場合があります。消失したジョブ履歴は復旧できません。
 - 既定の数を超えると、古いジョブ履歴は削除されます。ジョブ履歴の取りこぼしを防ぐには、収集間隔を短くしてください。
- 最新の情報は、弊社公式サイトをご覧ください。

2.3 機械管理者情報の変更

本機の設定変更の抑止やセキュリティ確保のために、機械管理者 ID とパスワードの変更をおすすめします。

6d 参照

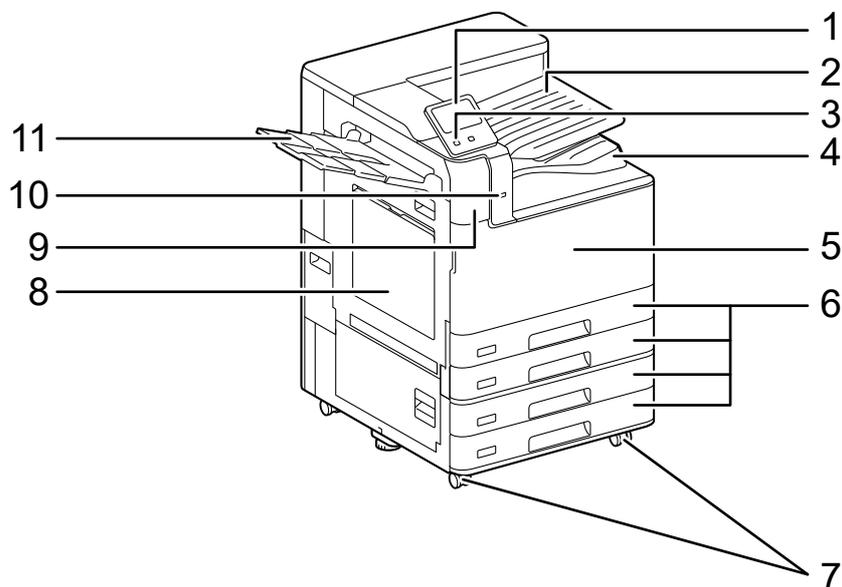
- 工場出荷時の機械管理者 ID とパスワードは、本機に付属の「セットアップガイド」を参照してください。
- 設定方法については、「[機械管理者情報の設定]」(P.139)を参照してください。

2.4 各部の名称と働き

前面

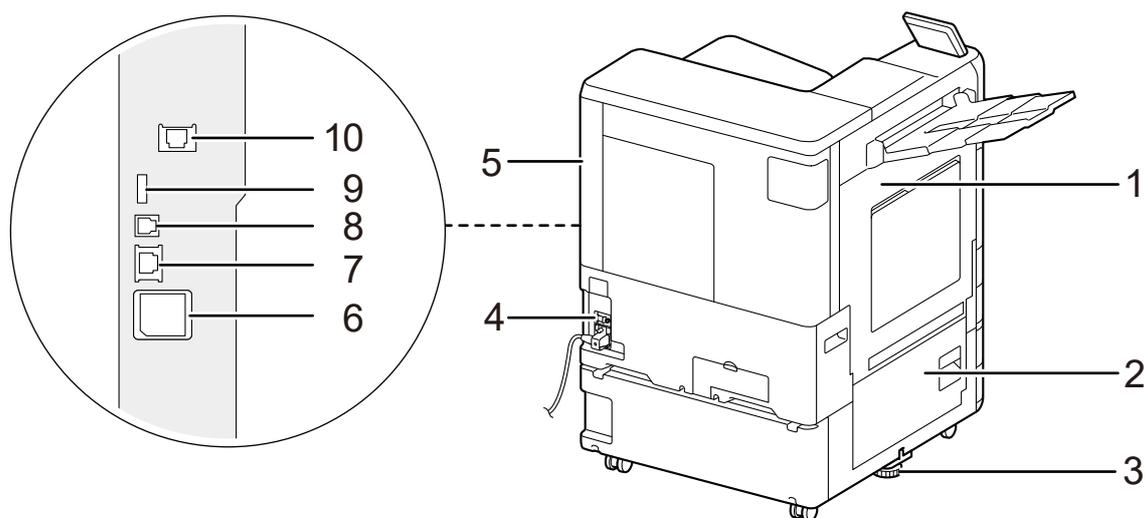


• 2 トレイモジュール (オプション) を取り付けた例です。



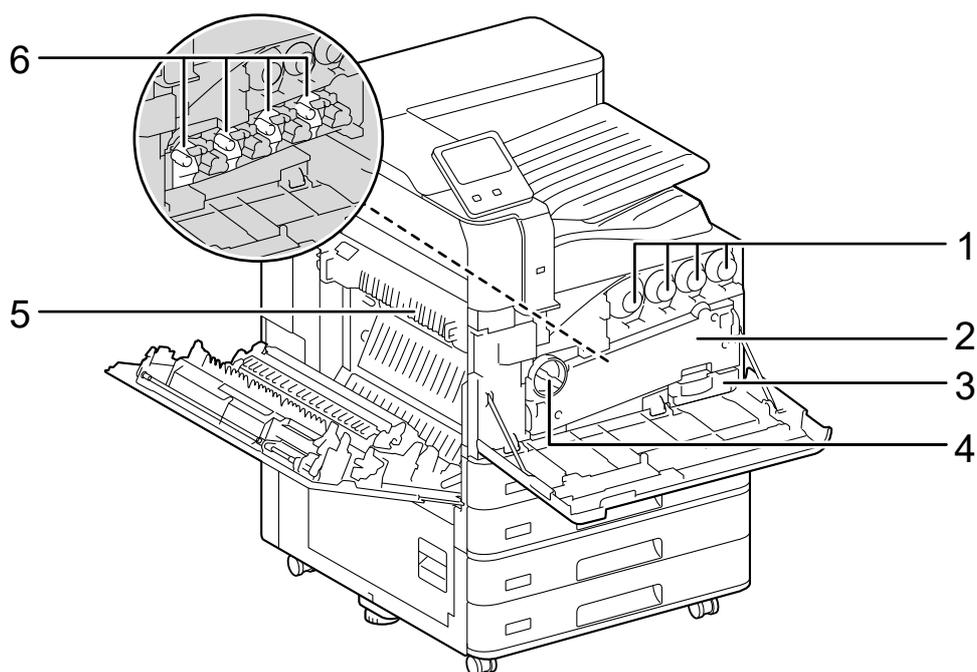
| No. | 名称 | 説明 |
|-----|----------------------------|---|
| 1 | 操作パネル | 操作に必要なボタン、ランプ、タッチパネルディスプレイがあります。 |
| 2 | インナー排出トレイ (オプション) | センタートレイを上段と下段に分けて使用できるようになります。 |
| 3 | 〈電源 / 節電〉ボタン | 本機の電源を入 / 切します。本機の節電状態を解除したり、節電状態にしたりすることもできます。節電状態のときは点滅します。 |
| 4 | センタートレイ (排出トレイ) | プリントされた用紙が排出されます。 |
| 5 | 正面カバー | 消耗品を交換するときに開けます。 |
| 6 | トレイ 1、2、3、4 (3、4 はオプション) | 用紙をセットします。 |
| 7 | キャスター | 移動時に使用します。設置後は、ロックしてください。 |
| 8 | トレイ 5 (手差し) | トレイ 1、2、3、4 (3、4 はオプション) にセットしていない用紙、またはできない用紙 (OHP フィルムや、厚紙などの特殊用紙) をプリントするときに使用します。 |
| 9 | 本体内蔵型 IC カード読み取り装置 (オプション) | IC カードをタッチすると、登録されたユーザー情報が本体に読み込まれます。 |
| 10 | USB メモリー差し込み口 | USB メモリーに保存されている文書をプリントするときに USB メモリーを差し込みます。 補足 • USB メモリーの延長ケーブルは接続できません。 |
| 11 | サイドトレイ (オプション) | プリントされた用紙が印字面を上にして、排出されます。 |

左側面と背面



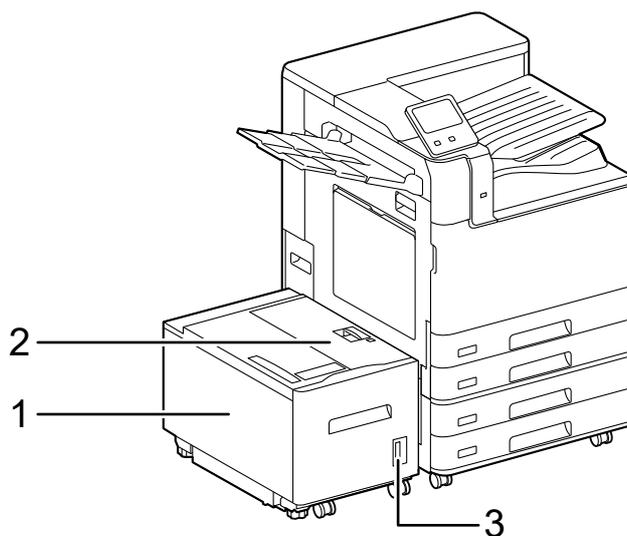
| No. | 名称 | 説明 |
|-----|--------------------------|--|
| 1 | 左側面上部カバー | 紙詰まりを処置するときに、リリースレバーを上げながら開けます。 |
| 2 | 左側面下部カバー | 紙詰まりを処置するときに開けます。 トレイ 6 (大容量給紙トレイ (1 段)) (オプション) が取り付けられている場合は、前面から見て左にトレイ 6 を移動してから開けます。 |
| 3 | アジャスターフット | 本機の転倒を防止します。本機の設置後に、床に接するまで時計回りに回転させます。 |
| 4 | リセットボタン | 漏電を検知すると、自動的に電源を遮断します。 |
| 5 | 右奥カバー | インターフェイスケーブルを接続するときに開けます。 |
| 6 | 無線キット (オプション) | 本機を無線 (Wi-Fi/Bluetooth) に接続するときに取り付けます。 |
| 7 | イーサネットコネクタ | ネットワークケーブルを接続します。 |
| 8 | USB3.0 インターフェイスコネクタ | コンピューターに接続する USB ケーブルを接続します。 |
| 9 | USB2.0 インターフェイスコネクタ | USB 接続のオプション製品や関連商品のケーブルを接続します。 |
| 10 | セカンダリーイーサネットコネクタ (オプション) | セカンダリーイーサネットキット (オプション) が取り付けられている場合に、ネットワークケーブルを接続します。 |

内部



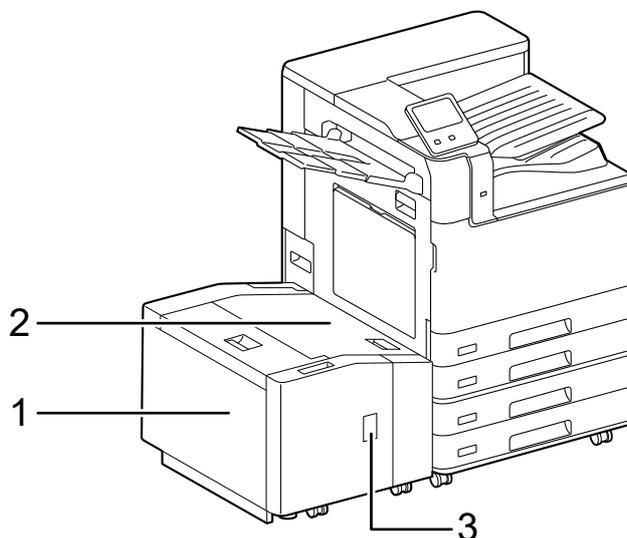
| No. | 名称 | 説明 |
|-----|-----------|---|
| 1 | トナーカートリッジ | トナーがセットされています。本機に向かって左側からブラック (K)、シアン (C)、マゼンタ (M)、イエロー (Y) です。 |
| 2 | 搬送ボックス | ドラムカートリッジを交換したり、内部を清掃したりするときに取り外します。 |
| 3 | トナー回収ボトル | 使用済みのトナーが回収されます。 |
| 4 | ハンドル | 搬送ボックスのロックを解除します。 |
| 5 | 定着ユニット | トナーを用紙に定着させます。高温なので触れないように注意してください。 |
| 6 | ドラムカートリッジ | 感光体がセットされています。本機に向かって左側からブラック (K)、シアン (C)、マゼンタ (M)、イエロー (Y) です。 |

大容量給紙トレイ B1 (オプション)



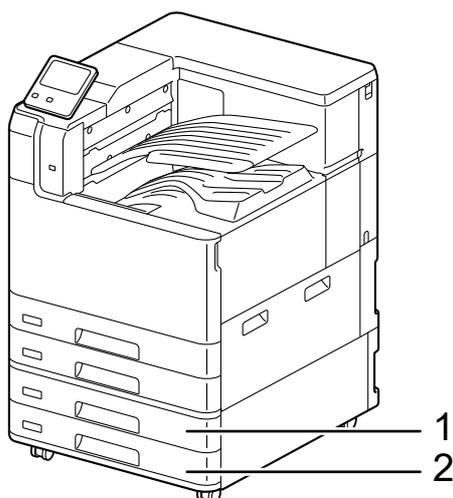
| No. | 名称 | 説明 |
|-----|------------------|--------------------|
| 1 | 大容量トレイ (用紙トレイ 6) | 用紙をセットします。 |
| 2 | 上面カバー | 紙詰まりの処置をするときに開けます。 |
| 3 | 残量表示 | 用紙の残量を確認できます。 |

大容量給紙トレイ B2 (オプション)



| No. | 名称 | 説明 |
|-----|------------------|--------------------|
| 1 | 大容量トレイ (用紙トレイ 6) | 用紙をセットします。 |
| 2 | 上面カバー | 紙詰まりの処置をするときに開けます。 |
| 3 | 残量表示 | 用紙の残量を確認できます。 |

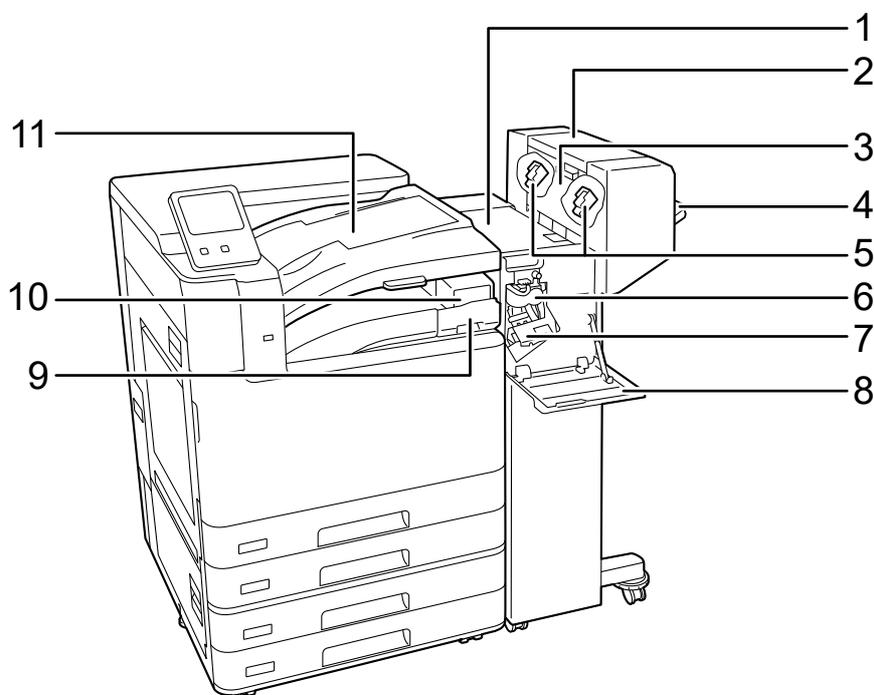
2トレイモジュールモデル (オプション)



| No. | 名称 | 説明 |
|-----|---------------------------|------------|
| 1 | トレイ 3 (2トレイモジュール) (オプション) | 用紙をセットします。 |
| 2 | トレイ 4 (2トレイモジュール) (オプション) | 用紙をセットします。 |

フィニッシャー B (オプション)

本文中では、「フィニッシャー B4」、「フィニッシャー B5」を総称して「フィニッシャー B」と記載しています。

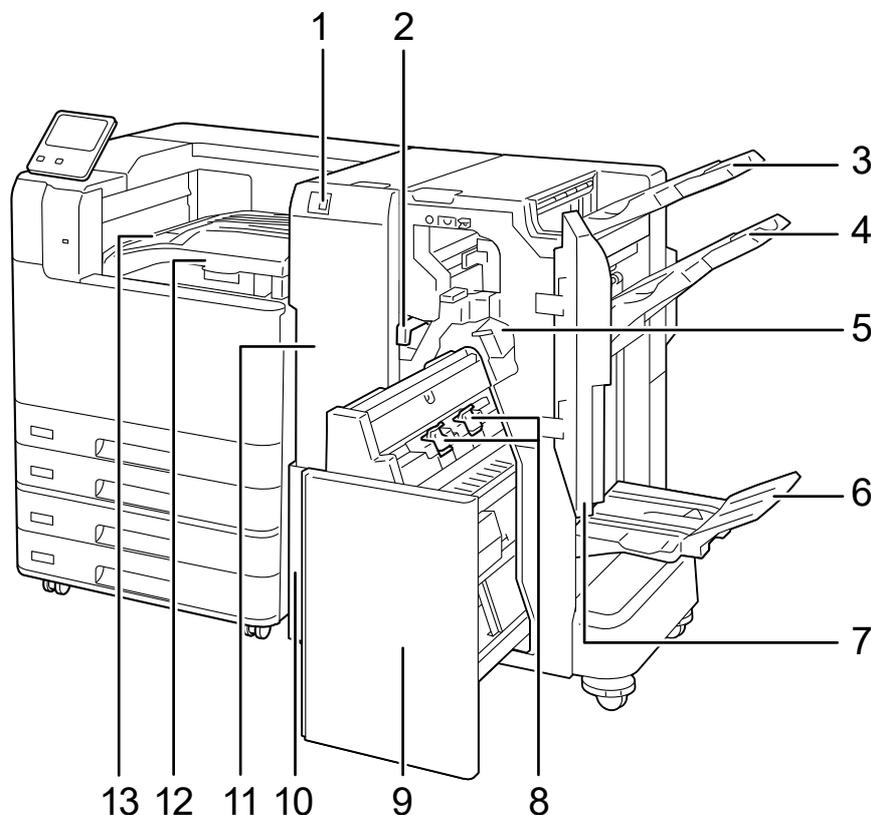


| No. | 名称 | 説明 |
|-----|-----------------|----------------------|
| 1 | 上面カバー | 紙詰まりを処置するときに開けます。 |
| 2 | 中とじユニット (オプション) | 折り目を付けた用紙にホチキスを留めます。 |

| No. | 名称 | 説明 |
|-----|---|--|
| 3 | 中とじユニット側面カバー | 中とじ用ホチキスカートリッジを交換するときに開けます。 |
| 4 | フィニッシャートレイ | ホチキス留めされた用紙や折り目が付いた用紙などが排出されます。 |
| 5 | 中とじ用ホチキスカートリッジ | 中とじ用ホチキス針が内蔵されています。中とじ用ホチキス針を交換するときに取り出します。 |
| 6 | 折り目ユニット | 用紙に二つ折りの折り目を付けます。 |
| 7 | ホチキスカートリッジ | ホチキス針を交換するためのユニットです。 |
| 8 | 正面カバー | 紙詰まりの処置やホチキス針の交換などのときに開けます。 |
| 9 | パンチダストボックス | パンチ穴の切りくずが入ります。 |
| 10 | パンチユニット 2/3 穴 (US 規格) パンチユニット 2/4 穴 (どちらもオプション) | パンチ穴を開けます。 |
| 11 | センタートレイ (フィニッシャー接続部上面カバー) | 用紙が排出されます。フィニッシャートレイに用紙が排出できないときも、ここに排出されます。紙詰まりを処置するときは、上に開けます。 |

フィニッシャー C (オプション)、中とじフィニッシャー C (オプション)、紙折リユニット CD3 (オプション)

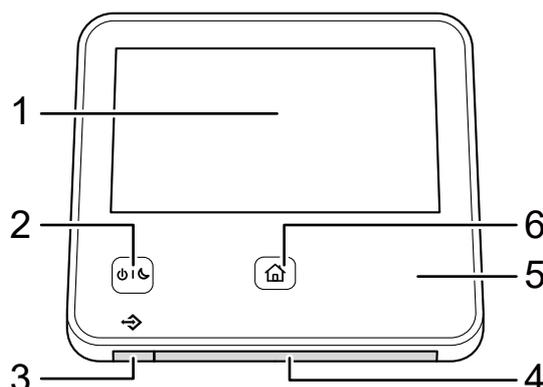
本文中では、「フィニッシャー C4」、「中とじフィニッシャー C4」、「フィニッシャー C5」、「中とじフィニッシャー C5」を総称して「フィニッシャー C」と記載しています。



| No. | 名称 | 説明 |
|-----|-----------------------------------|--|
| 1 | 三つ折り排出トレイボタン (紙折リユニット CD3 装着時) | 三つ折り排出トレイが開きます。 |
| 2 | パンチダストボックス | パンチくずが入ります。パンチくずを捨てる時に取り出します。 |
| 3 | 排出トレイ | 用紙が排出されます。 |
| 4 | フィニッシャートレイ | 用紙が排出されます。 |
| 5 | 平とじ用ホチキスカートリッジ | 平とじするときに使用するホチキスが内蔵されています。ホチキス針の交換や針詰まりの処置の時に取り出します。 |
| 6 | 製本トレイ | 中とじ製本された冊子が排出されます。 |
| 7 | 正面カバー | 紙詰まりの処置、ホチキス針の交換、針詰まりの処置、パンチくずを捨てる時に開けます。 |
| 8 | 中とじ用ホチキスカートリッジ | 中とじするときに使用するホチキスが内蔵されています。ホチキス針の交換や針詰まりの処置の時に取り出します。 |
| 9 | 中とじユニット | 用紙を二つ折りにしたり、二つ折りしたものにホチキスを留めたりする装置です。 |
| 10 | 三つ折り排出トレイ (紙折リユニット CD3 装着時) | 三つ折りされた用紙が排出されます。三つ折り排出トレイボタンで開いて、用紙を取り出します。 |
| 11 | 紙折リユニットカバー (紙折リユニット CD3 装着時) | 紙詰まりを処置する時に開けます。 |

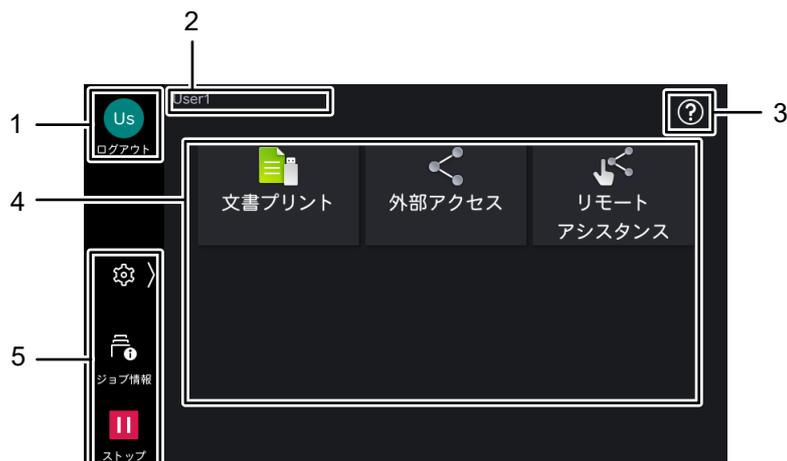
| No. | 名称 | 説明 |
|-----|-------------------------------------|--|
| 12 | トランスポートユニット H4 (フィニッシャー接続部上面カバー) | 用紙を搬送します。紙詰まりを処置するときは、上に開けます。 |
| 13 | センタートレイ (排出トレイ) | 用紙が排出されます。排出トレイやフィニッシャートレイに用紙が排出できないときも、ここに排出されます。 |

操作パネル



| No. | 名称 | 説明 |
|-----|---------------|--|
| 1 | タッチパネルディスプレイ | 操作に必要なメッセージや各機能のボタンが表示されます。タッチパネルディスプレイに直接触れて、画面の指示や機能の設定をします。 |
| 2 | 〈電源 / 節電〉 ボタン | 本機の電源を入 / 切します。本機の節電状態を解除したり、節電状態にしたりすることもできます。節電状態のときは点滅します。 |
| 3 | データランプ | 本機からデータを送信中や、コンピューターからのデータを受信中に、点滅します。 |
| 4 | 状態表示ランプ | 操作を受け付けたときに、緑色で短く光ります。システムエラーや、紙詰まり、用紙切れ、トナー切れなどで機械に異常が発生している間は、オレンジ色で点滅します。 |
| 5 | NFC タッチエリア | NFC 対応モバイル機器をかざすエリアです。 補足 <ul style="list-style-type: none"> 相互通信するには、本機の NFC 機能が有効になっている必要があります。NFC 機能は、インターネットサービスで設定します。詳しくは、インターネットサービスのヘルプを参照してください。 参照 <ul style="list-style-type: none"> インターネットサービスの起動方法については、「インターネットサービスを使う」(P.149)を参照してください。 |
| 6 | 〈ホーム〉 ボタン | ホーム画面を表示するときに押します。 |

ホーム画面



| No. | 名称 | 説明 |
|-----|------------|--|
| 1 | 認証情報の表示エリア | <p>タップすると、ユーザー ID の入力画面が表示され、ログインできます。認証中にタップすると、ログアウトします。</p> <p>6D 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、「ログイン」(P.39) を参照してください。 |
| 2 | ログインユーザー名 | ログインユーザー名が表示されます。 |
| 3 | ヘルプアイコン | <p>本機の操作方法やエラーコードの詳細を確認できます。画面に表示された QR コードをモバイル端末で読み取ると、ヘルプをモバイル端末で閲覧できます。</p> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> 初めて使用するときは、機械管理者でログインして利用規約に同意する必要があります。 この機能を使用するには、インターネットに接続できる環境が必要です。 |
| 4 | アプリの表示エリア | <p>アプリのアイコンをタップして、各機能を使用します。機械管理者または認証ユーザーでログインしている場合は、アプリの表示エリアをロングタップして、表示するアプリや配置をカスタマイズできます。</p> <p>6D 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> カスタマイズについては、「ホーム画面のカスタマイズ」(P.40) を参照してください。 アプリについては、「アプリ」(P.19) を参照してください。 |
| 5 | コントロールタブ | <p>⚙️をタップすると、コントロールメニューが開きます。閉じるときは、画面右端の◀をタップします。</p> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> コントロールタブに表示されている機能は、コントロールメニューを閉じた状態でもタップできます。 「[画面の設定]」(P.103) の [コントロールメニューの機能配置] で、表示する機能や配置を変更できます。 <p>6D 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> コントロールメニューについては、「コントロールメニュー」(P.19) を参照してください。 |

アプリ

| アプリ名 | 機能の概要 | 参照先 |
|---------------|---|---|
| [外部アクセス] | 本機に組み込まれたブラウザから、ネットワークを介して Web サーバーにアクセスし、データを格納したり表示したりします。 | [外部アクセスについて] (P.280) |
| [文書プリント] | USB メモリーに保存されている文書をプリントします。 | [文書プリント] (P.75) |
| [リモートアシスタンス] | オペレーターと画面を共有しながら、問題を解決できます。初めて使用するときは、機械管理者でログインして利用規約に同意する必要があります。 | - |
| [プライベートプリント] | プライベートプリント文書をプリントします。 | [機密文書をプリントする - プライベートプリント -] (P.84) |
| [セキュリティープリント] | セキュリティープリント文書（パスワードを設定した文書）をプリントします。 | [機密文書をプリントする - セキュリティープリント -] (P.82) |
| [サンプルプリント] | サンプルプリント（試しに 1 部だけプリント）に指定した文書の残りの部数をプリントします。 | [出力結果を確認してからプリントする - サンプルプリント -] (P.78) |
| [時刻指定プリント] | 時刻指定プリント文書（プリント時刻が指定された文書）を、指定時刻より前にプリントできます。 | [指定した時刻にプリントする - 時刻指定プリント -] (P.80) |
| [認証プリント] | 認証プリント文書をプリントします。 | [機密文書をプリントする - 認証プリント -] (P.88) |

コントロールメニュー



| 機能名 | 参照先 / 説明 |
|-------------------|---|
| [ジョブ情報] | [ジョブの確認 / 中止 / プリント] (P.43) |
| [ストップ] | [実行中ジョブの一時停止] (P.43) |
| [設定] | [本機の設定] (P.99) |
| [アプリの表示カスタマイズ] | [機能リストのカスタマイズ] (P.77) |
| [機械確認 (メーター確認)] | [本機の状態の確認] (P.44) |
| [言語切り替え Language] | 表示される言語とキーボードのレイアウトを切り替えます。  補足 ・電源を入れたときの初期表示言語は、[システム設定] > [画面の設定] > [初期表示言語] で設定します。 |

| 機能名 | 参照先 / 説明 |
|-------------|--|
| [ショートカット一覧] | <p>ショートカットに登録した機能の一覧が表示されます。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> 機械管理者でログインすると、各機能のをタップして、一覧内の機能の並び順を変更したり、一覧から削除したりできます。 登録できる機能の画面で、右上に表示される [ショートカット作成] をタップすると、[ショートカット一覧] に追加されます。 |

2.5 本機で使用している記号

| 記号 | 説明 | 記号 | 説明 |
|---|---------------------|--|-------------------|
|  | 注意、危険、警告 |  | 折り目のある用紙を使用しないこと |
|  | 高温注意 |  | しわのある用紙を使用しないこと |
|  | 指挟み注意 |  | カールしている用紙を使用しないこと |
|  | 接触禁止 |  | はがきを使用しないこと |
|  | 指示に従うこと |  | 封筒を使用しないこと |
|  | アース線を接続すること |  | 用紙 |
|  | トナーカートリッジを火中に投じないこと |  | はがき |
|  | トナー回収ボトルを火中に投じないこと |  | 封筒 |
|  | 〈電源 / 節電〉ボタン |  | 用紙のプリント面を上セット |
|  | ホーム |  | 用紙のプリント面を下セット |
|  | インクジェット紙を使用しないこと |  | 最大積載量 |

| 記号 | 説明 |
|---|--------------|
|  | 用紙補給 |
|  | 紙詰まり |
|  | 針詰まり |
|  | ホチキスカートリッジ交換 |
|  | LAN |
|  | USB |
|  | ロック |
|  | ロック解除 |
|  | 重量 |
|  | 冷却 |
|  | 経過時間 |

3 本機のセットアップ

3.1 セットアップの流れ

1. 同梱品を確認する



参照

- 本機に付属の「セットアップガイド」

2. ロック部材を取り外す



参照

- 本機に付属の「セットアップガイド」

3. オプション製品を取り付ける



参照

- 「オプション製品の取り付け」(P.225)

4. 搬送ボックスをロックする



参照

- 本機に付属の「セットアップガイド」

5. トナーカートリッジをセットする



参照

- 本機に付属の「セットアップガイド」

6. 電源コードを接続する



参照

- 本機に付属の「セットアップガイド」

7. コンピューターまたはネットワークに接続する



参照

- 「有線 LAN で接続する」(P.24)
- 「USB で接続する」(P.25)
- 「無線 LAN で接続する」(P.25)

8. 用紙をセットする



参照

- 「用紙をセットする」(P.54)

9. ソフトウェアをインストールする



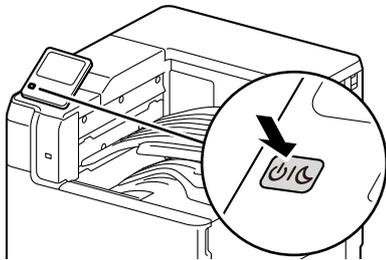
参照

- 「Windows 用のソフトウェアをインストールする」(P.29)
- 「Mac 用のソフトウェアをインストールする」(P.32)

3.2 電源について

電源を入れる

1. 電源 / 節電 ボタンを押します。



本機の初期設定をする

初めて電源を入れたときは、本機の初期設定をする画面が表示されます。

補足

- 初期設定の項目は、あとから変更することもできます。

1. 画面に従って情報を設定し、[次へ] をタップします。

補足

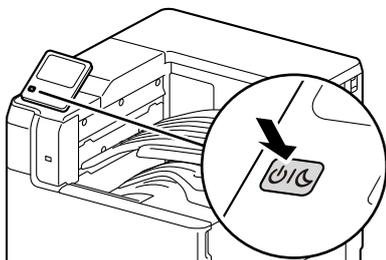
- [オプション機器のソフトウェアバージョンアップ] では、[次へ] をタップします。
- [ソフトウェアオプションの設定] では、パスワードを入力する必要はありません。入力欄になにも入力せずに [次へ] をタップします。

2. [初期設定完了] が表示されたら、[完了] をタップします。

3. [X] をタップすると、ホーム画面が表示されます。

電源を切る

1. 電源 / 節電 ボタンを押します。



2. タッチパネルディスプレイで、[電源を切る] をタップします。

注記

- 電源を切ったあとも、しばらくの間は本機内部で電源を切るための処理をしています。本機の電源を完全に切るためには、電源コンセントから電源コードを抜く必要があります。電源コードをコンセントから抜くときは、タッチパネルディスプレイの表示と各ランプの点灯や点滅が消えてから行ってください。

補足

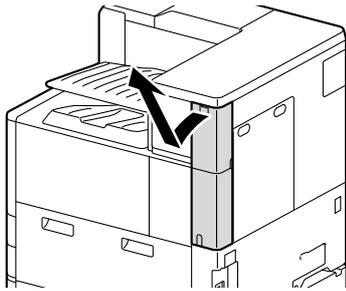
- 電源を切ったあとに、再度、電源を入れる場合は、タッチパネルディスプレイの表示と各ランプの点灯が消えたあと、少し時間をおいてから入れてください。

3.3 本機をコンピューターに接続する

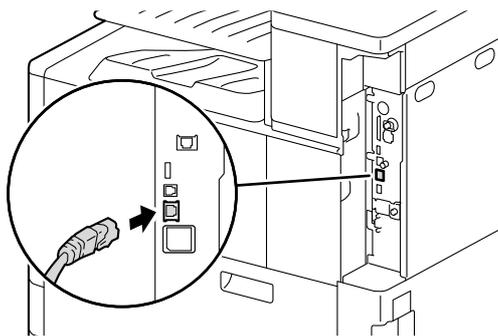
本機は有線 LAN 接続、USB による接続、および無線 LAN 接続に対応しています。接続したあとで、プリンタードライバーなど必要なソフトウェアをインストールします。

有線 LAN で接続する

1. 電源/節電 ボタンを押して、[電源を切る] を選んで、電源を切ります。
2. 本機の右奥カバーを外します。



3. ネットワークケーブルを本体のイーサネットコネクタに差し込みます。



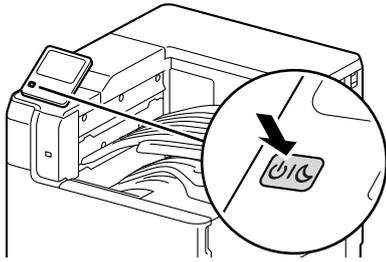
補足

- セカンダリーイーサネットキット（オプション）が取り付けられている場合は、セカンダリーイーサネットコネクタにケーブルを接続することもできます。

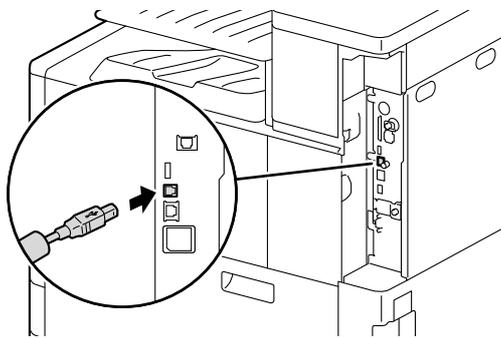
4. 本機の右奥カバーを取り付けます。
5. ネットワークケーブルの他方のコネクタを、ハブなどのネットワーク機器に接続します。
6. 電源/節電 ボタンを押して、電源を入れます。

USB で接続する

1. 電源 / 節電 ボタンを押して、[電源を切る] を選んで、電源を切ります。



2. 本機の右奥カバーを外します。
3. USB ケーブルを本体の USB コネクタ（下側）に差し込みます。



4. 本機の右奥カバーを取り付けます。
5. USB ケーブルの他方のコネクタを、コンピューターに接続します。
6. 電源 / 節電 ボタンを押して、電源を入れます。
7. プリンタードライバーなど必要なソフトウェアをインストールします。



補足

- USB 接続の場合、ソフトウェア / マニュアルディスク（オプション）の「ソフトウェア / 製品マニュアル」でプリンタードライバーをインストールするときは、[お好みインストール] > [ドライバー] を選びます。詳しくは、「Windows 用のソフトウェアをインストールする」(P.29) を参照してください。

無線 LAN で接続する

無線 LAN を設定する前に、無線キット（オプション）が本機に取り付けられていることを確認します。



参照

- 詳しくは、「無線キットの取り付け」(P.225) を参照してください。

1. 電源 / 節電 ボタンを押して、電源を入れます。



参照

- 詳しくは、「電源を入れる」(P.23) を参照してください。

2. 機械管理者でログインします。



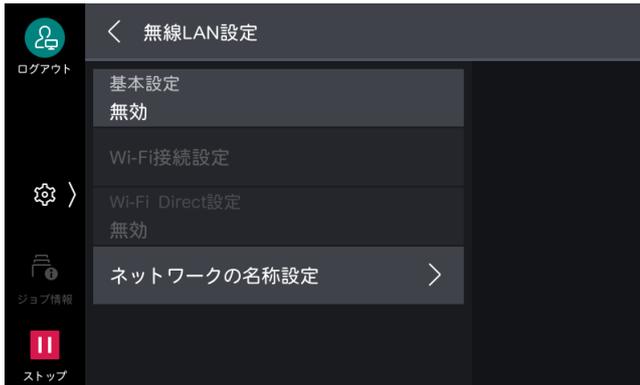
参照

- ログインの方法については、「ログイン」(P.39) を参照してください。

3. ホーム画面で [設定] をタップします。

4. [設定] をタップします。

5. [ネットワーク設定] > [無線 LAN 設定] > [基本設定] をタップします。



6. [有効] を選び、必要に応じて [動作周波数帯] を選んで、[OK] をタップします。



7. [確認] をタップします。

本機が再起動します。

8. 機械管理者でログインします。

参照

- ログインの方法については、「ログイン」(P.39)を参照してください。

9. ホーム画面で をタップします。

10. [設定] をタップします。

11. [ネットワーク設定] > [無線 LAN 設定] > [Wi-Fi 接続設定] をタップします。



12. 次のどれかの方法で、無線ネットワークに接続します。

- 「無線 LAN アクセスポイントを一覧から選んで接続する」(P.27)
- 「手動で SSID を入力して接続する」(P.27)

- 「WPS（プッシュボタン方式）で接続する」(P.28)
- 「WPS（PINコード方式）で接続する」(P.29)

補足

- 無線 LAN アクセスポイントの SSID と、認証情報（WEP キー、パスフレーズなど）が必要になります。

無線 LAN アクセスポイントを一覧から選んで接続する

1. 接続するアクセスポイントをタップします。

アクセスポイントにセキュリティーが設定されていない場合は、これで完了です。

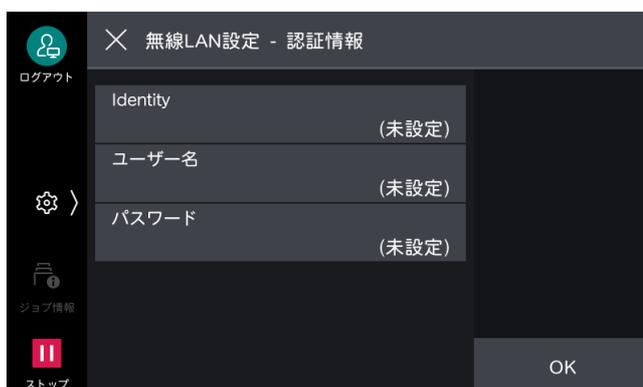
アクセスポイントにセキュリティーが設定されている場合は、次の手順に進みます。



補足

- 一覧に表示される無線 LAN アクセスポイントは、電波が強いものから順に 5 台までです。
- ほかのアクセスポイントと接続中の場合は、接続解除の確認画面が表示されます。
- アクセスポイントが一覧に表示されない場合は、手動で SSID を入力します。詳しくは、「手動で SSID を入力して接続する」(P.27) を参照してください。

2. 必要な情報を入力して、[OK] をタップします。



3. 設定が更新されたことを確認して、[OK] をタップします。

本機が再起動して、設定が有効になります。

手動で SSID を入力して接続する

1. [手動設定] をタップします。

2. 各項目を設定して、[OK] をタップします。



| 設定項目 | 設定内容 |
|------------------------|--|
| [SSID] | 無線ネットワークを識別する名前を設定します。32文字以内の英数字を入力できます。 |
| [暗号化設定] | 暗号化の方式を設定します。 |
| [暗号化なし] | 暗号化を設定しません。 |
| [WPA3 Personal] | パスフレーズを設定します。 |
| [WPA2/WPA3 Personal] | |
| [WPA2 Personal] | |
| [WPA/WPA2 Personal] | |
| [WPA3 Enterprise] | 認証方式を設定します。 PEAPを選んだ場合は、さらに [Identity]、[ユーザー名]、[パスワード] を設定します。 EAPを使用する場合は、インターネットサービスで証明書を設定したり、認証方式の詳細設定をしたりする必要があります。 |
| [WPA2/WPA3 Enterprise] | |
| [WPA2 Enterprise] | |
| [WPA/WPA2 Enterprise] | |
| | 60 参照 <ul style="list-style-type: none"> インターネットサービスについては、「インターネットサービスを使う」(P.149)を参照してください。 |
| [WEP] | WEP キーは、4 つまで登録できます。[送信キー] で、その中から使用する WEP キーを選びます。 |

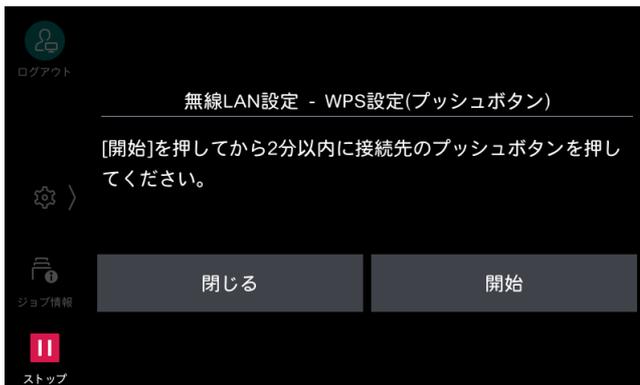
3. 設定が更新されたことを確認して、[OK] をタップします。

本機が再起動して、設定が有効になります。

WPS (プッシュボタン方式) で接続する

1. [WPS 設定 (プッシュボタン)] をタップします。

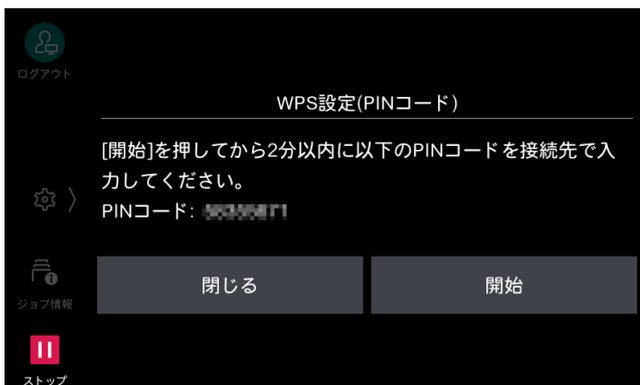
2. [開始] をタップしてから 2 分以内に、無線 LAN アクセスポイントに付いている WPS ボタンを押します。



3. 本機の画面で設定が更新されたことを確認して、[OK] をタップします。
本機が再起動して、設定が有効になります。

WPS (PIN コード方式) で接続する

1. [WPS 設定 (PIN コード)] をタップします。
2. [開始] をタップしてから 2 分以内に、表示された PIN コードを無線 LAN アクセスポイントに入力します。



3. 本機の画面で設定が更新されたことを確認して、[OK] をタップします。
本機が再起動して、設定が有効になります。

Windows 用のソフトウェアをインストールする

ソフトウェアは、弊社公式サイトから入手できます。

次の URL にアクセスし、ダウンロードしてインストールしてください。

<https://fujifilm.com/fb/download/>

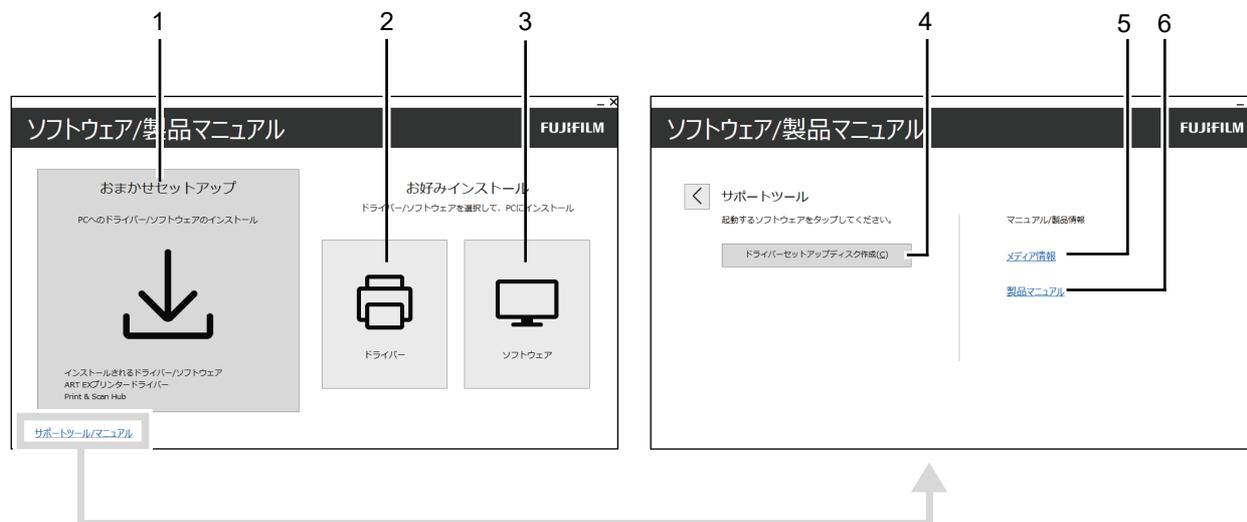
メニューの [ダウンロード] をクリックし、お使いの機種 / OS / 必要なソフトウェアを選び、[使用許諾条件に同意しダウンロード] をクリックします。

補足

- 事前に次のどれかの手順で本機をコンピューターに接続してからインストールを開始してください。
 - 「有線 LAN で接続する」(P.24)
 - 「USB で接続する」(P.25)
 - 「無線 LAN で接続する」(P.25)

「ソフトウェア / 製品マニュアル」を使う

ソフトウェア / マニュアルディスク (オプション) の「ソフトウェア / 製品マニュアル」を使うと、次の機能を利用できます。



1 [おまかせセットアップ]

本機で使用できる基本的なソフトウェアを、まとめてインストールできます。インストールできるソフトウェアは次のとおりです。

- ART EX プリンタードライバー
- Print & Scan Hub
- Supply Monitor

63 参照

- インストール方法については、「[おまかせセットアップ] でインストールする」(P.31) を参照してください。
- ソフトウェアについては、「本機のソフトウェアを使う」(P.149) を参照してください。

2 [お好みインストール] > [ドライバー]

必要なドライバーだけを選んでインストールできます。インストールできるドライバーは次のとおりです。

- ART EX プリンタードライバー
- PS ドライバー H2 (Adobe® PostScript® 3™ キット (平成 2 書体) 用)
- PS ドライバー J2 (Adobe® PostScript® 3™ キット (モリサワ 2 書体) 用)
- Supply Monitor

63 参照

- インストール方法については、「[お好みインストール] でインストールする」(P.31) を参照してください。

3 [お好みインストール] > [ソフトウェア]

必要なソフトウェアだけを選んでインストールできます。インストールできるソフトウェアは次のとおりです。

- Print & Scan Hub
- ContentsBridge Utility
- Supply Monitor

63 参照

- インストール方法については、「[お好みインストール] でインストールする」(P.31) を参照してください。
- ソフトウェアについては、「本機のソフトウェアを使う」(P.149) を参照してください。

4 [サポートツール / マニュアル] > [ドライバーセットアップディスク作成]

ドライバーのセットアップディスクを作成できます。複数のコンピューターに同じ設定でドライバーをインストールする場合に、作業負荷を軽減できます。



- セットアップディスクは、ディスクを作成したコンピューターのOSと異なるOSのコンピューターでは使用できません。OSごとにセットアップディスクを作成してください。

5 [サポートツール / マニュアル] > [メディア情報]

[ソフトウェア / 製品マニュアル] の収録内容を確認できます。

6 [サポートツール / マニュアル] > [製品マニュアル]

マニュアルを表示できます。

[おまかせセットアップ] でインストールする

1. [おまかせセットアップ] をクリックします。



2. 画面の指示に従ってインストールを完了します。

[お好みインストール] でインストールする

1. [ドライバー] または [ソフトウェア] をクリックします。
[ソフトウェア] を選んだ場合は、手順 4 に進みます。



2. [使用許諾契約の条項に同意する] を選び、[次へ] をクリックします。
3. お使いの接続方法を選び、[次へ] をクリックします。
4. 画面の指示に従ってインストールを完了します。

プリンタードライバーでオプション製品の設定をする

ネットワーク接続されているプリンターのオプション製品の情報を、プリンタードライバーの設定に反映します。

1. コンピューターで [スタート] > [設定] > [デバイス] > [プリンターとスキャナー] をクリックします。
2. 本機を選んで [管理] > [プリンターのプロパティ] をクリックします。
3. [プリンター構成] タブをクリックし、[プリンターとの通信設定] > [プリンター本体から情報を取得] > [OK] をクリックします。
4. [適用] > [OK] をクリックします。



- [プリンター本体から情報を取得] をクリックしてもプリンターの情報が更新されない場合や、プリンターを USB 接続している場合は、[プリンター構成] タブ > [オプションの設定] で設定してください。

Mac 用のソフトウェアをインストールする

最新版の Mac 用のソフトウェアは、弊社公式サイトから入手できます。

次の URL にアクセスし、ダウンロードしてインストールしてください。

<https://fujifilm.com/fb/download/>

ソフトウェアをインストールする

1. ダウンロードした dmg ファイルをダブルクリックします。
2. フォルダー内にある pkg ファイルをダブルクリックします。
3. 画面の指示に従ってインストールを完了します。

本機を Mac に登録する

USB 接続で本機を追加する

1. 本機の電源を入れます。
2. USB ケーブルで本機とコンピューターを接続します。
3. [Apple] メニューから [システム環境設定] を開き、[プリンタとスキャナ] をクリックします。
4. [プリンタ] に本機が表示されていれば、登録は完了です。
本機が表示されない場合は、手順 5 以降に従って本機を追加します。
5.  をクリックします。
6. [種類] 列に [USB] と表示されている本機の名前を、[名前] から選びます。
7. [ドライバ] から、本機に対応するドライバーを選びます。
8. [追加] をクリックします。
9. 本機に装着済みのオプション製品を設定し、[OK] をクリックします。
10. [プリンタ] に本機が表示されていることを確認します。

LPD 接続で本機を追加する

1. 本機の電源を入れます。
2. 本機とコンピューターが接続されていることを確認します。
有線 LAN 接続の場合は、本機を LAN ケーブルで接続します。
無線 LAN 接続の場合は、本機とコンピューターの無線 LAN 接続が確立されていることを確認します。
3. [Apple] メニューから [システム環境設定] を開き、[プリンタとスキャナ] をクリックします。
4.  をクリックします。
5.  をクリックします。
6. [プロトコル] から [LPD (Line Printer Daemon)] を選びます。
7. 本機の IP アドレスを [アドレス] に入力します。
8. [ドライバ] から、本機に対応するドライバーを選びます。
9. [追加] をクリックします。
10. 本機に装着済みのオプション製品を設定し、[OK] をクリックします。
11. [プリンタ] に本機が表示されていることを確認します。

Bonjour 接続で本機を追加する

1. 本機の電源を入れます。
2. 本機とコンピューターが接続されていることを確認します。
有線 LAN 接続の場合は、本機を LAN ケーブルで接続します。
無線 LAN 接続の場合は、本機とコンピューターの無線 LAN 接続が確立されていることを確認します。
3. [Apple] メニューから [システム環境設定] を開き、[プリンタとスキャナ] をクリックします。
4.  をクリックします。
5. [種類] 列に [Bonjour] と表示されている本機の名前を、[名前] から選びます。
6. [ドライバ] から、本機に対応するドライバーを選びます。
7. [追加] をクリックします。
8. 本機に装着済みのオプション製品を設定し、[OK] をクリックします。
9. [プリンタ] に本機が表示されていることを確認します。

オプション製品の機能を有効にする

本機に装着済みのオプション製品をドライバーから設定し、関連する機能を有効にします。

1. [Apple] メニューから [システム環境設定] を開き、[プリンタとスキャナ] をクリックします。
2. [プリンタ] から本機を選び、[オプションとサプライ] をクリックします。
3. [オプション] をクリックします。
4. 本機に装着済みのオプション製品を選び、[OK] をクリックします。

Linux 用のプリンタードライバーをインストールする

最新版の Linux 用のプリンタードライバーは、弊社公式サイトから入手できます。
次の URL にアクセスし、ダウンロードしてインストールしてください。
<https://fujifilm.com/fb/download/>

メール機能の設定

メール通知サービスやメール受信プリントなど、メールを使う機能を利用するには、次の設定が必要です。

- メールポート
- TCP/IP アドレス
- サブネットマスク (必要に応じて設定)
- ゲートウェイアドレス (必要に応じて設定)
- DNS サーバーアドレス (必要に応じて設定)
- 本体メールアドレス
- メール受信プロトコル
- SMTP サーバーアドレス
- SMTP AUTH ログイン名、パスワード (必要に応じて設定)
- POP3 サーバーアドレス (必要に応じて設定)
- POP3 ログイン名、パスワード (必要に応じて設定)

参照

- TCP/IP アドレスの設定については、「IP アドレスを変更する」(P.36) を参照してください。

メール送信の設定をする

1. 機械管理者でログインします。

参照

- ログインの方法については、「ログイン」(P.39) を参照してください。

2. ホーム画面で をタップします。

3. [設定] をタップします。

4. 本機のメールアドレスを設定します。

1) [ネットワーク設定] > [本体メールアドレス / ホスト名] をタップします。

2) メールアドレスやホスト名を設定します。

参照

- 詳しくは、「[本体メールアドレス / ホスト名]」(P.126) を参照してください。

3)  をタップして、[ネットワーク設定] 画面まで戻ります。

5. 送信の設定をします。

1) [メール送受信設定] をタップします。

2) [SMTP サーバー設定] をタップし、SMTP サーバーの設定をします。

補足

- メールの送信には、SMTP サーバーの設定が必要です。詳しくは、「[SMTP サーバー設定]」(P.129) を参照してください。

3)  をタップして、[ネットワーク設定] 画面まで戻ります。

6.  (ホーム) ボタンを押します。

メール受信を設定する

1. 機械管理者でログインします。

 参照

- ログインの方法については、「ログイン」(P.39)を参照してください。

2. ホーム画面で  をタップします。

3. [設定] をタップします。

4. ポートを起動します。

1) [ネットワーク設定] > [ポート設定] > [メール受信] > [メール受信 - ポート] をタップします。

2) [起動] をタップします。

3)  をタップして、[ポート設定] 画面まで戻ります。

4) メール通知、ジョブの終了通知を使用する場合は、同様に [メール通知サービス] の [メール通知サービス - ポート] を [起動] に設定します。

5)  をタップして、[ネットワーク設定] 画面まで戻ります。

5. 受信プロトコルを設定します。

1) [その他の設定] > [メール受信プロトコル] をタップします。

2) [SMTP] または [POP3] をタップします。

3)  をタップして、[ネットワーク設定] 画面まで戻ります。

6. 本機のメールアドレスを設定します。

1) [本体メールアドレス / ホスト名] をタップします。

2) メールアドレスやホスト名を設定します。

 参照

- 詳しくは、「[本体メールアドレス / ホスト名]」(P.126)を参照してください。

3)  をタップして、[ネットワーク設定] 画面まで戻ります。

7. [メール送受信設定] をタップして、受信の設定をします。

[メール受信プロトコル] で [SMTP] を選んだ場合

特別な設定は不要です。

[メール受信プロトコル] で [POP3] を選んだ場合

POP3 サーバーの設定をします。

 補足

- POP3 サーバー設定で POP over SSL を ON にすると、メールの受信が暗号化されます。POP over SSL はインターネットサービスを使用して設定できます。

 参照

- POP3 サーバーの設定については、「[POP3 サーバー設定]」(P.129)を参照してください。

- POP3 受信をする場合の本体メールアドレスの設定については、「[本体メールアドレス / ホスト名]」(P.126) を参照してください。
- インターネットサービスについては、「インターネットサービスを使う」(P.149) を参照してください。

8. ◀をタップして、[ネットワーク設定] 画面まで戻ります。

9. ◀(ホーム) ボタンを押します。

IP アドレスを変更する

IP アドレスの変更方法について IPv4 を例に説明します。



- IPv6 環境の IP アドレスを手動で割り当てるときは、ソフトウェア / マニュアルディスク (オプション) の「ソフトウェア / 製品マニュアル」またはインターネットサービスを使用します。インターネットサービスの起動方法については、「インターネットサービスを使う」(P.149) を参照してください。

1. 機械管理者でログインします。



- ログインの方法については、「ログイン」(P.39) を参照してください。

2. ホーム画面で ⚙️ をタップします。

3. [設定] をタップします。

4. [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [TCP/IP- 共通設定] をタップします。

5. [IP 動作モード] をタップし、お使いの環境に合わせて、[デュアルスタック]、[IPv4 モード]、または [IPv6 モード] をタップします。



- 使用するネットワークが IPv4 および IPv6 の両方に対応している場合は、[デュアルスタック] を選んでください。

6. ◀をタップして、[プロトコル設定] 画面に戻ります。

7. [TCP/IP- ネットワーク設定]、または [TCP/IP 設定 (LAN1)] / [TCP/IP 設定 (LAN2)] / [TCP/IP 設定 (Wi-Fi)] をタップし、お使いの環境に合わせて IP アドレスの取得方法を設定します。



- ネットワークの接続方法によって、表示される項目が異なります。ここでは手順 5 で [IPv4 モード] を選んだ場合を例に説明します。

8. [IPv4-IP アドレス取得方法] をタップします。

9. IP アドレスの割り当て方法を設定します。

IP アドレスを自動で設定する場合

1) [DHCP/AutoIP から取得]、[BOOTP から取得]、[DHCP から取得] のどれかを選び、[OK] をタップします。

IP アドレスを手動で設定する場合

1) [手動で設定] を選び、[OK] をタップします。

2) [IPv4-IP アドレス] をタップします。

3) IP アドレスを入力し、[OK] をタップします。

4) [IPv4- サブネットマスク] をタップします。

5) サブネットマスクを入力し、[OK] をタップします。

6) [IPv4- ゲートウェイアドレス] をタップします。

7) ゲートウェイアドレスを入力し、[OK] をタップします。

10. ◀をタップして、[プロトコル設定] 画面に戻ります。

11. ⏪(ホーム) ボタンを押します。

4 本機の基本操作

4.1 タッチパネルディスプレイ

画面の操作



- プレビュー画面以外では、ピンチイン（2本の指で画面をつまむように動かして縮小する操作）とピンチアウト（2本の指で画面を広げるように動かして拡大する操作）はできません。

タップ

タッチパネルディスプレイに軽く触れ、すぐに指を離します。



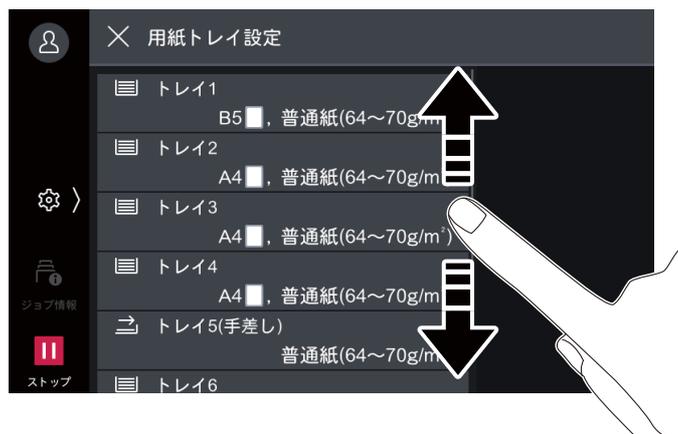
ロングタップ

アプリケーションアイコンやメニュー項目に触れたままにします。ロングタップしたまま、目的の位置まで移動させると、アイコンの位置やメニュー項目の並び順を変更できます。



スワイプ

タッチパネルディスプレイに軽く触れたまま、上下に動かすと、画面をスクロールできます。



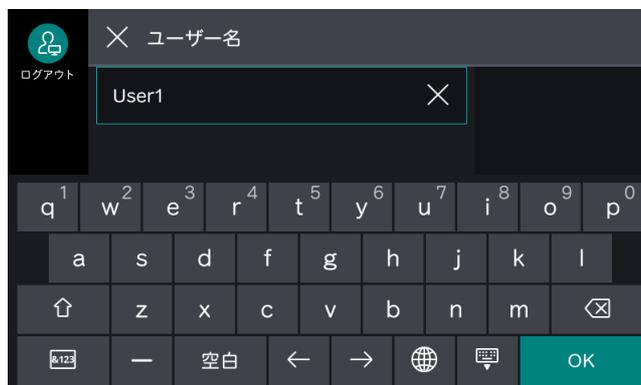
フリック（目的の方向に画面を指で軽く払う）もできます。

ピンチイン / ピンチアウト

プレビュー画像をピンチイン（2本の指で画面をつまむように動かして縮小する操作）、ピンチアウト（2本の指で画面を広げるように動かして拡大する操作）すると、画像を拡大縮小できます。

文字の入力

各種設定などで文字を入力するときは、タッチパネルディスプレイに表示されるキーボードを使います。



補足

- 入力画面、入力言語によって、表示されるボタンは異なります。
-  をタップすると、入力言語を変更できます。
- 入力できる漢字は、JISの第一水準と第二水準です。

ログイン

認証機能を有効にしている場合は、本機を使用するときに認証ユーザーでログインします。

本機の設定などを行う場合は、機械管理者でログインします。

ログインすると、認証情報の表示エリアのアイコンが変わります。コントロールメニューを展開すると、ユーザー名が表示されます。

補足

- 認証機能を有効にしていない場合は、[一般ユーザー] と表示されます。

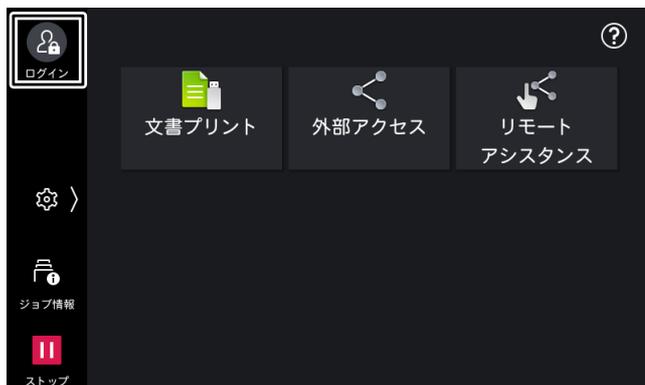
- 機械管理者としてログインすると「機械管理者」と表示されます。工場出荷時の機械管理者 ID とパスワードについては、本機に付属の「セットアップガイド」を参照してください。

6d 参照

- ログインするときにパスワードを入力するかどうかの設定については、「[パスワードの運用]」(P.141)を参照してください。

タッチパネルディスプレイでログインする

1. 認証情報の表示エリアをタップします。



2. ユーザー ID を入力して、[OK] をタップします。

補足

- Microsoft Entra ID 連携の場合、ユーザー ID は、ユーザー名の@より前を入力してください。たとえば、fujitaro@sample.com の場合、「fujitaro」を入力します。
- パスワードの入力が必要な場合は、「次へ」をタップしてパスワードを入力し、「OK」をタップします。
- 認証を解除する場合は、認証情報の表示エリアをタップします。

IC カードを使用してログインする

1. IC カード読み取り装置（オプション）に IC カードをタッチします。

画面のカスタマイズ

ホーム画面に表示するアプリや、初期表示の画面を変更できます。

ホーム画面のカスタマイズ

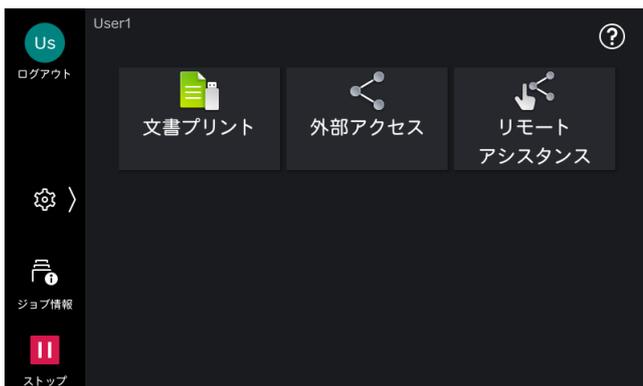
アプリの表示・非表示を切り替えたり、配置を変更したりできます。認証機能を有効にしている場合は、ユーザーごとにカスタマイズできます。

補足

- 認証ユーザーがホーム画面をカスタマイズできないように設定できます。インターネットサービスに機械管理者モードでログインし、「[認証 / 集計 / 権限] > [権限設定] > [アクセス制御設定] > [個人用カスタマイズ設定の制限]」の「[本体のアプリ画面の機能配置]」を「[制限する]」に設定します。

1. 機械管理者または認証ユーザーでログインします。

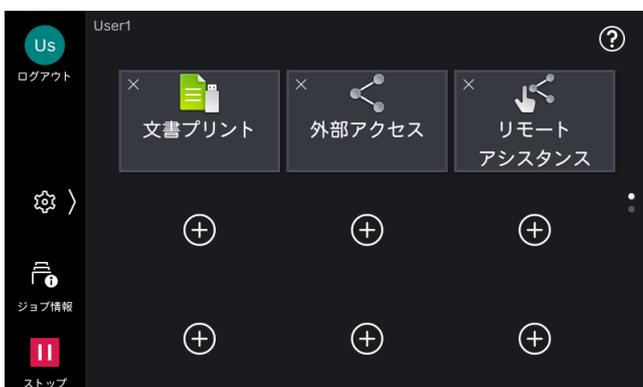
2. ホーム画面で、アプリの表示エリアをロングタップします。



3. 次の操作をします。

アプリの非表示

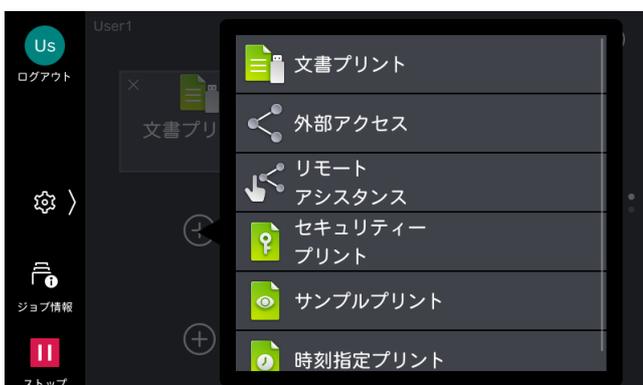
1) 非表示にするアプリの **×** をタップします。



アプリの表示

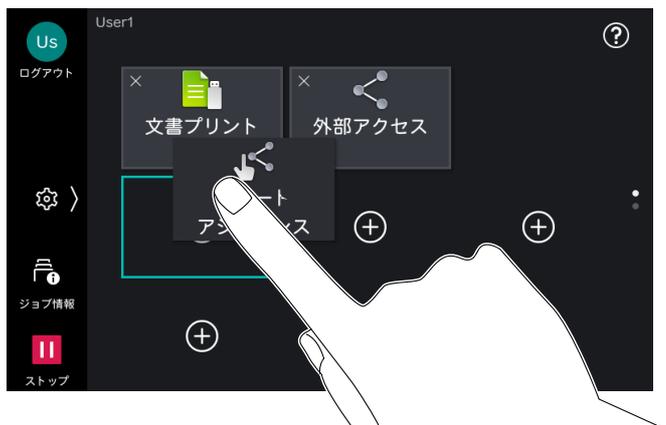
1) **+** をタップします。

2) 追加するアプリをタップします。



アプリの位置の変更

1) アプリをロングタップしたまま目的の位置まで移動します。



4. カスタマイズが終わったら、アプリの表示エリアの何も表示されていない領域をタップします。

初期表示画面を変更する

本機が起動して最初に表示される画面を設定できます。



補足

- すべてのユーザーで共通の設定となります。

1. 機械管理者でログインします。



参照

- ログインの方法については、「ログイン」(P.39)を参照してください。

2. ホーム画面で  をタップします。

3. [設定] をタップします。

4. [システム設定] > [画面の設定] > [初期表示画面] をタップします。

5. 画面を選び、[OK] をタップします。

オンライン / オフラインの切り替え

1. ホーム画面で  をタップします。

2. [機械確認 (メーター確認)] をタップします。

3. [プリンターモード] をタップします。

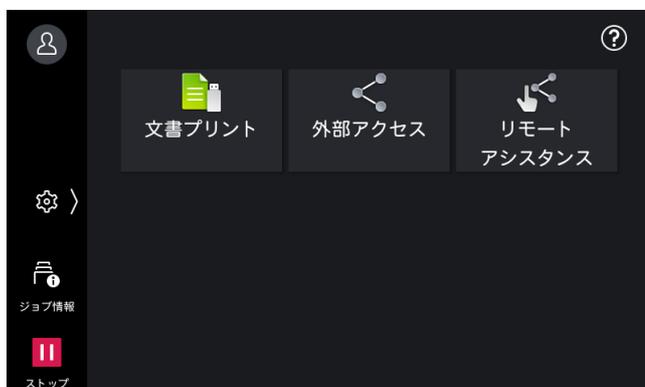
4.  をタップして、[オンライン] または [オフライン] を切り替えます。

- [オンライン]
コンピューターからのデータを受信します。
- [オフライン]
コンピューターからのデータを受信しません。受信中のデータがある場合は、中断します。

4.2 ジョブの操作

実行中ジョブの一時停止

1. プリントジョブの実行中に、ホーム画面で [ストップ] をタップします。



表示される画面で、ジョブを継続するか、中止するかを選ぶことができます。

補足

- 複数のジョブを実行中の場合は、[ジョブ情報] 画面が表示され、操作するジョブを選ぶことができます。

ジョブの確認 / 中止 / プリント

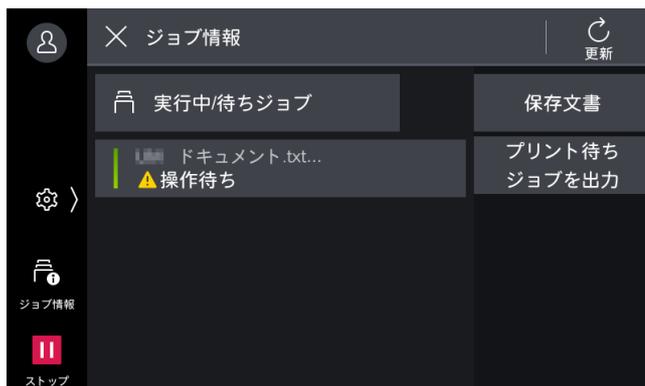
実行中や実行待ちのジョブ、完了したジョブなどを確認できます。また、プリントを中止したり、プリント待ちや操作待ちのジョブをプリントしたりできます。

蓄積プリントのジョブなどで [保存文書] をタップすると、保存文書の一覧が表示されます。

1. ホーム画面で [ジョブ情報] をタップします。
2. [すべてのジョブ] をタップして、表示するジョブの種類を切り替えます。



3. 操作するジョブをタップします。



4. 表示された画面で、次に実行する操作を選びます。

- 実行中のジョブや、一時停止中のジョブの場合は、ジョブの中止や再開などの指示ができます。また、[優先] をタップすると、そのジョブを優先的に実行できます。
- 完了したジョブの場合は、ジョブの結果を確認したり、レポートを出力したりできます。

4.3 本機の状態の確認

本機の状態を確認したり、レポートを出力したりできます。

1. ホーム画面で  をタップします。
2. [機械確認 (メーター確認)] をタップします。



[詳細情報]

本機の情報を確認できます。



[メーター確認]

メーター別のプリントページ数が表示されます。



白紙ページがプリントされた場合、メーターはカウントされます。

補足

- プリンタードライバーで白紙節約を設定すると、描画のない白紙ページはプリントされません。ただし、次の場合は、白紙ページがプリントされることがあります。
 - ページ内に改行だけが存在する場合
 - ページ内にスペース（空白）だけが存在する場合
 - ページ内に改行およびスペースだけが存在する場合
 - その他、アプリケーションから白い背景描画命令などが渡された場合

[シリアル番号]

本機のシリアル番号が表示されます。

[メーター 1]

白黒プリントの合計ページ数が表示されます。

補足

- 次の場合に、白黒プリントと認識されます。
 - カラーモードで白黒を設定したとき
 - カラーモードを指定しなかった場合は、データが黒 1 色と判断されたとき

[メーター 2]

通常は使用されません。

[メーター 3]

カラープリントの合計ページ数が表示されます。

補足

- 次の場合に、カラープリントと認識されます。
 - カラーモードでフルカラーを設定したとき
 - カラーモードを指定しなかった場合は、データに黒以外の色が使用されていると判断されたとき
- 両面プリントする場合、使用しているアプリケーションによっては、自動的にページ調整の白紙が挿入されることがあります。この場合、アプリケーションが挿入する白紙出力は 1 ページとしてカウントされます。

[ユーザー別メーター確認]

[ユーザー別メーター確認] > [プリンターメーター] で、ユーザー別のページ数を確認できます。

[認証 / 集計の設定] が [本体認証 / 集計] の場合に、ログインしているユーザーのメーターを確認できません。

メーターを確認したいユーザーでログインしてから、この機能を使用してください。



補足

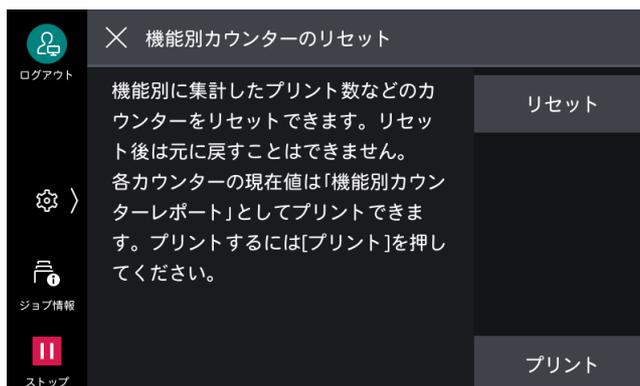
- [認証 / 集計の設定] > [各機能の集計] > [集計する] に設定している機能のメーターを確認できます。
- 機械管理者でログインしたときは、[ユーザー別メーター確認] は表示されません。

参照

- 集計管理機能については、「[集計管理]」(P.137) を参照してください。

[機能別カウンターのリセット]

機能別に集計したプリント数や、稼動状況の累積時間などのカウントをリセットしたりプリントしたりできます。



補足

- [機能別カウンターのリセット] は、集計管理の権限を持つユーザーまたは機械管理者で認証しているときに表示されます。

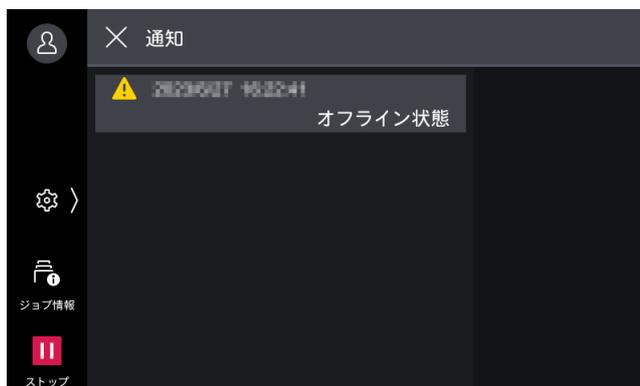
[消耗品確認]

消耗品の状態が表示されます。



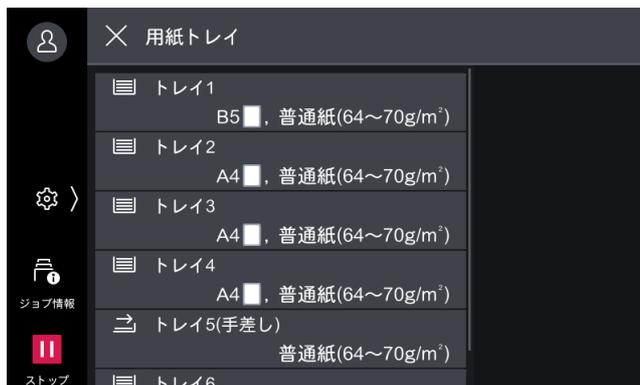
[通知]

障害の状態、交換時期やその他の重要なメッセージなど、本機からの通知を重要な順に表示します。通知を選ぶと、詳細を確認できます。



[用紙トレイ]

用紙トレイの状態と設定を確認できます。



[レポート/リストの出力]

レポートまたはリストをプリントできます。



[PostScript フォントリスト]

PostScript で使用できるフォントがプリントされます。



- この項目は、Adobe® PostScript® 3™ キット (平成 2 書体) (オプション) または Adobe® PostScript® 3™ キット (モリサワ 2 書体) (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。

[PCL フォントリスト]

PCL で使用できるフォントがプリントされます。

[ジョブ確認]

[ジョブ履歴レポート]

コンピューターから送られたプリントデータが、正しくプリントされたか、実行結果をプリントします。最新の 200 件までのジョブについてプリントされます。

[エラー履歴レポート]

本機に発生したエラーに関する情報を確認できます。

エラー履歴レポートには、最新の 50 件までのエラーがプリントされます。

[プリンター設定]

[機能設定リスト (共通項目)]

本機のハードウェア構成やネットワーク情報など、各種の設定状態がプリントされます。オプション製品が正しく取り付けられているかどうかを確認するときなどにプリントします。

[ART EX フォーム登録リスト]

オーバーレイ印字機能で、フォームとして登録した文書がプリントされます。

[PCL 設定リスト]

PCL の各設定がプリントされます。

[PCL マクロ登録リスト]

PCL 用に登録したフォームがプリントされます。

[PDF 設定リスト]

PDF プリンターモードでの各設定がプリントされます。

[TIFF/JPEG 設定リスト]

TIFF および JPEG プリンターモードでの各設定がプリントされます。

[TIFF/JPEG 論理プリンター登録リスト]

TIFF および JPEG プリンターモードで作成した論理プリンターがプリントされます。

[PostScript 論理プリンター登録リスト]

PostScript で作成した論理プリンターがプリントされます。



- この項目は、Adobe® PostScript® 3™ キット (平成 2 書体) (オプション) または Adobe® PostScript® 3™ キット (モリサワ 2 書体) (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。

[ESC/P 設定リスト]

ESC/P エミュレーションモードの各設定がプリントされます。

[ESC/P メモリー登録リスト]

ESC/P エミュレーションモードのメモリー登録の各設定がプリントされます。

[ART IV, ESC/P ユーザー定義リスト]

ART IV、ESC/P、PC-PR201H で使用できるフォーム、ロゴ、パターンの登録内容がプリントされます。

[HP-GL/2 設定リスト]

HP-GL、HP-GL/2、HP-RTL エミュレーションモードの各設定がプリントされます。

[HP-GL/2 メモリー登録リスト]

HP-GL、HP-GL/2、HP-RTL エミュレーションモードのメモリー登録の各設定がプリントされます。

[HP-GL/2 パレットリスト]

HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションのペン属性で設定できる 256 色の見本リストがプリントされます。

[PC-PR201H 設定リスト]

PR201H エミュレーションモードの各設定がプリントされます。

[PC-PR201H メモリー登録リスト]

PR201H エミュレーションモードのメモリー登録の各設定がプリントされます。

[フォントリスト]

本機で使用できるフォントがプリントされます。

[PCL フォントリスト]

PCL で使用できるフォントがプリントされます。

[PostScript フォントリスト]

PostScript で使用できるフォントがプリントされます。



- この項目は、Adobe® PostScript® 3™ キット (平成 2 書体) (オプション) または Adobe® PostScript® 3™ キット (モリサワ 2 書体) (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。

[DocuWorks プリント設定リスト]

DocuWorks ダイレクトプリントのための設定がプリントされます。

[送受信ドメイン制限リスト]

送受信を制限するドメインの設定状況がプリントされます。

[機能別カウンターレポート]

機能別のカウンターレポートがプリントされます。各機能別に、実際に使用した内訳 (プリント枚数や使用回数など) や、使用していない時間 (待機時間、低電力モード時間、スリープモード時間、電源オフ時間など) の累計を分単位で確認できます。

[エラー履歴レポート]

本機に発生したエラーに関する情報を確認できます。

エラー履歴レポートには、最新の 50 件までのエラーがプリントされます。



- [エラー履歴レポート] は、[レポート/リストの出力] 画面の [ジョブ確認] の [ジョブ履歴レポート] から指示できます。
- [レポート設定] の [レポート出力の許可] が無効になっている場合は、[エラー履歴レポート] は表示されません。詳しくは、「[レポート設定]」(P.105) を参照してください。

[インターネットサービスの接続先]

インターネットサービスの URL を確認できます。

[ストレージの上書き消去]

ストレージの上書き消去の状態が表示されます。上書き回数は機械管理者が「[ストレージの上書き消去設定]」(P.143) で設定します。

[プリンターモード]

本機の状態をオンラインまたはオフラインに切り替えることができます。



- 詳しくは、「オンライン/オフラインの切り替え」(P.42) を参照してください。

[無線 LAN の接続状態]

Wi-Fi と Wi-Fi Direct の接続状況が表示されます。

ここから Wi-Fi Direct の接続を切断することもできます。



- 詳しくは、「Wi-Fi Direct ネットワークからモバイル機器を切断する」(P.95) を参照してください。

4.4 節電機能について

本機には、機械の消費電力量を下げ、電力を節約する、節電機能が搭載されています。

節電機能には、低電力モードとスリープモードがあります。

スリープモードは低電力モードより、さらに消費電力を下げますが、節電状態からの復帰時間が低電力モードより長くなります。

スリープモードに移行しないように設定することはできません。

補足

- 定着ユニットの寿命は、通電時間などに大きく左右されます。節電状態への移行時間を長く設定すると、通電時間が長くなり、定着ユニットの交換時期が早くなる場合があります。

節電状態に移行する

次の場合に節電状態になります。節電状態になると操作パネルの (電源 / 節電) ボタンが点滅します。

- 操作パネルの (電源 / 節電) ボタンを押して、[節電モードに移行する] をタップする
- 節電状態に移行する時間まで、本機を操作しなかったとき、ジョブが実行されなかったとき、プリントデータを受信しなかったとき

補足

- 紙詰まりや、消耗品交換などエラー表示中は、節電状態に移行しません。
- 暖機モード動作中は、スリープモードに移行しません。

参照

- 節電状態に移行するまでの時間を変更するには、「[節電モード移行時間]」(P.102) を参照してください。

節電状態から復帰する

節電状態からは、次の操作または状況により復帰します。

- 操作パネルの (電源 / 節電) ボタンを押す
- プリントジョブを受信する
- インターネットサービスの [保存] をクリックする
- 正面カバーを開ける

補足

- オプション製品や別売品を操作することで、自動復帰する場合もあります。
- タッチパネルディスプレイが消灯してすぐに (電源 / 節電) ボタンを押した場合や、本機が節電状態に完全に移行していない場合は、節電解除に時間がかかる場合があります。本機が節電解除の操作を受け付ける状態になるまで待ってから、再度 (電源 / 節電) ボタンを押してください。

参照

- インターネットサービスについては、「インターネットサービスを使う」(P.149) を参照してください。

使用する機能に必要な部分だけ節電を解除する

節電状態から復帰する場合、使用する機能に必要な部分だけ電力を供給して、消費電力を節約できます。

補足

- 節電状態での用紙セットや消耗品交換では、本機は用紙や新しい消耗品の情報を取得できません。 (電源 / 節電) ボタンを押し、 > [設定] > [用紙トレイ設定]、または  > [機械確認 (メーター確認)] > [消耗品確認] をタップしてから、用紙のセットや消耗品の交換を行ってください。
- プリントジョブを受信した場合は、タッチパネルディスプレイは点灯せず、出力部のみ節電状態から復帰してプリントを開始します。
- 蓄積プリントジョブ (セキュリティープリント、時刻指定プリント、認証プリント、プライベートプリント) を受信した場合は、タッチパネルディスプレイは点灯せず、ストレージのみ節電状態から復帰します。

63 参照

- 使用する部分だけ節電を解除するかどうかの設定については、「[節電解除の制御]」(P.103)を参照してください。

4.5 用紙について

推奨する用紙

⚠ 警告

- 電気を通しやすい紙 (折り紙 / カーボン紙 / 導電性コーティングを施された紙など) を使用しないでください。ショートして火災の原因となるおそれがあります。

より鮮明にプリントするためには規格に合った用紙を使用してください。使用できる用紙については、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店へお問い合わせください。

| 用紙名 | 用紙質量 (g/m ²) | 用紙トレイに設定する用紙種類 | 用紙種類別画質処理 |
|----------------|--------------------------|----------------|-----------|
| C ² | 70 | 普通紙 | [B] |

その他の用紙については、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。

再生紙の利用について

本機で利用できる再生紙は次のとおりです。

| 用紙名 | 坪量 (g/m ²) | 古紙パルプ配合率 |
|--------|------------------------|----------|
| GR100 | 67 | 100 % |
| GR70-W | 67 | 70 % |

各トレイの給紙性能

用紙質量と最大収容枚数

| 用紙トレイ | 用紙質量 (g/m ²) | 用紙サイズ | 最大収容枚数 |
|-------------------------------|--------------------------|--|------------------------------|
| トレイ 1 | 52 ~ 300 | よこ : 100 ~ 297 mm たて : 148 ~ 431.8 mm | 600 枚 ^{*1} |
| トレイ 2 | 52 ~ 300 | よこ : 100 ~ 320 mm たて : 148 ~ 457.2 mm | 600 枚 ^{*1} |
| トレイ 3、4 ((2トレイモジュール) (オプション)) | 52 ~ 300 | よこ : 100 ~ 320 mm たて : 148 ~ 457.2 mm | 600 枚 ^{*1} |
| トレイ 5 (手差し) | 52 ~ 300 | よこ : 88.9 ~ 320 mm たて : 98.4 ~ 482.6 mm | 10 mm まで 110 枚 ^{*1} |
| トレイ 6 (大容量給紙トレイ B1 (オプション)) | 55 ~ 216 | B5、A4、レター | 2470 枚 ^{*1} |
| トレイ 6 (大容量給紙トレイ B2 (オプション)) | 55 ~ 216 | B5、A4、レター | 3370 枚 ^{*1} |

| 用紙トレイ | 用紙質量 (g/m ²) | 用紙サイズ | 最大収容枚数 |
|---------------------|--|--------------------------------------|---|
| 封筒 / はがきトレイ (オプション) | 75 ~ 90 ^{*2} 106 ~ 220 ^{*3} | よこ : 90 ~ 241 mm たて : 98 ~ 372 mm | 50 枚 ^{*4} 200 枚 ^{*3} |

*1 : C² 紙の場合

*2 : 封筒の場合

*3 : はがきの場合

*4 : 当社指定紙の場合

補足

- 封筒、はがきをセットできるトレイは、次のとおりです。
 - はがき : トレイ 1、2、トレイ 3、4 (2 トレイモジュール (オプション))、トレイ 5 (手差し)、封筒 / はがきトレイ (オプション)
 - 封筒 : トレイ 5 (手差し)、封筒 / はがきトレイ (オプション)
- 自動両面機能を使用できる用紙は次のとおりです。
 - 用紙サイズ
幅 : 128 ~ 320 mm
長さ : 139.7 ~ 482.6 mm
 - 用紙質量 : 52 g/m² ~ 300 g/m²

使用できない用紙

次のような用紙は、使用しないでください。紙詰まりや故障、画質への影響、および装置破損の原因になります。

- インクジェット用紙
- 感熱紙 / 熱転写用紙
- 布地転写用紙
- 水転写紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いた用紙
- 窓付きの封筒
- 凹凸や留め金のある封筒
- 表面に特殊コーティングされた用紙
- ざら紙や繊維質の用紙など、表面が滑らかでない用紙
- 定着時の熱で変質するインクが使用されている用紙
- 電気を通しやすい紙 (折り紙 / カーボン紙 / 導電性コーティングを施された紙 / 導電性インクによるプレプリント紙など)

そのほかにも、使用できない用紙があります。詳しくは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。

用紙の保管と取り扱い

用紙の保管

- 用紙は、キャビネットの中や湿気の少ない場所に保管してください。用紙が湿気を含むと、紙詰まりや画質不良の原因となります。
- 開封後、用紙の残りは包装紙に包んで保管してください。
- 用紙は、折れ曲がり防ぐために、立てかけずに水平に保管してください。
- 直射日光を避けて保管してください。

用紙の取り扱い

- 用紙の束は、きちんとそろえてからセットしてください。
- サイズの異なる用紙を重ねてセットしないでください。
- ラベル用紙は紙詰まりを起こしたり複数枚が同時に送られたりすることがあるので、よくさばいてから使用してください。

4.6 用紙をセットする



注記

- 用紙サイズ検知のため、電源を入れた状態で用紙をセットしてください。
- 種類が異なる用紙を、1つのトレイに混在してセットしないでください。
- プリント中は、用紙を取り除いたり、追加したりしないでください。紙詰まりの原因になります。



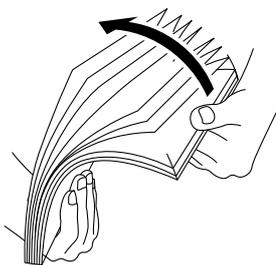
補足

- プリント中に用紙がなくなると、タッチパネルディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージに従って、用紙を補給してください。用紙を補給すると自動的にプリントが再開されます。

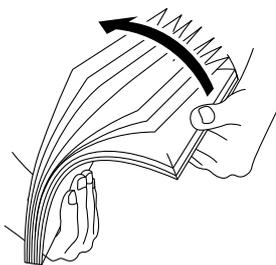
用紙をさばく

用紙は、セットする前によくさばいてください。

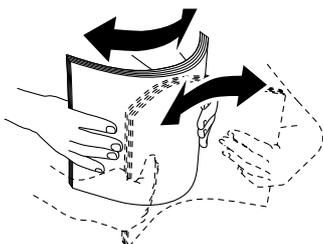
1. 用紙の一方を持ち、図のようにさばきます。



2. 用紙の上下を逆にして、同様にさばきます。



3. 用紙をほぐします。



4. 上記の手順を数回繰り返し、最後に四辺を整えます。

トレイ 1 ～ 4 (3、4 はオプション) に用紙をセットする

用紙サイズの設定について

定形サイズの内紙をセットした場合は、用紙のサイズと向きは、機械が自動的に検知します。
定形外サイズの内紙をセットした場合は、操作パネルで用紙サイズを設定する必要があります。

6D 参照

- 用紙サイズの設定方法については、「用紙の設定を変更する」(P.66)を参照してください。

用紙種類の設定について

各トレイの内紙種類は操作パネルで設定します。

用紙の種類の設定が、セットされている用紙と合っていないと、トナーが用紙に定着しなかったり、用紙が汚れたり、印字品質が低下したりすることがあります。工場出荷時の設定では、各トレイとも普通紙に設定されています。

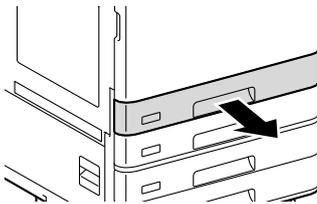
補足

- 本機は、設定された用紙の種類に応じて、画質の処理をします。名刺用紙などの特殊な厚紙を使用する場合は、さらに、操作パネルで「用紙種類別画質処理」の設定が必要なことがあります。詳しくは、「[用紙種類別画質処理]」(P.101)を参照してください。

6D 参照

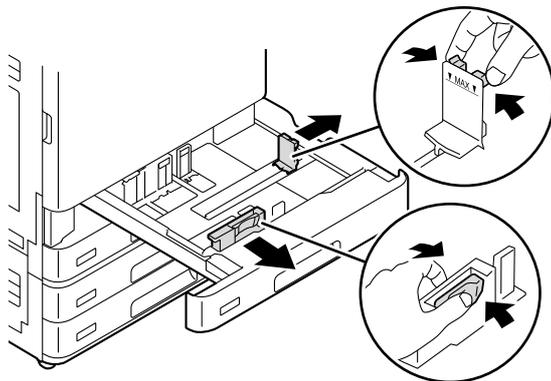
- 用紙種類の設定方法については、「用紙の設定を変更する」(P.66)を参照してください。

1. 用紙トレイを、手前に止まるまで引き出します。



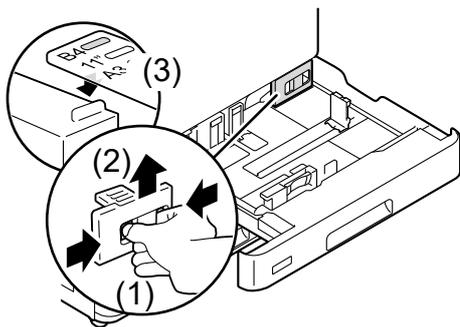
2. 用紙がセットされている場合は、用紙を取り出します。

3. 2か所の用紙ガイドレバーをつまみながら、ガイドをそれぞれ用紙サイズに合った位置まで移動します。

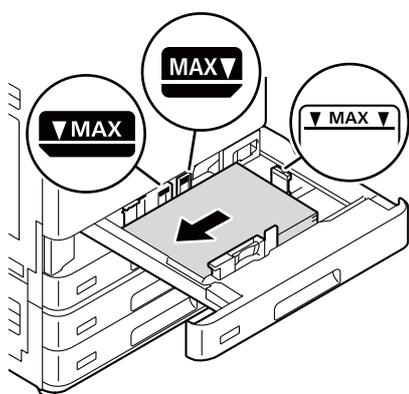


補足

- B4 以上の用紙をセットする場合は、用紙後端ガイドを用紙サイズに合わせます。用紙後端ガイドをつまんで (1) 用紙トレイから外し (2)、ガイドにある用紙サイズの穴を用紙トレイの突起に差し込みます (3)。



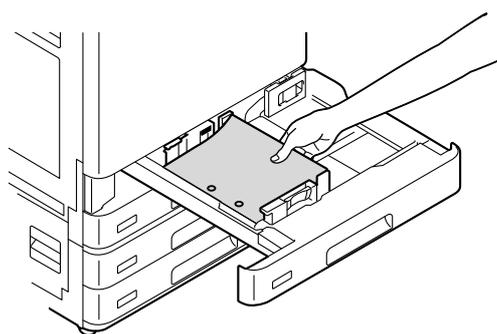
4. プリントする面を上にして、用紙の先端を左側にそろえてセットします。



注記

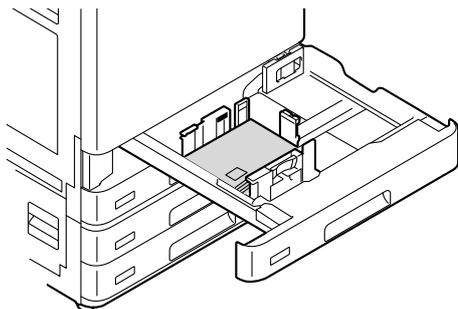
- 用紙上限線（「MAX」の位置）を超える量の用紙をセットしないでください。紙詰まりや故障の原因になります。
- トレイ 1～4（3、4 はオプション）の右側空きスペースには、用紙や物を置かないでください。紙詰まりや故障の原因になります。

穴あき用紙の場合

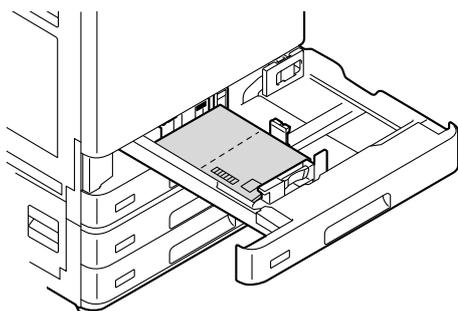


はがきの場合

郵便はがき



郵便往復はがき



補足

- 往復はがきをトレイ 5（手差し）以外の用紙トレイにセットする場合は、次の設定をします。
 - プリンタードライバーで、往復はがきの用紙サイズを [ユーザー定義用紙] に設定し、[トレイの用紙種類] に [はがき]、[用紙トレイ選択] に [自動] を設定します。
 - タッチパネルディスプレイで、使用する用紙トレイを > [設定] > [用紙トレイ設定] で選び、用紙サイズに往復はがきのサイズ、用紙種類に [はがき] を設定します。

60 参照

- プリンタードライバーでの設定については「定形外サイズの用紙にプリントする」(P.71)、タッチパネルディスプレイでの設定については「用紙の設定を変更する」(P.66) を参照してください。

5. 用紙トレイを押し込みます。

6. セットする用紙の種類を変更した場合は、タッチパネルディスプレイで用紙トレイの設定を変更します。

60 参照

- 用紙の種類の設定については、「用紙の設定を変更する」(P.66) を参照してください。

トレイ 1（(封筒 / はがきトレイ) (オプション)）にセットする

封筒 / はがきトレイ（オプション）を標準のトレイ 1 の代わりに取り付けると、トレイに封筒をセットできません。

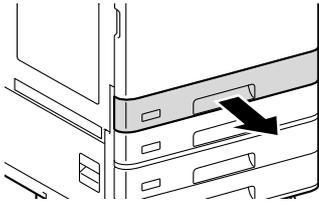
注記

- 封筒 / はがきトレイはトレイ 1 の場所に取り付けてください。ほかのトレイの場所には取り付けられません。

補足

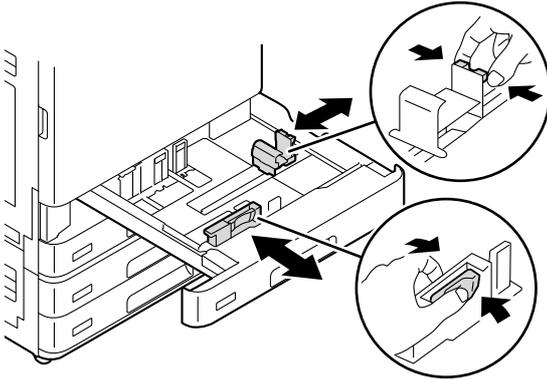
- 封筒 / はがきトレイと標準のトレイ 1 は同時に装着できません。
- 封筒 / はがきトレイを使うときは、機械管理者でログインし、次の設定を有効にしてください。
 - [システム設定] > [その他の設定] > [封筒トレイの使用]
 - [用紙トレイ設定] > [トレイ 1] > [封筒トレイ]

1. 封筒 / はがきトレイを、手前に止まるまで引き出します。



2. 用紙がセットされている場合は、用紙を取り出します。

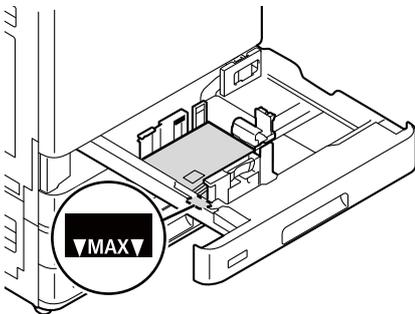
3. 2か所の用紙ガイドレバーをつまみながら、ガイドをそれぞれ用紙サイズに合った位置まで移動します。



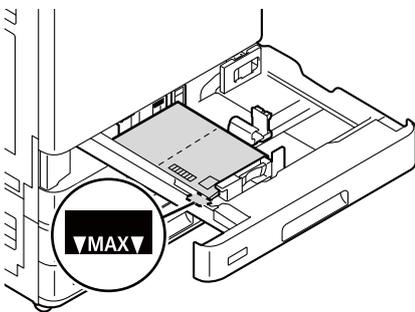
4. プリントする面を上にして、用紙の先端を左側にそろえてセットします。

はがきの場合

郵便はがき



郵便往復はがき



補足

- 往復はがきをトレイ 5 (手差し) 以外の用紙トレイにセットする場合は、次の設定をします。
 - プリンタードライバーで、往復はがきの用紙サイズを [ユーザー定義用紙] に設定し、[トレイの用紙種類] に [はがき]、[用紙トレイ選択] に [自動] を設定します。
 - タッチパネルディスプレイで、使用する用紙トレイを  > [設定] > [用紙トレイ設定] で選び、用紙サイズに往復はがきのサイズ、用紙種類に [はがき] を設定します。

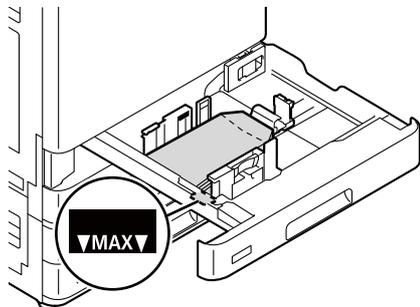
63 参照

- プリンタードライバーでの設定については「定形外サイズ用の紙にプリントする」(P.71)、タッチパネルディスプレイでの設定については「用紙の設定を変更する」(P.66)を参照してください。

封筒の場合

和封筒

フラップを開き、本機を正面から見てフラップが右側になるようにセットします。

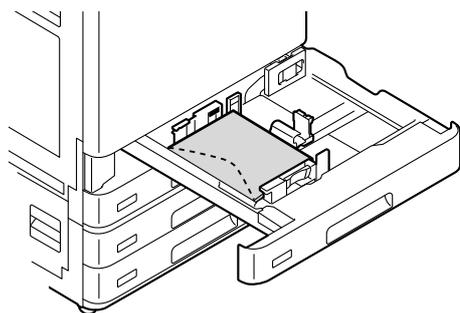


補足

- フラップの反対側から給紙するため、プリンタードライバーの [基本] タブ > [製本 / ポスター / 混在原稿 / 回転] > [原稿 180° 回転] を [たてよこ原稿 (封筒など)] に設定します。
- 定形外の場合は、プリンタードライバーで長辺にフラップ分を追加して設定します。

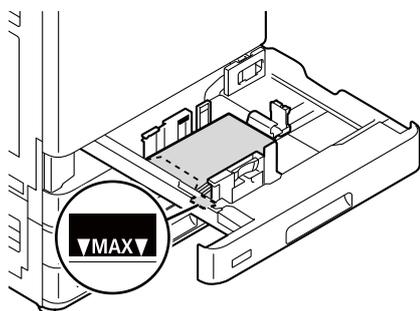
洋封筒

フラップを閉じ、本機を正面から見てフラップが左側になるようにセットします。



のりやシールが付いた封筒

フラップを閉じ、本機を正面から見てフラップが左側になるようにセットします。



注記

- 用紙上限線（「MAX」の位置）を超える量の用紙をセットしないでください。紙詰まりや故障の原因になります。
- 封筒 / はがきトレイの右側空きスペースには、用紙や物を置かないでください。紙詰まりや故障の原因になります。

5. 用紙トレイを押し込みます。

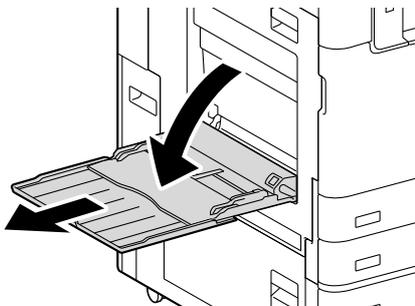
6. 用紙サイズと用紙種類を設定します。



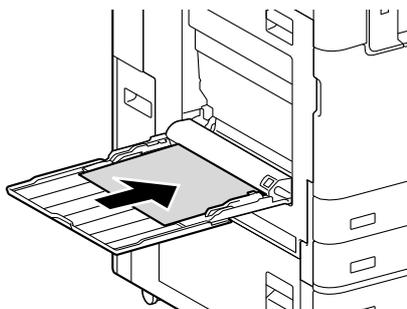
- 用紙のサイズと種類の設定については、「用紙の設定を変更する」(P.66) を参照してください。

トレイ 5 (手差し) に用紙をセットする

1. トレイ 5 (手差し) を開きます。



2. プリントする面を下に向けて、用紙をそろえた状態で先端が軽く突き当たるまで差し込みます。



注記

- 用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。紙詰まりや故障の原因になります。

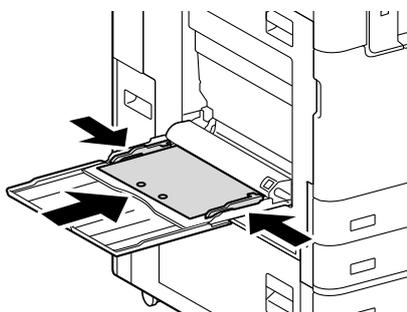


補足

- 厚紙の種類によっては機械に送れなかったり、希望どおりの画質にならなかったりすることがあります。

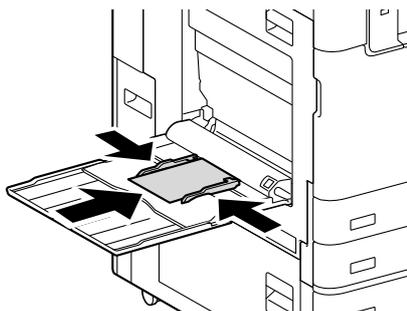
穴あき用紙の場合

穴のあいていない辺が先に本機に入るようにセットします。

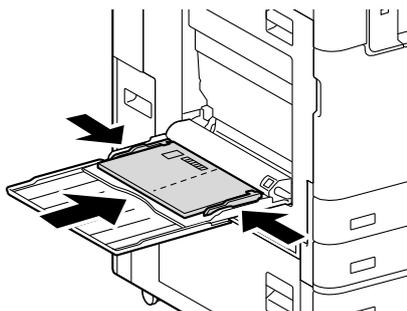


はがきの場合

郵便はがき



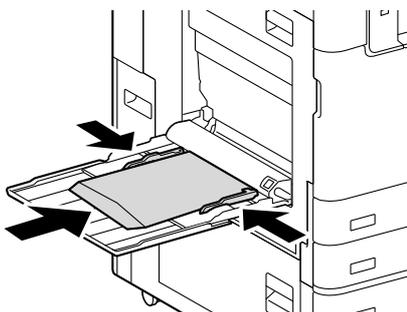
郵便往復はがき



封筒の場合

和封筒

フラップを閉じ、封筒の底辺が先に本機に入るようにセットします。

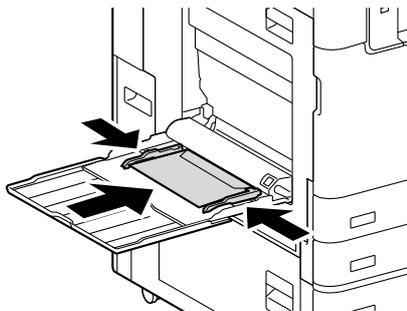


補足

- フラップの反対側から給紙するため、プリンタードライバーの [基本] タブ > [製本 / ポスター / 混在原稿 / 回転] > [原稿 180° 回転] を [たてよこ原稿 (封筒など)] に設定します。
- 定形外の場合は、プリンタードライバーで長辺にフラップ分を追加して設定します。

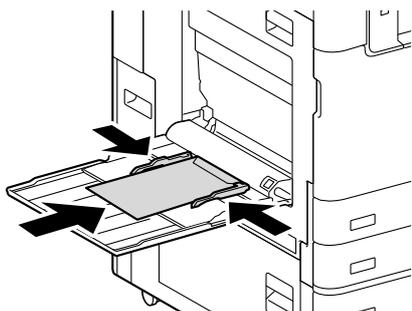
洋封筒

フラップを閉じ、フラップが先に本機に入るようにセットします。

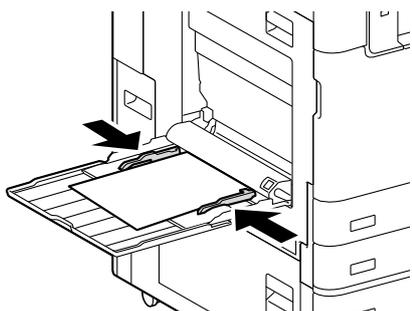


のりやシールが付いた封筒

フラップを閉じ、フラップが先に本機に入るようにセットします。



3. 用紙ガイドを、セットした用紙に軽く合わせます。



長尺サイズの内紙をセツトする

長尺用紙セツトガイド (オプション) をトレイ 5 に取り付けると、トレイに長尺サイズの用紙をセツトできます。

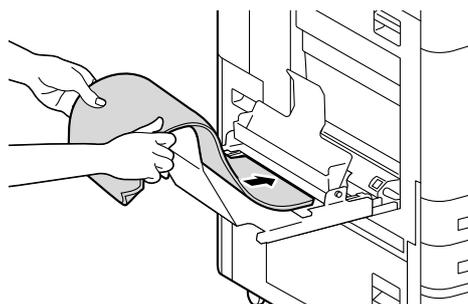
補足

- 長尺サイズの用紙は 1 枚ずつセツトしてください。
- 次の 3 種類の長尺サイズの用紙をセツトできます。
 - 210 × 900 mm
 - 297 × 900 mm
 - 297 × 1200 mm
- プリンタードライバーでセツトできる用紙の定形サイズは、次のとおりです。
 - 長尺紙 (210 × 900 mm)
 - 長尺紙 A (297 × 900 mm)
 - 長尺紙 B (297 × 1200 mm)

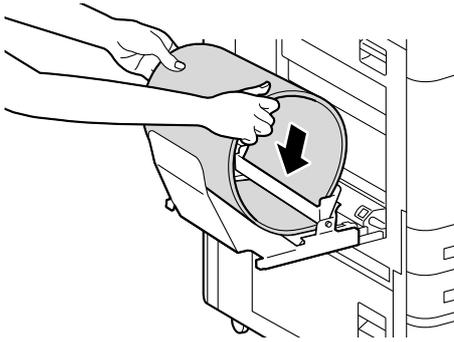
参照

- 取り付け方法については、「長尺用紙セツトガイドの取り付け」(P.236) を参照してください。

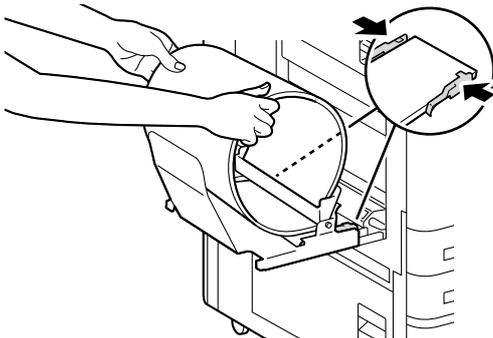
1. 長尺用紙の印刷する面を下に向けて、用紙受けの下を通し用紙ガイドに沿って、軽く奥に突き当たるまで差し込みます。



2. 用紙の後端を図のように丸めて、用紙受けに差し込みます。



3. トレイ 5 (手差し) の用紙ガイドを、セットした用紙のサイズに合わせて調整します。



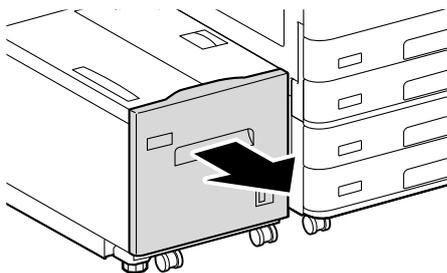
 補足

- 紙詰まりを防ぐために、排出された用紙は 1 枚ごとに取り出してください。

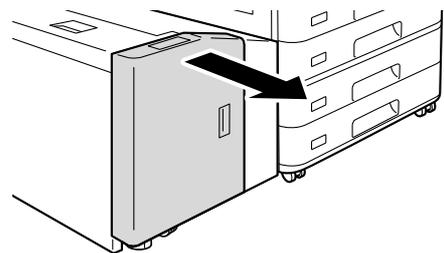
トレイ 6 (大容量給紙トレイ B1 (オプション) / 大容量給紙トレイ B2 (オプション)) に用紙をセットする

1. 用紙トレイを、手前に止まるところまで引き出します。

大容量給紙トレイ B1



大容量給紙トレイ B2

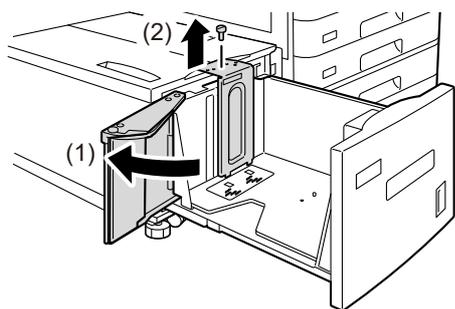


2. 用紙がセットされている場合は、用紙を取り出します。

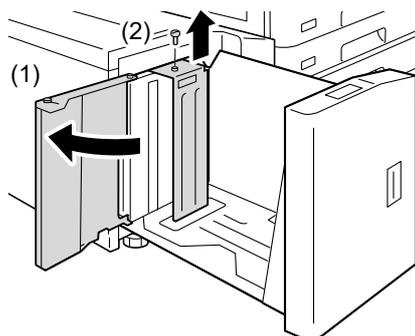
3. 用紙サイズを変更する場合は、ガイドの位置を調整します。

1) エンドガイドを開いて (1)、奥のガイドのネジを外し (2)、ガイドを用紙トレイから外します。

大容量給紙トレイB1

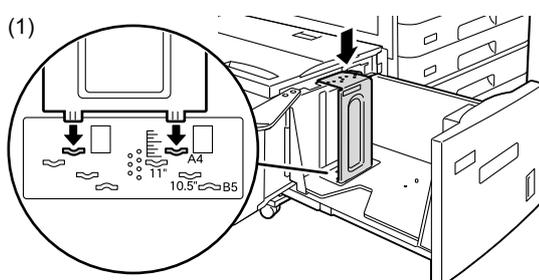


大容量給紙トレイB2

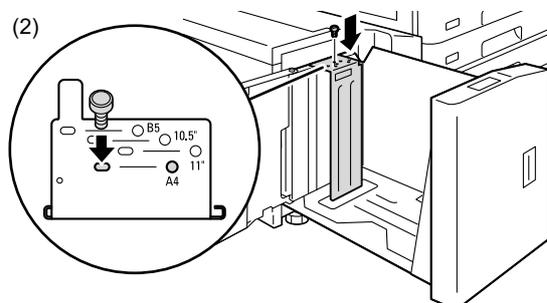
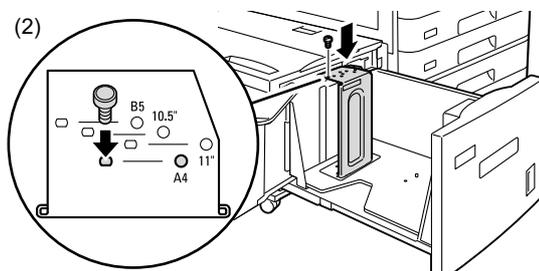
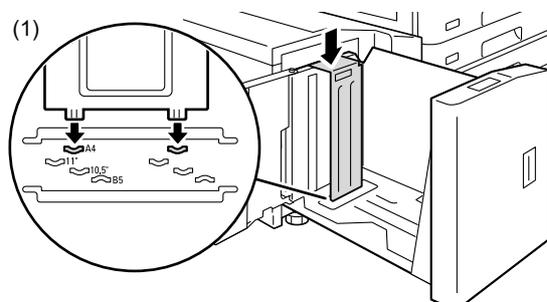


2) ガイドの下部にある突起を、用紙サイズの穴に差し込み (1)、ガイドの上面にある用紙サイズの穴に、用紙トレイの突起を差し込んで、ネジを締めます (2)。

大容量給紙トレイB1

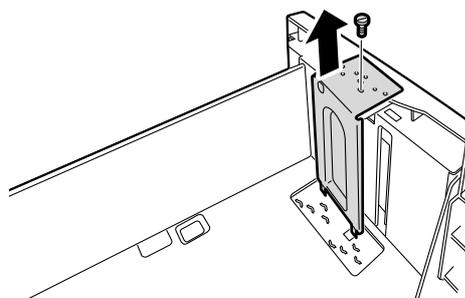


大容量給紙トレイB2

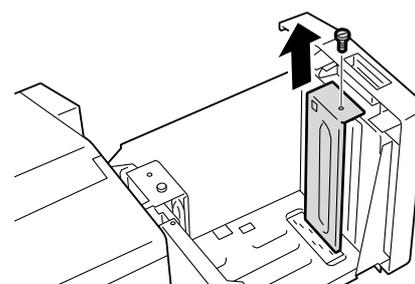


3) 手前のガイドのネジを外し、ガイドを用紙トレイから外します。

大容量給紙トレイB1

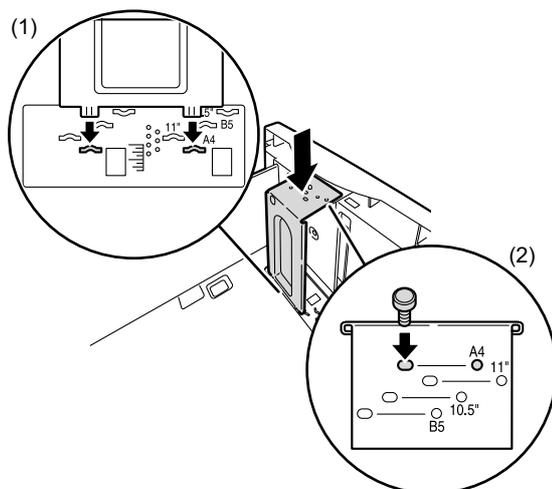


大容量給紙トレイB2

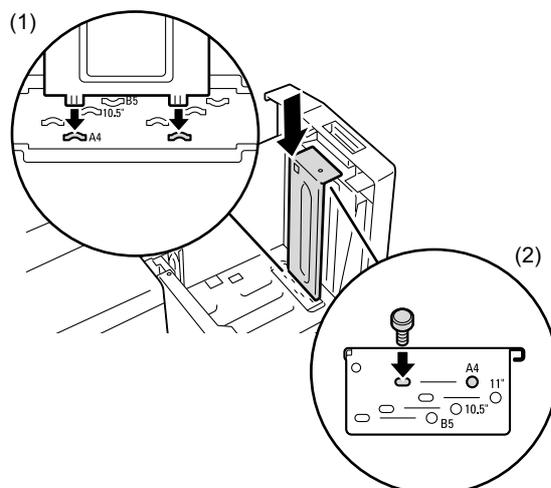


- 4) ガイドの下部にある突起を、用紙サイズの穴に差し込み (1)、ガイドの上面にある用紙サイズの穴に、用紙トレイの突起を差し込んで、ネジを締めます (2)。

大容量給紙トレイB1

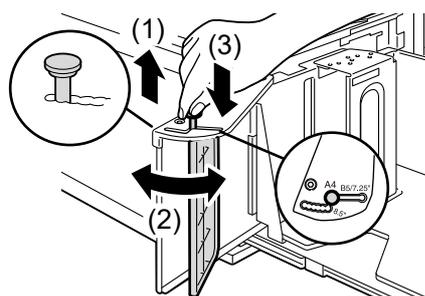


大容量給紙トレイB2

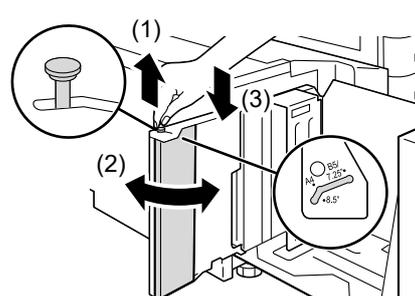


- 5) 図のようにエンドガイドのレバーを引き上げ (1)、レバーを溝に沿って移動させながら用紙サイズに合わせて (2)、レバーを下ろします (3)。

大容量給紙トレイB1



大容量給紙トレイB2

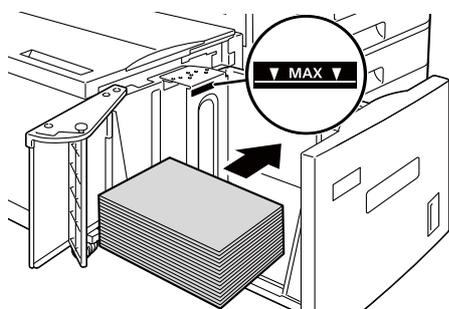


補足

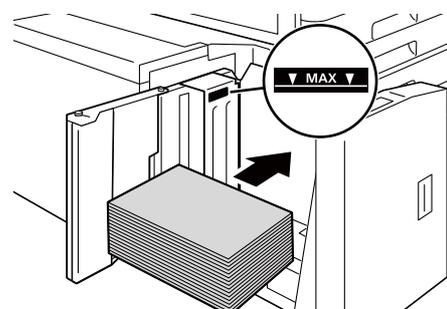
- エンドガイドの 8.5" の左側の溝は使用しません。

4. エンドガイドを開いて、プリントする面を下にして、用紙の先端を右側にそろえてセットします。

大容量給紙トレイB1



大容量給紙トレイB2



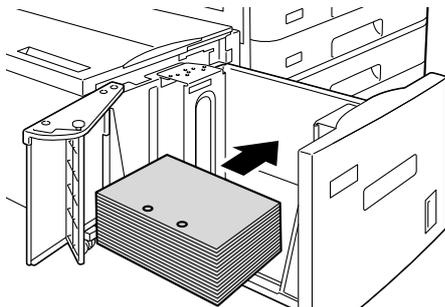
注記

- 用紙上限線 (MAX 位置) を超える量の用紙をセットしないでください。紙詰まりや故障の原因になります。

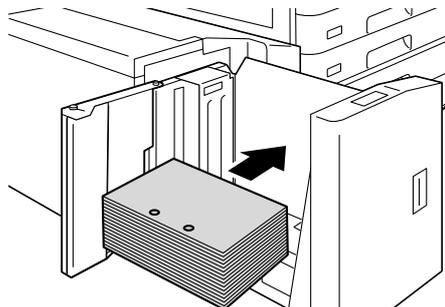
 補足

- 穴あき用紙を使うときは、次のようにセットしてください。

大容量給紙トレイB1

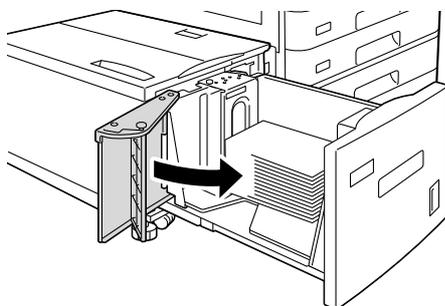


大容量給紙トレイB2

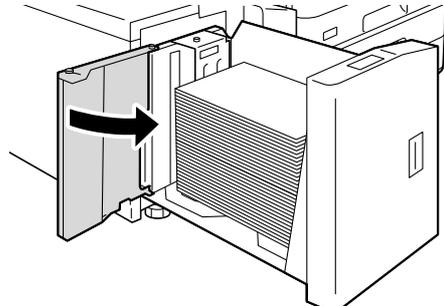


5. エンドガイドをしっかりと閉じます。

大容量給紙トレイB1



大容量給紙トレイB2



6. 用紙トレイを押し込みます。

7. セットする用紙の種類を変更した場合は、タッチパネルディスプレイで用紙トレイの設定を変更します。

 参照

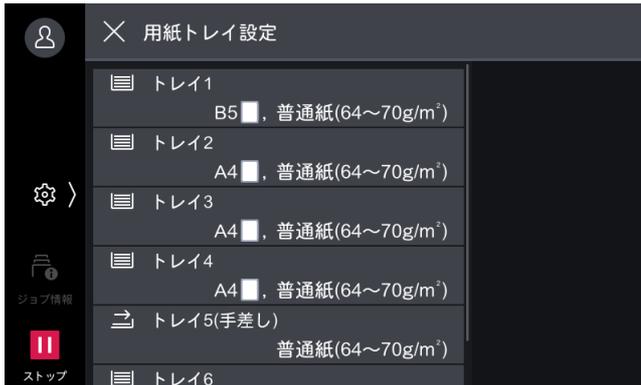
- 用紙のサイズと種類の設定については、「用紙の設定を変更する」(P.66)するを参照してください。

用紙の設定を変更する

用紙トレイの用紙を変更した場合は、セットした用紙の種類、用紙の色などを設定します。また、定形外サイズの用紙をセットした場合は、用紙サイズも設定します。

1. ホーム画面で  をタップします。
2. [設定] をタップします。
3. [用紙トレイ設定] をタップします。

4. 用紙設定を変更するトレイをタップします。



60 参照

- 設定できる項目については、「[用紙トレイ設定]」(P.100)を参照してください。

5. 各項目の設定が完了したら、[OK] をタップします。

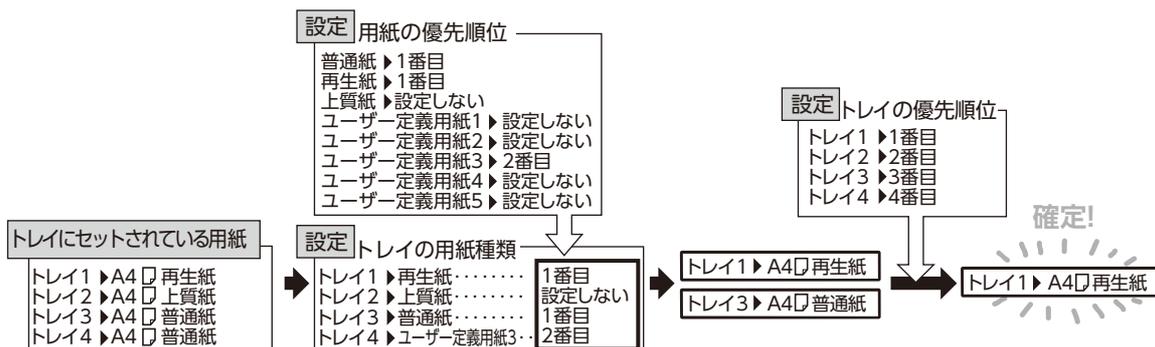
6. 戻る(ホーム) ボタンを押します。

自動トレイ選択について

プリンタードライバーの印刷設定ダイアログボックスで、[トレイ / 排出] タブの [用紙トレイ選択] を [自動] にしてプリントを指示すると、本機はプリントする原稿のサイズと向き、用紙種類、用紙色から、該当するトレイを選びます。これを、自動トレイ選択と呼びます。

該当するトレイが複数ある場合は、本機の操作パネルから機械管理者でログインし、ホーム画面で [設定] > [用紙トレイ設定] を選び、各用紙トレイに設定されている用紙種類を、[設定] > [用紙トレイ設定] > [共通設定] > [用紙種類の優先順位] にあてはめ、優先順位が高い用紙がセットされている用紙トレイを選びます。

このとき、[用紙種類の優先順位] が [自動トレイ選択しない] に設定されている用紙をセットしている用紙トレイは、自動トレイ選択の対象にはなりません。また、[用紙種類の優先順位] が同じ場合は、[設定] > [用紙トレイ設定] の各用紙トレイに設定されている [トレイの優先順位] で決定されます。



5 プリント

5.1 コンピューターからプリントする

Windows のアプリケーションからプリントするための基本的な流れは次のとおりです。



- プリンタードライバーの機能については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

1. アプリケーションの [ファイル] メニューから [印刷] をクリックします。



- アプリケーションによっては、メニュー名が異なることがあります。

2. [プリンターの選択] から本機を選び、[詳細設定] をクリックします。

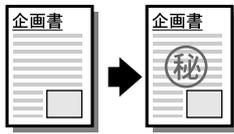
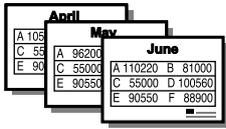
3. 必要に応じて設定を変更し、[OK] をクリックします。

4. [印刷] をクリックします。

プロパティダイアログボックスで設定できる便利なプリント機能

各タブで設定できる機能の一部を紹介します。各機能については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

| タブ | 項目 | 機能 |
|------|-------------|---|
| [基本] | [お気に入り] *1 | よく使う印刷設定が登録されています。リストから項目を選ぶだけで、複数の設定が一度にできます。設定内容を編集したり、新たに登録することもできます。 |
| | [まとめて 1 枚] | 1 枚の用紙に、複数のページを割り付けてプリントします。  |
| | [両面] | 用紙の両面にプリントできます。 |
| | [プリント種類] *1 | [セキュリティー] あらかじめ、暗証番号を設定したプリントデータをプリンターに送っておいて、操作パネルからプリントを指示します。 |
| | [サンプル] | 複数部数をプリントする場合、1 部だけサンプルをプリントします。プリント結果を確認したあと、残りの部数を操作パネルからプリントします。 |
| | [時刻指定] | プリント時刻を指定できます。 |

| タブ | 項目 | 機能 |
|---------------|---------------|---|
| [トレイ / 排出] | [トレイの高度な設定] | 用紙トレイを [自動] に設定したときに、優先して使用されるトレイや用紙の種類をあらかじめ設定できます。 |
| | [表紙 / 合紙付け] | 表紙 (先頭ページや最終ページ) だけを色紙や厚紙にプリントしたり、途中でページを区切る用紙 (合紙) を挿入したりできます。 |
| | [ホチキス] | プリントした用紙を一部ずつホチキス留めすることができます。この機能はフィニッシャー (オプション) が取り付けられている場合に使用できます。 |
| | [パンチ] | プリントした用紙にパンチ穴を開けることができます。この機能は、フィニッシャー (オプション) およびパンチユニット (オプション) が取り付けられている場合に使用できます。 |
| | [紙折り / 中とじ] | プリントした用紙を、中央で二つ折り、三つ折りまたは Z 折りにできます。また、二つ折りにした折り目を、ホチキスで留めることもできます。この機能は、中とじフィニッシャー (オプション) および三つ折り、Z 折りは紙折りユニット CD3 (オプション) が取り付けられている場合に使用できます。 |
| [グラフィックス] | [おすすめ画質タイプ] | 写真やプレゼンテーションなど、プリントする文書の種類や用途に合わせて画質を調整できます。 |
| | [カラー UD プリント] | 赤い文字が読みやすくなるように、網や下線をつけてプリントします。 |
| [スタンプ / フォーム] | [スタンプ] | プリントデータに「社外秘」などの特定の文字を重ね合わせてプリントします。  |
| | [フォーム] | 使用頻度の高いプリントフォームは、フォーム機能を利用するとデータ転送の時間が短縮できます。  |

*1 : [トレイ / 排出] にも設定できる機能です。

コンピューターで処理中のデータのプリントを中止する

1. Windows のタスクバー上のプリンターのアイコンをダブルクリックします。

2. 中止するドキュメント名を選び、〈Delete〉キーを押します。



補足

- 中止するドキュメントがウィンドウ内に表示されていない場合は、本機でプリントを中止してください。詳しくは、「ジョブの操作」(P.43)を参照してください。
- インターネットサービスの「ジョブ」タブで、プリントを中止することもできます。操作方法については、インターネットサービスのヘルプを参照してください。インターネットサービスについては、「インターネットサービスを使う」(P.149)を参照してください。

5.2 封筒 / はがきにプリントする

ここでは、トレイ5(手差し)を使用して、封筒を例に説明します。

補足

- 封筒 / はがきトレイ(オプション)も使用できます。

1. アプリケーションの「[ファイル]」メニューから「[印刷]」をクリックします。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、「[詳細設定]」をクリックします。
3. 「[基本]」タブの「[用紙設定ガイド]」をクリックします。
4. 「[封筒]」が選ばれていることを確認し、「[次へ]」をクリックします。



5. 用紙サイズ、用紙トレイ選択、トレイの用紙種類、および印字向きを設定し、[次へ] をクリックします。

用紙設定ガイド

用紙タイプの選択 用紙サイズ/トレイ/種類の選択 用紙のセット方法

用紙サイズ、用紙トレイ、用紙種類を選択してください。

用紙サイズ(S)
封筒長形3号 (120x235mm)

用紙トレイ選択(T)
トレイ5(手差し) 封筒

トレイの用紙種類(Y)

手差し用紙種類(Y)
封筒

印字向き(O)
立て

< 戻る(B) 次へ >(N) キャンセル

6. 画面の指示に従って、用紙をセットし、[完了] をクリックします。

用紙設定ガイド

用紙タイプの選択 用紙サイズ/トレイ/種類の選択 用紙のセット方法

図のようにセットしてください。[完了]をクリックするとドライバーに設定内容が反映されます。

封筒のセット方法:
印刷する面を下にし、フラップ(ふた)を開いた状態で上辺が左側となるようにして、手差しトレイにセットしてください。
先端をプリンターに突き当て、用紙ガイドを合わせてください。

のり/シール付きの封筒を印刷する(P)

< 戻る(B) 完了 キャンセル

7. [OK] をクリックします。

8. [印刷] をクリックします。

5.3 定形外サイズの内紙にプリントする

定形外サイズを登録する

定形外サイズの内紙にプリントする場合は、事前に次の設定をします。

- プリンタードライバーで、定形外サイズをユーザー定義用紙として登録します。
- 定形外サイズの内紙をトレイ 1 ~ 4 (3、4 はオプション) にセットした場合は、操作パネルでトレイの内紙サイズを設定します。プリンタードライバーで設定した定形外サイズと、操作パネルで設定した定形外サイズが一致していない場合は、エラーが発生します。

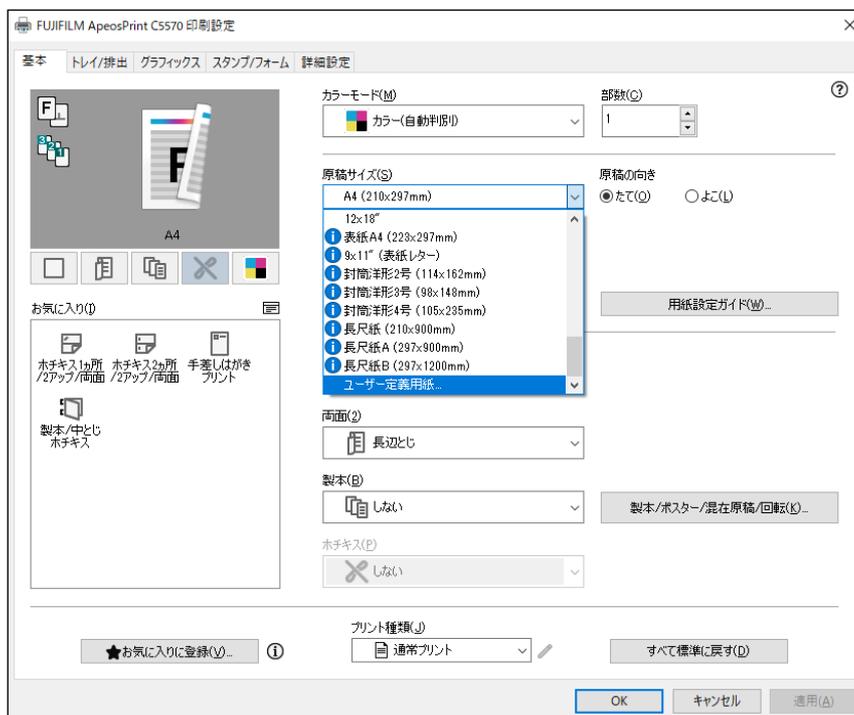
補足

- プリンタードライバーおよび操作パネルで用紙サイズを設定するときは、必ず実際に使用する用紙のサイズと同じにしてください。
- 長尺サイズの場合は、ユーザー定義用紙ではなく、[長尺紙 (210x900mm)]、[長尺紙 A (297x900mm)]、または [長尺紙 B (297x1200mm)] を選ぶこともできます。
- [原稿サイズ] の [長尺紙 A (297x900mm)] または [長尺紙 B (297x1200mm)] を選ぶと、一部のアプリケーションで用紙の向きが正しくプリントされないことがあります。その場合は、プリントする長尺サイズを [ユーザー定義用紙] に登録してください。
- フィニッシャーが取り付けられていて、長尺用紙にプリントする場合は、排出先としてサイドトレイ (オプション) が必要です。

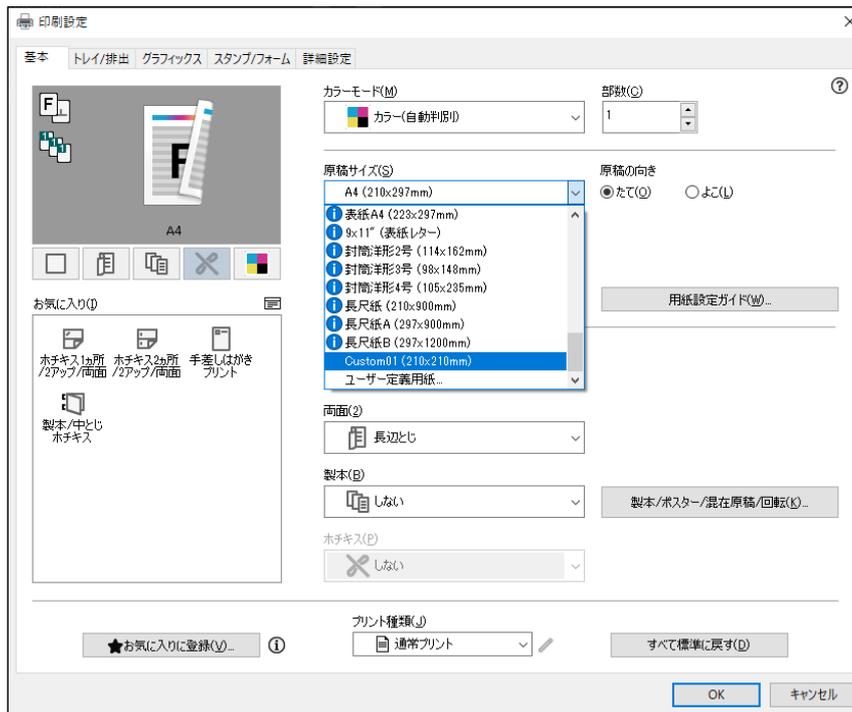
63 参照

- 操作パネルでの設定については、「用紙の設定を変更する」(P.66) を参照してください。

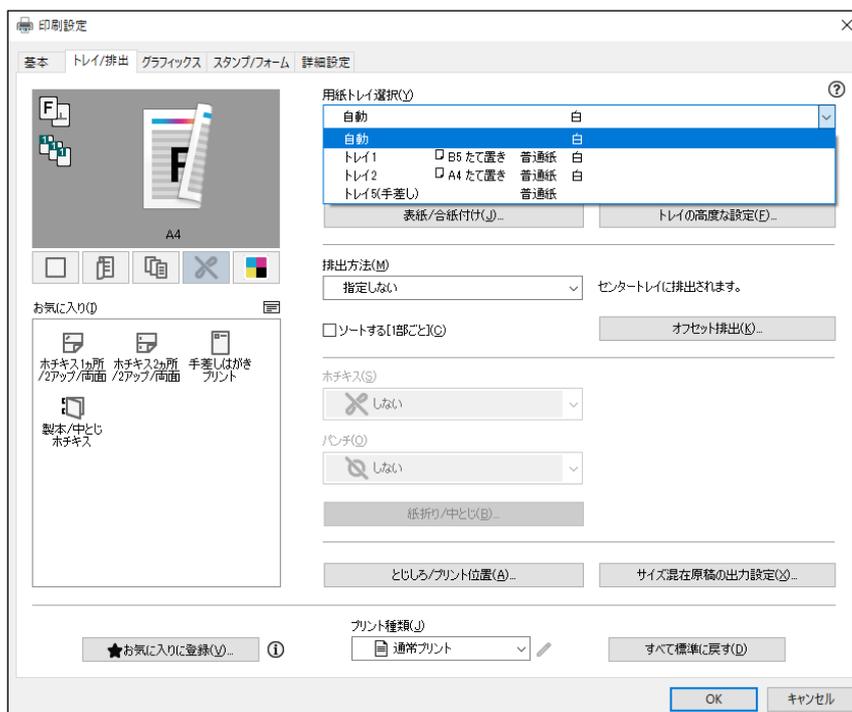
1. コンピューターで [スタート] > [設定] > [デバイス] > [プリンターとスキャナー] をクリックします。
2. 本機を選んで [管理] > [印刷設定] をクリックします。
3. [基本] タブをクリックします。
4. [原稿サイズ] から [ユーザー定義用紙] をクリックします。



3. [基本] タブをクリックします。
4. [原稿サイズ] から、任意の原稿のサイズを選びます。



5. [出力用紙サイズ] から、登録したユーザー定義サイズの用紙を選び、[OK] をクリックします。
6. [トレイ / 排出] タブをクリックします。
7. [用紙トレイ選択] から、定形外サイズの用紙がセットされているトレイを選びます。



8. [用紙トレイ選択] で [トレイ5 (手差し)] を選んだ場合は、[手差し用紙種類] と [手差し用紙の給紙方向] を設定します。
9. [OK] をクリックします。

10. [印刷] をクリックします。

5.4 USB メモリーに保存されたデータをプリントする

USB メモリーを本機に接続して、USB メモリー内のデータをプリントします。



注記

- USB メモリー内のデータは、次のような理由により消失、破損するおそれがありますので、必ず内部のデータをバックアップしてからご使用ください。なお、お客様のデータ消失による直接、間接の損害につき、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 - マニュアルに記載された方法以外で USB メモリーの抜き差しをしたとき
 - 静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき
 - 故障、修理などのとき
 - 天災による被害を受けたとき

対応ファイル

PDF ファイル、TIFF ファイル、XPS (XML Paper Specification) ファイル、DocuWorks 文書、DocuWorks バインダー、Exif2.0/2.1/2.2 の JPEG/TIFF ファイル、JPEG ファイル

USB メモリーを使用するときの注意

- ファイルのフルパス（すべての階層のフォルダー名とファイル名を含んだ文字列）が 257 文字を超える場合は、表示されません。
- 選択文書一覧画面に表示されるファイル数は 900 個までです。
- USB メモリーは、FAT32 形式でフォーマットしたものを使用してください。
- CMYK の TIFF ファイルと JPEG (JFIF) ファイルには対応していません。
- 節電中の場合は、節電状態を解除してから USB メモリーを差し込んでください。
- 複数の USB メモリーを同時に取り付けて使用することはできません。
- 次の USB メモリーは対象外です。
 - 別途ユーティリティが必要な USB メモリー
 - パーティションが複数ある USB メモリー
 - 外付けのハブを介して接続した USB メモリー

文書プリント

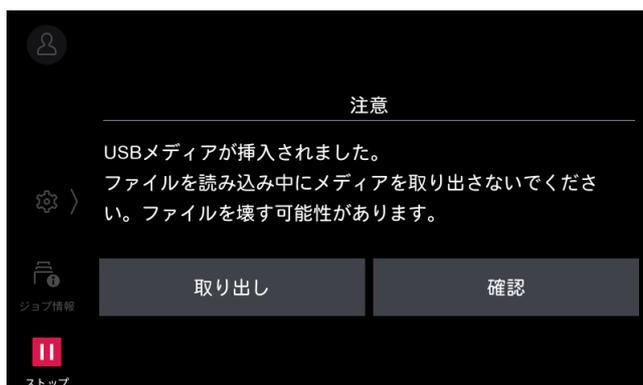
1. 本機の電源を入れたまま、前面の USB メモリー差し込み口に、USB メモリーを差し込みます。



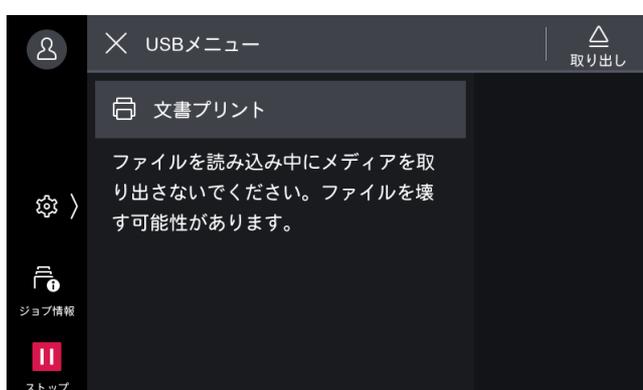
補足

- 節電中の場合は、節電状態を解除してから USB メモリーを差し込んでください。
- USB メモリーを差し込んだ状態のときは、ホーム画面で [文書プリント] をタップして、手順 4 に進みます。

2. [確認] をタップします。



3. [文書プリント] をタップします。



4. 対象フォルダーからプリントする文書ファイルをタップします。

5. 必要に応じて、各機能を設定します。



6D 参照

- 詳しくは、「機能リスト」(P.77) を参照してください。

6. [スタート] をタップします。

USB メモリーの取り外し

注記

- [文書プリント] の操作中やプリント中に USB メモリーを取り外すと、USB メモリー内のデータを破壊する場合があります。

1. [△] をタップします。

2. [確認] をタップします。
3. UBS メモリーを取り外します。

機能リスト

機能リストとは、[文書プリント] の操作画面に表示されるカラーモードや部数などの設定項目の一覧のことです。

機能リストの項目

[部数]

部数を入力します。

[カラーモード]

フルカラーまたは白黒を設定します。

[用紙選択]

用紙トレイを選びます。[自動] を選ぶと、適切な用紙トレイが選択されます。

[両面]

用紙の両面にプリントするかどうかを設定します。

[ホチキス]

ホチキスで留める位置を設定します。

[パンチ]

パンチ穴を開ける位置を設定します。

[まとめて1枚(Nアップ)]

複数枚の用紙を1枚にまとめてプリントします。プリント時のレイアウトや用紙のセット向きを指定します。

[スムージング]

画像部分の回転と拡大縮小に伴う補正処理をして、画質を向上するかを設定します。

機能リストのカスタマイズ

機能リストを編集する

1. 機械管理者または認証ユーザーでログインします。
2. ホーム画面でをタップします。
3. [アプリの表示カスタマイズ] > [文書プリント] > [機能リストの編集] をタップします。

表示 / 非表示を設定する

- 1) 表示 / 非表示にする機能をタップします。

補足

- 機能リストに表示する機能を設定します。
 に設定した機能は、機能リストのよく使用する機能の一覧に表示されます。

■に設定した機能は、機能リストの [その他の機能] をタップしたときに表示されます。

表示位置を変更する

1) 移動したい機能を長押しして、移動する場所にドラッグします。



4. [OK] をタップします。

カスタマイズで保存 / 編集した設定を削除する

1. 機械管理者または認証ユーザーでログインします。
2. ホーム画面で [設定] をタップします。
3. [アプリの表示カスタマイズ] > [すべてのカスタマイズをクリア] をタップします。

5.5 出力結果を確認してからプリントする - サンプルプリント -

サンプルプリントについて

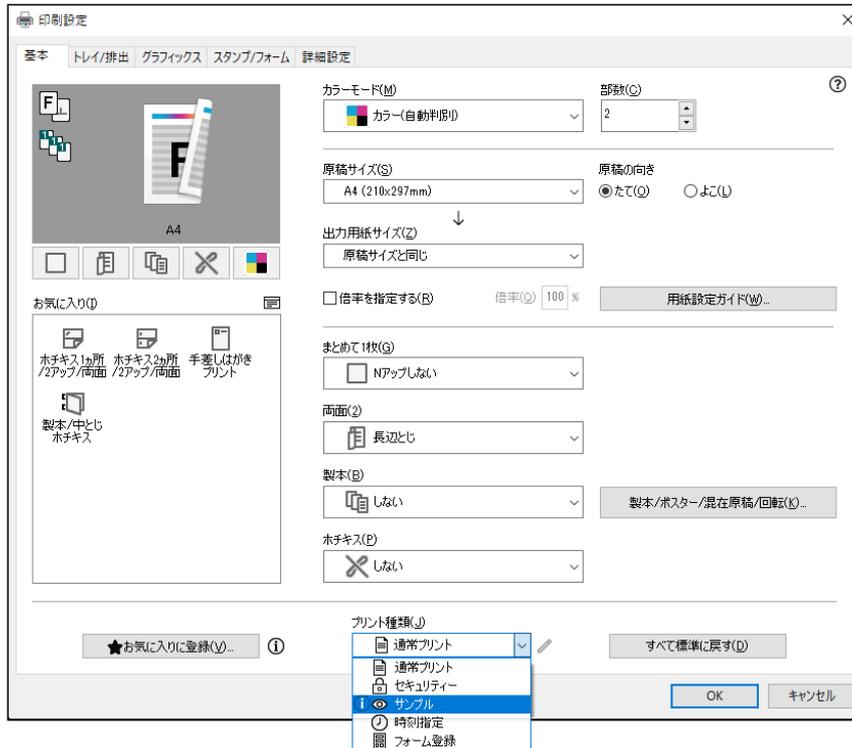
サンプルプリントとは、複数部数をプリントする場合に、本機にプリントデータを保存し、まず 1 部だけプリントし、プリント結果を確認してから、残りの部数のプリント開始を操作パネルで指示する機能です。

サンプルプリントをする

コンピューターでの操作

1. アプリケーションの [ファイル] メニューから [印刷] をクリックします。
2. [プリンターの選択] で本機を選び、[詳細設定] をクリックします。
3. [基本] タブで、[部数] を 2 部以上に設定します。

4. [プリント種類] から [サンプル] を選び、 をクリックします。



5. [ユーザー ID] と [蓄積する文書名] を設定し、[OK] をクリックします。

6. [基本] タブで [OK] をクリックします。

7. [印刷] をクリックします。

操作パネルでの操作

1. プリントされた 1 部の結果を確認します。
2. ホーム画面で  [ジョブ情報] をタップします。
3. [保存文書] > [サンプルプリント] をタップします。
4. プリンタードライバーで設定したユーザー ID をタップします。
5. プリントする文書をタップして、チェックマークを付けます。
6. 部数を設定します。

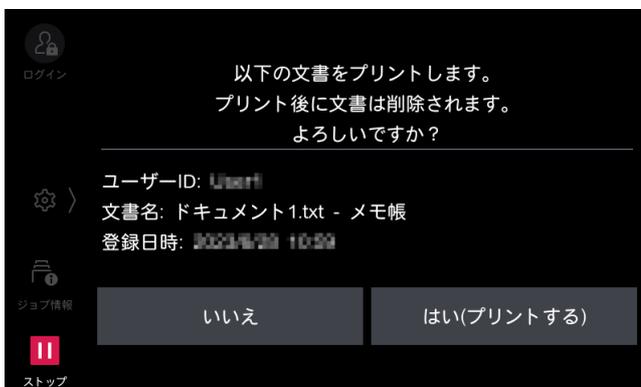
補足

- 表示されている部数は、プリンタードライバーで設定した部数から 1 部差し引かれた部数です。

7. [スタート] をタップします。



8. [はい(プリントする)] をタップします。 プリント終了後、選択した文書は削除されます。



5.6 指定した時刻にプリントする - 時刻指定プリント -

時刻指定プリントについて

時刻指定プリントとは、あらかじめ本機にプリントデータを保存しておき、指定した時刻に自動的にプリントする機能です。

保存できるプリントデータは、100 ジョブまでです。

補足

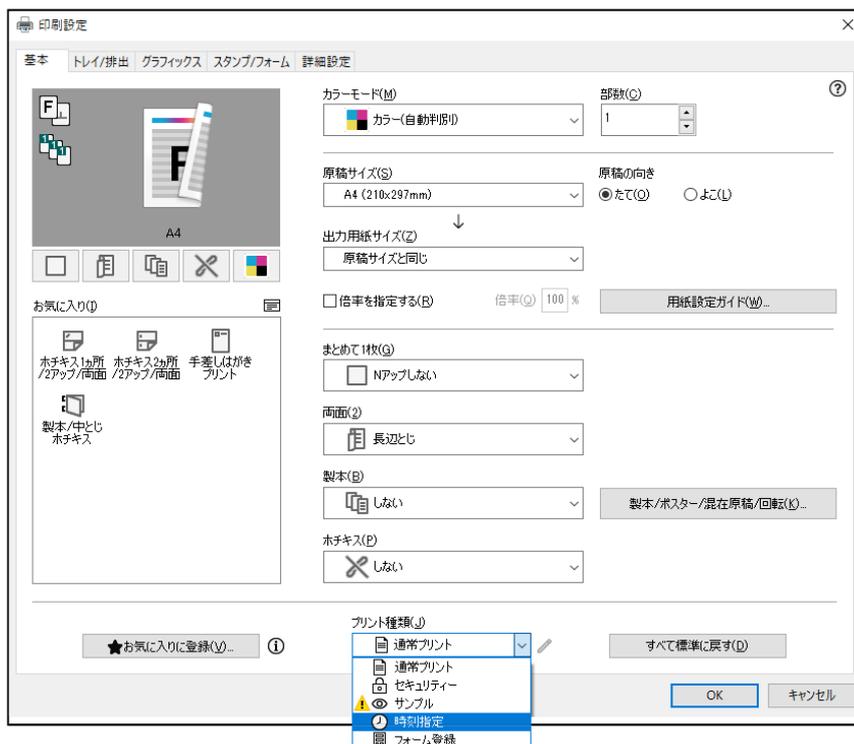
- 指定できる時刻は、プリント指示をしたときから 24 時間以内です。
- 指定したプリント時刻より前に本機の電源を切った場合、指定時刻が過ぎたジョブは、次に本機の電源を入れた直後にプリントされます。

時刻指定プリントをする

コンピューターでの操作

1. アプリケーションの [ファイル] メニューから [印刷] をクリックします。
2. [プリンターの選択] で本機を選び、[詳細設定] をクリックします。

3. [基本] タブで、[プリント種類] から [時刻指定] を選び、 をクリックします。



4. [プリント開始時刻] と [蓄積する文書名] を設定し、[OK] をクリックします。



- [プリント開始時刻] は 24 時間制で設定します。

5. [基本] タブで [OK] をクリックします。

6. [印刷] をクリックします。

指定した時刻になると、プリントが開始されます。

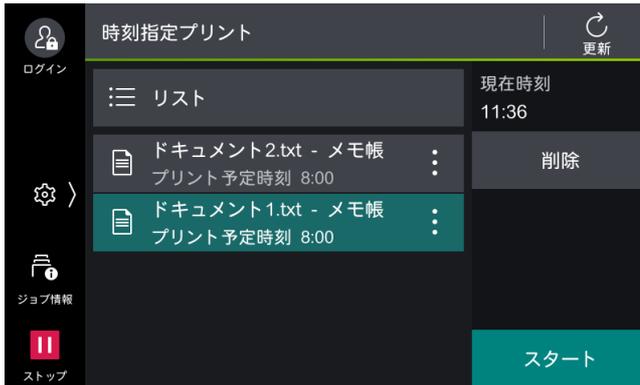
時刻指定プリントを中止する / 指定した時刻より前にプリントする

時刻指定プリントを中止する場合や、指定した時刻より前にプリントする場合は、操作パネルで操作します。

操作パネルでの操作

1. ホーム画面で  [ジョブ情報] をタップします。
2. [保存文書] > [時刻指定プリント] をタップします。
3. 中止またはプリントする文書をタップします。

4. [削除] または [スタート] をタップします。



補足

- [スタート] をタップした場合は、プリントしたあとに保存文書が削除されるため、指定した時刻にはプリントされません。

5.7 機密文書をプリントする - セキュリティープリント -

セキュリティープリントについて

プリンタードライバーでユーザー ID と暗証番号を設定してプリントを指示したデータを本機に蓄積し、プリントしたいときに本機の操作でプリントします。プリンタードライバーで [セキュリティー] を選んだプリントジョブだけ本機に蓄積されます。

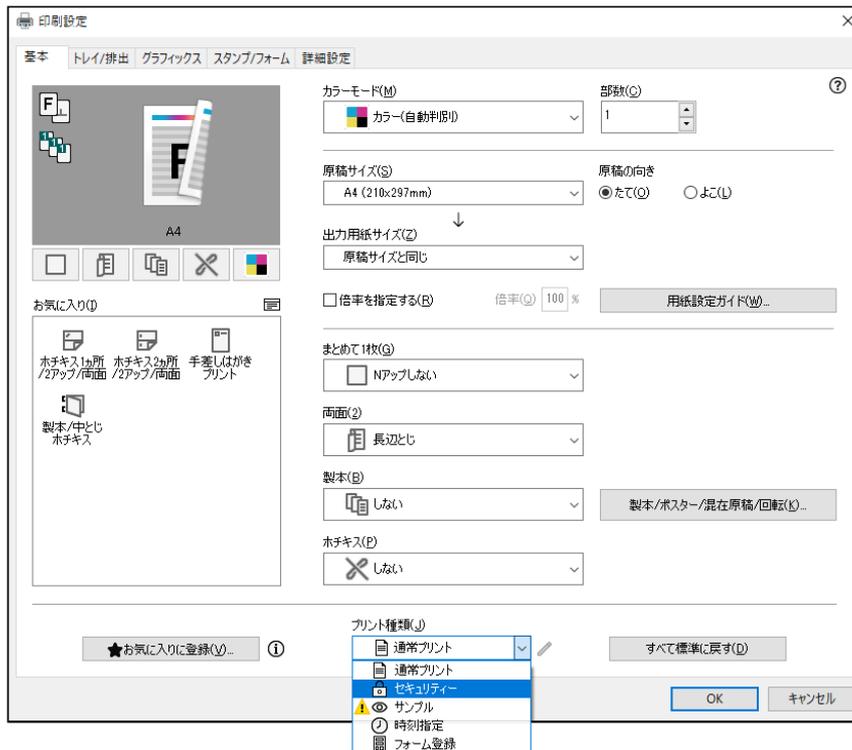
| 項目 | 内容 |
|--------|---|
| プリント指示 | プリンタードライバーで任意のユーザー ID と暗証番号を設定してプリントを指示します。 |
| 蓄積方法 | 文書は本機にユーザー ID ごとに蓄積されます。 |
| 出力方法 | 本機でユーザー ID を選び、暗証番号を入力してプリントする文書を選びます。 |

セキュリティープリントをする

コンピューターでの操作

1. アプリケーションの [ファイル] メニューから [印刷] をクリックします。
2. [プリンターの選択] で本機を選び、[詳細設定] をクリックします。

3. [基本] タブで、[プリント種類] から [セキュリティ] を選び、 をクリックします。



4. [ユーザー ID] と [蓄積する文書名] を設定し、[OK] をクリックします。



- 必要に応じて [暗証番号] を設定します。

5. [基本] タブで [OK] をクリックします。

6. [印刷] をクリックします。

操作パネルでの操作

1. ホーム画面で [ジョブ情報] をタップします。

2. [保存文書] > [セキュリティプリント] をタップします。

3. プリンタードライバーで設定したユーザー ID をタップします。



- プリンタードライバーで暗証番号を設定した場合は、暗証番号を入力し、[OK] をタップします。

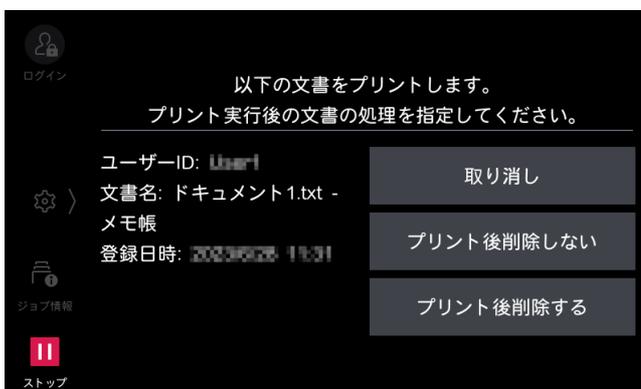
4. プリントする文書をタップして、チェックマークを付けます。

5. 部数を設定します。

6. [スタート] をタップします。



7. プリント後の処理を選びます。



5.8 機密文書をプリントする - プライベートプリント -

プライベートプリントについて

プライベートプリントとは、プリントを指示するときにユーザー ID を設定し、本機で認証操作を行うことで、自分がプリント指示した文書だけを出力できる機能です。

プリンタードライバで設定したユーザー ID と、本機や外部認証サーバーで登録した認証情報が一致した場合に、コンピューターでプリントを指示したデータは本機に蓄積され、IC カードや本機のタッチパネルディスプレイで認証したあとに、本機の操作でプリントできます。セキュリティープリントとは異なり、すべてのプリントジョブが本機に蓄積されます。

| 項目 | 内容 |
|--------|--|
| プリント指示 | プリンタードライバでユーザー ID を設定してプリント指示します。 |
| 蓄積方法 | 文書は本機にユーザー ID ごとに蓄積されます。 |
| 出力方法 | 本機で IC カードやタッチパネルディスプレイで認証してプリントします。プリントする文書を選ぶプライベートプリントと、一括でプリントするプライベートプリント（一括出力）があります。 |

補足

- プライベートプリントを設定した場合、プリンタードライバから通常のプリント、セキュリティープリント、サンプルプリント、時刻指定プリントは使用できません。

プライベートプリントの設定をする



- プライベートプリント（一括出力）をする場合も、同じ設定が必要です。

操作パネルでの設定

認証機能を有効にする

1. 機械管理者でログインします。



- ログインの方法については、「ログイン」(P.39)を参照してください。

2. ホーム画面でをタップします。

3. [設定] をタップします。

4. [認証 / 集計管理] > [認証 / セキュリティー設定] > [認証の設定] > [認証 / 集計の設定] をタップします。

5. [本体認証 / 集計]、[ネット認証 / 集計]、または [外部認証 / 集計] を選び、[OK] をタップします。

6. ホーム画面に戻ります。



- 再起動画面が表示された場合は、[はい (再起動する)] をタップします。

パスワードの運用を有効にする

必要に応じて、ログインするときにパスワードが必要になるような設定にします。

1. 機械管理者でログインします。



- ログインの方法については、「ログイン」(P.39)を参照してください。

2. ホーム画面でをタップします。

3. [設定] をタップします。

4. [認証 / 集計管理] > [認証 / セキュリティー設定] > [認証の設定] > [パスワードの運用] > [パスワード使用 - パネル入力時] をタップします。

5. [する] を選び、[OK] をタップします。

6. ホーム画面に戻ります。



- 再起動画面が表示された場合は、[はい (再起動する)] をタップします。

プライベートプリントを使用するユーザーを登録する

[本体認証 / 集計] の場合に必要な設定です。

1. 機械管理者でログインします。



- ログインの方法については、「ログイン」(P.39)を参照してください。

2. ホーム画面でをタップします。

3. [設定] をタップします。

4. [認証 / 集計管理] > [認証 / セキュリティー設定] > [認証の設定] > [ユーザー登録 / 集計確認] をタップします。

5. [(未登録)] の項目をタップして、ユーザーを登録します。



• 詳しくは、「ユーザー登録 (本体認証)」(P.162) を参照してください。

6. ホーム画面に戻ります。



• 再起動画面が表示された場合は、[はい (再起動する)] をタップします。

プライベートプリントを有効にする

1. 機械管理者でログインします。



• ログインの方法については、「ログイン」(P.39) を参照してください。

2. ホーム画面でをタップします。

3. [設定] をタップします。

4. [認証 / 集計管理] > [認証 / セキュリティー設定] > [認証の設定] > [認証 / プライベートプリントの設定] > [受信制御] をタップします。

5. 次のどちらかの設定をします。

すべてのジョブをプライベートプリントに保存する場合

1) [プライベートプリントに保存] を選びます。

認証に成功したジョブだけをプライベートプリントに保存する場合

1) [プリンターの認証に従う] を選びます。

2) [認証成功のジョブ] > [プライベートプリントに保存] を選びます。

6. [OK] をタップします。

7. ホーム画面に戻ります。



• 再起動画面が表示された場合は、[はい (再起動する)] をタップします。

コンピューターでの設定

1. コンピューターで [スタート] > [設定] > [デバイス] > [プリンターとスキャナー] をクリックします。

2. 本機を選んで [管理] > [プリンターのプロパティ] をクリックします。

3. [プリンター構成] タブで [認証設定] をクリックします。

4. [使用する認証情報] から [User ID と Account ID] を選びます。

5. [常に同じ認証情報を使用する] を選び、プライベートプリントをするユーザーの認証情報を設定します。



• [ジョブごとに認証の入力画面を表示する] を選ぶこともできます。その場合は、プリント指示をするときにユーザーの認証情報を設定します。

6. [OK] をクリックします。
7. [プリンター構成] タブで [OK] をクリックします。

プライベートプリントをする

コンピューターでの操作

1. アプリケーションの [ファイル] メニューから [印刷] をクリックします。
2. [プリンターの選択] から、プライベートプリントの設定をした本機を選びます。
3. [印刷] をクリックします。

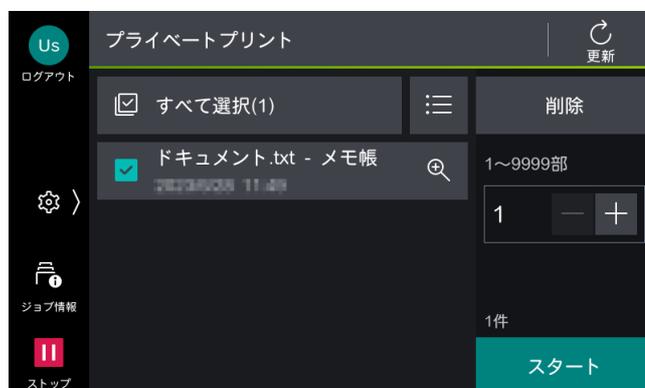
操作パネルでの操作

1. プリンタードライバーで設定したユーザーでログインします。

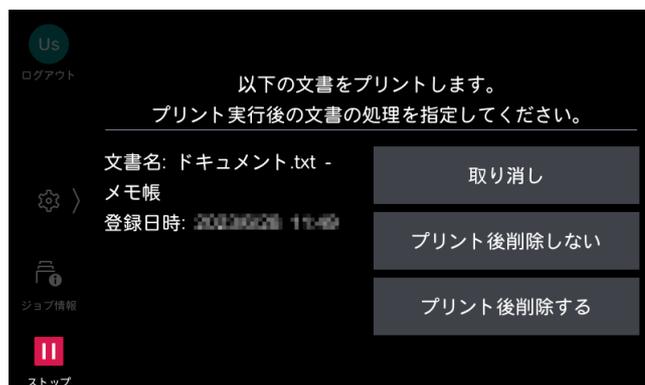
6D 参照

- ログインについては、「ログイン」(P.39) を参照してください。

2. ホーム画面で [プライベートプリント] をタップします。
3. プリントする文書をタップして、チェックマークを付けます。
4. 部数を設定します。
5. [スタート] をタップします。



6. プリント後の処理を選びます。



プライベートプリント（一括出力）をする

プライベートプリントに保存した文書を、ユーザーごとに一括でプリントします。

補足

- 一度もプリントしていない文書が対象です。プリントしたあとに削除しないで残してある文書は対象外です。
- 一度の操作で、100 文書までプリントできます。
- 外部認証で [認証システム] を [Authentication Agent] 以外に設定した場合、プリントの利用を制限しても、本機能が利用可能な状態となります。

コンピューターでの操作

1. アプリケーションの [ファイル] メニューから [印刷] をクリックします。
2. [プリンターの選択] から、プライベートプリントの設定をした本機を選びます。
3. [印刷] をクリックします。

操作パネルでの操作

1. プリンタードライバーで設定したユーザーでログインします。

6D 参照

- ログインについては、「ログイン」(P.39) を参照してください。

2. ホーム画面で [プライベートプリント (一括出力)] をタップします。

5.9 機密文書をプリントする - 認証プリント -

認証プリントについて

コンピューターでプリントを指示したデータを蓄積用ユーザー ID ごとに本機に蓄積し、プリントしたいときに本機の操作でプリントできます。セキュリティープリントとは異なり、すべてのプリントジョブが本機に蓄積されます。

| 項目 | 内容 |
|--------|--|
| プリント指示 | プリンタードライバーで蓄積用ユーザー ID と暗証番号を設定してプリント指示します。 |
| 蓄積方法 | 文書は本機に蓄積用ユーザー ID ごとに蓄積されます。ユーザー ID なしのジョブは [(ユーザー ID なし)] に保存されます。 |
| 出力方法 | 本機で蓄積用ユーザー ID を選び、プリントジョブを選びます。 |

補足

- プライベートプリントには保存できない、ユーザー ID なしのジョブ（プリンタードライバーで蓄積用ユーザー ID が設定されていないジョブ、ContentsBridge やインターネットサービスを使用したプリント、メール受信プリントなど）も本機に蓄積してプリントできます。
- 認証プリントを設定した場合、プリンタードライバーから通常のプリント、セキュリティープリント、サンプルプリント、時刻指定プリントは使用できません。

6D 参照

- インターネットサービスについては、「インターネットサービスを使う」(P.149) を参照してください。

認証プリントの設定をする

操作パネルでの設定

1. 機械管理者でログインします。



• ログインの方法については、「ログイン」(P.39)を参照してください。

2. ホーム画面でをタップします。

3. [設定] をタップします。

4. [認証 / 集計管理] > [認証 / セキュリティー設定] > [認証の設定] > [認証 / プライベートプリントの設定] > [受信制御] をタップします。

5. [認証プリントに保存] を選び、[OK] をタップします。

6. ホーム画面に戻ります。



• 再起動画面が表示された場合は、[はい (再起動する)] をタップします。

コンピューターでの設定

1. コンピューターで [スタート] > [設定] > [デバイス] > [プリンターとスキャナー] をクリックします。

2. 本機を選んで [管理] > [プリンターのプロパティ] をクリックします。

3. [プリンター構成] タブで [認証設定] をクリックします。

4. [使用する認証情報] から [蓄積用ユーザー ID] を選びます。

5. [常に同じ認証情報を使用する] を選び、[蓄積用ユーザー ID] を設定します。



• [ジョブごとに認証の入力画面を表示する] を選ぶこともできます。その場合は、プリント指示をするときに蓄積用ユーザー ID を設定します。

6. [OK] をクリックします。



• 必要に応じて [暗証番号] を設定します。

7. [プリンター構成] タブで [OK] をクリックします。

認証プリントをする

コンピューターでの操作

1. アプリケーションの [ファイル] メニューから [印刷] をクリックします。

2. [プリンターの選択] から、認証プリントの設定をした本機を選びます。

3. [印刷] をクリックします。

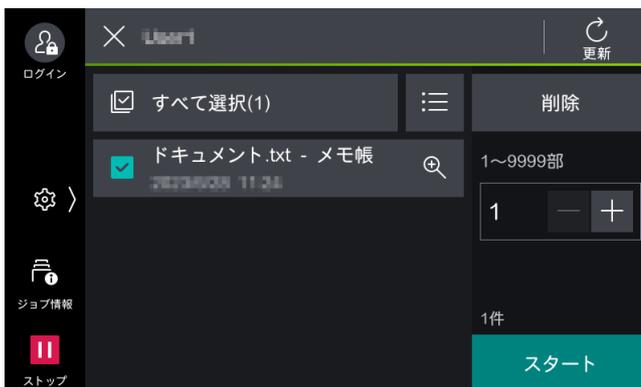
操作パネルでの操作

1. ホーム画面で「認証プリント」をタップします。
2. プリンタードライバーで設定した「ユーザー ID」をタップします。

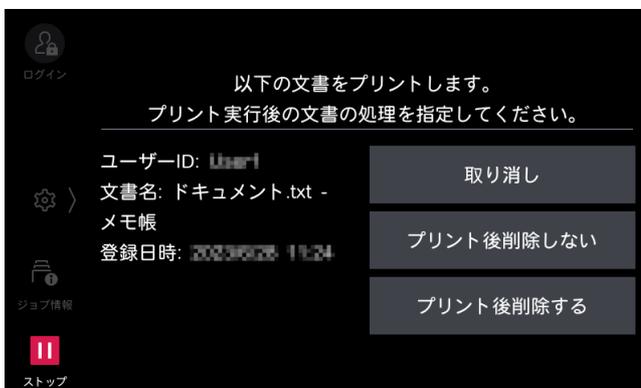


- 「ユーザー ID」を設定していない場合は、「(ユーザー ID なし)」をタップします。
- プリンタードライバーで暗証番号を設定した場合は、暗証番号を入力し、「OK」をタップします。

3. プリントする文書をタップして、チェックマークを付けます。
4. 部数を設定します。
5. 「スタート」をタップします。



6. プリント後の処理を選びます。



5.10 電子メールを使ってプリントする - メール受信プリント -

メール受信プリントについて

ネットワークに接続され、TCP/IP での通信、およびメールの受信ができる環境がある場合は、コンピューターや携帯電話などから本機あてにメールを送信したり、転送したりできます。受信したメールは、本機の設定に応じて自動的にプリントされます。

この機能を「メール受信プリント」といいます。

本機能を利用するには本体メールアドレスを設定する必要があります。



• 本体メールアドレスの設定については、「メール機能の設定」(P.34)を参照してください。

メール受信プリントをする

メールを受信する

ここでは、本機がコンピューターからメールを受信する方法を説明します。

1. お使いのメールソフトウェアで本文を作成し、添付文書がある場合は添付します。



- メール本文には、テキスト形式およびHTML形式を使用できます。HTML形式の場合は、テキスト部分だけプリントされます。なお、HTML形式でもテキスト部分が送信されない場合、本文はプリントされません。
- 添付文書の拡張子が「.tif」、「.tiff」、「.pdf」、「.jpeg」、「.jpg」、「.jpe」、「.jiff」、「.xps」、「.xdw」、「.xbd」以外の場合は、正しくプリントされないことがあります。
- 添付文書の拡張子が「.txt」の場合は、Content-Typeに「text/plain」が指定され、charsetに「us-ascii」または「iso-2022-jp」が指定されているときだけ、プリントされます。

2. 宛先に本機のメールアドレスを入力します。

3. メールを送信します。

ジョブ属性を指定してメール受信プリントをする

コンピューターや携帯電話などから、本機にメールを送信または転送するときにジョブ属性を指定すると、用紙サイズなどを設定してメール受信プリントできます。

設定できるジョブ属性、項目、およびその指定方法は次のとおりです。

| ジョブ属性 | 指定できる項目 | 指定方法 |
|----------------------------------|---------------------|--------|
| カラーモード | モノクロ | mono |
| 両面 / 片面 | 片面 | simp |
| | 両面 (長辺とじ) | dup |
| | 両面 (短辺とじ) | tumble |
| N-up ^{*1*2} (まとめて一枚) | 1 アップ ^{*3} | 1up |
| | 2 アップ | 2up |
| | 4 アップ | 4up |
| 用紙サイズ | A3 | a3 |
| | B4 | b4 |
| | A4 | a4 |
| | B5 | b5 |
| | レター (8.5×11") | letter |
| | リーガル | legal |

*1 : 添付文書の拡張子が「.pdf」の文書は、[PDF エミュレーション設定]の「プリント処理モード」を「PS」に設定している場合、N-up指定は無効となります。1 アップ以外を指定しても1 アップでプリントされます。

*2 : メールヘッダー、メール本文、および添付文書の拡張子が「.txt」の場合、指定は無効となります。

*3 : 1 アップを指定した場合は、出力サイズにプリント内容が収まるように用紙を自動的に拡大縮小してプリントされます。

 補足

- 本文と添付文書のジョブ属性は、個別に設定できません。転送メールの場合、本文とその添付文書、転送メールの本文とその添付文書のジョブ属性を個別に設定できません。添付文書は本文の設定に従ってプリントされます。
- 原稿サイズと用紙サイズが異なる場合、添付文書の種類により、拡大縮小されるものとされないものがあります。

1. お使いのメールソフトウェアで本文を作成し、添付文書がある場合は添付します。
2. 宛先に本機のメールアドレスを入力します。
3. メールの件名の前に「@@ ジョブ属性 @@」と入力します。

ジョブ属性を複数指定する場合は、カンマ (,) で区切り、「@@ ジョブ属性 (, ジョブ属性) (, ジョブ属性) @@」と入力します。

例：件名が「参考資料」で、モノクロ、両面（長辺とじ）、2up でプリントする

@@mono,dup,2up@@ 参考資料

 補足

- ジョブ属性を指定するときに、大文字 / 小文字の違いは区別されず、同一とみなされます。
- ジョブ属性、カンマ (,)、およびアットマーク (@) は、半角を使用してください。

 参照

- メール本文のプリントは、インターネットサービスの [受信メールシートのプリント] でも設定できます。設定方法については、インターネットサービスのヘルプを参照してください。インターネットサービスについては、「インターネットサービスを使う」(P.149) を参照してください。

4. メールの件名を確認し、送信します。

6 モバイル機器からのプリント

6.1 本機をモバイル機器と接続する

スマートフォン/タブレットなどのモバイル機器を本機に接続し、文書、写真、Web ページやメールなどをプリントできます。

次のどちらかの方法で、本機をモバイル機器と接続します。

- Wi-Fi 接続
本機とモバイル機器を無線 LAN アクセスポイント経由で接続します。
- Wi-Fi Direct 接続
無線 LAN アクセスポイントを経由せず、本機とモバイル機器を直接接続します。

Wi-Fi で接続する

本機の設定

1. 本機が無線 LAN に接続されていることを確認します。

 参照

- 接続方法については、「無線 LAN で接続する」(P.25) を参照してください。

モバイル機器の設定

 参照

- 操作方法はモバイル機器によって異なります。

1. モバイル機器の Wi-Fi 機能を有効にします。
2. SSID を選びます。
3. 画面の指示に従って、接続を完了します。

 参照

- 接続に必要な暗号化キーは無線 LAN アクセスポイント本体に記載されている場合があります。詳しくは、無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

Wi-Fi Direct で接続する

本機に Wi-Fi Direct 接続の設定をする

1. 機械管理者でログインします。

 参照

- ログインの方法については、「ログイン」(P.39) を参照してください。

2. ホーム画面で  をタップします。

3. [設定] をタップします。
4. [ネットワーク設定] > [無線 LAN 設定] > [基本設定] をタップします。
5. [有効] を選び、必要に応じて [動作周波数帯] を選んで、[OK] をタップします。
6. [無線 LAN 設定の更新] 画面が表示されたら、[確認] をタップします。
本機が再起動します。
7. 機械管理者でログインします。
 参照
• ログインの方法については、「ログイン」(P.39) を参照してください。
8.  > [設定] > [ネットワーク設定] > [無線 LAN 設定] をタップします。
9. [Wi-Fi Direct 設定] をタップします。
10. [有効] を選び、[OK] をタップします。
11.  (ホーム) ボタンを押します。
12. [再起動します。 よろしいですか?] のメッセージが表示されたら、[はい (再起動する)] をタップします。

グループ設定について

[グループ設定] では、次の項目が設定できます。

| 設定項目 | 設定内容 |
|---------------|---|
| [自動] | 本機をグループオーナーに固定しない場合に選びます。 |
| [デバイス名] | Wi-Fi Direct ネットワークで識別する本機の名前を、32 文字以内の英数字で入力します。モバイル機器から接続先を選ぶときは、ここで指定した名前が表示されます。 |
| [グループオーナー] | 本機を Wi-Fi ネットワークのグループオーナーに設定します。グループオーナーに設定すると、無線 LAN アクセスポイントと同様に、モバイル機器から本機を検出できるようになります。 |
| [SSID サフィックス] | Wi-Fi Direct で識別するネットワークの名前を表示します。「DIRECT-」に続く部分を 23 文字以内の英数字で入力できます。モバイル機器から接続先のネットワークを選ぶときは、ここで指定した名前が表示されます。 |
| [パスフレーズ] | パスフレーズとして 8 ～ 63 文字の英数字を入力できます。モバイル機器から Wi-Fi Direct ネットワークに接続するときは、ここで設定したパスフレーズを入力します。設定したパスフレーズは入力後、確認ができないのであらかじめメモ等に控えてください。 |

補足

- iOS 端末など、Wi-Fi Direct に対応していない機器を接続する場合は、[グループオーナー] に設定されている必要があります。

本機とモバイル機器を接続する

参照

- 詳しくは、モバイル機器の取扱説明書を参照してください。

1. モバイル機器の無線 LAN 機能を有効にします。
2. 本機の SSID を選びます。
3. パスコードを入力します。

Wi-Fi Direct ネットワークからモバイル機器を切断する

本機の操作パネルからすべてのモバイル機器との接続を解除する方法

1. 機械管理者でログインします。

参照

- ログインの方法については、「ログイン」(P.39)を参照してください。

2. ホーム画面で  をタップします。
3. [機械確認 (メーター確認)] をタップします。
4. [無線 LAN の接続状態] をタップします。
5. [Wi-Fi Direct 切断] をタップします。

本機の操作パネルからモバイル機器との接続を解除する方法

1. 機械管理者でログインします。

参照

- ログインの方法については、「ログイン」(P.39)を参照してください。

2. ホーム画面で  をタップします。
3. [設定] をタップします。
4. [ネットワーク設定] > [無線 LAN 設定] > [Wi-Fi Direct 設定] をタップします。
5. [SSID サフィックス] または [パスフレーズ] を変更します。

新しい SSID、パスフレーズで Wi-Fi Direct のグループが再構築されるため、モバイル機器との接続が解除されます。

接続中のモバイル機器の Wi-Fi 設定画面から本機との接続を解除する方法

1. モバイル機器の Wi-Fi 設定画面を開き、Wi-Fi の接続を解除します。

モバイル機器の自動接続が有効の場合：

Wi-Fi の接続を解除しても、モバイル機器は自動で本機の Wi-Fi Direct と再接続します。そのため、新たなモバイル機器の接続の前に自動接続してしまい、再び接続上限になってしまう可能性があります。その場合は、モバイル機器の自動接続を無効に設定するか、手順 2 の設定削除を実行します。

モバイル機器の自動接続が無効の場合：

Wi-Fi 接続を解除すると、モバイル機器の Wi-Fi 設定画面から再接続を実行するまで接続が解除されます。

補足

- モバイル機器によっては、自動接続の切り替えができない場合があります。

2. モバイル機器の Wi-Fi 設定画面を開き、接続中の本機の SSID を選び、モバイル端末に保存された Wi-Fi 接続設定情報を削除します。

6.2 Print Utility を使ってプリントする

Print Utility はスマートフォン / タブレット用のアプリケーションです。スマートフォン / タブレットからプリントの操作を行えます。NFC 機能を搭載する機器をお使いの場合は、本機の NFC タッチエリアに機器をかざすだけでジョブを開始できます。App Store や Google Play からダウンロードできます。

QR コードで接続する

ホーム画面の [Print Utility 接続] をタップすると、接続用の QR コードが表示されます。

6.3 その他のサービスを利用する

AirPrint

AirPrint は、Apple Inc. が提供するプリントサービスです。プリンタードライバーや特別なソフトウェアをインストールすることなく、iPad や iPhone などの iOS 搭載機器や macOS/OS X のコンピューターから指示した文書を本機でプリントできます。



- AirPrint の最新の情報については、Apple Inc. の公式サイトを参照してください。

AirPrint の設定を有効にする

1. インターネットサービスを起動して、機械管理者でログインします。



- インターネットサービスについては、「インターネットサービスを使う」(P.149) を参照してください。

2. [ネットワーク] をクリックします。

3. [モバイルプリント設定] の [AirPrint™] をクリックして、[有効] にチェックマークを付けます。



- USB で接続しているときは、[USB 接続] にもチェックマークを付けます。

4. 必要に応じて、各機能を設定します。

5. [保存] をクリックします。

コンピューター側の設定 (macOS のみ)

AirPrint を使用する場合は、あらかじめ本機をコンピューターに登録しておく必要があります。



- USB 接続の場合は、本機とコンピューターを USB ケーブルで接続すると自動的に登録されるため、この設定は不要です。

1. ネットワークに接続されたコンピューターで、[Apple] メニュー > [システム環境設定] をクリックします。

2. [プリンタとスキャナ] をクリックします。

3. [+] (追加) をクリックします。



- [+] (追加) をクリックしたときにドロップダウンメニューが表示された場合は、[プリンタまたはスキャナを追加] をクリックします。

4. [名前] の一覧から本機を選びます。



- ネットワーク内のプリンターが自動的に検出されて [名前] の一覧に表示されます。表示されない場合は、本機とコンピューターのネットワーク設定を確認してください。

5. [ドライバ] > [Secure AirPrint] または [AirPrint] > [追加] をクリックします。

iBeacon for Printers を有効にする

AirPrint を使ってプリントするときに、iOS 端末の [アクション] > [プリント] > [プリンタ] で近くにある本機を選択できるようにします。



- 本機能を有効にすると、異なるサブネットに接続されているために Bonjour で見つけることのできない本機を検索できます。

1. インターネットサービスを起動して、機械管理者でログインします。



- インターネットサービスについては、「インターネットサービスを使う」(P.149) を参照してください。

2. [ネットワーク] > [Bluetooth] をクリックします。

3. [ポート (Bluetooth Low Energy)] にチェックマークを付けます。

4. [保存] をクリックします。

5. [今すぐ再起動] をクリックします。

AirPrint でプリントする

ここでは、iOS を例に説明します。

1. プリントするメール、写真、Web ページ、または文書を開きます。

2. のアイコンをタップします。

3. [プリント] をタップします。

4. 本機を選び、プリント設定をします。

5. [プリント] をタップします。

Mopria プリントサービス

Mopria プリントは Android 搭載のスマートフォンやタブレットから、Mopria 認証を受けたプリンターに接続してプリントできるサービスで、特別な設定をすることなく利用できます。

はじめに Google Play ストアから、Mopria プリントサービスのアプリケーションを、お使いの Android 機器にダウンロードしてインストールします。

プリント時はモバイル機器を本機と同じネットワークに接続するか、Wi-Fi Direct 機能を使って本機に接続します。



- 認証 / 集計管理機能を有効にしているときは、インターネットサービスの [認証 / 集計 / 権限] > [権限設定] > [アクセス制限設定] > [ユーザー指定なしプリント] を [制限しない] に設定する必要があります。

本機に Mopria プリントサービスを設定する

1. インターネットサービスを起動して、機械管理者でログインします。

6d 参照

- インターネットサービスについては、「インターネットサービスを使う」(P.149)を参照してください。

2. [ネットワーク] をクリックします。
3. [モバイルプリント設定] の [Mopria®] をクリックして、[有効] にチェックマークを付けます。
4. [保存] をクリックします。

Mopria プリントサービスでプリントする

6d 参照

- 詳しくは、「<https://mopria.org/ja>」を参照してください。

7 本機の設定

ホーム画面で、 > [設定] をタップすると表示される設定項目について説明します。

補足

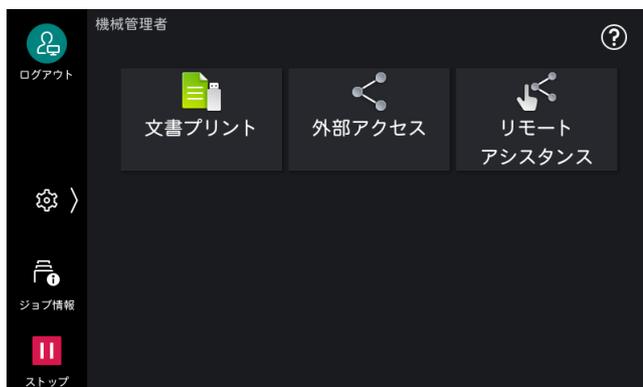
- 機械管理者としてログインした場合だけ表示される項目があります。

1. 機械管理者でログインします。

参照

- 詳しくは、「ログイン」(P.39) を参照してください。

2. ホーム画面で をタップします。

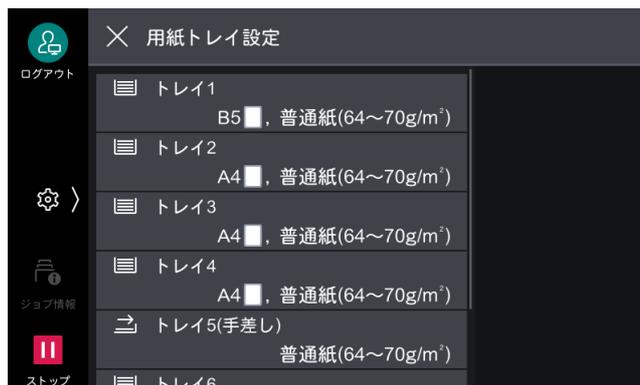


3. [設定] をタップします。

4. 任意の項目をタップします。



[用紙トレイ設定]



[用紙サイズ]

各トレイの用紙サイズを設定します。

■ [自動サイズ検知]

用紙トレイにセットされた用紙サイズを自動検出します。



- 定形外サイズの用紙をセットした場合は、[サイズ入力] をタップして、用紙サイズを入力します。

[用紙種類]

用紙の種類を設定します。

[色]

用紙の色を設定します。

[自動トレイ切り替え]

選んでいるトレイの用紙がなくなったときに、同じ用紙がセットされているほかのトレイに自動的にトレイを切り替える場合は、[自動トレイ切り替え] をタップして有効にします。



- トレイ 5 (手差し) を選んでいる場合や、自動トレイ切り替え対象外のトレイを選んでいる場合、トレイは切り替わりません。

[トレイの優先順位]

自動トレイ選択時に同様の用紙が複数のトレイにセットされている場合で使用するトレイの優先順位を設定します。

[自動選択条件]

自動トレイ選択時の条件を [すべてのカラーモード]、[カラー]、[白黒] から選んで設定します。



- 設定した条件のときに、自動トレイ選択の対象になります。

[共通設定]

[ユーザー用紙属性の名称設定]

[ユーザー用紙種類 1] ~ [ユーザー用紙種類 5]、および [ユーザー用紙色 1] ~ [ユーザー用紙色 5] に名称を付けられます。

[トレイセット時の用紙変更画面表示]

用紙トレイを出し入れしたときに、対象トレイの設定変更画面を表示するかどうかを設定します。

[用紙種類の優先順位]

原稿と同じサイズ / 向きの用紙が複数の用紙トレイにセットされている場合に、プリンタードライバーで [トレイ / 排出] タブの [用紙トレイ選択] を [自動]、および [トレイの用紙種類] を [指定しない] に設定してプリントするとき、本設定に従って用紙トレイを自動選択します。

[トレイの優先順位] よりも、本設定が優先されます。

ただし、異なる用紙種類に同じ優先順位を設定した場合は、[トレイの優先順位] によって、選択される用紙が決まります。また、[自動トレイ選択しない] に設定した用紙種類がセットされているトレイは、自動トレイ選択の対象にはなりません。



- 自動トレイ選択とは、適切な用紙がセットされたトレイを、機械が自動的に選択してプリントすることです。

[自動トレイ動作制御]

選択しているトレイの用紙がなくなったときに、切り替える対象を設定します。

■ [自動トレイ切り替え]

自動切り替えの条件を設定します。[常に切り替える] に設定すると、各用紙トレイの [自動トレイ切り替え] の設定にかかわらず、常に切り替えます。[[自動] 選択時切り替える] に設定すると、各用紙トレイの [自動トレイ切り替え] の設定に応じて切り替えます。[同一用紙種類 / 色で切り替える] に設定すると、用紙種類と色が同じトレイを切り替え対象とします。

[用紙種類別画質処理]

用紙種類ごとに、画質の処理方法を設定します。

本機は、プリントをするとき、[用紙種類別画質処理] で設定している用紙の種類と、その用紙種類に設定されている画質処理によって、画質をコントロールします。

[システム設定]



[システム時計 / タイマー設定]

[日付]

本機のシステム時計の日付を指定します。

[時刻]

本機のシステム時計の時刻を指定します。

[時刻サーバー (NTP) と同期]

時刻サーバー (NTP) の時刻と同じになるように、サーバーから時刻を取得し、本機の時刻を合わせます。

[時刻サーバーの接続間隔]

時刻サーバーに何時間ごとに接続するかを指定します。

[時刻サーバーアドレス]

時刻サーバーのサーバー名または IP アドレスを指定します。

[自動リセット]

何も操作をしない状態で一定の時間が経過したとき、リセットされる時間を指定します。



- [しない] に設定しても、ジョブの中断中に操作を 1 分間しないと、自動リセットされ、ジョブが再開されることがあります。自動リセット後のジョブの動作は、ジョブ一時停止後の処理で設定します。ジョブ一時停止後の処理については、「[ジョブ一時停止後の処理]」(P.113) を参照してください。

[ジョブ自動解除]

エラー (用紙の補給、紙詰まりなど) が発生したとき、現在のジョブを解除して、次のジョブを実行できるまでの時間を指定します。

[プリント起動]

操作パネル ([スタート] は除きます) の操作後、プリントができるようになるまでの時間を設定します。

[タイムゾーン]

GMT を基準に、-12 時間から +12 時間の範囲で設定します。

[サマータイム]

夏時間 (サマータイム) を設定します。夏時間 (サマータイム) として設定した期間は、現在の時間に 1 時間加えた時刻になります。

[暖機モード動作]

本機内の結露を防止または軽減する暖機モードに移行するかどうかを設定します。

[オンデマンド印刷の有効時間]

外部アクセスを使用してプリントする場合の有効時間を設定します。プリントを指示したあと、ここで設定した時間以内に外部接続先からプリントデータを受信しないと、プリント指示が無効になります。



- 一度に大量の文書をプリント指示した場合や、処理に時間がかかる複雑な文書が含まれる場合、最後のページを受け付ける前にタイムアウトすることがあります。

[節電モードの設定]

[節電モード移行時間]

節電モードには、[低電力モード] と [スリープモード] があり、プリント終了後または本機の操作後、設定時間が経過すると節電状態になります。



- [スリープモード] に移行しないように設定することはできません。
- スリープモードに移行するまでの時間は、低電力モードに移行するまでの時間と同じか、それより大きくなるように指定します。

- スリープモードに移行するまでの時間が低電力モードに移行するまでの時間と同じときは、低電力モードには移行せずにスリープモードに移行します。

[自動プリント後の節電モード移行]

コンピューターからのプリントが完了したあとに、節電状態に移行するタイミングを設定します。

[スリープモード設定]

スリープモード中の動作を、省電力優先にするか復帰時間優先にするかを設定します。

[節電解除の制御]

節電状態を解除するときに、使用する部分のみを解除するかどうかを設定します。

[電源の自動制御]

設定した時刻になると電源が切れるように設定します。



- [自動的に電源を切る] が設定されていても、本機に紙詰まりなどの異常が発生している場合や、ジョブや割り込みなどの処理を行っている場合には、電源は切れません。

[音の設定]

ジョブの終了や機械の異常などを知らせる音の設定をします。

[画面の設定]

[初期表示画面]

電源を入れたり、節電状態を解除したときに表示する画面を設定します。

[自動リセット後の画面]

自動リセット後の画面を設定します。

[コントロールメニューの機能配置]

コントロールメニューに配置する機能を設定します。

[機能リストの [その他の機能] の表示]

機能の表示方法を設定します。オンにすると基本機能（よく使う機能）以外の機能の表示 / 非表示の切り換えができます。

[スタートボタンの操作]

タッチパネルディスプレイに表示される [スタート] の操作方法をタップまたはスライドのどちらかに設定できます。

[認証画面の自動表示]

認証機能を有効にしている場合、電源を入れたり、節電状態を解除したときに、認証画面を自動的に表示するかどうかを設定します。

[ログインボタンのユーザー名]

認証情報の表示エリアのボタン上に表示するユーザー名の長さを設定します。



- [長く表示] に設定しても、ユーザー名をすべて表示できないことがあります。

[初期表示言語]

電源を入れたときに表示する言語とキーボードのレイアウトを設定します。

[画面輝度調整]

タッチパネルディスプレイの明るさを調整します。

[消耗品情報画面の表示]

交換が必要な消耗品がある場合に、消耗品の状態を自動的に表示するかどうかを設定します。

[USB メモリー検出時の画面表示]

USB メモリーを本機に差し込んだときの表示画面の設定をします。



- 節電中は、USB メモリー差し込み口に USB メモリーを差し込んでも、タッチパネルディスプレイは点灯しません。節電状態を解除してから、USB メモリーを差し込み直すか、ホーム画面で利用するアプリをタップしてください。

[USB メモリー検出時の警告画面表示]

USB メモリー差し込み口に USB メモリーを挿入したときに、確認画面を表示するかどうかを設定します。

[キーボード入力制限]

本機で表示されるキーボードの入力可能文字を ASCII のみに制限するかどうかを設定します。

[アップダウンボタンの操作]

ボタンの押し続け操作を許可するかどうかを設定します。

[セキュリティ警告 - 機械管理者設定]

機械管理者のユーザー ID とパスワードが初期値のまま、本機またはインターネットサービスに機械管理者でログインしたときに、セキュリティ警告画面を表示するかどうかを設定します。

[セキュリティ警告 - SNMP 設定]

SNMP プロトコルの設定で、コミュニティ名や認証用パスワードが初期値のまま、本機またはインターネットサービスに機械管理者でログインしたときに、セキュリティ警告画面を表示するかどうかを設定します。



- SNMP プロトコルの設定は、インターネットサービスで設定します。詳しくは、インターネットサービスのヘルプを参照してください。インターネットサービスの起動方法については、「インターネットサービスを使う」(P.149) を参照してください。

[セキュリティ警告 - グローバル IP アドレス]

本機にグローバル IP アドレスが設定され、かつ [認証 / 集計の設定] が [認証しない] に設定されている状態で、本機またはインターネットサービスに機械管理者でログインしたときに、セキュリティ警告画面を表示するかどうかを設定します。

[通知メッセージの抑制]

ポップアップで表示されるメッセージを少なくします。表示されなかったメッセージは、[機械確認 (メーター確認)] の [通知] で確認できます。

[通知メッセージの表示時間]

メッセージの表示時間を設定します。

[画質の設定]

[画質セットアップの自動実行]

画質セットアップ（機械内部で画質を調整する処理）を定期的に行うと、プリント開始までの時間を短縮できます。

[レポート設定]

[レポート/リストの出力] の内容を機械管理者モード以外に表示させるかと、各レポートを自動でプリントするかを設定します。

[レポート出力の許可]

オフにすると、機械管理者でログインしたときだけ [機械確認 (メーター確認)] > [レポート/リストの出力] の内容が表示されます。

[レポートの両面プリント]

レポート/リストをプリントするときに、片面でプリントするか両面でプリントするかを設定します。

[ジョブ履歴レポート]

処理を行ったジョブの合計が 50 件になったときに、ジョブ履歴レポートを自動的にプリントするかどうかを設定します。

[複製管理]

複製管理とは、書類の複製を抑制するために、用紙の背景全体に文字列や背景パターンを印字する機能です。



- ユーザー管理番号は、認証モードの設定によって印字されないことがあります。
- この項目は、セキュリティ拡張キット（オプション）と、ストレージ（オプション）が取り付けられている場合にのみ表示されます。

[印字する日付の形式]

日付の形式を設定します。ここで設定した値は、アノテーション、複製管理、強制アノテーションで共通になります。

[隠し印刷初期値]

複製管理の隠し印刷の初期値を設定します。

[文字列の大きさ]

複製管理で印字される文字の大きさを設定します。

[背景パターン]

隠し印刷で使用する文字列を埋め込むための、背景パターンを設定します。

[印刷の色]

複製管理の隠し印刷の文字の色を設定します。

[印刷の濃度]

複製管理で印字される文字の濃度を設定します。

[文字 / 背景コントラスト]

複製管理で印字される文字 / 背景のコントラストを設定します。
[サンプルリストの出力] でプリントしたサンプルを参考にして設定できます。

[強制複製管理 - クライアントプリント]

コンピューターからプリントをしたときに、強制的に複製管理するかどうかを設定します。
本機の設定を優先する場合は [本体の設定を優先] を、TrustMarkingBasic (別売) などのソフトウェアやプリントサーバーの設定を優先する場合は、[クライアントの設定を優先] を選びます。
[本体の設定を優先] を選んだ場合は、ユーザー情報またはユーザー管理番号、本機の ID、印刷日時が印字されます。

補足

- [強制ペーパーセキュリティ] の [クライアントプリント] と共通です。
強制ペーパーセキュリティについては、[[ペーパーセキュリティ]] (P.106) を参照してください。

[強制複製管理 - メディアプリント]

文書プリントをするときに、強制的に複製管理するかどうかを設定します。
印字される文字列は、ユーザー管理番号、本機の ID、印刷日時です。

[文字列登録 1] ~ [文字列登録 3]

複製管理で印字される文字列を登録します。

[サンプルリストの出力]

背景のコントラストが異なる複数のサンプルをプリントします。プリントサンプルをもとに、[文字 / 背景コントラスト] を設定してください。

[ペーパーセキュリティ]

プリントする文書に、デジタルコードや隠し印字などを設定します。

補足

- この項目は、セキュリティ拡張キット (オプション) と、ストレージ (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。

[デジタルコードの設定]

文書に埋め込むデジタルコードの解析パスワードと文字列を設定します。

補足

- デジタルコードの解析には、弊社ソフトウェアの PaperSecurity Analyzer (別売) が必要です。
- [解析パスワード] を設定すると、文書のデジタルコードを解析するアプリケーション使用者を限定できます。

[強制ペーパーセキュリティ]

ジョブの種類ごとに、強制的にペーパーセキュリティ機能を実行するかどうかを設定します。

補足

- [クライアントプリント] で本機の設定を優先する場合は [本体の設定を優先] を、TrustMarkingBasic (別売) などのソフトウェアやプリントサーバーの設定を優先する場合は、[クライアントの設定を優先] を選びます。
- [クライアントプリント] の設定は、強制複製管理 - クライアントプリントと共通です。強制複製管理 - クライアントプリントについては、[[複製管理]] (P.105) を参照してください。

[ペーパーセキュリティの初期値]

複製制限コードを紙文書に埋め込むかどうかを設定します。

[隠し印字の設定]

プリントされる文書に隠し文字を埋め込むかどうかを設定します。

隠し文字を設定すると、プリントする文書に隠し文字が埋め込まれます。隠し文字が埋め込まれた文書をコピーすると、埋め込まれた隠し文字が白抜きになります。

■ [文字列初期値]

ペーパーセキュリティの隠し印字の文字列を設定します。

■ [背景パターン]

ペーパーセキュリティの隠し印字の背景パターンを設定します。

■ [印刷の色]

ペーパーセキュリティの隠し印字の文字の色を設定します。

■ [文字 / 背景コントラスト]

ペーパーセキュリティの隠し印字の文字 / 背景のコントラストを設定します。

[サンプルリストの出力] でプリントしたサンプルを参考にして設定できます。

■ [文字列登録 1] ~ [文字列登録 3]

ペーパーセキュリティの隠し印字の文字列を登録します。

■ [サンプルリストの出力]

背景のコントラストが異なる複数のサンプルをプリントします。プリントしたサンプルをもとに、[文字 / 背景コントラスト] を設定できます。

[強制アノテーション]

ジョブの種類ごとに関連づけられたレイアウトテンプレートに従い、ユーザー名や日付などの文字列 (アノテーション) が強制印字されます。

本機にはあらかじめ [preset1] ~ [preset4] のレイアウトテンプレートが用意されています。これらのテンプレートで印字される項目は次のとおりです。

• [preset1]、[preset2]

[文字列登録 1] で登録した文字が、用紙中央に透かし文字で斜めに印字されます。

用紙の右下 ([preset1] の場合)、または左下 ([preset2] の場合) に、次の項目が印字されます。

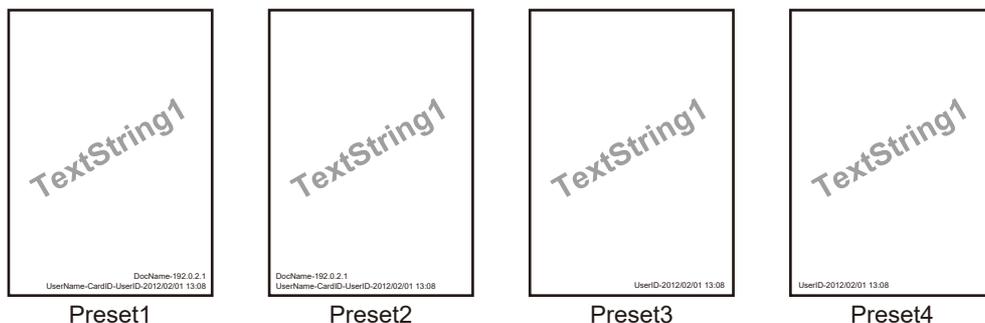
- 上段：文書名、印字を指示したコンピューターの IP アドレス
- 下段：ユーザー名、カード ID、User ID、年月日時

• [preset3]、[preset4]

[文字列登録 1] で登録した文字が、用紙中央に透かし文字で斜めに印字されます。

用紙の右下 ([preset3] の場合)、または左下 ([preset4] の場合) に、次の項目が印字されます。

- User ID、年月日時



補足

- この項目は、セキュリティ拡張キット (オプション) とストレージ (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。

6D 参照

- 文字列の登録については、「[文字列の登録]」(P.108)を参照してください。

[レイアウトテンプレートの関連付け]

レイアウトテンプレートとの関連づけを設定します。

[レイアウトテンプレートの削除]

レイアウトテンプレートを削除します。

[文字列の登録]

強制アノテーションで使用する文字列を登録します。

[UUID 印字]

印刷ジョブごとにジョブを特定できるように、識別 ID (UUID) を印字できます。

ApeosWare Management Suite 2 (別売) やイメージログ管理機能を利用すると、UUID をキーとしてログを検索し、ジョブごとに「いつ」、「誰が」、「プリントしたか」などの情報を確認できるため、情報漏えいの抑止に効果があります。

補足

- [強制アノテーション] の [レイアウトテンプレートの関連付け] でレイアウトテンプレートを設定している場合は、設定しているテンプレートの上に、ここで設定する文字が印字されます。
- 微調整値は、用紙の端を 0 mm として、値を大きくすると用紙中央方向に移動します。ただし、[印字位置] で [中央上]、または [中央下] を選択した場合、横方向の調整値は用紙の中央を 100 mm としています。[印字位置] で [中央上]、または [中央下] を選択する場合は、微調整値をいったん 100 mm に設定してから調整をしてください。

6D 参照

- イメージログについては、「[イメージログ管理]」(P.108)を参照してください。

[UUID 印字]

UUID 印字をするかどうかを設定します。

[印字位置]

印字する位置を設定します。

[印字位置の微調整]

印字する位置を調整します。

[うら面の印字位置]

両面にプリントするときに、うら面に印字する UUID の位置を設定します。

[イメージログ管理]

イメージログ管理は、本機で実行されたジョブの文書を画像データとして保存し、ジョブの利用者、利用時刻、部数などのデータと共に、ログとして蓄積 / 管理する機能です。文書が漏えいしたときに、対象文書に対してジョブを実行したユーザーを特定するための情報を保存します。

補足

- この項目は、セキュリティ拡張キット (オプション) とストレージ (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。
- イメージログ管理機能は、文書に対するセキュリティー機能を補う目的があるため、イメージログの作成に時間がかかったり、イメージログ管理機能以外のジョブの処理に時間がかかったりすることがあります。
- セキュリティー機能の観点から、本機はデータを蓄積保存することを優先するため、イメージログの作成を中止 (強制終了) できません。

- ・ 停電などで強制的に電源が切れた場合や、ストレージ（オプション）に異常が発生した場合などは、イメージログの作成・転送が必ず実施されるとは限りません。
- ・ 管理するイメージは、入力イメージを元に作成するため、出力イメージと同じになるとは限りません。次に記載する情報は、出力時に加えられたり、編集されたりする情報のため、イメージには反映されません。
 - 出力時のレイアウト変更
 - 複製管理
 - 合紙
 - バナー
 - アノテーション
 - フォームオーバーレイ（プリント）
- ・ イメージは、最大 8191 ページまで作成できます。本機への入力イメージが 8191 ページ以上の場合、[イメージログ作成] の [作成範囲] に [全ページ] を設定しても、8191 ページまでのイメージが作成されます。
- ・ ストレージ（オプション）内のイメージ格納領域が不足した場合、[イメージログ作成] の [作成保証レベル] の設定によって、本機は次のように動作します。
 - [高] の場合：ジョブは中止されます。
 - [低] の場合：ジョブは実行されます。ただし、ジョブ終了時に警告が表示され、イメージ作成が失敗したことを知らせます。
- ・ イメージ作成中にエラーが発生した場合、[イメージログ作成] の [作成保証レベル] の設定によって、本機は次のように動作します。
 - [高] の場合：イメージをエラーイメージ（1x1 ピクセル）と置き換え、システムエラーが発生します。本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
 - [低] の場合：イメージをエラーイメージ（1x1 ピクセル）と置き換え、ジョブ終了時にエラー情報が記録されます。
- ・ 本機に格納できるイメージログの最大数は、2000 件です。
- ・ [イメージログ作成] の [解像度] の設定によって、読み取り可能な文字のサイズが異なります。解像度を設定する場合は、次の表を参考にしてください。

| 解像度 | 読み取り可能な文字サイズ | | 一般文書でのめやす |
|---------|--------------|----------|--------------------------|
| | カラージョブの場合 | 白黒ジョブの場合 | |
| 200 dpi | 6 pt | 6 pt | 一般文書では問題ないレベルです。 |
| 100 dpi | 10 pt | 14 pt | 大きめの文字がわかるレベルです。 |
| 72 dpi | 12 pt | 18 pt | タイトルの文字がわかるレベルです。 |
| 50 dpi | 16 pt | 24 pt | 文字はわかりません。プレビュー用に適しています。 |
| 25 dpi | 24pt | 32 pt | 文字はわかりません。サムネイル用に適しています。 |

【イメージログ管理】

イメージログ管理を利用するかどうかを設定します。

【イメージログ作成対象】

イメージログを作成するかどうかを設定します。

【イメージログ作成】

ログとして管理する画像データについて設定します。画像データは、ジョブ 1 つに対して、1 ファイル（PDF 形式）作成されます。

■ 【作成保証レベル】

ログとして管理する画像データを確実に作成するかどうかの保証レベルを、[低]、[高] から設定します。

■ [解像度]

ログとして管理する画像データの解像度を設定します。

■ [作成範囲]

ログとして管理する画像データを作成する範囲を設定します。

[イメージログ転送]

本機で作成したイメージログは、ログ管理サーバーに転送して、保存 / 管理できます。

■ [転送機能]

転送機能を使用して、イメージログをログ管理サーバーに転送するかどうかを設定します。

■ [転送保証レベル]

作成したイメージログが、ログ管理サーバーに確実に転送されるかどうかを保証するレベルを設定します。
[高] に設定すると、イメージログが転送できなかった場合、本体に 2000 件まで未送信ログとして保存され、2000 件を超えると次のジョブは実行できなくなります。[低] に設定すると、次のジョブは実行され、2000 件を超えた古いジョブから削除されます。

■ [転送動作]

本機からログ管理サーバーに、イメージログを自動転送するかどうかを設定します。

■ [時刻指定転送]

[転送動作] で [まとめて転送] に設定すると表示されます。

毎日決まった時刻にイメージログを転送するかどうかを設定します。

■ [転送タイミング]

[転送動作] で [まとめて転送] に設定すると表示されます。

本機からログ管理サーバーに、イメージログを転送するタイミングを指定します。

[ジョブ終了時のメール通知設定]

[通知対象ジョブ]

ジョブの実行結果を通知するサービスと、通知するタイミングを設定します。通知対象ジョブが 1 つ以上設定されている場合は、[設定あり] が表示されます。

[メールアドレス 1] ~ [メールアドレス 5]

メールの通知先を設定します。

[メール本文]

メールに付加されるコメントを入力できます。

[プラグイン設定]

組み込みプラグイン機能を利用する場合は、[組み込みプラグイン機能] を [有効] にします。[組み込みプラグイン一覧] には利用できるプラグインの名称、および状態が一覧表示されます。



補足

- この項目は、カスタマイズ拡張機能をご利用されている場合に表示されます。
- 電子署名の検証は、インターネットサービスで設定します。インターネットサービスの起動方法については、「インターネットサービスを使う」(P.149) を参照してください。

[その他の設定]

[オフセット排出 (センタートレイ)]、[オフセット排出 (センタートレイ上段)]、[オフセット排出 (センタートレイ下段)]

センタートレイに排出する場合に、区切りがわかるように用紙の排出位置を交互にずらして排出する設定をします。[セット単位] に設定すると部単位で、[ジョブ単位] に設定するとジョブ (プリント指示) 単位で、オフセット排出をします。

[オフセット排出 (排出トレイ)]

排出トレイに排出する場合に、区切りがわかるように用紙の排出位置を交互にずらして排出する設定をします。[セット単位] に設定すると部単位で、[ジョブ単位] に設定するとジョブ (プリント指示) 単位で、オフセット排出をします。

[オフセット排出 (フィニッシャートレイ)]

フィニッシャートレイに排出する場合に、区切りがわかるように用紙の排出位置を交互にずらして排出する設定をします。[セット単位] に設定すると部単位で、[ジョブ単位] に設定するとジョブ (プリント指示) 単位で、オフセット排出をします。

[折り目あり分割製本のオフセット]

分割単位でのオフセットの有無を設定します。

[オフセット排出 (フィニッシャートレイ)] を [セット単位] に設定している場合だけ有効です。

[インナーオフセット排出トレイ]、[インナー排出トレイ]

[インナーオフセット排出トレイ] (オプション) または [インナー排出トレイ] (オプション) が取り付けられている場合に、[あり] に設定します。

[プリントジョブの追い越し]

本機が何らかの原因で実行開始できない (プリントを開始しようとしたときに、用紙トレイの用紙がなくなったなど) 場合、ほかに実行開始できるジョブがあるときに、ジョブの追い越しを許可するかどうかを設定します。

[プリント用紙サイズ初期値]

レポート / リストをプリントするときを使う用紙サイズを設定します。

[奇数ページ文書の両面処理]

文書のページ数が奇数のときに、最終ページを両面処理するかどうかを設定します。

[サイズ検知切り替え]

用紙を検知するときの用紙サイズグループを設定します。

[ミリ / インチ切り替え]

画面に表示される単位を設定します。

[封筒トレイの使用]

封筒 / はがきトレイ (オプション) を取り付けたときに設定します。

[データの暗号化]

本機に記録されるデータを暗号化するかどうかを設定します。

本機からの情報漏えいを抑止するため、本機に保存されている認証情報、蓄積文書などのデータを暗号化します。また、プリントしたデータを本機に書き込むときに、暗号化されます。

■ データ暗号化機能の利用開始と設定変更について

データの暗号化の設定 / 解除、および暗号化キーを変更した場合、本機を再起動する必要があります。対応する記憶領域（ストレージ（オプション））は、再起動時に初期化されます。このとき、切り替え前のデータは保証されません。



注記

- データの暗号化機能の利用開始と設定変更は、必ず、必要な設定や文書を保存してから行ってください。
- 現在接続されているストレージ（オプション）が、暗号化の設定と一致しない場合は、エラーとなります。エラーメッセージと処置については、「エラーコード」(P.224)を参照してください。

[秘密情報の暗号化キー]

機械管理者のパスワードなどの秘密情報を暗号化するための暗号化キーを設定します。秘密情報を暗号化することで、ネットワーク上の盗聴や秘密情報の所有者以外からの参照を抑止します。



注記

- 暗号化キーを変更すると、バックアップした秘密情報を復元できなくなることがあります。



参照

- 暗号化キーは、工場出荷時には機械管理者のパスワードの初期値に設定されています。工場出荷時の機械管理者 ID とパスワードについては、本機に付属の「セットアップガイド」を参照してください。

[カスタマーエンジニアの操作制限]

カスタマーエンジニアのなりすましによって、本機のセキュリティの設定が変更されないように、カスタマーエンジニアの操作を制限するかどうかを設定します。

カスタマーエンジニアは、次の項目が変更できなくなります。

- 「[[イメージログ管理]]」(P.108)
- 「[[その他の設定]]」(P.111)
- 「[[データの暗号化]]」(P.111)
- 「[[秘密情報の暗号化キー]]」(P.112)
- 「[[カスタマーエンジニアの操作制限]]」(P.112)
- 「[[SSL/TLS 設定]]」(P.133)
- 「[[IPsec 設定]]」(P.134)
- 「[[機械管理者情報の設定]]」(P.139)
- 「[[不正使用防止の設定]]」(P.141)
- 機械管理の権限を与えられたユーザーの作成 / 変更
- SNMPv3 の設定変更

保守パスワードを設定すると、カスタマーエンジニアが本機の保守作業をするときには、保守パスワードの入力が必要になります。



注記

- [カスタマーエンジニアの操作制限] を設定した場合、次のことにご注意ください。
 - 機械管理者のユーザー ID とパスワードを忘れると、カスタマーエンジニアに制限されている項目の変更ができなくなります。
 - 保守パスワードを忘れると、本機でトラブルが発生したときにカスタマーエンジニアによる保守作業ができなくなります。
- 制限項目の変更や保守作業をするには、電子基板の交換が必要になります。電子基板の交換には、代金ならびに交換手数料が必要になりますので、機械管理者のユーザー ID とパスワード、および保守パスワードは忘れないようにご注意ください。



参照

- 機械管理の権限については、「管理の権限と権限グループ」(P.157)を参照してください。

[ソフトウェアダウンロード]

ファームウェア（本機に組み込まれたソフトウェア）のダウンロードを許可するかどうかを設定します。

この項目を無効にすると、[ネットワーク経由のソフトウェアダウンロード] に [許可] を設定してもファームウェアをダウンロードできません。この項目を有効にして、[ネットワーク経由のソフトウェアダウンロード] に [禁止] を設定すると、USB 経由のダウンロードだけ許可されます。

補足

- [ネットワーク経由のソフトウェアダウンロード] は、インターネットサービスで設定します。インターネットサービスの起動方法については、「インターネットサービスを使う」(P.149) を参照してください。

[針指定なし時のホチキス]

針あり、または針なしを指定せずにホチキス留めを指示した場合、どちらのホチキスを使用するかを設定します。

[カラーモード自動時の印刷動作]

[カラーモード] で [自動] に設定したときに、原稿の種類でカラーかモノクロかを判別させて印字するか、カラーで印字するかを設定します。

- [標準]
原稿の種類 (カラー / モノクロ) で判別させて印字します。
- [速度を優先]
カラーで印字します。

[状態表示ランプ (緑)]

ジョブの実行中など、本機がなんらかの動作をしているときに点灯 / 点滅するランプが有効になります。

[データランプの点灯パターン]

データランプの点灯パターンを設定します。

[ジョブ一時停止後の処理]

起動したジョブの操作を途中で止め、[自動リセット] で指定した時間が経過するまで放置した場合に、そのジョブを自動的に継続するか、自動的に中止するか、ユーザーが操作を再開するまで一時停止したままにするかどうかを設定します。

[転写装置の待機状態]

カラープリントと白黒プリントのどちらの状態で待機しておくかを設定します。よく使うカラーモードに合わせておくと、プリント速度が向上します。

[ドラムカートリッジ寿命時の動作]

ドラムカートリッジの交換時期になったとき、プリントを停止するかどうかを選びます。

[一般ユーザーの調整機能操作]

画質や紙折り位置の調整操作を、一般ユーザーに許可するかどうかを設定します。

参照

- 画質の調整については、「[画質調整]」(P.145) を参照してください。
- 紙折り位置の調整については、「[フィニッシャーの調整]」(P.146) を参照してください。

[アプリ設定]



[プリンター設定]

[メモリー設定]

インターフェイスごとに、受信バッファ（クライアントから送信されるデータを一時的に蓄えておく場所）のメモリー容量を設定します。

受信バッファ容量は、使用状況と目的に応じて変更できます。受信バッファ容量を増やすと、各インターフェイスに対応するクライアントの解放が早くなる場合があります。

注記

- メモリー容量を変更すると、メモリーがリセットされるので、各メモリー領域に格納されているデータは、すべて消去されます。

補足

- ポートが [停止] に設定されている場合は、対応する各項目は表示されません。

■ [PostScript 使用メモリー]

PostScript の使用メモリー容量を指定します。

補足

- この項目は、Adobe® PostScript® 3™ キット（平成 2 書体）（オプション）または Adobe® PostScript® 3™ キット（モリサワ 2 書体）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

■ [ART EX フォームメモリー]

ART EX でフォームを使用するときの、作業用メモリー領域を設定します。ストレージ（オプション）が取り付けられているときは、ストレージ（オプション）が指定され、変更できません。ストレージ（オプション）が取り付けられていない場合は、作業用メモリー領域を指定します。

■ [ART IV,ESC/P,201H フォームメモリー]

ART IV、ESC/P、201H でフォームを使用するときの、作業用メモリー領域を設定します。ストレージ（オプション）が取り付けられているときは、ストレージ（オプション）が指定され、変更できません。ストレージ（オプション）が取り付けられていない場合は、作業用メモリー領域を指定します。

■ [ART IV ユーザー定義用メモリー]

ART IV のユーザーが定義するデータ（外字、フォーム、線パターンフォームなど）を格納するメモリー容量を指定します。

■ [HP-GL/2 オートレイアウト用メモリー]

HP-GL/2 のオートレイアウト機能を使用するときの、作業用メモリー領域を設定します。ストレージ（オプション）が取り付けられているときは、ストレージ（オプション）が指定され、変更できません。ストレージ（オプション）が取り付けられていない場合は、作業用メモリー領域を指定します。

■ [ジョブチケット用メモリー]

ジョブチケット（ジョブの出力部数や後処理などを記述したもの）の処理に使用するメモリー容量を指定します。

■ [受信バッファ -LPD]

ストレージ（オプション）が取り付けられているときに、スプール処理するかどうかを設定します。スプール処理用の受信バッファは、ストレージ（オプション）が使用されます。



補足

- [スプールしない] に設定すると、LPD プリント処理をしている間は、同じインターフェイスで別のコンピューターからのデータを受信できません。
- [LPD のプリント順序] の設定により、[受信バッファ -LPD] が変更できないことがあります。詳しくは、「[LPD のプリント順序]」(P.118) を参照してください。

■ [受信バッファ -IPP]

ストレージ（オプション）が取り付けられているときに、スプール処理するかどうかを設定します。スプール処理用の受信バッファは、ストレージ（オプション）が使用されます。



補足

- [スプールしない] に設定すると、IPP プリント処理をしている間は、同じインターフェイスで別のコンピューターからのデータを受信できません。

[フォーム削除]

登録されたフォームを個別に削除します。プリンターモードごとのフォーム番号を指定して、表示されたフォーム名称を確認してから削除します。

[蓄積プリント文書の保存設定]

蓄積されているプリント文書（サンプルプリント、セキュリティプリント、プライベートプリント、認証プリントの文書）を設定した保存期間が経過したときに削除するかどうかを設定します。また電源を切 / 入した時に削除するかどうかを設定します。

[プリント文書一覧の初期表示]

蓄積プリント文書（サンプルプリント、時刻指定プリント、セキュリティプリント、プライベートプリント、認証プリントの文書）の一覧を [リスト表示] または [サムネイル表示] に設定します。

[プリント時の確認画面表示]

蓄積プリント文書をプリントするときに、プリント後の文書削除に関する確認画面を表示するかどうかを設定します。[しない] に設定すると、プリント後に文書は自動的に削除されます。

[プレビューイメージの作成]

蓄積プリント文書（サンプルプリント、時刻指定プリント、セキュリティプリント、プライベートプリント、認証プリントの文書）の一覧を表示するときに、プレビューイメージを作成するかどうかを設定します。



補足

- プレビューイメージを作成するかはプリンタードライバーから設定することもできます。

[プレビューイメージの作成時間]

蓄積プリント文書のプレビューイメージの作成時間を制限するかどうかを設定します。[制限する] に設定すると、制限時間内で作成されたプレビューイメージだけが表示され、制限時間を越えたプレビューイメージは表示されません。

[蓄積時の暗証番号最小桁数]

セキュリティプリントや認証プリントの文書を蓄積したり、プリントしたりするときに必要な暗証番号の最小桁数を設定します。



- 最小桁数を指定しない場合や、暗証番号を入力しない場合は、[0] に設定します。

[全文書選択時のプリント順]

蓄積プリント文書の全文書を選択した場合のプリントの順番を設定できます。

[その他の設定]

■ [プリント可能領域]

プリント可能領域を拡張するかどうかを設定します。

- [標準]
用紙の上下左右の端から余白 (4.1 mm) を除いた領域にプリントします。
- [拡張]
印字領域を広げてプリントします。

| | |
|----------|------------------------|
| A3 以下 | 用紙の上下左右の端から画像欠け幅を除いた領域 |
| A3 より大きい | 最大：305.0 mm×476.6 mm |
| 長尺用紙 | 最大：305.0 mm×1194.0 mm |



- 画像欠け幅については、「主な仕様」(P.245) を参照してください。
- プリンタードライバーでの設定方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

■ [用紙の置き換え]

自動トレイ選択で選択された用紙サイズの用紙がセットされたトレイがない場合に、ほかの用紙トレイにセットされている用紙に置き換えてプリントをするかどうかを設定します。



- エミュレーションを使用してプリントする場合は、ここでの設定にかかわらず、用紙補給のメッセージが表示されます。
- プリンタードライバー側から指定があった場合は、プリンタードライバー側の指定が優先されます。

■ [用紙種類不一致時の処理]

プリンタードライバーなどでプリント時に指定された用紙種類と、用紙トレイにセットされている用紙種類が一致しない場合の処理を設定します。

■ [手差しトレイの優先選択]

プリンタードライバーで [用紙トレイ選択] を [自動] に指定しているときに、トレイ 5 (手差し) を最優先で選ぶかどうかを設定します。



- [トレイ 5 (手差し)] の [トレイの優先順位] が優先設定されている場合、プリントジョブで指定している用紙サイズと用紙種類がセットされている用紙と一致するときに、トレイ 5 (手差し) から給紙されます。
- [トレイ 5 (手差し)] の [トレイの優先順位] が対象外に設定されている場合、プリントジョブで指定している用紙サイズと用紙種類がセットされている用紙と一致していなくてもトレイ 5 (手差し) から給紙されます。

■ [手差しプリントの確認]

トレイ 5 (手差し) の用紙にプリントするときに、セットされている用紙を確認する画面を表示するかどうかを設定します。

■ [未登録フォーム指定時の処理]

フォームデータファイル (オーバーレイ印字) にプリント指示されたフォームが、プリンター側で未登録だった場合に、ジョブをプリントするかどうかを設定します。

[プリントする] に設定した場合、指定したフォームがないため、データだけがプリントされます。

■ [異常終了後のプリント処理]

プリント中にエラーが発生した場合に、エラージョブをキャンセルして後続ジョブのプリントを自動的に継続するか、エラーを確認する画面を表示してユーザー操作で後続ジョブのプリントを再開するかを設定します。

■ [紙づまり発生時のプリント処理]

プリント中に紙詰まりが発生した場合に、紙詰まりの処置を終了したあと、正常に排出された次のページから自動的にプリントを再開するか、プリントを中止して、そのプリントジョブを削除するかを設定します。

■ [ID 印字]

プリンタードライバーを使ってプリントする場合、ユーザーを区別するために、プリントする用紙にプリンタードライバーに設定されたユーザー ID を印字するかどうかを設定します。プリンタードライバーに設定されたユーザー ID のうち、先頭の 64 文字まで印字されます。



- ID 印字機能を使用するには、あらかじめプリンタードライバーで、User ID の設定が必要です。設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

■ [バナーシート出力]

本機を複数のユーザーで使用している場合など、ユーザーごとのジョブを区分けして、印刷物が混在しないようにバナーシートを出力します。ジョブの前や後ろに出力することができます。

バナーシートには、日付、時間、ユーザー名、ファイル名などがプリントされます。

■ [バナーシートのオフセット出力]

仕分け用の用紙（バナーシート）を出力するときにオフセット排出するかどうかを設定します。

■ [バナーシートトレイ]

仕分け用の用紙（バナーシート）を給紙するトレイを設定します。

■ [PostScript のカラーモード初期値]

PostScript のカラーモードの初期値を設定します。



- この項目は、Adobe® PostScript® 3™ キット（平成 2 書体）（オプション）または Adobe® PostScript® 3™ キット（モリサワ 2 書体）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

■ [PostScript の用紙選択]

用紙選択時に、PostScript の遅延媒体選択（Deferred Media Selection）機能を有効にするかどうかを設定します。遅延媒体選択機能を有効にする場合は [自動] に、無効にする場合は [用紙トレイから選択] に設定します。

プリンタードライバー以外が生成する PostScript データを印刷するときに、PostScript データの記述方法によっては、意図どおりにトレイが選択されないことがあります。その場合は [用紙トレイから選択] に設定してください。



- この項目は、Adobe® PostScript® 3™ キット（平成 2 書体）（オプション）または Adobe® PostScript® 3™ キット（モリサワ 2 書体）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
- [自動] に設定していても、[用紙の置き換え] で [大きいサイズを選択] または [近いサイズを選択] を選んで、PostScript データを印字すると、自動的に [用紙トレイから選択] に切り換わります。

■ [PS フォント未搭載時の処理]

ジョブで指定された PostScript フォントがなかった場合の処理を設定します。[フォントを置換えてプリントする] に設定したときに、指定されたフォントがなかった場合は、Courier に置き換えられます。

置き換えられたフォントが日本語の場合は正しくプリントされません。日本語フォントでプリントする場合は [PostScript のフォント置き換え] を [ATCx を使用する] に設定してください。



- この項目は、Adobe® PostScript® 3™ キット (平成 2 書体) (オプション) または Adobe® PostScript® 3™ キット (モリサワ 2 書体) (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。

■ [PostScript のフォント置き換え]

ジョブで指定された PostScript フォントがなかった場合、フォントの置き換えで ATCx を使用するかどうかを設定します。

ATCx 機能は、ジョブで指定されたフォントが本機に搭載されていない日本語フォントの場合に、本機に搭載されている日本語の PostScript フォントに置き換えてプリントする機能です。



- この項目は、Adobe® PostScript® 3™ キット (平成 2 書体) (オプション) または Adobe® PostScript® 3™ キット (モリサワ 2 書体) (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。

■ [XPS PrintTicket 処理]

XPS (XML Paper Specification) 文書内に記述された印刷設定 (PrintTicket) を読み込むときの本機の動作を設定します。

■ [LPD のプリント順序]

LPD のプリントの順番を設定します。



- [LPD のプリント順序] の変更により、[受信バッファ -LPD] が自動的に変更されることがあります。詳しくは、「[受信バッファ -LPD]」(P.115) を参照してください。

■ [OCR フォントのグリフ (0x5C)]

OCR フォントを使用するときに、「0x5C」の文字をバックスラッシュ (\) と円記号 (¥) のどちらで印字するかを設定します。

[ジョブ情報設定]

[蓄積プリント文書の保存設定]

蓄積プリント文書 (サンプルプリント、セキュリティープリント、プライベートプリント、認証プリントの文書) を設定した保存期間が経過したときに削除するかどうかを設定します。また電源を切 / 入した時に削除するかどうかを設定します。

[プリント文書一覧の初期表示]

蓄積プリント文書 (サンプルプリント、時刻指定プリント、セキュリティープリント、プライベートプリント、認証プリントの文書) の一覧を表示するときの初期表示を設定します。

[プリント時の確認画面表示]

蓄積プリント文書をプリントするときに、プリント後の文書削除に関する確認画面を表示するかどうかを設定します。[しない] に設定すると、プリント後に文書は自動的に削除されます。

[プレビューイメージの作成]

蓄積プリント文書 (サンプルプリント、時刻指定プリント、セキュリティープリント、プライベートプリント、認証プリントの文書) の一覧を表示するときに、プレビューイメージを作成するかどうかを設定します。



- プレビューイメージを作成するかはプリンタードライバーから設定することもできます。

[プレビューイメージの作成時間]

蓄積プリント文書のプレビューイメージの作成時間を制限するかどうかを設定します。[制限する] に設定すると、制限時間内で作成されたプレビューイメージだけが表示され、制限時間を越えたプレビューイメージは表示されません。

[蓄積時の暗証番号最小桁数]

セキュリティープリントや認証プリントの文書を蓄積したり、プリントしたりするときに必要な暗証番号の最小桁数を設定します。



- 最小桁数を指定しない場合や、暗証番号を入力しない場合は、[0] に設定します。

[全文書選択時のプリント順]

蓄積プリント文書の全文書を選択した場合のプリントの順番を設定できます。

[外部アクセス設定]

外部アクセスの接続先を設定します。

外部アクセスとは、本機と連携した外部サービス进行操作パネルに直接表示したり、外部のサーバーに保存されている文書を選んで直接プリントしたりする機能です。コンピューターを経由せずに、ファイルのプリントができます。

[接続先の登録]

外部アクセスの接続先を登録します。



- 接続先の登録については、「接続先を登録する」(P.280) を参照してください。

[その他の設定]

■ [認証情報送信時の確認画面]

本機でユーザー認証をしたときのユーザー情報（認証したユーザー ID、パスワード、メールアドレス、サービス制限など）を外部アクセスの接続先サーバーに送信するときに、確認画面を表示するかどうかを設定します。



- [表示しない] に設定しても、認証情報に不備があるときには確認画面が表示されます。

[Web ブラウザー設定]

外部アクセス時の Web ブラウザーに関する設定をします。外部アクセスとは、本機と連携した外部サービス进行操作パネルに直接表示したり、外部のサーバーに保存されている文書を選んで直接プリントしたりする機能です。コンピューターを経由せずに、ファイルのプリントができます。



- [外部アクセスバージョンの選択] は、他機との連携サービス使用時に必要に応じて設定します。

[外部アクセスバージョンの選択]

外部アクセスに使用する Web ブラウザーのバージョンを設定します。

[終了時の永続 Cookie 削除]

外部アクセス終了時に永続（期限付き）Cookie を削除するかどうかを設定します。

[終了時のキャッシュ削除]

外部アクセス終了時にキャッシュを削除するかどうかを設定します。

[キャッシュの使用]

キャッシュを使用するかどうかを設定します。

[Cookie の使用]

Cookie を使用するかどうかまたは保存を確認するかを設定します。

[SSL 証明書検証失敗時の動作]

SSL サーバー証明書の検証を失敗したときに、サーバーへのアクセスを中止するか、アクセス確認画面を表示するかを設定します。

[ファイルプリント機能の使用]

ファイルプリント機能を使用するかどうかを設定します。ファイルプリント機能とは、外部 Web サーバーから取得した印刷可能なファイルを直接プリントできる機能です。

[機能コード]

使用する外部アクセス連携サービスに対して、必要に応じて設定します。

[リモートアシスタンス設定]

リモートアシスタンスに関する仕様を設定します。

[サービス起動待ち時間の上限]

サービス起動待ち時間の上限を指定します。

[監査ログ設定]



監査ログの設定と Syslog 送信 (Syslog プロトコルを使って監査ログをネットワーク上の他のコンピュータに送信) に関する設定をします。

監査ログとは、いつ、誰が、どのような作業を本体で行ったかを記録したものです。監査ログ機能を使用すると、本体の不正使用や不正使用の試みを監視できます。

補足

- 監査ログを取り出すには、インターネットサービスを使用します。詳しくは、インターネットサービスのヘルプを参照してください。インターネットサービスの起動方法については、「インターネットサービスを使う」(P.149) を参照してください。

参照

- 監査ログの保存項目については、弊社公式サイトで提供している『監査ログリファレンスガイド』を参照してください。

[監査ログの記録]

監査ログを記録するかどうかを設定します。

監査ログ機能が有効になると、本体に監査ログが記録されます。
ログは最大で 15000 件まで保存され、15000 件を超えると日付の古いログから削除されます。

[監査ログの Syslog 送信]

監査ログを Syslog サーバーに送信するかどうかを設定します。

[Syslog - サーバー名 / アドレス]

Syslog サーバーのサーバー名または IP アドレスを入力します。

[Syslog-UDP/TCP ポート番号]

Syslog サーバーの UDP または TCP のポート番号を入力します。

[Syslog-TLS ポート番号]

Syslog サーバーの TLS ポート番号を入力します。

[Syslog- トランスポートプロトコル]

Syslog に送信する際のトランスポートプロトコルを設定します。

[Syslog- ファシリティ]

Syslog に送信する監査ログのファシリティ番号を入力します。

[Syslog- タイムアウト値]

Syslog 送信時の送信タイムアウト値を入力します。

[送信エラー時の対応方式]

デバイス内の監査ログが Syslog 未送信のまま最大保存件数に達したときの動作を設定します。

[稼動優先] を選ぶと、日付の古いログから上書きされます。上書きされた監査ログは、Syslog 送信できません。

[監査優先] を選ぶと、システムエラーとなり、本機が停止します。本体と Syslog サーバーを接続できる状態にしてから、本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯したら、もう一度電源を入れてください。

[ネットワーク設定]



[ポート設定]



補足

- LPD、Port9100、HTTP-SSL/TLS 通信、プライマリーサーバー、セカンダリーサーバーは、ほかのポートと同じポート番号を使用しないでください。

HTTP を使用するポート (IPP、インターネットサービス (HTTP)、UPnP ディスカバリー、SOAP、Web Services on Devices (WSD)) は、LPD、Port9100、HTTP-SSL/TLS 通信のポート番号と同じ番号を使用しないでください。

また上記いずれも、次のポート番号を設定した場合、ポートの設定状況によっては正常に動作しなくなることがあります。

25、139、427、445、631、15000

参照

- HTTP-SSL/TLS 通信ポートについては、「[SSL/TLS 設定]」(P.133) を参照してください。

[USB]

■ [USB- ポート]

USB を使用するときは [起動] に設定します。

■ [USB- プリントモード指定]

使用するプリント言語の種類を設定します。[自動] に設定すると、ホスト装置から受信したデータが、どの言語で記述されているかを自動的に判断し、データに合わせて適切にプリント処理します。

■ [USB - PjL スイッチ]

PjL (Print job Language) コマンドとは、実際のプリントジョブの先頭に付加されたデータです。通常は、[有効] のままで使用します。

■ [USB- 自動排出時間]

本機にデータが送られなくなってから、用紙を自動的に排出するまでの時間を設定します。

■ [USB - Adobe 通信プロトコル]

補足

- この項目は、Adobe® PostScript® 3™ キット (平成 2 書体) (オプション) または Adobe® PostScript® 3™ キット (モリサワ 2 書体) (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。

- [標準]
プリンタードライバーの出力プロトコルが ASCII 形式のときに設定します。
- [バイナリー]
プリンタードライバーの出力プロトコルが BCP 形式のときに設定します。
- [TBCP]
プリンタードライバーの出力プロトコルが TBCP 形式のときに設定します。
- [RAW]
プリンタードライバーの出力プロトコルが ASCII 形式またはバイナリ形式のときに設定します。
Adobe 通信プロトコルの制御を受けないで、データをそのまま出力します。

■ [USB - PS 印刷待ちタイムアウト]

本機ではデータを一定時間受信しないと、接続を自動的に切断します。[USB - Adobe 通信プロトコル] を [RAW] に設定して、データを印刷しているときに、接続を切断するまでの時間を [USB- 自動排出時間] に従う場合は [無効]、PostScript のタイムアウトに従う場合は [有効] に設定します。

補足

- この項目は、Adobe® PostScript® 3™ キット (平成 2 書体) (オプション) または Adobe® PostScript® 3™ キット (モリサワ 2 書体) (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。

[LPD]

■ [LPD- ポート]

LPD を使用するときは [起動] に設定します。

■ [LPD- ポート番号]

LPD のポート番号を設定します。



- ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

■ [LPD - セッション数]

本機に LPD で同時に接続できるクライアントの最大数を設定します。

[IPP]

■ [IPP- ポート]

IPP を使用するときは [起動] に設定します。

■ [IPP- 追加ポート番号]

標準のポート番号以外で IPP を受け付けるかどうかを設定します。



- ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。ただし、HTTP を使用するポート（インターネットサービス (HTTP)、UPnP ディスカバリー、SOAP、Web Services on Devices (WSD)) は、同じポート番号を共用できます。

[Bonjour]

■ [Bonjour- ポート]

Bonjour を使用するときは [起動] に設定します。



- Bonjour を使用して検出したプリンターでプリントするためには、LPD ポートを起動しておく必要があります。

[Port9100]

■ [Port9100- ポート]

Port9100 を使用するときは [起動] に設定します。

■ [Port9100- ポート番号]

Port9100 のポート番号を設定します。



- ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

[SNMP]

■ [SNMP- ポート]

SNMP を使用するときは [起動] に設定します。

[メール受信]

■ [メール受信 - ポート]

メールを受信するときは [起動] に設定します。

[メール通知サービス]

■ [メール通知サービス - ポート]

メール通知サービスを使用するときは [起動] に設定します。メール通知サービスとは、本機の状態をメールで通知する機能です。



- 通知される本機の状態は、[消耗品状態]、[定期交換部品状態]、[用紙トレイ状態]、[排出先状態]、[紙づまり状態]、[ドア / カバー状態]、[エラー] です。

- メール通知サービスの設定はインターネットサービスで行います。詳しくは、インターネットサービスのヘルプを参照してください。インターネットサービスの起動方法については、「インターネットサービスを使う」(P.149)を参照してください。

[UPnP ディスカバリー]

■ [UPnP ディスカバリー - ポート]

UPnP を使用するときは [起動] に設定します。

■ [UPnP ディスカバリー - ポート番号]

UPnP の通信で使用するポート番号を設定します。



- ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。ただし、HTTP を使用するポート (IPP、インターネットサービス (HTTP)、UPnP ディスカバリー、SOAP、Web Services on Devices (WSD)) は、同じポート番号を共用できます。

[WSD]

■ [WSD プrint - ポート]

WSD (Web Services on Devices) プrintを使用するときは [起動] に設定します。

■ [WSD- ポート番号]

WSD (Web Services on Devices) の通信で使用するポート番号を設定します。



- ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。ただし、HTTP を使用するポート (IPP、インターネットサービス (HTTP)、UPnP ディスカバリー、SOAP、Web Services on Devices (WSD)) は、同じポート番号を共用できます。

[インターネットサービス (HTTP)]

■ [インターネットサービス - ポート]

インターネットサービスを使用するときは [起動] に設定します。

■ [インターネットサービス - ポート番号]

インターネットサービスで使用するポート番号を設定します。



- ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。ただし、HTTP を使用するポート (IPP、インターネットサービス (HTTP)、UPnP ディスカバリー、SOAP、Web Services on Devices (WSD)) は、同じポート番号を共用できます。
- [IPP- ポート] が [停止] に設定されているときは、[インターネットサービス - ポート番号] は設定できません。[IPP- ポート] を [起動] に設定し、 (電源 / 節電) ボタンを押して [再起動する] をタップしてください。本機が再起動したあとに、[インターネットサービス - ポート番号] を設定してください。
- インターネットサービスについては、「インターネットサービスを使う」(P.149)を参照してください。

[SOAP]

■ [SOAP- ポート]

SOAP ポートを使用するときは [起動] に設定します。

■ [SOAP- ポート番号]

SOAP で使用するポート番号を設定します。



- ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。ただし、HTTP を使用するポート (IPP、インターネットサービス (HTTP)、UPnP ディスカバリー、SOAP、Web Services on Devices (WSD)) は、同じポート番号を共用できます。

[ThinPrint]

■ [ThinPrint- ポート]

ThinPrint を使用するときは [起動] に設定します。

■ [ThinPrint- ポート番号]

ThinPrint で使用するポート番号を設定します。



- ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。
- 通信プロトコルが IPv4 で動作しているときに利用できます。
- 同時に接続できる最大接続数は、3 です。

[無線 LAN 設定]

無線 LAN 通信を行う際の基本設定をします。



- 設定手順については、「無線 LAN で接続する」(P.25) を参照してください。

[プロトコル設定]

通信に必要な条件を設定します。

[Ethernet 設定]

ネットワークの名称、速度、省電力機能について設定します。

[TCP/IP- 共通設定]

■ [プライマリーネットワーク]

複数のインターフェイスを使用している場合、プライマリーネットワークとして動作するネットワークの名称が表示されます。



- プライマリーネットワークの設定は、インターネットサービスで行います。詳しくは、インターネットサービスのヘルプを参照してください。インターネットサービスの起動方法については、「インターネットサービスを使う」(P.149) を参照してください。

■ [IP 動作モード]

TCP/IP の動作モードを設定します。

[TCP/IP- ネットワーク設定] / [TCP/IP 設定 (LAN1)]、[TCP/IP 設定 (LAN2)]、[TCP/IP 設定 (Wi-Fi)]



- セカンダリーネットワークで使用できるポートは、LPD、Port9100、SNMP、インターネットサービス (HTTP)、Bonjour、IPP、ThinPrint、WSD (Web Services on Devices)、AirPrint、Mopria です。その他のポートを使用するアプリケーションで、セカンダリーネットワークのインターフェイスを設定しても動作しないことがあります。

■ [IPv4-IP アドレス取得方法]

IP アドレスを取得する方法を設定します。

■ [IPv4-IP アドレス]

本機に割り当てられた IP アドレスを表示します。[IPv4-IP アドレス取得方法] が [手動で設定] に設定されているときは、IP アドレスを入力します。

■ [IPv4- サブネットマスク]

本機に割り当てられたサブネットマスクを表示します。[IPv4-IP アドレス取得方法] が [手動で設定] に設定されているときは、サブネットマスクを入力します。

■ [IPv4- ゲートウェイアドレス]

本機に割り当てられたゲートウェイアドレスを表示します。[IPv4-IP アドレス取得方法] が [手動で設定] に設定されているときは、ゲートウェイアドレスを入力します。

■ [IPv4-DNS 設定]

DNS サーバーを設定します。

■ [IPv4- 受付 IP アドレス制限]

本機と通信できる機器を制限するかどうかを設定します。本機との通信を許可する IPv4 アドレスの範囲は、インターネットサービスで登録します。

■ [IPv6 - アドレスの手動設定]

IPv6 アドレスを手動で設定するかどうかを設定します。

■ [IPv6 - 手動設定 IP アドレス]

[IPv6 - アドレスの手動設定] を設定したときに、本体の IPv6 アドレスを設定します。

■ [IPv6 - 手動設定 IP アドレスプレフィクス]

[IPv6 - 手動設定 IP アドレス] を設定した場合に、プレフィクス長を設定します。

■ [IPv6 - 手動設定ゲートウェイアドレス]

[IPv6 - 手動設定 IP アドレス] を設定した場合に、ゲートウェイアドレスを設定します。

■ [IPv6-DNS 設定]

DNS サーバーを設定します。

■ [IPv6 - 自動設定アドレス]

自動的に設定された IP アドレスを表示します。

■ [IPv6- 受付 IP アドレス制限]

本機と通信できる機器を制限するかどうかを設定します。本機との通信を許可する IPv6 アドレスの範囲は、インターネットサービスで登録します。

[Ping 接続確認]

設定した条件で本機とお使いのコンピューターが正しく通信できるかどうかを確認できます。

[ネットワークプロトコルレポート出力]

プライマリーインターフェイスのプロトコル設定をレポート出力します。

[本体メールアドレス / ホスト名]

[メールアドレス]

本機のメールアドレスを設定します。128 文字以内で入力します。

[名前]

本機の名前を 32 文字以内で入力します。

[ホスト名]

ホスト名を半角 32 文字以内で入力します。

[ドメイン名] / [ドメイン名 (LAN1)]、[ドメイン名 (LAN2)]、[ドメイン名 (Wi-Fi)]

ドメイン名を 64 文字以内で入力します。

[プロキシサーバー一覧]

外部アクセスを使用する場合に設定します。

[プロキシサーバー設定] / [プロキシサーバー設定 -LAN1]、[プロキシサーバー設定 -LAN2]、[プロキシサーバー設定 -Wi-Fi]

お使いのネットワーク環境に応じて、インターフェイスごとのプロキシサーバー設定ができます。

■ [プロキシサーバーの使用]

プロキシサーバーを使用するかどうかを設定します。

■ [プロキシサーバー指定方法]

プロキシサーバーの指定方法を設定します。

- [すべてのプロトコルに同じ設定]
HTTP プロキシサーバーの設定が、HTTPS プロキシサーバーの設定としても反映されます。
- [プロトコルごとに設定]
HTTPS プロキシサーバーと HTTP プロキシサーバーをそれぞれ設定できます。
- [PAC ファイルを指定]
HTTPS プロキシサーバーと HTTP プロキシサーバーの設定に PAC ファイルを使用して設定します。
- [自動検出]
HTTPS プロキシサーバーと HTTP プロキシサーバーの設定を検出します。

■ [PAC ファイルの URL]

[プロキシサーバー指定方法] を [PAC ファイルを指定] に設定した場合に、URL を指定します。

■ [プロキシを使用しないアドレス]

プロキシサーバーを使用しないアドレスを設定します。IPv4 アドレス、IPv6 アドレスおよび FQDN 形式で指定できます。また、[*] (ワイルドカード) を使った指定もできます。

■ [HTTP プロキシサーバー - サーバー名]

HTTP プロキシサーバーのサーバー名または IP アドレスを入力します。IPv4 アドレス、IPv6 アドレスおよび FQDN 形式で指定できます。

■ [HTTP プロキシサーバー - ポート番号]

HTTP プロキシサーバーのポート番号を指定します。



- ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

■ [HTTP プロキシサーバー - 認証]

HTTP プロキシサーバーに接続するときに認証が必要な場合は、[有効] に設定します。

■ [HTTP プロキシサーバー - ログイン名]

HTTP プロキシサーバーのログイン名を入力します。

■ [HTTP プロキシサーバー - パスワード]

HTTP プロキシサーバーのパスワードを入力します。

■ [HTTPS プロキシサーバー - サーバー名]

HTTPS プロキシサーバーのサーバー名または IP アドレスを入力します。IPv4 アドレス、IPv6 アドレスおよび FQDN 形式で指定できます。

■ [HTTPS プロキシサーバー - ポート番号]

HTTPS プロキシサーバーのポート番号を指定します。



- ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

■ [HTTPS プロキシサーバー - 認証]

HTTPS プロキシサーバーに接続するときに認証が必要な場合は、[有効] に設定します。

■ [HTTPS プロキシサーバー - ログイン名]

HTTPS プロキシサーバーのログイン名を入力します。

■ [HTTPS プロキシサーバー - パスワード]

HTTPS プロキシサーバーのパスワードを入力します。

[EP プロキシサーバー設定]

インターネットを使用して EP システムを利用する場合の、EP 通信用のプロキシサーバーについて設定します。

[プロキシサーバー指定方法]

プロキシサーバーの指定について設定します。[プロトコルごとに設定] に設定すると、HTTPS プロキシサーバーおよび HTTP プロキシサーバーをそれぞれ設定できます。

[すべてのプロトコルに同じ設定] に設定すると、HTTPS プロキシサーバーの設定が HTTP プロキシサーバーに反映されます。

[HTTPS プロキシサーバー - サーバー名]

HTTPS プロキシサーバーのサーバー名または IP アドレスを入力します。IPv4 アドレス、IPv6 アドレスおよび FQDN 形式で指定できます。

[HTTPS プロキシサーバー - ポート番号]

HTTPS プロキシサーバーのポート番号を指定します。



- ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

[HTTPS プロキシサーバー - 認証]

HTTPS プロキシサーバーに接続するときに認証が必要な場合は、[有効] に設定します。

[HTTPS プロキシサーバー - ログイン名]

HTTPS プロキシサーバーのログイン名を入力します。

[HTTPS プロキシサーバー - パスワード]

HTTPS プロキシサーバーのパスワードを入力します。

[HTTP プロキシサーバー - サーバー名]

HTTP プロキシサーバーのサーバー名または IP アドレスを入力します。IPv4 アドレス、IPv6 アドレスおよび FQDN 形式で指定できます。

[HTTP プロキシサーバー - ポート番号]

HTTP プロキシサーバーのポート番号を指定します。



- ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

[HTTP プロキシサーバー - 認証]

HTTP プロキシサーバーに接続するときに認証が必要な場合は、[有効] に設定します。

[HTTP プロキシサーバー - ログイン名]

HTTP プロキシサーバーのログイン名を入力します。

[HTTP プロキシサーバー - パスワード]

HTTP プロキシサーバーのパスワードを入力します。

[メール送受信設定]



- インターネットサービスを使用して、OAuth2.0 認証を使用する Exchange Online の POP3 サーバーの設定ができます。インターネットサービスの起動方法については、「インターネットサービスを使う」(P.149) を参照してください。
- POP3 サーバーは 1 つしか設定できません。あとから設定した内容が有効になります。
- OAuth2.0 認証を使用する Exchange Online の POP3 サーバーを設定した場合、本項目の設定内容は使用されません。

[POP3 サーバー設定]

■ [POP3 サーバー - サーバー名 / アドレス]

POP3 サーバーのサーバー名または IP アドレスを入力します。

■ [POP3 サーバー - ポート番号]

POP3 サーバーのポート番号を設定します。

■ [POP3 サーバー - 受信間隔]

POP3 サーバーへのメールの確認間隔を設定します。

■ [POP3 サーバー - ログイン名]

POP3 サーバーにログインするための名前を入力します。

■ [POP3 サーバー - パスワード]

POP 受信用のパスワードを設定します。

■ [POP 受信パスワードの暗号化]

パスワードを暗号化するかどうかを設定します。

[SMTP サーバー設定]

[接続確認] をタップし、本機から指定したメールアドレスにテストメールを送信することで、本機と SMTP サーバーとの接続状況を確認できます。また、[接続確認] > [SMTP 通信レポート出力] を選ぶと、本機が送信 / 受信した SMTP 通信のプロトコルの内容を表すレポートが出力されます。

■ [SMTP サーバー - サーバー名 / アドレス]

SMTP サーバーのサーバー名または IP アドレスを入力します。

■ [SMTP サーバー - ポート番号]

SMTP サーバーのポート番号を設定します。

■ [送信時の認証方式]

SMTP 送信時の認証方法を設定します。



- 認証方式は、AUTH GSSAPI (Kerberos 指定時のみ)、AUTH NTLMv2、AUTH NTLMv1、AUTHPLAIN、AUTH LOGIN、AUTH CRAM-MD5 に対応しています。

■ [送信時の認証ユーザー]

送信時の認証ユーザーを設定します。

■ [SMTP AUTH- ログイン名]

SMTP サーバーのログイン名を設定します。

■ [SMTP AUTH- パスワード]

SMTP サーバーの認証用パスワードを設定します。

[外部認証サーバー設定]

[認証システムの設定]

■ [認証システム]

認証するためのシステムを選びます。



- 外部認証サーバーに、ApeosWare Management Suite 2 (別売) を使用する場合は、[Authentication Agent] を選んでください。
- Microsoft Entra ID の設定は、インターネットサービスで行います。各項目については、インターネットサービスのヘルプを参照してください。インターネットサービスの起動方法については、「インターネットサービスを使う」(P.149) を参照してください。
- Microsoft Entra ID を使用する場合は、ストレージ (オプション) が必要です。

■ [認証応答待ち時間の上限]

認証の応答の待ち時間の上限を設定します。

■ [ユーザー情報検索時間の上限]

ユーザー情報の検索の待ち時間の上限を設定します。

[Kerberos サーバー設定]

■ [Kerberos サーバー 1(標準)] ~ [Kerberos サーバー 5]

Kerberos サーバー 1 ~ 5 それぞれに、次の設定をします。

Kerberos サーバー 1 に設定した内容が、認証時の初期値として使用されます。

- [プライマリーサーバー - 名前 / アドレス]
プライマリーサーバーのサーバー名または IP アドレスを指定します。
- [プライマリーサーバー - ポート番号]
プライマリーサーバーのポート番号を指定します。



- ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。
- [セカンダリーサーバー - 名前 / アドレス]
セカンダリーサーバーのサーバー名または IP アドレスを指定します。
- [セカンダリーサーバー - ポート番号]
セカンダリーサーバーのポート番号を指定します。



- ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。
- [認証先 (レルム名)]

サーバーとして、Windows Server のアクティブディレクトリーを使用する場合は、アクティブディレクトリーのドメイン名を認証先に指定します。

 **補足**

- 認証先名は、必ず大文字で設定してください。小文字で設定すると認証エラーになります。

■ [サーバー証明書の検証]

サーバー証明書を検証するかどうかを設定します。

[LDAP サーバー設定]

LDAP 認証を行うための、サーバーや認証方式について設定します。

[接続確認] をタップすることで、本機と LDAP サーバーとの接続状況を確認できます。また、[接続確認] > [LDAP 通信レポート出力] を選ぶと、本機が送信 / 受信した LDAP 通信のprotocolsの内容を表すレポートが出力されます。

■ [プライマリーサーバー - 名前 / アドレス]

プライマリーサーバーのサーバー名または IP アドレスを指定します。

■ [プライマリーサーバー - ポート番号]

プライマリーサーバーのポート番号を指定します。

 **補足**

- ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

■ [セカンダリーサーバー - 名前 / アドレス]

セカンダリーサーバーのサーバー名または IP アドレスを指定します。

プライマリーサーバーがメンテナンス中などで通信不能の場合に、代替サーバーに接続します。

■ [セカンダリーサーバー - ポート番号]

セカンダリーサーバーのポート番号を指定します。

プライマリーサーバーがメンテナンス中などで通信不能の場合に、代替サーバーに接続します。

 **補足**

- ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

■ [認証方式]

• [直接認証]

入力した User ID とパスワードで、LDAP サーバーに認証します。

• [ユーザー属性認証]

特定の属性情報を基に、LDAP サーバーに認証します。[入力ユーザー名の属性] に属性名を設定します。

■ [入力ユーザー名の属性]

LDAP 認証の認証方式が [ユーザー属性認証] の場合に、属性名を設定します。

特定の属性情報を基に、LDAP サーバーに認証します。[入力ユーザー名の属性] に属性名を設定します。たとえば、メールアドレスを入力させる場合は「mail」を設定します。

 **補足**

- ユーザーごとに一意な値であることが保証される属性を設定してください。

■ [認証用ユーザー名の属性]

ユーザーの表示名や識別子とする属性名を入力します。

 **補足**

- ユーザーごとに一意な値であることが保証される属性を設定してください。
- 設定した属性が LDAP サーバーから取得できない場合は、ログインできません。

- 認証方式が [直接認証] の場合、操作パネルから認証時に入力するユーザー ID の属性と同じものを設定してください。

■ [ユーザー名追加文字列の使用]

操作パネルから認証情報を入力するときに、[ユーザー名の追加文字列] で入力した情報を自動で付加するかどうかを設定します。

■ [ユーザー名の追加文字列]

ユーザー名追加文字列を使用する場合の、追加する文字列を設定します。

[ユーザー名追加文字列の使用] で [使用する] を設定した場合にその固定文字列を入力します。

例)

[入力ユーザー名の属性] に [mail] を設定し、その対象ユーザーの登録情報が [mail@myhost.example.com] だった場合、通常は [mail@myhost.example.com] と入力する必要があります。

[ユーザー名追加文字列の使用] を [使用する] に設定し、[ユーザー名の追加文字列] で [myhost.example.com] と指定すれば、操作パネルから入力するデータは [mail] だけで後ろの [myhost.example.com] は本機が付加するので、入力の手間を簡略化できます。

■ [IC カード認証に使用する属性]

IC カードを使用して LDAP 認証する場合に、カード ID の検索属性を設定します。

■ [ネットワーク用ユーザー ID 属性]

IC カードを使用して LDAP 認証する場合に、IC カードのカード ID で検索するユーザー名の属性を設定します。取得したユーザー名は、外部サービスに通知する認証情報として使用されます。

■ [検索用の認証ユーザー]

検索のときに使用するユーザーを設定します。

■ [検索用ログイン名]

[ユーザー属性認証] 方式の LDAP 認証で、ディレクトリーサーバーにアクセスするときのユーザー名を設定します。ディレクトリーサービス認証が必要なときだけ設定してください。

補足

- 基本的には DN 形式で入力してください。ただし、Active Directory の場合、表示名などの属性値を指定することもできます。詳しくは、Microsoft 社の公式サイトを参照してください。

■ [検索用パスワード]

[検索用ログイン名] で指定したユーザーのログインパスワードを設定します。

■ [検索起点エントリー (DN)]

検索の起点となる文字列を入力できます。

補足

- ここで指定したエントリーがユーザー検索の基準になります。ログインするユーザーが含まれる階層のエントリーを指定してください。ただし、エントリー以下の階層に含まれるユーザーやグループの数が多すぎると、本機へのログインに時間がかかることがあります。

■ [起点からの検索範囲]

起点からの検索範囲を設定します。

■ [検索対象のオブジェクトクラス]

検索のためのオブジェクトクラスを入力できます。

■ [リフェラルの使用]

接続した LDAP サーバーから、別の LDAP サーバーへの接続を指示された場合に、指示されたサーバーに再接続するかどうかを設定します。

■ [リフェラルのホップ数上限]

リフェラル機能を使用する場合に、接続するサーバーの切り替えを何回まで許可するかを設定します。

[セキュリティ設定]

[SSL/TLS 設定]

サーバーやクライアントコンピューターと本機との通信を暗号化するときに設定します。

■ [TLS セキュリティレベル]

TLS 通信時のセキュリティレベルを設定します。通常は [セキュリティ強化モード (推奨)] に設定します。

■ [本体の証明書 - サーバー]

SSL/TLS 通信するための、サーバー証明書を設定します。

■ [HTTP-SSL/TLS 通信]

SSL/TLS 通信だけを使用可能にするかどうかを設定します。



- [HTTPS のみ使用可能] に設定すると、[UPnP ディスカバリー] および [WSD] の各ポートは停止します。

■ [HTTP-SSL/TLS 通信ポート番号]

SSL/TLS 通信のポート番号を指定します。



- ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

■ [LDAP-SSL/TLS 通信]

認証や検索などのアクセスに SSL/TLS 通信できます。

SSL 通信を有効にした場合には、[LDAP サーバー設定] の [プライマリーサーバー - ポート番号] と [セカンダリーサーバー - ポート番号] を変更する必要があります。LDAP のディレクトリーサーバーの SSL 通信のポート番号は、通常、636 になります。

■ [SMTP-SSL/TLS 通信]

SSL/TLS 通信について設定します。

■ [ThinPrint-SSL/TLS 通信]

SSL/TLS 通信を有効にするかどうかを設定します。

■ [本体の証明書 - クライアント]

SSL/TLS 通信するための、クライアント証明書を設定します。

■ [相手サーバーの証明書の検証]

本機を SSL クライアントとして動作させるときに、相手サーバーの証明書を検証するかどうかを設定します。

[S/MIME 設定]

メールを暗号化、または署名機能を利用して送受信するときに設定します。

■ [本体の証明書 -S/MIME]

S/MIME 通信で使用する証明書を設定します。

■ [S/MIME 通信]

S/MIME 通信を有効にできます。

■ [メッセージダイジェスト方式]

メールをメッセージダイジェストと呼ばれるハッシュ値に変換するとき使用する暗号方式を設定します。

補足

- 証明書の公開鍵が RSA 512 ビットの場合、[SHA512] に設定すると不完全なメールが送信されることがあります。

■ [本文の暗号化方式]

本文の暗号化方式を設定します。

■ [証明書の自動取得]

アドレス帳に登録されているメールアドレスから S/MIME 用証明書が添付されたメールを受信したときに、証明書を保存できます。

[IPsec 設定]

■ [IPsec 設定]、[IPsec 設定 (LAN1)]

ネットワークをパケット単位で暗号化して安全に通信するように設定します。

補足

- セカンダリーイーサネットキット (オプション)、または無線キット (オプション) を取り付けている場合、この項目は 1 回線にのみ指定できます。
- [IKE 認証方式]、[事前共有鍵]、[DH グループ]、[PFS 設定] についてはネットワーク管理者に確認してください。
- [IKE 認証方式]
IKE 認証方式を設定します。
- [事前共有鍵]
事前共有鍵を入力します。
[IKE 認証方式] が [事前共有鍵による認証] の場合に設定します。
- [本体の証明書]
IPsec 通信で使用する証明書を設定します。
[IKE 認証方式] が [デジタル署名による認証] の場合に設定します。
ここでは、インターネットサービスで作成した自己証明書は使用できません。
- [IPsec 通信]
IPsec 通信を有効にするかどうかを設定します。
- [IKE SA のライフタイム]
IKE SA の有効期間を設定します。

補足

- [IPsec SA のライフタイム] より長くなるように設定してください。
- [IPsec SA のライフタイム]
IPsec SA の有効期間を設定します。

補足

- [IKE SA のライフタイム] より短くなるように設定してください。
- [DH グループ]
DH グループを設定します。
- [PFS 設定]
PFS を有効にするかどうかを設定します。
- [相手アドレス -IPv4]
通信を許可する相手先の IPv4 アドレスまたは範囲を設定します。
- [相手アドレス -IPv6]
通信を許可する相手先の IPv6 アドレスまたは範囲を設定します。

- [非 IPsec 通信]
相手アドレスで設定した以外のアドレスの、IPsec に対応していない機器に対して、通信をするかどうかを設定します。

[IEEE 802.1x 設定]

■ [IEEE 802.1x 設定]、[IEEE 802.1x 設定 (LAN1)]、[IEEE 802.1x 設定 (LAN2)]

- [IEEE 802.1x 認証の使用]
IEEE 802.1x 認証を使用するかどうかを設定します。
- [認証方式]
IEEE 802.1x の認証方式を設定します。



- [EAP-TLS] は、ストレージ (オプション) とクライアント証明書が必要です。
- [認証ユーザー名]
認証ユーザー名を 128 文字以内で入力します。
- [認証パスワード]
認証パスワードを 1 ~ 128 文字以内で入力します。
- [サーバー証明書の検証]
[認証方式] が [PEAP/MS-CHAPv2] の場合に、サーバー証明書を検証するかどうかを設定します。

[証明書失効確認の設定]

■ [証明書検証レベル]

証明書の検証レベルを設定します。

[低] の場合、証明書の失効確認を行いません。

[中] の場合、証明書の失効確認まで行います。ネットワークエラーなどで失効確認できなかったときも有効な証明書として扱います。

[高] の場合、失効していないと確認された証明書だけを有効な証明書として扱います。

■ [証明書失効確認方式]

証明書失効確認の方式を設定します。

本機が検証局から失効リスト (CRL) を取得して照合する場合は、[失効リスト (CRL) を取得する] に設定します。証明書の有効性を確認できる OCSP (Online CertificateStatus Protocol) を使って認証局や検証局に問い合わせる場合は、[OCSP で問い合わせる] に設定します。

■ [失効リスト (CRL) の自動取得]

失効リスト (CRL) を自動取得するかどうかを設定します。

■ [失効リスト (CRL) 取得時間上限]

失効リスト (CRL) を取得する時間の上限を設定します。

■ [OCSP レスポンダー指定方法]

OCSP レスポンダーの指定方法を指定します。

[証明書に記載の URL を使用]、[本体で設定した URL を使用] から設定できます。

■ [OCSP レスポンダー]

[OCSP レスポンダー指定方法] で [本体で設定した URL を使用] を選んだ場合は、問い合わせ先の URL を設定します。

■ [OCSP 通信時間上限]

OCSP レスポンダーとの通信時間の上限を設定します。

[証明書の拡張鍵用途の検証]

証明書を検証する際に、以下も同時に検証します。

- サーバー証明書を検証する場合は、証明書の拡張鍵用途に「サーバー認証」が含まれていること
- OCSP を使用して証明書の失効確認をする場合は、OCSP レスポンダー証明書の拡張鍵用途に「OCSP 署名」が含まれていること

[リモート操作パネル]

本機の操作パネルをネットワーク接続されたクライアントコンピューターから操作できるようにするかどうかを設定します。操作する場合はインターネットサービスの [ホーム] タブ下部の [リモート操作パネル] をクリックします。

クライアントコンピューターから本機を操作している場合、本機の操作パネルにはリモート操作中であることを示すメッセージが表示されます。このとき、本機の操作パネルは使用できません。



- 本機の操作パネルの操作中は、リモート操作パネル機能を使用できません。
- リモート操作中、本機の操作パネルにはクライアントコンピューターで操作している画面が表示されるため、第三者に読み取られることがあります。

[その他の設定]

■ [FIPS140 認定モード]

FIPS140 (Federal Information Processing Standard 140) とは、暗号モジュールに関するセキュリティ要件の仕様を規定する米国連邦標準規格です。

FIPS140-2 認定モードを [有効] に設定することによって、セキュリティをより強化できます。



- 次の機能は FIPS140 認定されていない暗号アルゴリズムで動作するため使用しないことをお勧めします。
 - SMB 認証
 - SMTP 認証
 - HTTP 認証
 - DocuWorks ダイレクトプリント
 - LDAP 認証
 - Kerberos 認証
 - 802.1x 認証
 - PDF ダイレクトプリント

[その他の設定]

[メール受信プロトコル]

使用環境に合わせて設定します。

[認証ユーザー名へのドメイン付加]

ユーザー名にドメイン名を付加するかどうかを設定します。

[メールプリントの排出先]

メールプリントを排出するトレイを選びます。[自動] を選択すると、排出先の初期設定値に設定されている排出先が自動的に選択されます。

[送受信ドメインの制限]

メールの送受信を許可、または禁止するドメインを設定します。

[USB ポート ID 固定機能]

USB インターフェースで通知する ID としてシリアル番号を使用するか固定値を使用するかを設定します。

[認証 / 集計管理]



[集計管理]

本機を利用するユーザーの登録や集計管理機能の運用設定ができます。

60 参照

- 設定方法については、「認証と集計管理機能」(P.156)を参照してください。

[ユーザー登録 / 集計確認]

集計管理を有効にする場合、本機を使用するユーザーの認証を行うために、User ID およびユーザー名を登録します。

また、ユーザーごとに、使用枚数の上限を設定したり、累積ページを確認したりできます。

補足

- この項目は、「認証 / セキュリティー設定」 > 「認証の設定」 > 「ユーザー登録 / 集計確認」と共通です。
- ユーザー登録は、「[認証 / 集計の設定]」(P.137)で集計管理の方法を設定してから、行ってください。
- この項目は、「[認証 / 集計の設定]」(P.137)を「ネット認証 / 集計」に設定しているときは表示されません。

60 参照

- 詳しくは、「ユーザー登録 (本体認証)」(P.162)を参照してください。

[登録内容の削除 / 集計リセット]

全登録ユーザーに対して、一括で登録内容を削除したり、集計データをリセットしたりできます。削除 / リセットする前に、レポートを出力して、削除 / リセットされる内容を事前に確認することもできます。

補足

- この項目は、「認証 / セキュリティー設定」 > 「認証の設定」 > 「登録内容の削除 / 集計リセット」と共通です。
- この項目は、「[認証 / 集計の設定]」(P.137)を「ネット認証 / 集計」に設定しているときは表示されません。

[認証 / 集計の設定]

認証と集計の方式を設定します。

補足

- この項目は、「認証 / セキュリティー設定」 > 「認証の設定」 > 「認証 / 集計の設定」と共通です。

■ [認証しない]

認証や集計機能を利用しません。

■ [本体認証 / 集計]

本機に登録されたユーザー情報を、認証と集計に使用します。



- [本体認証 / 集計] から、[認証しない]、または [外部認証 / 集計] に変更した場合、本機に登録されているユーザー情報がすべて削除されます。

■ [ネット認証 / 集計]

外部サービスで管理されているユーザー情報を本機に登録して認証と集計に使用します。



- 集計が必要なサービスを利用しようとしたときに表示される認証画面で、「Account ID」を入力します。



- 詳しくは、「集計管理方法の種類」(P.158)を参照してください。

■ [外部認証 / 集計]

外部認証サーバーに登録されたユーザー情報を認証に使用します。



- 外部認証に使用したユーザー情報は、本機に保存されます。外部認証サーバーが起動していなくても、本機に保存されたユーザー情報を利用してユーザーを認証し、本機を使用できます。
- 外部認証に使用したユーザー情報を本機に保存させない場合は、[外部認証情報の本体保存]を[しない]に設定してください。[外部認証情報の本体保存]については、「[認証の設定]」(P.139)を参照してください。
- [認証システム]が[Authentication Agent]の場合、認証サーバーで集計管理ができます。

■ [カスタム認証]

サーバーレス認証連携キット（別売）を使用するときに設定します。

■ [各機能の集計]

機能ごとに集計管理するかどうかを設定します。

[集計管理情報の設定]

■ [User ID の代替表記]

認証情報の表示エリアをタップしたときに表示される認証画面の、「User ID」と表示されている表記を、「UserName」や「Number」のように必要に応じて変更できます。



- この項目は、[認証 / セキュリティー設定] > [認証の設定] > [認証情報の設定] > [User ID の代替表記] と共通です。

■ [User ID の入力表示]

User ID を入力したときの文字列の表示方法を設定できます。



- この項目は、[認証 / セキュリティー設定] > [認証の設定] > [認証情報の設定] > [User ID の代替表記] と共通です。

■ [Account ID の代替表記]

認証情報の表示エリアをタップしたときに表示される認証画面の、「Account ID」と表示されている表記を、「AccountName」や「Number」のように必要に応じて変更できます。



- この項目は、「[認証 / 集計の設定]」(P.137)を[ネット認証 / 集計]に設定しているときに表示されます。

■ [Account ID の入力表示]

Account ID を入力したときの文字列の表示方法を設定できます。



- この項目は、「[認証 / 集計の設定]」(P.137) を [ネット認証 / 集計] に設定しているときに表示されます。

■ [認証時の集計情報表示]

認証直後に、ユーザー別の集計情報を表示するかどうかを設定します。設定すると、認証中のユーザーの [累積ページ数]、[上限ページ数]、[残りページ数] を確認できます。



- この項目は、[認証 / 集計の設定] が [本体認証 / 集計] に設定されているときに表示されます。
- 利用を制限されている機能は表示されません。
- 機械管理者で認証したときには、表示されません。

[認証 / セキュリティー設定]

本機を利用するユーザーの登録や認証およびセキュリティーの設定ができます。



- 機能については、「[認証と集計管理機能]」(P.156) を参照してください。

[機械管理者情報の設定]

機械管理者のユーザー ID とパスワードを設定します。

設定変更の抑止やセキュリティー確保のために、本機を設置したあと、すぐに機械管理者のユーザー ID とパスワードの変更をお勧めします。

[機械管理者情報のリセット] で、機械管理者のユーザー ID とパスワードを [認証] 画面からリセットできるように設定できます。[許可] にする場合は、[リセットコードの通知先] にリセットコードを送信するメールアドレスを設定します。



- パスワードなしに設定する場合は、[機械管理者パスワード] を空欄にします。



- ログインするときにパスワードを入力するかどうかの設定については、「[パスワードの運用]」(P.141) を参照してください。

[認証の設定]

■ [認証 / 集計の設定]

この項目は、「[認証 / 集計の設定]」(P.137) と共通です。

■ [アクセス制御]

操作パネルの操作、本機の設定変更、および各機能の利用を制限できます。本機を利用するときに、ユーザー認証が必要になります。



- 外部認証時 (ApeosWare Management Suite 2 (別売) を使用する場合を除く) は、外部認証サーバーから取得したアクセス許可情報に従います。
- 外部認証時にゲストユーザーを使用する場合、ゲストユーザーにアクセス制御は設定できません。本機を使用できるゲストユーザーを制限する場合は、「[認証情報の設定]」(P.140) を参照してください。

■ [ユーザー登録 / 集計確認]

この項目は、「[ユーザー登録 / 集計確認]」(P.137) と共通です。

■ [登録内容の削除 / 集計リセット]

この項目は、「[登録内容の削除 / 集計リセット]」(P.137) と共通です。

■ [権限グループ登録]

機械管理者は認証ユーザーに対して、本来利用できない機能を利用できるようにする「権限」を与えることができます。権限グループを登録しておく、ユーザーを権限ごとにグループ化して管理できます。

■ [認証情報の設定]

認証するときに必要な情報を設定します。

- [User ID の代替表記]
この項目は、「[User ID の代替表記]」(P.138) と共通です。
- [User ID の入力表示]
この項目は、「[User ID の入力表示]」(P.138) と共通です。
- [認証失敗の記録]
不正なアクセスを検知するための、認証回数を設定します。所定時間（10 分）以内に、ここで設定した回数の認証に失敗したときに、エラーとして記録します。
- [認証解除時の確認画面表示]
認証解除時に確認画面を表示するかどうかを設定します。
- [認証時の User ID 文字種]
認証時、User ID の文字種を設定します。

注記

- プライベートプリントに文書が保存された状態で設定を切り替えないでください。プリントできないなど、問題が発生することがあります。保存された文書をすべてプリントしたあと、設定を切り替えてください。
- “ABC” と “abc” のように、[大文字小文字を区別しない] に設定すると同一になる User ID が登録されているときは、設定を切り替えないでください。設定を切り替えると、一部のユーザーが表示されないなど、問題が発生することがあります。大文字小文字を区別しなくても同一にならない User ID に変更してから設定を切り替えてください。
- [IC カード接続時の認証]
本体認証の場合、本機に IC カード読み取り装置（オプション）が接続されているときに、User ID 認証を有効にするかどうかを設定します。
[IC カードのみ] に設定すると、ユーザー ID 認証は使用できません。[IC カードまたはパネル入力] に設定すると、IC カード認証とユーザー ID 認証の両方が使用できます。
- [ゲストの使用]
外部認証の場合、ゲストのユーザーを使用するかどうかを設定します。
- [IC カード認証時のユーザー登録]
本体認証の場合、登録されていないユーザーが IC カード読み取り装置（オプション）に IC カードをかざしたときに、ユーザーを登録するかどうかを設定します。
[しない] に設定すると、ユーザー登録はされません。[自動登録する] に設定すると、ユーザーが登録されます。
- [IC カードの使用]
本機に IC カード読み取り装置（オプション）が接続されているときに、IC カードを使用するかどうかを設定します。
[する] に設定すると、IC カードでジョブを制御するかしないかを、機能ごとに設定できます。
[する (PKI のみ)] は、認証やジョブ制御には IC カードを使用せず、セキュリティ機能だけを制御する場合に設定します。

補足

- この項目は、カスタマイズ拡張機能を利用している場合に表示されます。
- [IC カード連携モード]
外部認証の場合、IC カード認証時に、パスワードの入力を要求するかどうかを設定します。
- [IC カードの証明書検証]
IC カードを使用する場合に、IC カードの証明書を検証するかどうかを設定します。
有効にすると、IC カードの所有者を、PIN コードによる照合だけでなく、IC カード内の証明書の検証と秘密鍵との鍵の一致を検証します。この場合、IC カードの証明書の上位 CA 証明書を本機にインポートしておく必要があります。

無効にすると、IC カードの所有者を、PIN コードによる照合で検証します。

- [Kerberos サーバーの証明書検証]

外部認証サーバーに Kerberos サーバーを使用する場合に、Kerberos サーバーの証明書を検証するかどうかを設定します。

 **補足**

- この項目は、カスタマイズ拡張機能を利用している場合に表示されます。

- [非接触型 IC カード設定]

非接触型 IC カード認証時に、認証の解除方法を設定します。

[カードが離れると認証解除] に設定すると、IC カードを IC カード読み取り装置（オプション）から離すことで認証が解除されます。[パネル指示で認証解除] に設定すると、タッチパネルディスプレイの操作で認証が解除されます。

- [外部認証情報の本体保存]

外部認証に使用したユーザー情報を本機に保存するかどうかを設定します。保存に設定して外部認証を行うと、ユーザー情報が本機に保存され、外部認証時に外部認証サーバーが起動していても、本機に保存されたユーザー情報を利用してユーザーを認証し、本機を使用できます。

 **補足**

- [IC カード連携モード] を [パスワード入力不要] に設定していて、IC カードで認証したユーザーだけが対象です。

- 本体保存されたユーザー情報を利用して認証されたユーザーは、[(保存済み外部認証情報での動作時の権限)] に設定されます。

- [保存済み外部認証情報削除]

本機に保存した外部認証のユーザー情報を、削除するかどうかを設定します。

 **補足**

- IC カードで認証したユーザーだけが対象です。

■ [不正使用防止の設定]

なりすましによる不正な操作が行われないようにするための機能です。同一のユーザー ID の認証に連続して失敗した場合にアクセスを拒否するように、その失敗回数を設定します。

 **補足**

- 本機を再起動すると、失敗した回数はリセットされます。

- 設定する場合は、[認証回数制限 - 機械管理者]、または [認証回数制限 - 一般ユーザー] を [する] に設定してください。

- アクセス拒否状態を解除するときは、本機を再起動してください。

- 一般ユーザーの認証回数制限は、本体認証の場合に設定できます。

■ [パスワードの運用]

- [パスワード使用 - パネル入力時]

機械管理者、および本体認証の場合のユーザーが、操作パネルでログインするときに、パスワードを入力するかどうかを設定します。

- [パスワード使用 - IC カード認証時]

機械管理者、および本体認証の場合のユーザーが、IC カード認証をするときに、パスワードを入力するかどうかを設定します。

- [パスワードの最小桁数]

パスワードの最小桁数を指定します。

- [パスワードの最大桁数]

パスワードの最大桁数を指定します。

- [リモートからの認証]

本機のパスワードのセキュリティー強度の設定（パスワードの最小文字数 / 最大文字数の設定、ユーザー ID を含むパスワードの許可 / 禁止の設定、パスワードの必須文字の設定）を変更した結果、すでに設定されているパスワードが条件を満たさなくなった場合に、プリントジョブなどのログイン操作を伴わない認証を受け付けるかどうかを設定します。

■ [認証 / プライベートプリントの設定]

受信したプリントジョブを、どのように扱うかを設定します。

プリントジョブを直接プリントしたり、認証プリントやプライベートプリントに一時的に保存したりできます。

参照

- プライベートプリント、認証プリントについては、「機密文書をプリントする - プライベートプリント -」(P.84)、および「機密文書をプリントする - 認証プリント -」(P.88)を参照してください。
- 認証プリント、プライベートプリントをするには、[受信制御] の設定が必要です。
- [受信時の PJI 命令制御]
外部機器からのプリント受信を制御できます。コンピューターからプリント指示された認証プリントまたはプライベートプリントジョブを、指示どおりに [認証プリント] または [プライベートプリント] に保存する場合は、[する] に設定します。
- [出力時の PJI 命令制御]
外部機器からのプリントジョブのプリントを制御できます。[認証プリント] または [プライベートプリント] に保存された文書をプリントする場合、出力用紙、両面プリントなどのプリントモードをジョブの指示どおりに行うときは、[する] に設定します。
- [受信制御]
受信したプリントジョブを、どのように扱うかを設定します。
 - [プリンターの認証に従う]
認証 / 集計機能を利用し、[アクセス制御] の [サービスへのアクセス] で、[プリンター] を [制限する] に設定しているときに、[認証成功のジョブ]、[認証が不正のジョブ]、[User ID なしのジョブ]、それぞれについてジョブの扱いを設定できます。

補足

- [認証成功のジョブ] で [プライベートプリントに保存] に設定すると、プリンタードライバーで、セキュリティープリント、サンプルプリント、時刻指定プリントを指示しても無視されます。
- [プライベートプリントに保存]
認証機能を有効にしているにかかわらず、User ID が付いたジョブをすべてプライベートプリントとして保存します。また、[User ID なしのジョブ]、[PJI 命令なしのジョブ]、それぞれについてジョブの扱いを設定できます。

補足

- [プライベートプリントに保存] に設定すると、プリンタードライバーで、セキュリティープリント、サンプルプリント、時刻指定プリントを指示しても無視されます。
- [認証プリントに保存]
認証機能を有効にしているにかかわらず、受信したジョブをすべて認証プリントとして保存します。

補足

- [認証プリントに保存] に設定すると、プリンタードライバーで、セキュリティープリント、サンプルプリント、時刻指定プリントを指示しても無視されます。

[強制印字一時解除]

強制印字をするが、特定の出力物だけ強制印字なしでプリントする場合などに使用します。

強制複製管理、強制ペーパーセキュリティー、UUID 印字、強制アノテーションなどの強制印字が設定されていても、一時的に強制印字を解除できます。

本機能を [する] に設定した状態で実行した、文書プリントが一時解除の対象となります (通常のプリント、レポート / リストは対象なりません)。

認証ユーザーの属する権限グループの [強制印字の一時解除] が [許可する] に設定されている場合だけ表示されます。

補足

- TrustMarkingBasic (別売) でユーザーが指定した複製管理に関しては解除対象なりません。

[ジョブ操作の設定]

実行中や実行待ちジョブやログの表示制限ができます。認証していないユーザーやジョブオーナーでないユーザーに対して、プライバシー保護、情報漏えいの抑止になります。

[ダイレクトプリント機能の禁止]

本機能を [する] に設定した場合、文書プリント、メール受信プリント、モバイルプリントなどのダイレクトプリント機能が使用できなくなります。

[ストレージの上書き消去設定]

データ上書き消去キット（オプション）を取り付けている場合に、データ削除時の上書き消去回数を設定します。

データが記録されていた領域に情報を持たないデータを上書きすることで、データの不正な取り出しや復元を防ぐことができます。

■ [上書き回数の設定]

データ削除時の上書き消去回数を設定します。

[稼働時の改ざん防止]

本機の稼働時に、許可されていないファイルへのアクセスと実行を検知するかを設定します。

[する] に設定すると、ファイルの書き込みや実行を拒否して、アクセス内容を監査ログに記録します。

[ログ記録のみ] に設定すると、監査ログには記録しますが、ファイルへのアクセスは拒否されません。

63 参照

- 監査ログに記録するには、監査ログ機能を有効に設定する必要があります。詳しくは、「[監査ログ設定]」(P.120)を参照してください。

[保守]

点検または修理の依頼、その他の調整をします。



[保守レポートの出力]

[機能別カウンターレポート]

63 参照

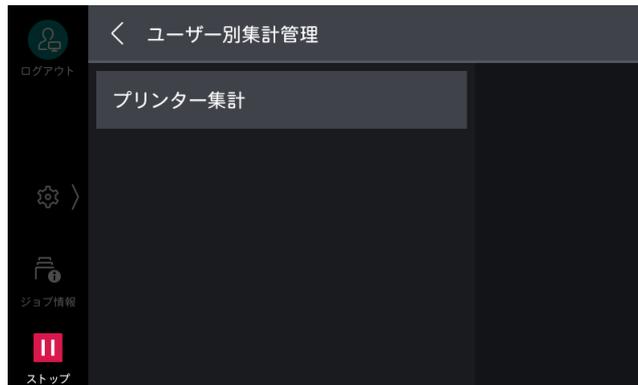
- 詳しくは、「[機能別カウンターレポート]」(P.50)を参照してください。

[ユーザー別集計管理]

ユーザー別の集計管理レポートをプリントできます。なお、ユーザー別集計管理レポートは、集計管理機能を有効にしているかどうかで、表示される画面が異なります。

■ [認証 / 集計の設定] が [本体認証 / 集計] 以外に設定されている場合

[認証 / 集計の設定] が [本体認証 / 集計] 以外に設定されている場合は、次の画面が表示され、プリンター集計レポートをプリントできます。



• [プリンター集計]

コンピューター別（ジョブオーナー別）に、本機でプリントした総ページ数、使用した用紙の総枚数の情報がプリントされます。[プリンター集計] は、データを初期化した時点からのカウントになります。

■ [認証 / 集計の設定] が [本体認証 / 集計] に設定されている場合

[認証 / 集計の設定] が [本体認証 / 集計] に設定されている場合は、[プリンター集計管理] が表示されます。集計管理機能を [集計する] に設定している機能の、ユーザー別の集計管理レポートを、機能ごとにプリントできます。

63 参照

- 各機能の集計管理機能の設定については、「[集計管理]」(P.137) を参照してください。

集計管理レポートをプリントするには、各集計管理レポートを選び、ユーザー番号の範囲を指定します。

補足

- レポートに表示される「No.」は、[集計管理]、[認証 / セキュリティー設定] で、ユーザー登録した No.（ユーザー管理番号）です。



• [プリンター集計管理]

コンピューター別（ジョブオーナー別）に、本機でプリントした総ページ数、使用した用紙の総枚数を確認できます。[プリンター集計管理] は、データを初期化した時点からのカウントになります。

補足

- [認証 / 集計の設定] の [ネット認証 / 集計] で [各機能の集計] の [プリンター] を [集計しない] に設定している場合は、[プリンター集計管理] ではなく、[プリンター集計] が表示されます。

[使用済み製品回収情報シート]

使用済みの本機の回収を依頼する場合に、情報シートをプリントできます。お客様から弊社プリンターサポートデスクまたは販売店に本機の情報をご通知いただくことにより、本機の回収経路が決定します。

[GS1-128 バーコードサンプル]

GS1-128 バーコードサンプルを出力できます。

バーコードモードを有効にした場合と無効にした場合のバーコードのプリント状態を確認できます。

[機械の詳細設定の変更履歴レポート]

[機械の詳細設定] で設定した日時や設定番号、設定値の履歴レポートをプリントすることができます。

[初期設定項目]

本機を使うための初期設定が完了しているかどうかを確認できます。初期設定されていない項目は、ここから設定画面を表示できます。

[ソフトウェアオプションの設定]

この機能は、カスタマーエンジニアが設定します。

[ソフトウェアオプションの設定 - USB]

ソフトウェアオプション機能を有効にします。

[機械起動時のプログラム診断]

本機の電源を入れたときに、プログラム診断をするかどうかを設定します。

プログラム診断によって、意図的なプログラムの書き換えなどの異常が見つかった場合は、起動を停止し、監査ログに記録します。

[IC カード情報の確認]

[IC カード情報の確認] を選び、ご利用の IC カードを IC カード読み取り装置 (オプション) にタッチすると、IC カードの情報がタッチパネルディスプレイに表示されます。



- 認証に使用する情報は、インターネットサービスで設定します。詳しくは、インターネットサービスのヘルプを参照してください。インターネットサービスの起動方法については、「インターネットサービスを使う」(P.149)を参照してください。

[証明書の一括削除 / 初期化]

証明書を一括削除し、初期化します。[ネットワーク設定] > [セキュリティ設定] の [SSL/TLS 設定] で証明書を使用するように設定しているにもかかわらず、証明書ファイルの異常などが原因で、証明書データが使用できなくなった場合に使用します。

[カスタムトナー / ドラム]

カスタムモードでプリンターを使用したい場合に設定します。対応したトナー / ドラムでご使用ください。



- 本設定による使用は、本来の本機の機能、性能が保たれないことがあり、当社推奨品における品質保証の範囲外となります。そのまま使い続けると、本機が故障する原因となることがあります。本機の故障となった場合は、有償修理となります。
- [使用する] に設定したときは、トナーカートリッジやドラムカートリッジの残量表示が行われません。

[画質調整]



- [[その他の設定]] (P.111) で [一般ユーザーの調整機能操作] を [許可] に設定すると、以下の項目を一般ユーザーが調整できるようになります。

- [アライメント調整]
- [面内ムラ調整]
- 画質調整を定期的にも実行しても状況が改善しない場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。

[階調補正]

プリント画質の色階調がずれた場合に、簡易的に階調を補正します。



- 詳しくは、「階調を補正する」(P.176)を参照してください。

[アライメント調整]

用紙にプリントする出力イメージの位置を調整します。



- 詳しくは、「アライメント調整を行う」(P.181)を参照してください。

[転写出力調整]

トナー画像が用紙に最適な状態で転写されない場合に、用紙種類ごとに最適な転写出力値を設定できます。



- 詳しくは、「転写出力調整」(P.146)を参照してください。

[面内ムラ調整]

用紙にプリントする出力イメージの濃度のムラを調整します。



- 詳しくは、「出力イメージの手動濃度調整 (手動面内ムラ調整)」(P.188)を参照してください。

[カラーレジ補正]

印刷結果に色ずれが発生した場合に、カラーレジストレーションを補正します。



- 本機の性能に影響が出るおそれがありますので、[カラーレジ補正]を連続して実行しないでください。

[フィニッシャーの調整]

[製本折り位置の調整]

用紙サイズが、B4 未満 / 以上の場合で製本折り位置をそれぞれ設定します。



- 詳しくは、「製本折り位置の調整」(P.189)を参照してください。

[パンチ位置の調整]

用紙サイズが、B4 未満 / 以上の場合でパンチ位置をそれぞれ設定します。



- 詳しくは、「パンチ位置の調整」(P.191)を参照してください。

[紙折り位置の調整]

用紙の種類ごとに紙折りの位置を調整し、10 種類のタイプに設定できます。設定したタイプは各トレイに割り当てます。



- 一般ユーザーが本項目を調整できるように設定できます。[[その他の設定]](P.111)で[一般ユーザーの調整機能操作]を[許可]に設定します。



- 詳しくは、「紙折り位置の調整」(P.192)を参照してください。

[針なしホチキスのとじ強度]

針なしホチキスを使用する場合のとじ強度を設定します。

[ホチキス優先モードの設定]

針あり、または針なしのどちらを優先するかを設定します。



- 補足
・ [針なし専用] に設定しても、中とじ用のホチキスは使用できます。

[パンチユニット設定]

2/4 穴パンチユニットか 2/3 穴パンチユニット (US 規格) かを設定します。



- 詳しくは、「パンチユニットの設定」(P.200)を参照してください。

[折りを補助する筋]

中とじ製本時、冊子が開く場合に、折りを補助する筋を入れることができます。



- 補足
・ 筋の本数が多いほど、製本速度が遅くなります。
・ 用紙サイズや用紙種類によっては、折りを補助する筋を入れても冊子が開いてしまう場合があります。



- 詳しくは、「折りを補助する筋の設定」(P.201)を参照してください。

[定着器クリーニング]

用紙をセットして、定着器に付着した汚れをクリーニングすることで、プリント画質を改善できます。



- 補足
・ A4□、またはレター□以上のサイズの用紙をセットしてください。使用する用紙の枚数は、1～5枚の範囲で設定できます。
・ クリーニングには黒塗りつぶし画像を使用するため、通常のプリントよりもトナーを多く消費します。

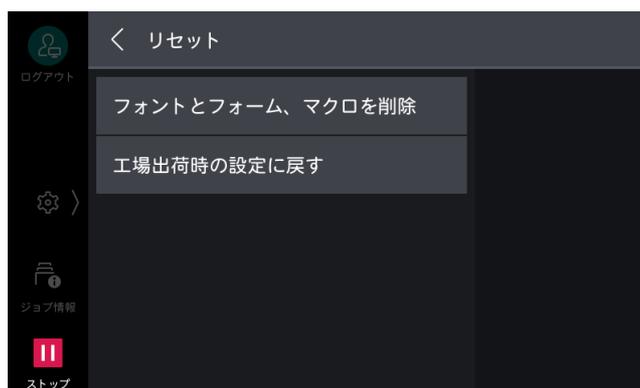
[機械の詳細設定]

この項目は、通常は使用しません。

[トレイ 5(手差し) ガイド調整]

トレイ 5(手差し) の用紙ガイド幅の検知精度を補正します。

[リセット]



[フォントとフォーム、マクロを削除]

本体内にダウンロードされたフォントデータ、フォームデータ、マクロデータをすべて削除します。

[工場出荷時の設定に戻す]

本機のすべての設定を工場出荷時の状態に戻します。

8 便利な使い方

8.1 インターネットサービスを使う

インターネットサービスは、Web ブラウザーを使用して、本機の状態やジョブの履歴を表示したり、本機の設定を変更したりするためのサービスです。

TCP/IP 環境で、本機とネットワーク接続されたコンピューターで使用できます。



補足

- 操作パネルの操作中は、インターネットサービスで設定を変更できません。
- 各画面で設定できる項目の詳細については、インターネットサービスのヘルプを参照してください。②をクリックすると表示されます。

1. Web ブラウザーを起動します。

2. Web ブラウザーのアドレス入力欄に、本機の IP アドレスまたは URL を入力し、〈Enter〉キーを押します。

補足

- ポート番号を指定する場合は、アドレスの後ろに「:」に続けて「80」（工場出荷時のポート番号）を指定してください。ポート番号は、【機能設定リスト】で確認できます。
- 本機の IP アドレスを確認するには、ホーム画面で、 > 【機械確認 (メーター確認)】をタップします。
- 機械管理者でログインする場合は、画面右上の【ログイン】をクリックし、機械管理者の【ユーザー ID】と【パスワード】を入力してください。

参照

- 機械管理者の【ユーザー ID】と【パスワード】の初期値については、本機に付属の「セットアップガイド」を参照してください。

8.2 本機のソフトウェアを使う

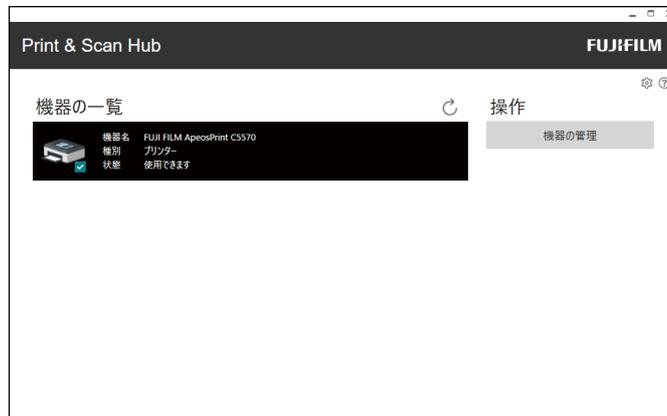
次の URL にアクセスし、ダウンロードしてインストールしてください。

<https://fujifilm.com/fb/download/>

Print & Scan Hub (Windows)

本機の状態を確認するソフトウェアです。本機や本機の消耗品の状態を表示、プリントジョブの完了やエラーを通知します。

Print & Scan Hub を起動するには、コンピューターで [スタート] > [FUJIFILM Print & Scan Hub] > [Print & Scan Hub] をクリックします。



ContentsBridge Utility (Windows)

PC上のファイルを直接本機に送ってプリントするためのソフトウェアです。PDFファイルや、TIFFファイル、XPS (XML Paper Specification) ファイルをプリントできます。

ContentsBridge Utility を起動するには、デスクトップの [ContentsBridge] ショートカットをダブルクリックします。

Supply Monitor (Windows)

ネットワーク上のプリンターや、USB接続されたプリンターを監視し、プリンター情報や消耗品情報を取得するソフトウェアです。消耗品の残量が少なくなったときは、Supply Monitor をインストールしたコンピューターにアラート情報を表示したり、指定したメールアドレスにメールで通知したりできます。

また、Supply Monitor の画面に表示されるオンラインショップ、イー・クイックスへのリンク、またはメール内に記載されたイー・クイックスへのリンク先のURLをクリックすると、インターネットで消耗品を注文できます。

Supply Monitor を起動するには、コンピューターで [スタート] > [FUJIFILM Supply Monitor] > [Supply Monitor] をクリックします。

補足

- お使いの Supply Monitor のバージョンや設定によっては、イー・クイックスへのリンクが表示されません。



8.3 暗号化機能を設定する

証明書の種類

本機で暗号化機能を利用するには、証明書が必要です。

使用できるデバイス証明書は次の 2 種類です。

- インターネットサービスを使用して作成した自己証明書
- 認証局 (CA) によって署名された証明書

参照

- 証明書のインポートについては、インターネットサービスのヘルプを参照してください。インターネットサービスについては、「インターネットサービスを使う」(P.149) を参照してください。

暗号化の種類により使用できるデバイス証明書は次のとおりです。

○：使用可 ×：使用不可

| 暗号化の種類 | 自己証明書 | 認証局 (CA) によって署名された証明書 |
|--|-------|-----------------------|
| コンピューターから本機への HTTP 通信を暗号化する (SSL/TLS サーバー) | ○ | ○ |
| 本機から LDAP サーバーへの HTTP の通信を暗号化する (SSL/TLS クライアント) | × | ○ |
| IPsec を使用して暗号化する | × | ○*1 |

*1 : [IKE 認証方式] が [デジタル署名] の場合に使用します。

暗号化機能について

コンピューターから本機への HTTP 通信を暗号化する (SSL/TLS サーバー)

本機の SSL/TLS 通信機能を有効にすることで、本機とネットワーク上のコンピューター間での HTTP 通信を暗号化できます。

通信を暗号化するには、自己証明書または認証局 (CA) によって署名された証明書のどちらかのデバイス証明書を使用します。

補足

- HTTP の通信を暗号化すると、IPP ポートでプリントするときに通信データを暗号化 (SSL 暗号化通信) できます。

本機から外部サーバーへの HTTP の通信を暗号化する (SSL/TLS クライアント)

外部サーバーと本機との HTTP 通信の暗号化には、SSL/TLS プロトコルを使用します。

通常、証明書を設定する必要はありませんが、外部サーバーが SSL クライアント証明を要求する設定の場合には、認証局 (CA) によって署名された証明書を使用できます。

また、サーバー証明書の検証を有効にして外部サーバーの SSL/TLS サーバー証明書を検証する場合には、その証明書パスに含まれる上位の認証局の証明書をインターネットサービスを使用して本機にインポートする必要があります。インターネットサービスについては、「インターネットサービスを使う」(P.149) を参照してください。

IPsec を使用して暗号化する

IPsec を使用して本機と暗号化通信ができます。

[IKE 認証方式] が [デジタル署名による認証] の場合は、認証局 (CA) によって署名されたデバイス証明書が必要です。

[IKE 認証方式] が [事前共有鍵による認証] の場合は、デバイス証明書は必要ありません。

また、通信相手装置を検証する場合には、相手側のほかの認証局で作成された証明書 (上位の CA 証明書) を本機にインポートしておく必要があります。

HTTP の通信を暗号化するための設定

証明書の準備

HTTP の通信を暗号化するための証明書を用意します。自己証明書 (SSL サーバー用) を生成する方法と、認証局 (CA) によって署名された証明書をインポートする方法があります。



- [デバイス証明書] または [その他の証明書] のどちらかのカテゴリに、すでに同じ証明書が登録されている場合は、インポートできません。登録されている証明書を削除してから、インポートしてください。

自己証明書 (SSL サーバー用) を生成する場合

1. インターネットサービスを起動し、機械管理者でログインします。



- 詳しくは、「インターネットサービスを使う」(P.149) を参照してください。

2. [システム] > [セキュリティ設定] > [証明書設定] をクリックします。
3. [新規作成] > [自己署名証明書の作成] をクリックします。
4. [デジタル署名の方式] を必要に応じて設定します。
5. [公開鍵のサイズ] を必要に応じて設定します。
6. [発行者] を必要に応じて設定します。
7. [有効期間 (日数)] を必要に応じて設定します。
8. [実行] をクリックします。
9. 生成が終了したら、[閉じる] をクリックします。

認証局 (CA) によって署名された証明書を本機にインポートする場合

認証局 (CA) によって署名された証明書を本機にインポートする前に、自己証明書を生成し、HTTP 通信を暗号化するよう設定します。

1. インターネットサービスを起動し、機械管理者でログインします。



- 詳しくは、「インターネットサービスを使う」(P.149) を参照してください。

2. [システム] > [セキュリティ設定] > [証明書設定] をクリックします。
3. [インポート] をクリックします。
4. [選択] をクリックし、インポートするファイル名を指定します。
5. [パスワード] にインポートする証明書に設定されたパスワードを入力します。

6. [パスワードの再入力] に同じパスワードを入力します。
7. [実行] をクリックします。
8. インポートが終了したら、[閉じる] をクリックします。

証明書の設定

サーバー用の証明書を本機に設定します。



- 本項目の設定を行っていない状態では、自己生成した証明書がサーバー用として自動的に設定されます。

1. インターネットサービスを起動し、機械管理者でログインします。



- 詳しくは、「インターネットサービスを使う」(P.149) を参照してください。

2. [システム] > [セキュリティ設定] > [SSL/TLS 設定] をクリックします。
3. [本体の証明書 - サーバー] で証明書を選びます。



- 証明書を選べないときは、[システム] > [セキュリティ設定] > [証明書設定] にデバイス証明書が登録されていることを確認してください。

4. [HTTP - SSL/TLS 通信ポート番号] を必要に応じて設定します。



- ほかのポートと同じポート番号にしないでください。

5. [保存] をクリックします。
6. [今すぐ再起動] をクリックします。

コンピューターから本機へのアクセス方法

Web ブラウザーと本機の通信を暗号化する場合には、Web ブラウザーのアドレス欄には「http」ではなく「https」から始まるアドレスを入力します。

IPP の通信（インターネット印刷）を暗号化する場合は、コンピューターでプリンターを追加するときに、プリンターの URL に、「http」ではなく「https」から始まるアドレスを入力します。

IPsec を使用して暗号化するための設定

IPsec 通信で IKE 認証方式を [デジタル署名] にするときは、本機に証明書を設定します。IPsec 用証明書をインポートします。インポート後、IPsec の設定をします。

IKE 認証方式が事前共有鍵の場合には、「証明書の準備」(P.153) は不要です。「IPsec の設定」(P.154) を行ってください。



- [デバイス証明書] または [その他の証明書] のどちらかのカテゴリーに、すでに同じ証明書が登録されている場合は、インポートできません。登録されている証明書を削除してから、インポートしてください。
- IPsec 用証明書としてインポートする証明書に V3 拡張 (KeyUsage) がある場合には、デジタル署名のビットがオンに設定されている必要があります。

証明書の準備

インターネットサービスで証明書を設定するには、HTTP の通信を暗号化する設定を行ってから、認証局 (CA) によって署名された証明書を本機にインポートして、IPsec 用証明書として設定します。

補足

- 本機にインポート可能な証明書の公開鍵は、RSA 公開鍵 4096 ビットまで、または ECC 公開鍵の P-256/P-384/P-521 のどちらかとなります。
- IPsec 用には、インターネットサービスで作成した自己証明書は使用できません。

参照

- HTTP の通信を暗号化する方法については、「HTTP の通信を暗号化するための設定」(P.152) を参照してください。

1. インターネットサービスを起動し、機械管理者でログインします。

参照

- 詳しくは、「インターネットサービスを使う」(P.149) を参照してください。

2. [システム] > [セキュリティー設定] > [証明書設定] をクリックします。

3. [インポート] をクリックします。

4. [選択] をクリックし、インポートするファイル名を指定します。

補足

- インポートするファイルのパスを直接入力することもできます。

5. [パスワード] にインポートする証明書に設定されたパスワードを入力します。

6. [パスワードの再入力] に同じパスワードを入力します。

7. [実行] をクリックします。

8. インポートが終了したら、[閉じる] をクリックします。

IPsec の設定

本機の操作パネルを使用して、IPsec の設定をする手順について説明します。

1. 機械管理者でログインします。

参照

- ログインの方法については、「インターネットサービスを使う」(P.149) を参照してください。

2. ホーム画面で をタップします。

3. [設定] をタップします。

4. [ネットワーク設定] > [セキュリティー設定] > [IPsec 設定] をタップします。

5. [IPsec 設定] または [IPsec 設定 (LAN1)] をタップします。

6. IKE 認証方式を設定します。

デジタル署名方式の場合

1) [本体の証明書] をタップします。

2) 認証に使う証明書を選び、[OK] をタップします。

3) [IKE 認証方式] をタップします。

4) [デジタル署名による認証] を選び、[OK] をタップします。

事前共有鍵方式の場合

1) [事前共有鍵] をタップします。

- 2) 事前共有鍵にする文字列を入力し、[次へ] をタップします。
- 3) 事前共有鍵の文字列を再入力し、[OK] をタップします。
- 4) [IKE 認証方式] をタップします。
- 5) [事前共有鍵による認証] を選び、[OK] をタップします。

7. [IPsec 通信] をタップし、[有効] を選びます。

8. その他の必要な設定をします。



- 詳しくは、「[IPsec 設定]」(P.134) を参照してください。

通信先機器の設定

通信する相手機器の設定について説明します。

通信先機器では次の設定を行う必要があります。

- IP セキュリティポリシーの作成
- ポリシーの割り当て



- 設定方法は、通信先機器のヘルプを参照してください。

無線 LAN で IEEE 802.1X を使用するための設定

インターネットサービスで HTTP の通信を暗号化する設定を行ってから、ほかの認証局で作成された証明書を本機にインポートします。



- HTTP の通信を暗号化する方法については、「HTTP の通信を暗号化するための設定」(P.152) を参照してください。

1. インターネットサービスを起動し、機械管理者でログインします。



- 詳しくは、「インターネットサービスを使う」(P.149) を参照してください。

2. 証明書をインポートします。

- 1) [システム] > [セキュリティー設定] > [証明書設定] をクリックします。
- 2) [インポート] をクリックします。
- 3) [選択] をクリックし、インポートするファイル名を指定します。
- 4) [パスワード] にインポートする証明書に設定されたパスワードを入力します。
- 5) [パスワードの再入力] に、同じパスワードを入力します。
- 6) [実行] をクリックします。
- 7) Web ブラウザーの再読み込みを行います。

3. Wi-Fi 接続の設定をします。

- 1) [ネットワーク] をクリックします。
- 2) [Wi-Fi] をクリックして、[有効] にチェックマークを付けます。

3) [SSID] に接続先の SSID を入力します。

4. セキュリティーの設定をします。お使いの環境の認証方式によって、設定方法が異なります。

ここでは、Enterprise 向けのデータ暗号化の説明をします。

1) [暗号化設定] で、[WPA3 Enterprise]、[WPA2/WPA3 Enterprise]、[WPA2 Enterprise] または [WPA/WPA2 Enterprise] を選びます。

2) [認証方式] を選びます。

3) 選択した認証方式を設定します。

認証方式が EAP-TLS の場合

[クライアント証明書] で、インポートしたクライアント証明書を選びます。

認証方式が PEAPv0 MS-CHAPv2、EAP-TTLS/PAP、EAP-TTLS/CHAP、EAPTTLS/MS-CHAPv2 の場合

[ユーザー名]、[パスワード] および [パスワードの再入力] に WPAEnterprise 認証用のログインユーザー名およびパスワードを入力します。

4) [ルート証明書] で、インポートした CA 証明書を選びます。

5) [Identity] に EAP-Identity の値を入力します。



補足

- EAP-Identity については、RADIUS サーバー管理者に確認してください。

6) [保存] をクリックします。

7) [今すぐ再起動] をクリックします。

8.4 認証と集計管理機能

概要

認証機能を有効にすると、本機自体の利用を制限したり、機能ごとに利用を制限したりできます。また、プリントの使用状況をユーザーごとに集計して管理することもできます。

ユーザーの種類

認証機能を有効にしているときは、次のユーザーに分けられます。

■ 機械管理者

使用環境に合わせてシステムの設定値を登録 / 変更できるユーザーです。

機械管理者は、機械管理者 ID という特別に定義されたユーザー ID を使用します。

■ 認証ユーザー

本機、または外部のサーバーに登録されているユーザーです。それぞれのユーザー ID を使用して認証します。

■ 認証未登録ユーザー

登録されていないユーザーです。

認証未登録ユーザーは、利用が制限されている機能を利用できません。

管理の権限と権限グループ

認証ユーザーごとに機械管理や集計管理の権限を設定できます。また、権限グループを作成し、認証ユーザーを登録できます。

外部認証先に ApeosWare Management Suite 2 (別売) を利用している場合は、ApeosWare Management Suite 2 (別売) で設定します。外部認証先に LDAP、または Microsoft Entra ID を利用している場合は、インターネットサービスで設定します。

60 参照

- インターネットサービスについては、「インターネットサービスを使う」(P.149) を参照してください。

機械管理の権限

機械管理者と同じ権限が与えられます。ただし、機械管理者パスワードの変更はできません。

集計管理の権限

次の権限が与えられます。

- ユーザー情報の登録、削除、変更 (パスワードのみ変更不可)、参照 (設定により操作できないことがあります)
- 集計管理の登録、削除、変更、参照
- User ID の代替表記 / User ID の入力表示の変更
- Account ID の代替表記 / Account ID の入力表示の変更
- ユーザー別集計管理レポートのプリント

権限グループ

利用制限された操作を許可する権限をグループ分けして、認証ユーザーを登録できます。権限グループに属したユーザーは、グループに設定された権限を与えられます。

60 参照

- 「権限グループ」(P.161) を参照してください。

利用制限

■ 全体での利用制限

本機の利用を制限できます。利用するには、ユーザー認証が必要です。

60 参照

- 詳しくは、「アクセス制御」(P.160) を参照してください。

■ ユーザーごとの利用制限

ユーザーごとに、プリントの利用、上限ページ数を制限できます。

60 参照

- 詳しくは、「本体集計管理で集計できる情報」(P.159) を参照してください。

認証の種類と認証方法

認証の種類

■ 本体認証

本機に登録したユーザー情報を使用して認証管理します。

[認証 / 集計の設定] を [本体認証 / 集計] / [ネット認証 / 集計] に設定したときに「本体認証」になります。

補足

- コンピューターから送信されたプリントデータは、あらかじめコンピューターのプリンタードライバーで設定した認証情報と、本機に登録されている認証情報を照合することによって認証され、本機で受信できます。
- [ネット認証 / 集計] に設定したときは、外部サービスで管理しているユーザー情報を本機に登録して認証に使用します。

■ 外部認証

外部の認証サーバー (LDAP、Kerberos、ApeosWare Management Suite 2 (別売)、または Microsoft Entra ID が使用できます) で管理されているユーザー情報を使用して認証します。本機にユーザー情報は登録しません。

[認証 / 集計の設定] を [外部認証 / 集計] に設定したときに「外部認証」になります。

補足

- 外部認証キット (オプション) が必要です。
- 外部認証時 (ApeosWare Management Suite 2 (別売) を使用する場合を除く) は、外部認証サーバーから取得したアクセス許可情報に基づき、本機のタッチパネルディスプレイから利用可能なサービスを利用できます。
- 外部認証サーバーに登録するユーザー ID は 32 文字以内、パスワードは 128 文字以内で設定してください。

認証方法

■ ユーザー ID 認証

ユーザー ID やパスワードなどのユーザー情報を、本機、または外部の認証サーバーにあらかじめ登録しておき、本機のタッチパネルディスプレイから直接ユーザー ID やパスワードを入力して認証します。

■ カード認証

カードに登録されているカード番号、またはユーザー ID やパスワードなどのユーザー情報を、本機、または外部の認証サーバーにあらかじめ登録しておき、カードを使用して認証します。

■ カード認証とユーザー ID 認証の併用

ユーザー ID 認証とカード認証を併用できます。

補足

- 本体認証でカード認証とユーザー ID 認証を併用する場合、[IC カード接続時の認証] で [IC カードまたはパネル入力] に設定します。IC カード接続時の認証については、「[認証の設定]」(P.139) を参照してください。

集計管理機能

集計管理方法の種類

■ 本体集計管理

本機にあらかじめ登録されている認証ユーザー情報を利用して、ユーザー別に集計管理します。

[認証 / 集計の設定] を [本体認証 / 集計] に設定したときに「本体集計管理」になります。

補足

- ユーザー別集計管理レポートは、次のユーザーがプリントできます。
 - 機械管理者
 - 機械管理の権限が設定されているユーザー
 - 集計管理の権限が設定されているユーザー

■ ネット集計管理

外部サービスで管理しているユーザー情報を本機に登録して認証に使用し、外部のサーバーが本機に保存されているジョブデータを収集し、ユーザー別に集計します。

[認証 / 集計の設定] を [ネット認証 / 集計] に設定したときに「ネット集計管理」になります。



- 外部サービスで管理されているユーザー情報は、外部サービスから本機に送られてきて、本機に登録されます。外部サービスで管理されているユーザー情報が更新された場合は、外部サービスからユーザー情報を本機に送信する必要があります。

■ 認証サーバーによる集計管理

認証サーバーを使用して集計管理します。

外部のサーバーが本機に保存されているジョブデータを収集し、ユーザー別に集計します。

[認証 / 集計の設定] を [外部認証 / 集計] に設定し、[認証システム] が [Authentication Agent] の場合に「認証サーバーによる集計管理」になります。

本体集計管理で集計できる情報

対象機能のジョブで、集計管理できる情報は次のとおりです。

| 対象機能 (ジョブ) | | 集計対象ユーザー | 管理項目 |
|-------------------------|-------------------------------|-----------|-------------|
| 通常プリント | 本機用プリンタードライバー | 認証ユーザー | プリント面数 / 枚数 |
| | 本機用プリンタードライバー以外 ^{*1} | 認証未登録ユーザー | |
| セキュリティプリント | | 認証ユーザー | |
| サンプルプリント | | | |
| 時刻指定プリント | | | |
| 認証プリント | | | |
| プライベートプリント | | | |
| メール受信プリント ^{*1} | | 認証未登録ユーザー | |

*1 : インターネットサービスで、[認証 / 集計 / 権限] > [権限設定] > [アクセス制限設定] > [ユーザー指定なしプリント] を [制限しない] にした場合にプリントできます。

[認証 / 集計の設定] ごとにできる利用制限と集計管理

[認証 / 集計の設定] ごとにできるプリント機能の利用制限と集計管理は次のとおりです。

○ : できる × : できない

| [認証 / 集計の設定] | ユーザーごとの利用制限 | | ユーザーごとの集計 |
|--------------|-----------------|--------|-----------------|
| | 機能別利用制限 | 上限ページ数 | |
| [本体認証 / 集計] | ○ | ○ | ○ |
| [ネット認証 / 集計] | ○ ^{*1} | × | ○ ^{*2} |
| [外部認証 / 集計] | ○ ^{*1} | × | ○ ^{*2} |

*1 : 弊社商品 (別売) で利用制限できます。

*2 : 弊社商品 (別売) で集計できます。

ユーザー認証機能を有効にする

本体認証をする場合、次の順に設定します。

- 「認証と集計方式」(P.160)
- 「アクセス制御」(P.160)
- 「権限グループ」(P.161)
- 「ユーザー登録 (本体認証)」(P.162)

外部認証をする場合、次の順に設定します。

- 「認証と集計方式」(P.160)
- 「アクセス制御」(P.160)
- 「認証システムの設定 (外部認証)」(P.163)

補足

- 認証時にパスワードの入力を必須にするには、[パスワード使用 - パネル入力時] または [パスワード使用 - ICカード認証時] を [する] に設定します。詳しくは、「[認証の設定]」(P.139) を参照してください。
- ここでの設定は、機械管理者モードへのログインが必要です。

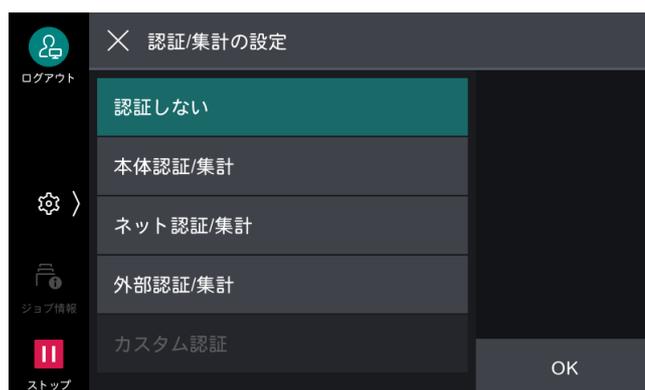
認証と集計方式

1. ホーム画面で  をタップします。
2. [設定] をタップします。
3. [認証 / 集計管理] > [認証 / セキュリティー設定] > [認証の設定] > [認証 / 集計の設定] をタップします。

補足

- [集計管理] の [認証 / 集計の設定] でも認証と集計の方式を設定できます。

4. [本体認証 / 集計]、[ネット認証 / 集計] または [外部認証 / 集計] を選び、[OK] をタップします。

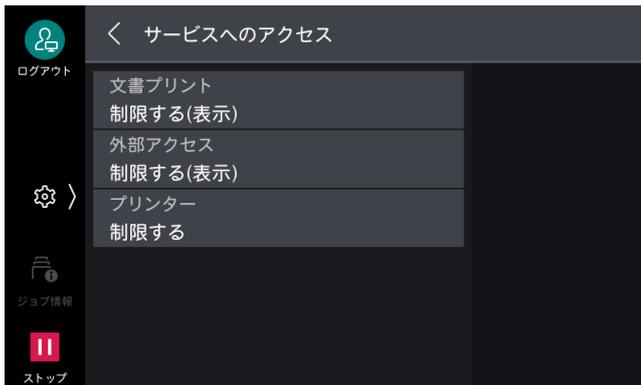


5. [認証 / 集計の設定を変更します。 よろしいですか?] のメッセージが表示されたら、[はい (変更する)] をタップします。
6. 𓀀(ホーム) ボタンを押し、本機を再起動します。

アクセス制御

1. ホーム画面で  をタップします。
2. [設定] をタップします。
3. [認証 / 集計管理] > [認証 / セキュリティー設定] > [認証の設定] > [アクセス制御] をタップします。
4. [デバイスへのアクセス] をタップし、[制限しない]、または [制限する] を選びます。
5. [サービスへのアクセス] をタップします。

6. 操作に認証が必要かをサービスごとに設定します。



1) 変更したいサービスをタップします。

2) 任意の設定を選びます。

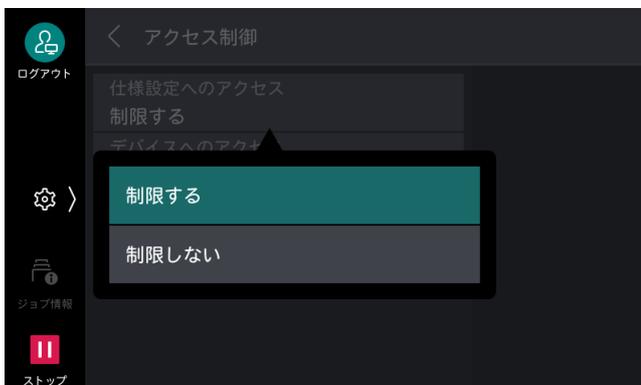
補足

- [制限する(表示)] に設定すると、認証していない状態でホーム画面のアプリをタップしたときに、認証画面が表示されます。
- [制限する(非表示)] に設定すると、認証していない状態ではホーム画面に該当するアプリが表示されません。

7. <をタップします。

8. [仕様設定へのアクセス] をタップします。

9. 変更する機能で [制限しない]、または [制限する] を選びます。



10. 𠃍(ホーム) ボタンを押し、本機を再起動します。

権限グループ

ユーザーに割り当てる権限グループを登録します。

1. ホーム画面で⚙️をタップします。

2. [設定] をタップします。

3. [認証 / 集計管理] > [認証 / セキュリティー設定] > [認証の設定] > [権限グループ登録] をタップします。

4. 登録する権限グループ No. を選び、[登録 / 変更] をタップします。

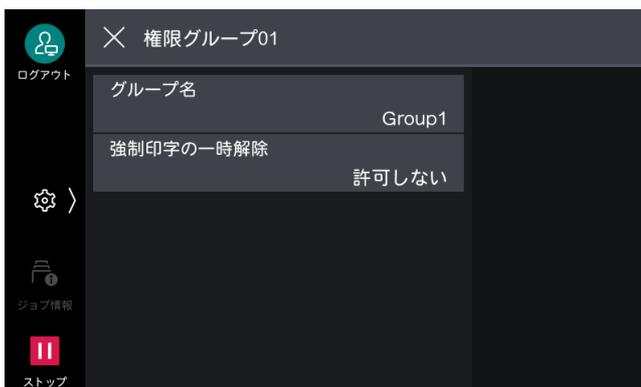


補足

- 次のユーザーは、No.00 の「DefaultGroup (標準)」(デフォルト権限グループ) に属します。
 - 新規作成したユーザー
 - 認証する前のユーザー
 - 外部認証で [認証システム] が [Authentication Agent] 以外の認証ユーザー
- デフォルト権限グループもほかの権限グループと同様に変更できます。

5. [グループ名] をタップし、名称を入力して [OK] をタップします。

6. 変更する権限をタップし、設定を選びます。



ユーザー登録 (本体認証)

本体認証を設定したときの認証ユーザーを本機に登録します。

ユーザーごとに管理権限、サービスの利用制限や上限ページ数を設定できます。

補足

- [集計管理] の [認証 / 集計の設定] でもユーザーを登録できます。

1. ホーム画面で [設定] をタップします。

2. [設定] をタップします。

3. [認証 / 集計管理] > [認証 / セキュリティー設定] > [認証の設定] > [ユーザー登録 / 集計確認] をタップします。

4. 登録するユーザーをタップします。

補足

- ユーザーには 4 桁の固有番号 (ユーザー登録番号) が振られています。

5. [User ID] にユーザー ID を入力し、[OK] をタップします。

6. [ユーザー名] をタップします。



7. ユーザーの表示名を入力し、[OK] をタップします。

8. 必要に応じて [パスワード] に、パスワードを設定します。



9. 必要に応じて利用制限や権限を設定します。



認証システムの設定（外部認証）

外部認証サーバーを本機に登録します。

1. ホーム画面で  をタップします。
2. [設定] をタップします。
3. [ネットワーク設定] > [外部認証サーバー設定] > [認証システムの設定] > [認証システム] をタップします。
4. 外部認証サーバーの種類を選び、[OK] をタップします。

補足

- ApeosWare Management Suite 2（別売）を外部認証先として使用する場合は、[Authentication Agent] を選びます。

5. [Authentication Agent] 以外を選択した場合は、**◀**をタップしてから認証サーバーの情報を登録します。

60 参照

- Microsoft Entra ID の設定については、インターネットサービスのヘルプを参照してください。インターネットサービスの起動方法については、「インターネットサービスを使う」(P.149) を参照してください。

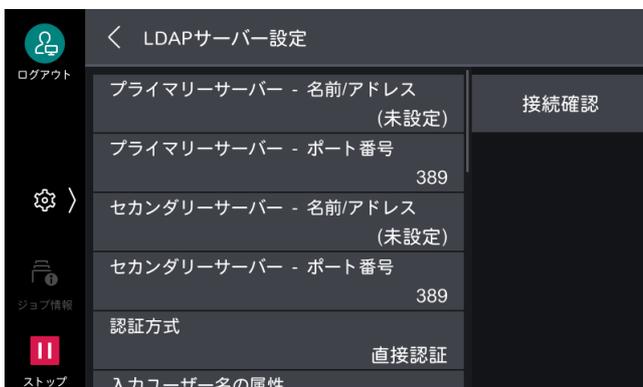
そのほかの設定事例（LDAP）

本機と LDAP サーバー間の通信の暗号化

1. ホーム画面で **⚙️** をタップします。
2. [設定] をタップします。
3. [ネットワーク設定] > [セキュリティ設定] > [SSL/TLS 設定] をタップします。
4. [LDAP-SSL/TLS 通信] をタップし、[有効] を選びます。



5. **◀** を 2 回タップします。
6. [外部認証サーバー設定] > [LDAP サーバー設定] をタップします。
7. [プライマリーサーバー - ポート番号] をタップします。



8. LDAPS が稼働するポート番号を入力し、[OK] をタップします。

Active Directory で信頼関係を構築した LDAP サーバーのユーザーでのログイン

次の条件を満たしている場合を例に、信頼関係先のドメインサーバー上のユーザーで本機にログインするための手順を説明します。

- ドメイン名に “w2k8adtest.local” が設定されている。
- [Active Directory ドメインと信頼関係] で信頼関係が構築されている。

6d 参照

- [Active Directory ドメインと信頼関係] については、Microsoft 社の公式サイトを参照してください。

1. ホーム画面で  をタップします。
2. [設定] をタップします。
3. [ネットワーク設定] > [外部認証サーバー設定] > [LDAPサーバー設定] をタップします。
4. [リフェラルの使用] をタップし、[使用する] を選びます。



5. 必要に応じて、[リフェラルのホップ数上限] を設定します。

補足

- 接続するサーバー数の上限は [リフェラルのホップ数上限] で設定された数値までです。「5」と設定した場合、5つの信頼関係先まで接続し、それ以上は接続しません。
- [検索用の認証ユーザー] について、信頼関係先のLDAPサーバーにもアクセス資格が必要になります。
- セキュリティ機能の観点から、LDAPSが設定されている場合、非暗号の信頼関係先には接続しません。

ICカード読み取り装置（オプション）で認証するための設定

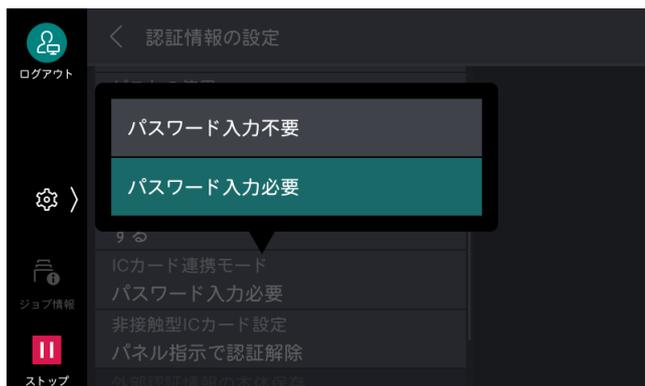
ICカードに登録した情報によって認証したり、ICカードに登録した情報と本機に登録したユーザー情報を照合したりして、本機の利用制限やジョブなどの集計管理ができます。

ICカードとパスワードの併用を設定する

外部認証で、ICカードを使用して本機にログインするときに、パスワードの入力を求めるかを設定します。

1. ホーム画面で  をタップします。
2. [設定] をタップします。
3. [認証 / 集計管理] > [認証 / セキュリティー設定] > [認証の設定] > [認証情報の設定] をタップします。

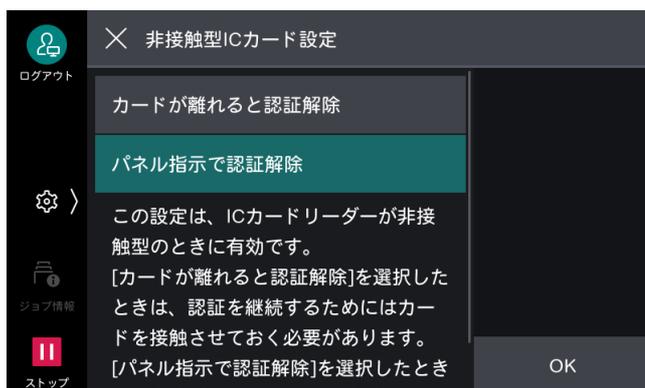
4. [ICカード連携モード] をタップし、[パスワード入力必要] を選びます。



ICカード使用時の認証解除を設定する

ICカード使用時の認証解除方法を設定します。

1. ホーム画面で ⚙ をタップします。
2. [設定] をタップします。
3. [認証 / 集計管理] > [認証 / セキュリティー設定] > [認証の設定] > [認証情報の設定] > [非接触型ICカード設定] をタップします。
4. 認証の解除方法を選び、[OK] をタップします。



ICカード情報を登録する

機械管理者は、インターネットサービスを使用して、ICカード情報と認証に使用する情報を設定します。

6d 参照

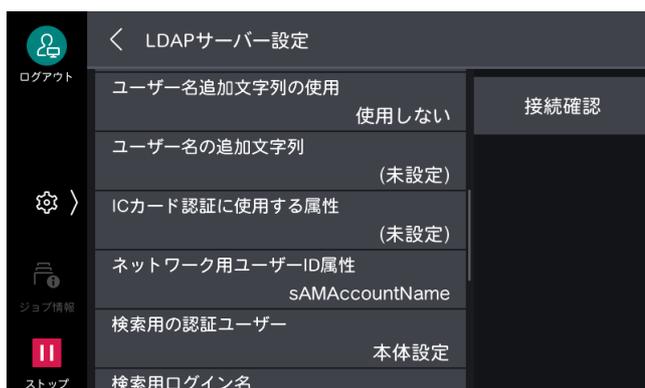
- インターネットサービスについては、「インターネットサービスを使う」(P.149) を参照してください。

LDAPサーバー（外部認証）の設定をする

ICカードのIDと対応させる属性と、認証後にユーザーの識別に使用する属性を設定します。

1. ホーム画面で ⚙ をタップします。
2. [設定] をタップします。

3. [ネットワーク設定] > [外部認証サーバー設定] > [LDAPサーバー設定] > [ICカード認証に使用する属性] をタップします。



4. ICカードのIDと対応させる属性名を入力し、[OK] をタップします。

補足

- 属性にはあらかじめICカードのIDが登録されている必要があります。
- ユーザーごとに一意な値であることが保証される属性を設定してください。

5. [ネットワーク用ユーザーID属性] をタップします。

6. ICカードで認証したときに、ユーザーの表示名や識別子とする属性名を入力し、[OK] をタップします。

補足

- ユーザーごとに一意な値であることが保証される属性を設定してください。
- 設定した属性がLDAPサーバーから取得できない場合は、ログインできません。

9 日常管理

9.1 消耗品を交換する

次の消耗品を交換品として用意しています。

- トナーカートリッジ
- ドラムカートリッジ
- トナー回収ボトル

消耗品の交換時期が近づくと、タッチパネルディスプレイにメッセージが表示されます。交換手順については、新しい消耗品が入っていた箱を参照してください。

トナーカートリッジ

| メッセージ | 処置 |
|-------|---|
| 予備を用意 | すぐに交換する必要はありませんが、トナーカートリッジの予備を用意してください。 残りのプリント可能ページ数 ^{*1} は、次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">• トナーカートリッジ ブラック (K)、イエロー (Y)、マゼンタ (M)、シアン (C) : 約 1000 ページ• 大容量トナーカートリッジ ブラック (K) : 約 2500 ページ イエロー (Y)、マゼンタ (M)、シアン (C) : 約 2100 ページ |
| 交換時期 | まもなくトナーカートリッジの交換時期になります。 残りのプリント可能ページ数 ^{*1} は、約 60 ページです。 |
| 要交換 | 本機が停止します。表示されたトナーカートリッジを交換してください。 |

ドラムカートリッジ

| メッセージ | 処置 |
|-------|--|
| 予備を用意 | すぐに交換する必要はありませんが、ドラムカートリッジの予備を用意してください。 残りのプリント可能ページ数 ^{*1} は、約 5000 ページです。 |
| 交換時期 | まもなくドラムカートリッジの交換時期になります。 残りのプリント可能ページ数 ^{*1} は、約 2000 ページです。 |
| 要交換 | <ul style="list-style-type: none">• [ドラムカートリッジ寿命時の動作] で [停止する] を設定している場合 ドラムカートリッジの寿命です。本機は停止し、プリントができなくなります。ドラムカートリッジを交換してください。• [ドラムカートリッジ寿命時の動作] で [継続する] を設定している場合 ドラムカートリッジの寿命です。プリントは継続できますが品質を保証できないため、新しいドラムカートリッジに交換することをお勧めします。 |

トナー回収ボトル

| メッセージ | 処置 |
|-------|--|
| 予備を用意 | すぐに交換する必要はありませんが、トナー回収ボトルの予備を用意してください。 残りのプリント可能ページ数 ^{*1} は、次のとおりです。 ApeosPrint C5570 は、約 3000 ページです。 ApeosPrint C4570 は、約 2000 ページです。 |
| 交換時期 | まもなくトナー回収ボトルの交換時期になります。 残りのプリント可能ページ数 ^{*1} は、次のとおりです。 ApeosPrint C5570 は、約 2000 ページです。 ApeosPrint C4570 は、約 1400 ページです。 |
| 要交換 | 本機が停止します。トナー回収ボトルを交換してください。 |

*1 :プリント可能ページ数は、プリント条件や原稿の内容、本機電源の入切の頻度などによって、大きく異なります。詳しくは、「消耗品、定期交換部品の寿命について」(P.253)を参照してください。

警告

- こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。本機内およびトナーカートリッジ、トナー回収ボトル等に付着したトナーを電気掃除機で吸引することもおやめください。掃除機を用いると、掃除機内部のトナーが、電気接点の火花などにより、発火または爆発するおそれがあります。床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布などで拭き取ってください。大量にこぼれた場合、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
- トナーカートリッジは、絶対に火中に投げないでください。トナーカートリッジに残っているトナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナーカートリッジは弊社にて回収いたしますので、必ず弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
- トナー回収ボトルは、絶対に火中に投げないでください。トナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナー回収ボトルは、弊社にて回収いたしますので、必ず弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

注意

- ドラムカートリッジやトナーカートリッジは幼児の手が届かないところに保管してください。幼児がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談し指示を受けてください。
- ドラムカートリッジやトナーカートリッジを交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。また、トナーが飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したり、または目や口に入らないように注意してください。
- 次の事項に従って、応急処置をしてください。
 - トナーが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんを使って水でよく洗い流してください。
 - トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで 15 分以上多量の水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
 - トナーを吸引した場合は、新鮮な空気のところへ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。
 - トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲んでください。すみやかに医師に相談し指示を受けてください。

消耗品の取り扱い

- 消耗品の箱は、立てた状態で保管しないでください。
- 消耗品 / メンテナンス品は、使用するまでは開封せずに、次のような場所を避けて保管してください。
 - 高温多湿の場所
 - 火気がある場所
 - 直射日光が当たる場所
 - ほこりが多い場所
- 消耗品は、消耗品の箱や容器に記載された取り扱い上の注意をよく読んでから使用してください。

- 消耗品は、予備を置くことをお勧めします。

9.2 ホチキス針を交換する

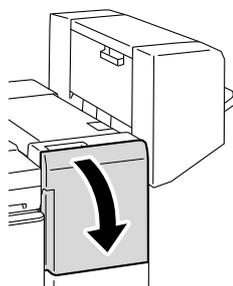
ホチキスの針が無くなると、タッチパネルディスプレイにメッセージが表示されます。

補足

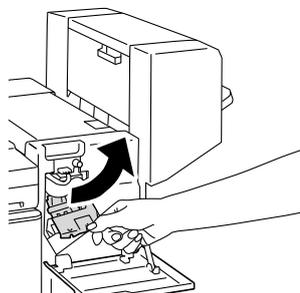
- ホチキス針は本機の電源を入れたまま交換します。節電状態になっている場合は、ホチキスカートリッジを交換する前に、**電源 / 節電** ボタンを押して節電状態を解除してください。

ホチキス針を交換する (フィニッシャー B)

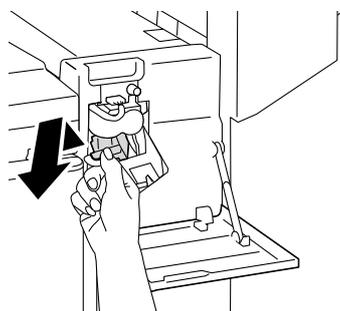
1. 本機が停止していることを確認しフィニッシャーの正面カバーを開けます。



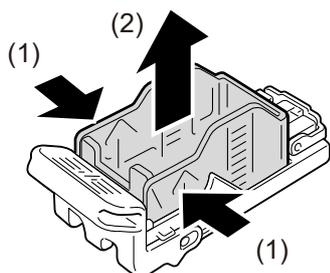
2. ホチキスカートリッジ「R1」のつまみを持って、ホチキスカートリッジを右端 (手前) へ引き寄せます。



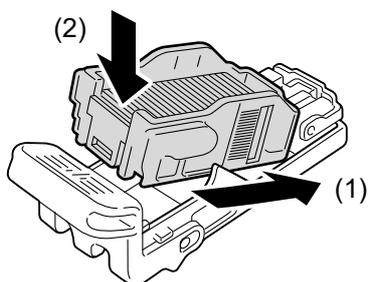
3. 上方向へ引き上げ、ホチキスカートリッジを取り出します。



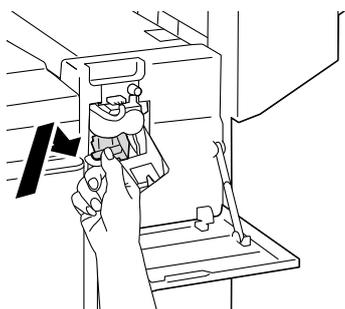
4. 空になったホチキス針ケースの左右をつまみ (1)、ホチキスカートリッジから取り出します (2)。



5. 新しいホチキス針ケースを用意し、ホチキスカートリッジに新しいホチキス針ケースを先端から挿入し (1)、後方を押してセットします (2)。



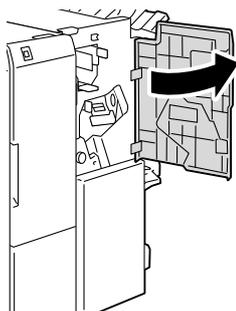
6. 「カチッ」と音がするまで、ホチキスカートリッジを押し込みます。



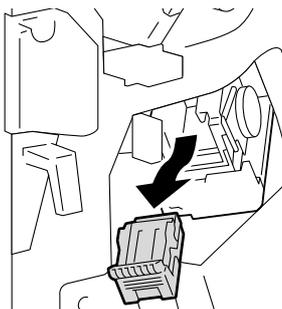
7. フィニッシャーの正面カバーを閉じます。

平とじ用ホチキス針を交換する (フィニッシャー C/ 中とじフィニッシャー C)

1. 本機が停止していることを確認し、フィニッシャーの正面カバーを開けます。

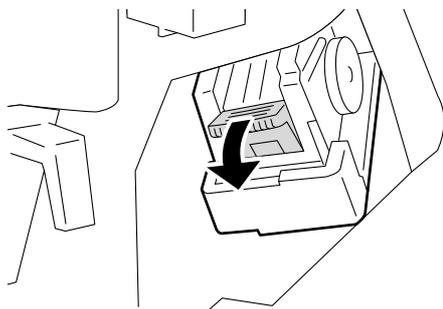


2. レバーを持って、ホチキスカートリッジを取り出します。

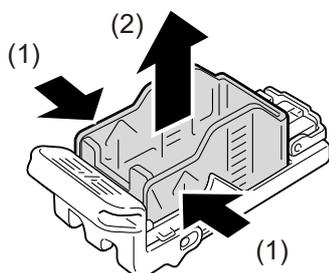


補足

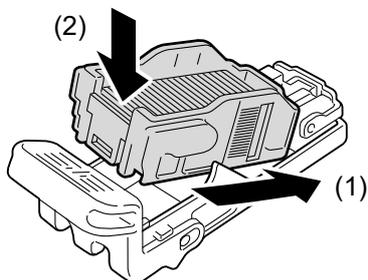
- 65 枚用ホチキスカートリッジを装着している場合は、レバーを下方向に倒して、ホチキスカートリッジを引き出してください。



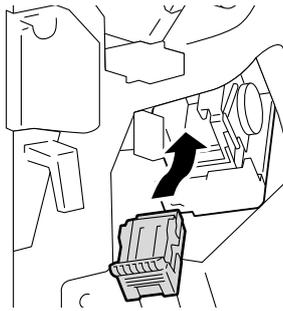
3. 空になった針ケースの左右をつまみ (1)、カートリッジから取り出します (2)。



4. ホチキスカートリッジに新しい針ケースを挿入し (1)、後方を押してセットします (2)。



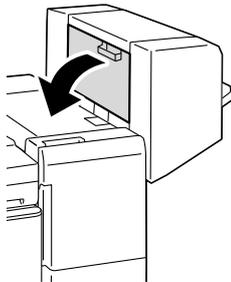
5. ホチキスカートリッジのレバーを持って、元の位置に戻し、「カチッ」と音がするまで押し込みます。



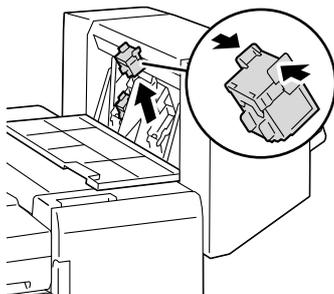
6. フィニッシャーの正面カバーを閉じます。

中とじ用ホチキスカートリッジを交換する（フィニッシャー B 中とじユニット）

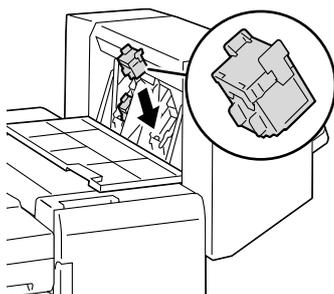
1. 本機が停止していることを確認し、フィニッシャーの側面カバーを開けます。



2. 中とじホチキスカートリッジの左右にあるツメを持ち、そのまま上に引きながら取り出します。



3. 新しい中とじホチキスカートリッジの、左右にあるツメを持ちながら元の位置に戻し、上から軽く押して、「カチッ」と音がすることを確認します。

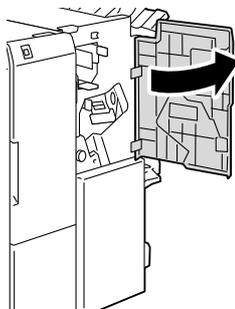


4. もう一方も同じように交換します。

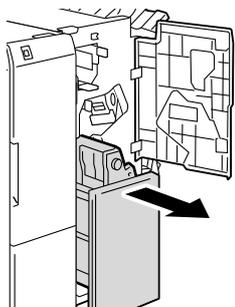
5. フィニッシャーの側面カバーを閉じます。

中とじ用ホチキス針を交換する（中とじフィニッシャーC装着時）

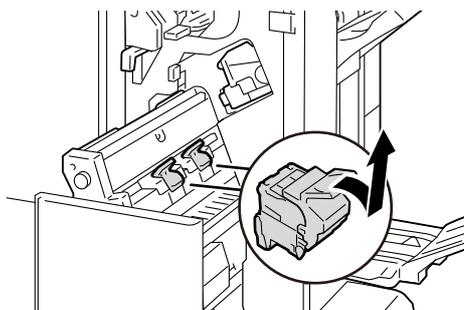
1. 本機が停止していることを確認し、フィニッシャーの正面カバーを開けます。



2. 中とじユニットを引き出します。



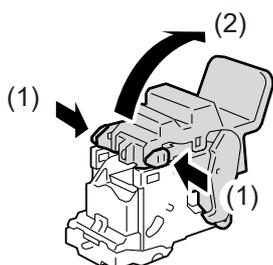
3. 中とじ用ホチキスカートリッジのレバーを持ち、下方向に倒してから、上に引いて取り出します。



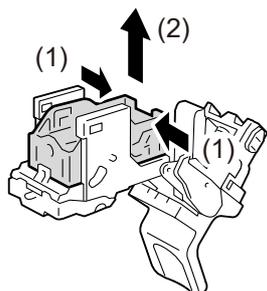
補足

• 中とじ用ホチキスカートリッジは2個あります。交換するカートリッジをメッセージで確認してください。

4. 中とじ用ホチキスカートリッジの左右にあるボタンを押して (1)、カバーを開きます (2)。



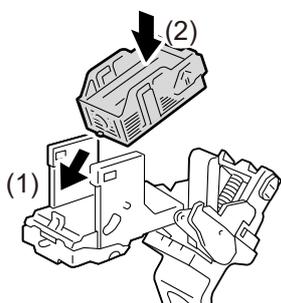
5. 空になったホチキス針ケースの左右をつまみ (1)、中とじ用ホチキスカートリッジから取り出します (2)。



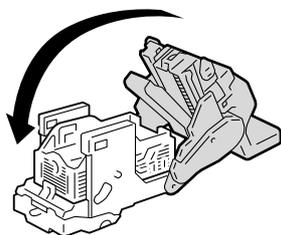
 注記

- ホチキス針ケースにホチキス針が残っている場合は、ホチキス針ケースを取り出すことはできません。無理にホチキス針ケースを取り出そうとすると故障の原因となります。

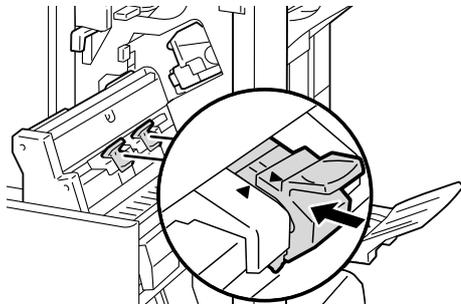
6. 新しいホチキス針ケースを挿入し (1)、後方を押してセットします (2)。



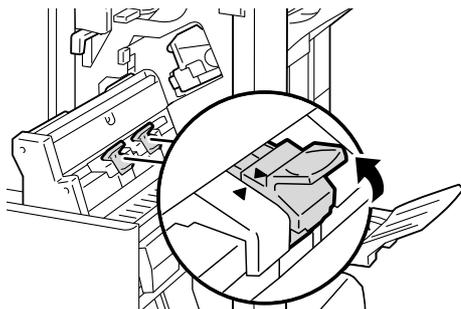
7. カバーを閉じます。



8. 中とじ用ホチキスカートリッジを元の位置に戻します。



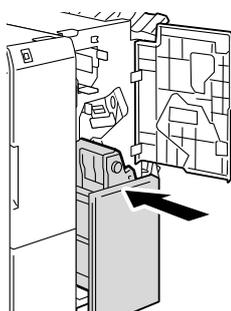
9. 軽く押し上げて、「カチッ」と音がすることを確認します。



補足

- 中とじ用ホチキスカートリッジの▶と、中とじユニットの◀が合うように戻してください。

10. 中とじユニットを元の位置に戻します。



11. フィニッシャーの正面カバーを閉じます。

9.3 パンチダストボックスのパンチくずを捨てる

パンチダストボックスのパンチくずがいっぱいになると、タッチパネルディスプレイにメッセージが表示されます。表示されているメッセージに従って、パンチくずを捨ててください。

補足

- パンチダストボックスのパンチくずを捨てるときは、本機の電源を入れたままの状態にしておいてください。電源を切ると、パンチくずを捨てたことを本機が認識できません。
- パンチダストボックスのパンチくずは、メッセージが表示されてから捨ててください。メッセージが表示される前に捨てると、正確なパンチくずの量を本機が認識できなくなります。

9.4 画質調整

階調を補正する

プリント画質の色階調がずれた場合に、簡易的に階調を補正できます。補正することによって、本機のプリント画質を一定の品質に保てます。

補正は、階調補正チャートを出力して、本機に付属の「階調補正用色見本」と濃度を比較して濃度設定値を求め、本機に設定値を入力して行います。

イエロー (Y)、マゼンタ (M)、シアン (C)、ブラック (K) 各色の、低濃度 (Low) / 中濃度 (Mid) / 高濃度 (High) を調整できます。

階調補正をしたあと、濃度設定値を初期値（工場出荷時の値）に戻すときは、すべての値を [0] に設定してください。[0] にするとプリント時に階調補正は働きません。

注記

- 階調補正をしてもたびたび色階調がずれる場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。
- 濃度設定値を工場出荷時の値（すべて [0]）にしても、設置時の画質に戻るということではありません。お使いの期間が長くなると、機械の経時変化、環境変化、プリント枚数などの影響によって、設置時の画質とは異なります。

階調補正チャートをプリントする

階調補正チャートには、解像度優先と階調優先の 2 種類があります。

解像度優先は、テキストのように精細度を重視する部分に対する補正をするためのシートです。階調優先は、グラデーションなどを含むグラフィックスや、写真イメージのように階調の滑らかさに対する補正をするためのシートです。

1. 手差しトレイに、次のどちらかの用紙をセットします。

- A4 
- 8.5x11 

2. 機械管理者でログインします。

参照

- ログインの方法については、「ログイン」(P.39) を参照してください。

3. ホーム画面で をタップします。

4. [設定] をタップします。

5. [保守] > [画質調整] > [階調補正] をタップします。

6. [補正種別] をタップし、[解像度優先] または [階調優先] のどちらかを選びます。

7. [補正用チャート出力] をタップします。

8. プリントする [用紙サイズ] と [用紙種類] を選びます。

9. [チャート出力] をタップします。

10. プリントが終了したら、[閉じる] をタップします。

濃度設定値を決める

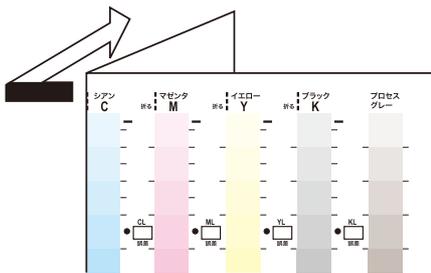
濃度設定値は、プリントした階調補正チャートと、本機に付属の階調補正用色見本の濃度を比較して求めます。

階調補正チャートの補正パッチとそれぞれの間から、階調補正用色見本の濃度に近いものを探します。

補足

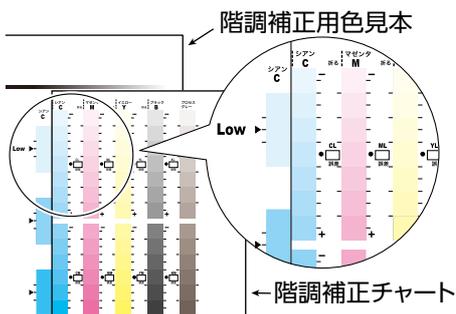
- 工場出荷時の濃度設定値はすべて [0] です。

1. プリントした階調補正チャートを、補正する色の上下のガイド（点線）に沿って山折りにします。



2. 階調補正チャートの補正する濃度を、階調補正用色見本の同じ濃度の場所に合わせます。

例：低濃度の補正をする場合は、階調補正用色見本の Low と階調補正チャートの Low の・印を合わせます。

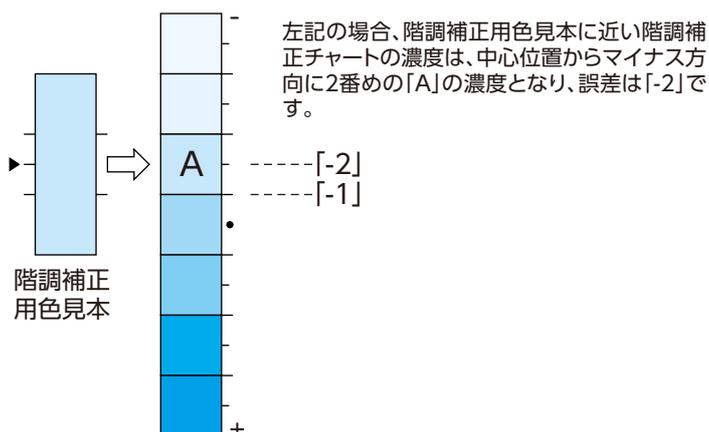
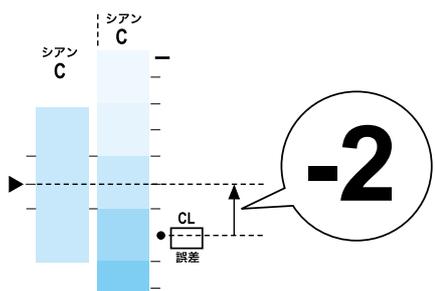
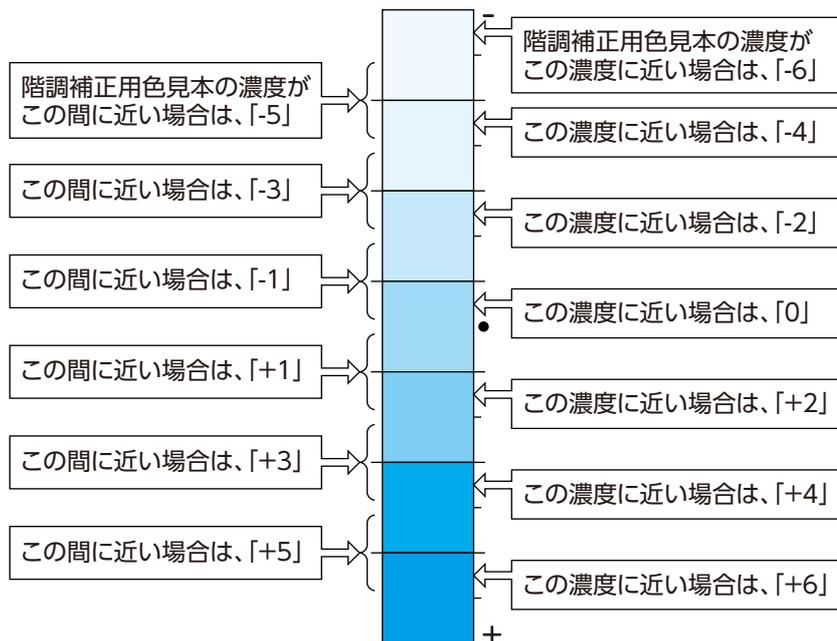


3. 階調補正チャートの・印を起点に階調補正チャートを上下にずらして、階調補正用色見本との誤差を目盛りから読み取ります。

補足

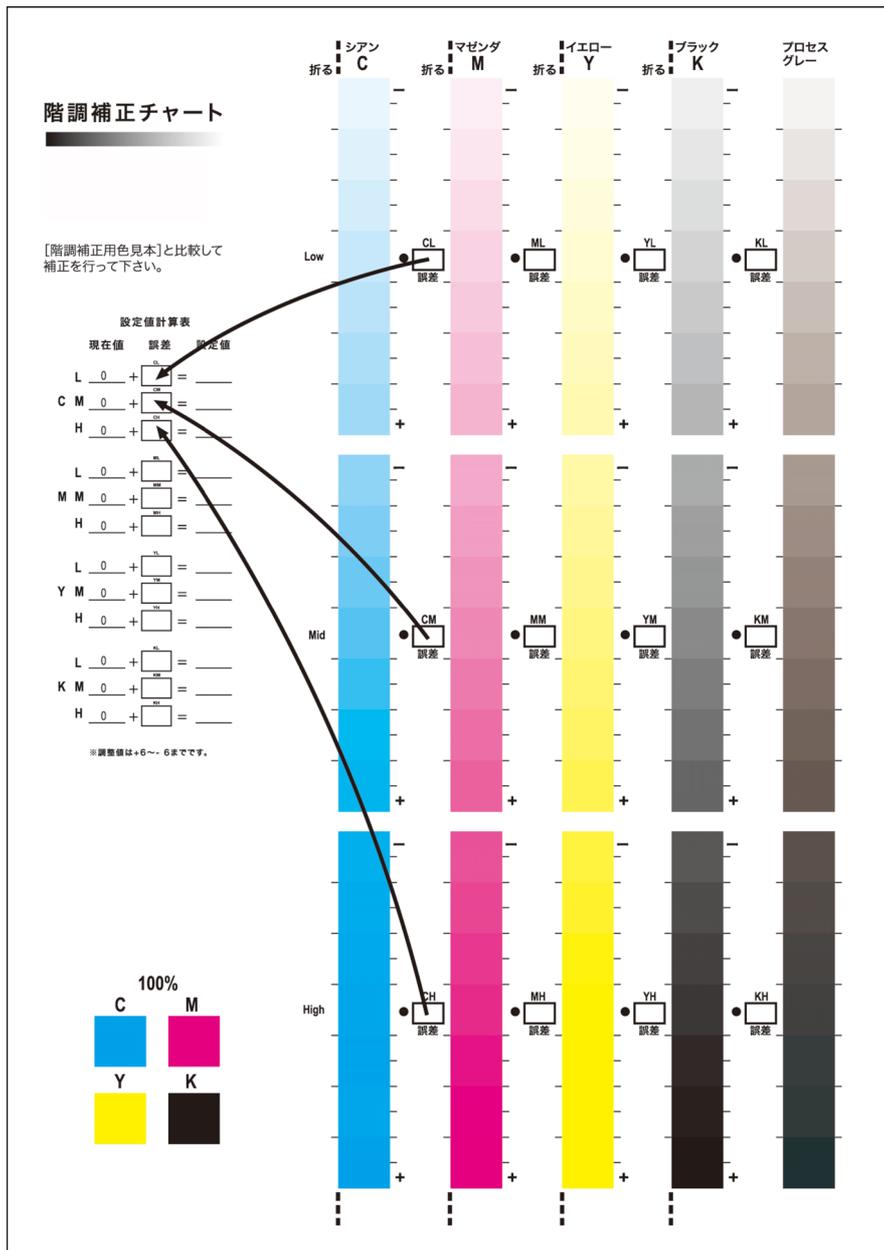
- マイナス (-) とプラス (+) の方向に注意して読み取ってください。

階調補正チャート測定部



4. 階調補正チャートの該当する「誤差」欄に、誤差を記入します。
5. 同じ色の、ほかの2つの濃度（中濃度 / 高濃度）も、同様に誤差を読み取って記入します。
6. 同様に YMCK の残りの色に対して手順 1 ~ 5 を繰り返して、誤差を読み取って記入します。

7. すべての色の濃度誤差を記入したら、階調補正チャートの左側にある【設定値計算表】の【誤差】の該当する箇所に書き写します。(例：シアン)



8. 【設定値計算表】の式に従って設定値を求め、【設定値】に記入します。

補足

- 【現在値】には前回の補正時に入力した値が印字されています。
- 【現在値】と【設定値】が異なる色を補正します。【誤差】が【0】の色は補正不要です。

濃度設定値を入力する

【階調補正チャート】の【設定値計算表】の【設定値】に記入した濃度設定値を本機に設定します。

1. 機械管理者でログインします。

参照

- ログインの方法については、「ログイン」(P.39)を参照してください。

2. ホーム画面で をタップします。

3. [設定] をタップします。
4. [保守] > [画質調整] > [階調補正] をタップします。
5. [濃度] をタップし、補正する濃度 (低 / 中 / 高) を選びます。
6. 階調補正チャートの [設定値] に記入した値のうち、補正が必要な色の値を入力します。
7. 残りの濃度について、補正が必要なすべての色の値を入力します。
8. [調整値設定] をタップします。
9. 階調補正チャートを出力して、補正結果を確認します。



- [プロセスグレー] は、CMY を掛け合わせて作られているグレーです。補正が正常に行われると、プロセスグレーがブラックの色味に近づきます。プロセスグレーの中に、CMY のどれかの色が強く感じられる場合は、その色を再度補正します。

アライメント調整を行う

手動アライメント調整

出力イメージの位置がずれている場合などに、調整値を入力してずれを調整します。



- 調整可能範囲以上の調整が必要な場合は、プリンタードライバーの [トレイ / 排出] タブの [とじしろ / プリント位置] でプリント位置の調整機能を使用してください。

調整可能項目

1. 調整する用紙トレイに、次のどれかの用紙をセットします。
 - A3
 - A4
 - 11x17
 - 8.5x11
2. 機械管理者でログインします。
 -  参照
 - ログインの方法については、「ログイン」(P.39) を参照してください。
3. ホーム画面で  をタップします。
4. [設定] をタップします。
5. [保守] > [画質調整] > [アライメント調整] をタップします。

6. 手順1で用紙をセットしたトレイを【用紙選択】で選んで、【OK】をタップします。



7. 【調整面】で調整する印刷面を選びます。

8. 【サンプル出力】をタップして、表示された画面でサンプルのプリント枚数を指定します。



- 出力ばらつきも考慮するため、サンプルは3枚程度プリントすることをお勧めします。

9. 【プリント】をタップします。

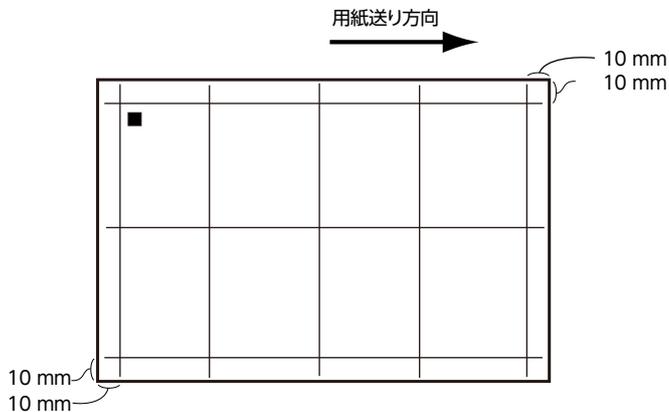
10. プリントが終了したら、【閉じる】をタップします。

11. 画面上部の [X] をタップします。

12. プリントされたチャートを確認します。

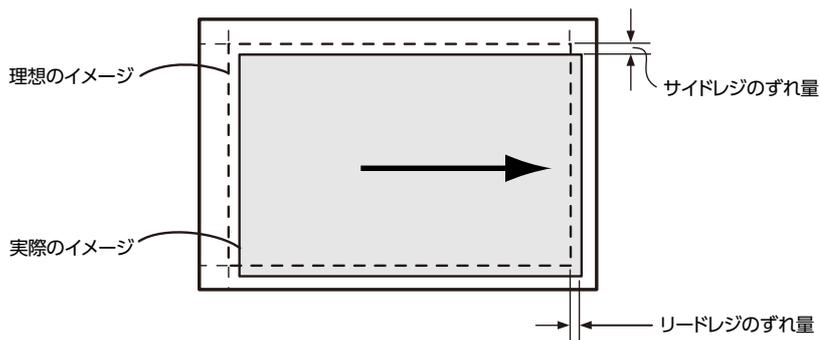
A3サイズのサンプルを例に説明します。

出力イメージの位置が正しい場合は、用紙の端から10 mmの位置に線がプリントされます。線の位置がずれているときは、調整が必要です。

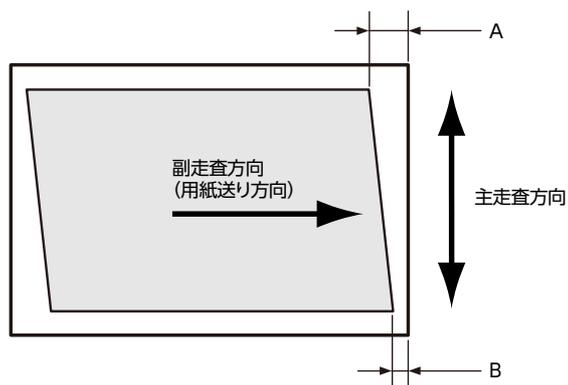


- 用紙送り方向を示すため、用紙の後端には■(黒い四角マーク)がプリントされます。おもて面には■が1つ、うら面には■が2つプリントされます。
- 複数の種類のずれを調整する場合は、【直角度】 → 【副走査方向倍率】 → 【リード/サイドレジ】の順番で調整してください。

- [リード/サイドレジ] の調整が必要な場合



- [直角度] の調整が必要な場合



60 参照

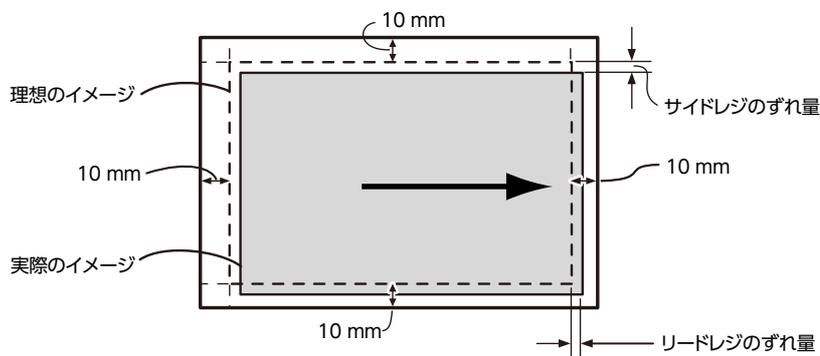
- それぞれの調整方法については、次を参照してください。
 - リード/サイドレジの調整については、「リード/サイドレジの調整」(P.183) 参照してください。
 - 直角度の調整については、「直角度の調整」(P.184) を参照してください。
 - 副走査方向倍率の調整については、「副走査方向倍率の調整」(P.185) を参照してください。

■ リード/サイドレジの調整

リードレジ (用紙送り方向)、サイドレジ (用紙送り方向に対して垂直方向) のイメージの位置を 0.5 mm 単位で調整します。

1. チャートを確認し、イメージの位置のずれ量 (mm) を計測します。

調整量 (mm) = 実際のイメージ位置の用紙端からの距離 (mm) - 10



2. [リード/サイドレジ] をタップします。



3. 手順1で計測したずれ量を現在の設定値に加えた値を、入力します（1ステップ = 0.5 mm）。



注記

- リードレジについては、トレイ / 調整面で同一の調整値となり、トレイ / 調整面ごとの調整はできません。

4. [OK] をタップします。

5. [調整値設定] をタップします。

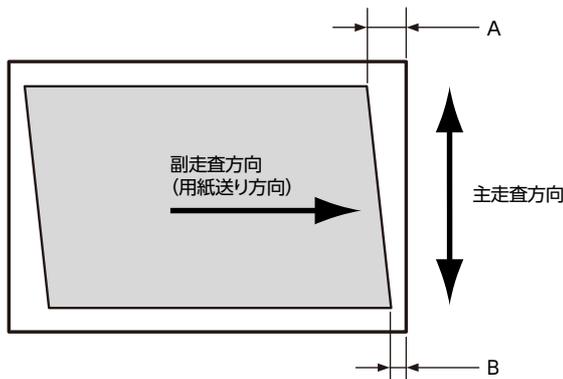
調整値が反映されます。

6. [サンプル出力] をタップして、出力されたサンプルの調整結果を確認します。必要があれば、もう一度、調整し直します。

■ 直角度の調整

副走査方向（用紙送り方向）の出力イメージの歪み（平行四辺形）を 0.1mm 単位で調整します。

1. チャートを確認し、イメージの直角度のずれ量（mm）を計測します。



用紙の先端を上にしたときに、左側のリードレジの長さ (mm) を「A」、右側のリードレジの長さ (mm) を「B」として、次の式で直角度のずれ量を求めます。

直角度のずれ量 (mm) = (A - B) × (副走査方向の用紙長さ - 20) ÷ (主走査方向の用紙幅 (mm) - 20)

2. [直角度] をタップします。

3. 手順 1 で計測したずれ量を現在の設定値に加えた値を、入力します。

用紙の先端を上にしたときに、右下がりの平行四辺形を長方形に補正したい場合は [-]、左下がりの平行四辺形を長方形に補正したい場合は [+] を押して、調整値を入力します。

4. [OK] をタップします。

5. [調整値設定] をタップします。

調整値が反映されます。

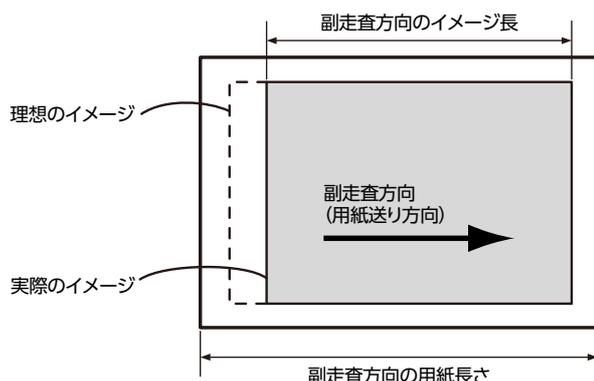
6. [サンプル出力] をタップして、出力されたサンプルの調整結果を確認します。必要があれば、もう一度、調整し直します。

■ 副走査方向倍率の調整

副走査方向 (用紙送り方向) の出力イメージの倍率を 0.025% 単位で調整します。

1. サンプルを確認し、副走査方向のイメージ長のずれ量 (mm) を計測します。

副走査方向のイメージ長のずれ量 (mm) = 副走査方向のイメージ長 (mm) - (副走査方向の用紙長さ (mm) - 20)



2. 副走査方向倍率の調整値 (%) を算出します。

副走査方向倍率の調整値 (%) = -1 × (ずれ量 (mm) ÷ (副走査方向の用紙長さ (mm) - 20)) × 100

3. [副走査方向倍率] をタップします。

4. 手順 2 で算出した調整値を現在の設定値に加えた値を、入力します。

5. [OK] をタップします。

6. [調整値設定] をタップします。

調整値が反映されます。

7. [サンプル出力] をタップして、出力されたサンプルの調整結果を確認します。必要があれば、もう一度、調整し直します。

転写出力調整

トナー画像が用紙に最適な状態で転写されない場合に、用紙種類ごとに最適な転写出力値を設定できます。

1. 機械管理者でログインします。

6.3 参照

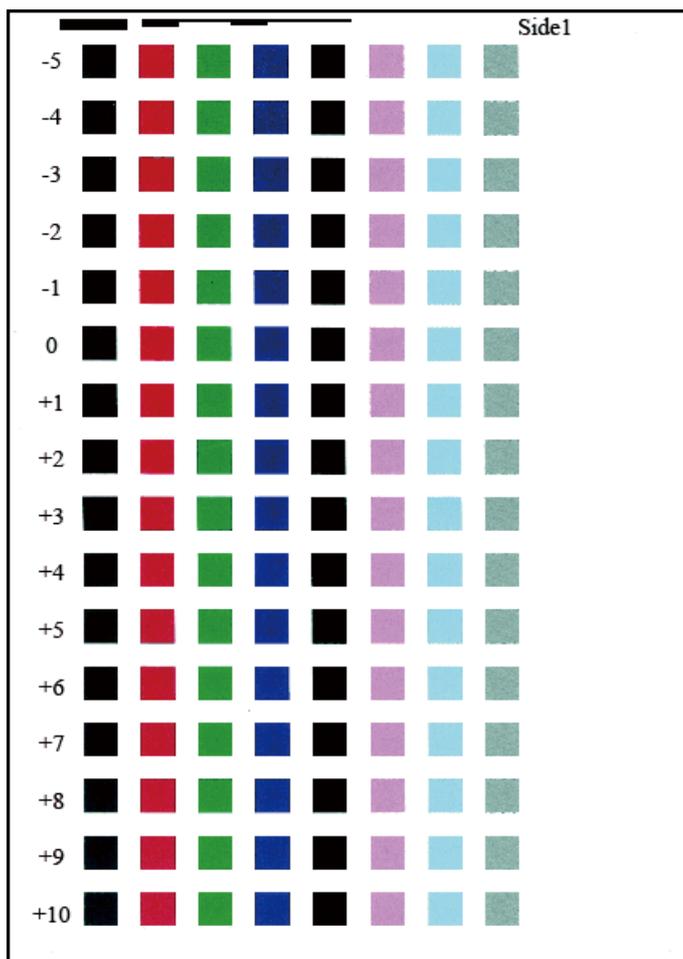
- ログインの方法については、「ログイン」(P.39)を参照してください。

2. ホーム画面で  をタップします。
3. [設定] をタップします。
4. [保守] > [画質調整] > [転写出力調整] > [サンプルプリント番号指定調整] をタップします。
5. [用紙サイズ] からトレイ 5 (手差し) にセットする用紙のサイズを選びます。
6. [用紙種類] から調整する用紙を選びます。



7. [両面片面] から調整面を選びます。
8. トレイ 5 (手差し) に選択した用紙種類、用紙サイズの用紙をセットします。
9. [サンプル出力] をタップします。

次のようなサンプルがプリントされます。



 補足

- サンプルの右上に、おもて面は「Side1」、うら面は「Side2」とプリントされます。
- 用紙サイズが A4、B4、8.5×11 インチの場合は、サンプルが 2 枚に分かれてプリントされます。

10. プリントが終了したら、[閉じる] をタップします。

11. サンプルを確認して、最適な画質の番号 (-5 ~ +10) を控えておきます。

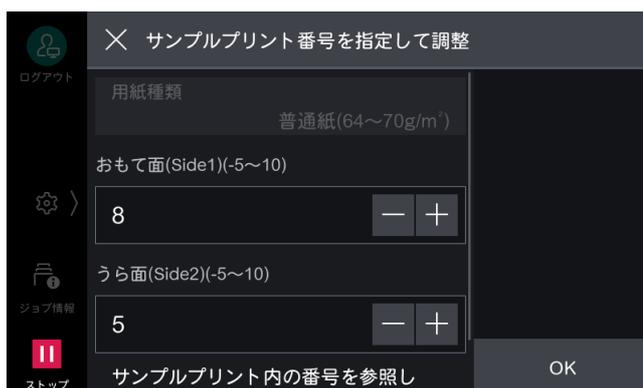
 補足

- 両面でプリントした場合は、おもて面の番号と、うら面の番号の両方を控えてください。

12. [次へ] > [サンプルプリント番号を指定して調整] をタップします。

13. 手順 7 で設定した調整面に、手順 11 で控えた画質の番号を指定し、[OK] をタップします。

以降のプリントでは、ここで設定した転写出力値が反映されます。



出カイメージの手動濃度調整（手動面内ムラ調整）

用紙にプリントする出カイメージの濃度のムラを調整します。

1. 機械管理者でログインします。

 参照

- ログインの方法については、「ログイン」(P.39)を参照してください。

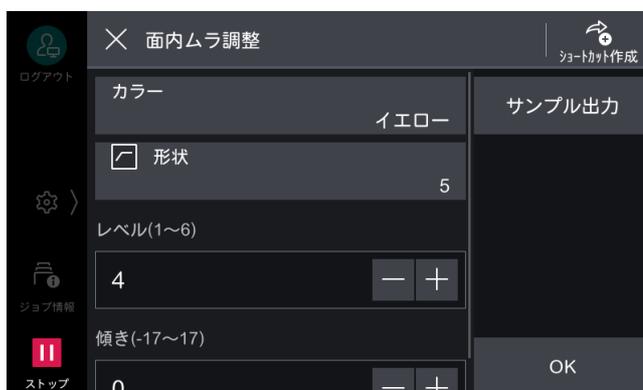
2. ホーム画面でをタップします。

3. [設定] をタップします。

4. [保守] > [画質調整] > [面内ムラ調整] をタップします。

5. [サンプル出力] をタップします。

出力するサンプルの設定を変更します。



• [カラーモード]

全ての色の濃度とバランスを確認するときは [フルカラー] を選び、特定の色に限定して濃度を確認するときは [単色] を選びます。

[単色] を選択した場合は、手順 9 の [面内ムラ調整] 画面の [カラー] で、プリントする色を [イエロー]、[マゼンタ]、[シアン]、[ブラック] から選択してください。

• [カバレッジ 1]、[カバレッジ 2]

出力サンプルにプリントする濃度を、イエロー、マゼンタ、シアン、ブラックの色ごとに、2 種類設定できます。

• [用紙選択]

濃度を調整したい用紙がセットされたトレイを選びます。

6. [プリント] をタップします。

調整チャートがプリントされます。

7. プリントが終了したら、[閉じる] をタップします。

8. 画面上部のをタップします。

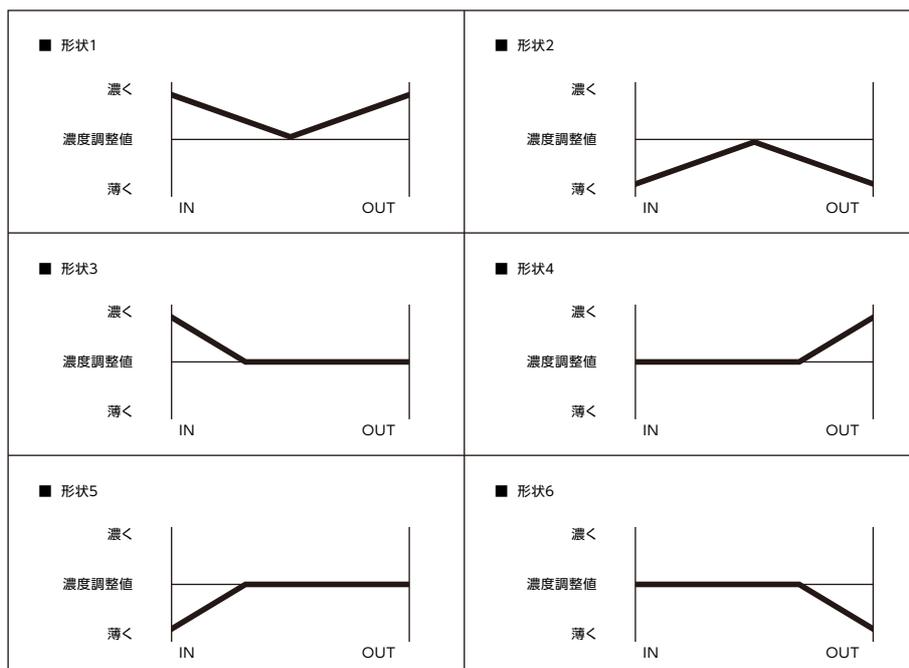
9. 出力サンプルを確認し、ムラが発生している場合は、濃度を調整します。

1) [カラー] で、[イエロー]、[マゼンタ]、[シアン]、[ブラック] から調整する色を選びます。

2) 出力サンプルの状態に応じて、[形状]、[レベル]、[傾き] を設定します。

• [形状]

出力サンプルへの濃度分布調整量を形状 1 ～ 6 のうちから選びます。

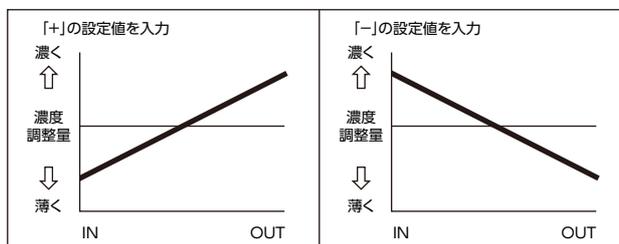


• [レベル]

出力サンプルの濃度差のレベルを 1 ～ 6 のうちから選びます。レベル 1 は調整量が無いことを表し、値が大きいほど調整量が多いことを表します。

• [傾き]

出力サンプルに対して、濃度分布を次のように調整します。調整量を -17 ～ 17 の範囲で設定します。値が大きいほど調整量が多いことを表します。



補足

- 濃度分布がこれらのパターンとは異なるときは、[形状]、[レベル] を使用して調整してください。

10. [OK] をタップします。

調整値が反映されます。

11. [面内ムラ調整] > [サンプル出力] をタップして、出力されたサンプルの調整結果を確認します。必要があれば、もう一度、調整し直します。

9.5 フィニッシャー（オプション）の調整

フィニッシャー（オプション）を取り付けた場合の調整について説明します。

製本折り位置の調整

用紙サイズが、B4 未満 / 以上の場合で製本折り位置をそれぞれ設定します。

1. トレイに折り位置を調整する用紙をセットします。

2. 機械管理者でログインします。



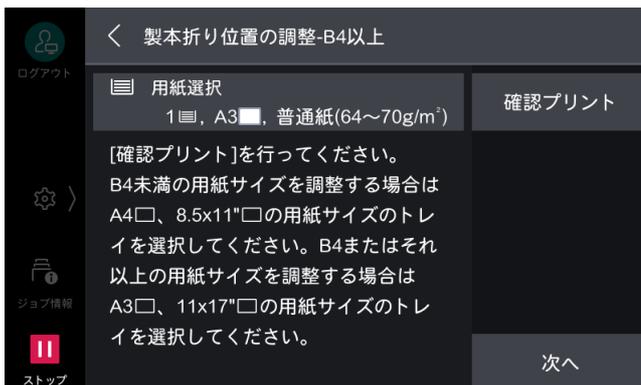
- ログインの方法については、「ログイン」(P.39)を参照してください。

3. ホーム画面でをタップします。

4. [設定] をタップします。

5. [保守] > [フィニッシャーの調整] > [製本折り位置の調整] をタップします。

6. 調整対象の用紙サイズに合わせて、[用紙選択] で用紙を選び、[OK] をタップします。

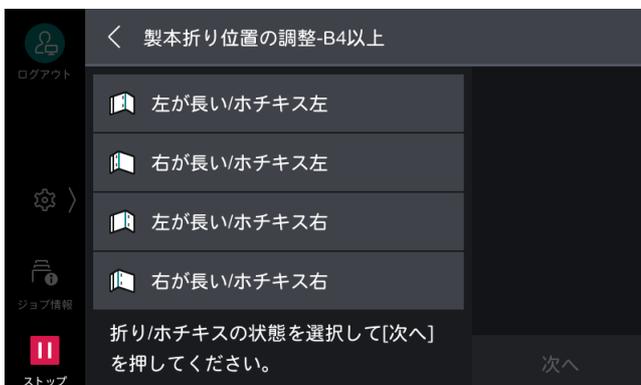


7. [確認プリント] をタップします。

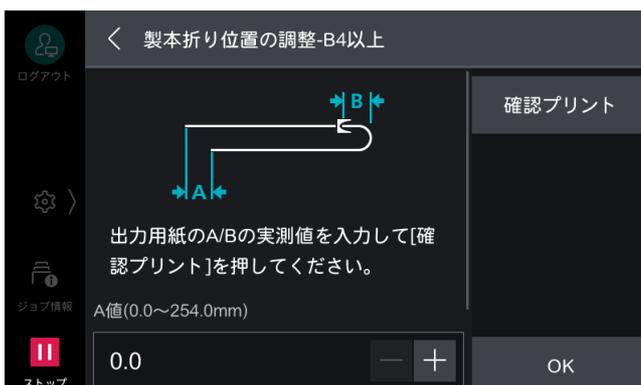
8. プリントされた出力サンプルを確認して、ずれ量を計測します。

9. [次へ] をタップします。

10. [製本折り位置の調整] で出力用紙の折りとホチキスの状態を選び、[次へ] をタップします。



11. 手順 8 で計測した値を入力して、[確認プリント] をタップします。





- 出力されたサンプルの調整結果を確認します。必要があれば、もう一度、調整し直します。

12. [OK] をタップします。

パンチ位置の調整

用紙サイズが、B4 未満 / 以上の場合でパンチ位置をそれぞれ設定します。

1. トレイにパンチ位置を調整する用紙をセットします。

2. 機械管理者でログインします。



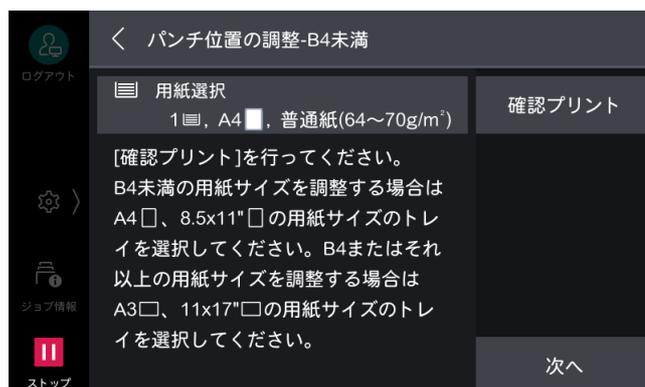
- ログインの方法については、「ログイン」(P.39) を参照してください。

3. ホーム画面で  をタップします。

4. [設定] をタップします。

5. [保守] > [フィニッシャーの調整] > [パンチ位置の調整] をタップします。

6. 調整対象の用紙サイズに合わせて、[用紙選択] で用紙を選び、[OK] をタップします。



7. [確認プリント] をタップします。

8. プリントされた出力サンプルを確認して、穴の位置を計測します。

9. [次へ] をタップします。

10. [パンチ位置の調整] で、出力サンプルの A 値の実測値と仕上げたい用紙の A 値を入力して、[確認プリント] をタップします。



- 出力されたサンプルの調整結果を確認します。必要があれば、もう一度、調整し直します。

11. [OK] をタップします。

紙折り位置の調整

用紙の種類ごとに紙折りの位置を調整し、10種類のタイプに設定できます。設定したタイプは各トレイに割り当てます。

1. トレイに折り位置を調整する用紙をセットします。
2. 機械管理者でログインします。
 参照
• ログインの方法については、「ログイン」(P.39)を参照してください。
3. ホーム画面でをタップします。
4. [設定] をタップします。
5. [保守] > [フィニッシャーの調整] > [紙折り位置の調整] をタップします。
6. [紙折り位置タイプの設定] をタップします。



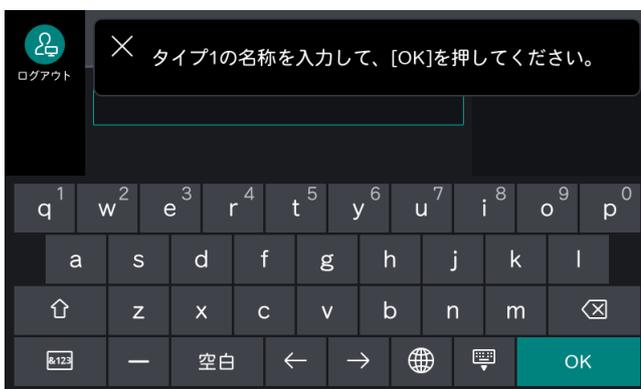
7. 設定または調整するタイプを選びます。



8. [名称] をタップします。



9. 名前を入力して、[OK] をタップします。



10. 調整が終わったら、[OK] をタップします。



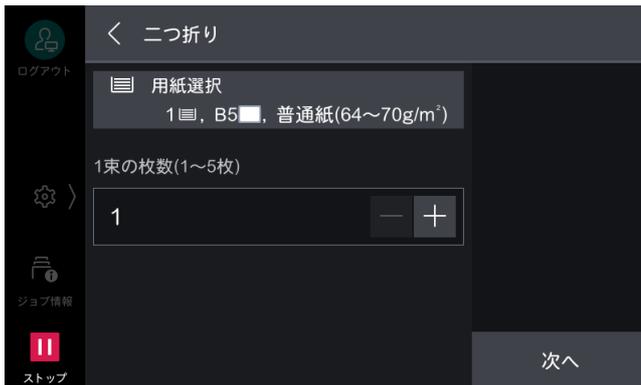
60 参照

- それぞれの折り調整については、「二つ折りの位置調整」(P.193)、「製本の位置調整」(P.195)、「内三つ折りの位置調整」(P.198)、「外三つ折りの位置調整」(P.199)、「Z折りの位置調整」(P.199)を参照してください。

二つ折りの位置調整

1. [二つ折り] をタップします。

2. [用紙選択] をタップして、調整する用紙を選んで、[OK] をタップします。



3. [1束の枚数(1~5枚)] の枚数を設定して、[次へ] をタップします。

4. [確認プリント] をタップします。

5. [プリント] をタップします。

6. プリントが終了したら、 をタップします。

7. プリントされた出力サンプルを確認して、ずれ量を計測します。

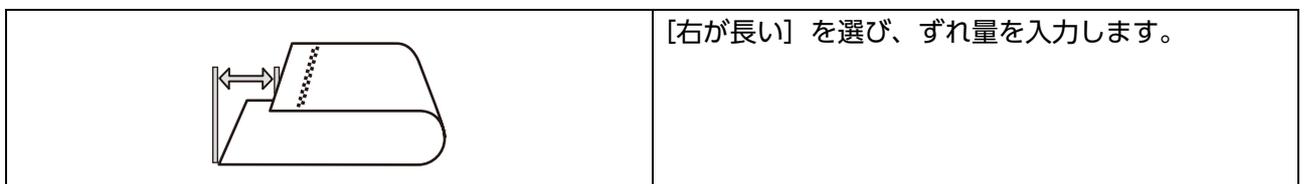
- ずれていないとき



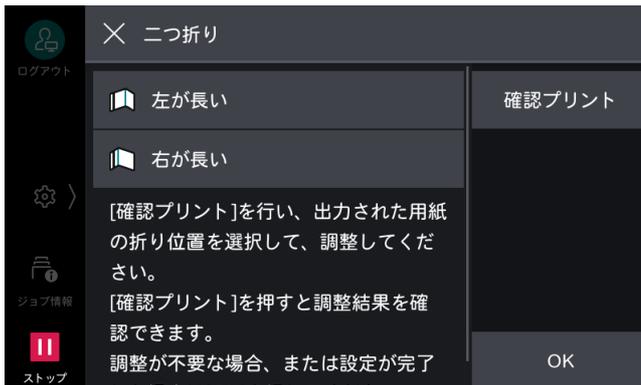
- 印字されているページのほうが大きいとき



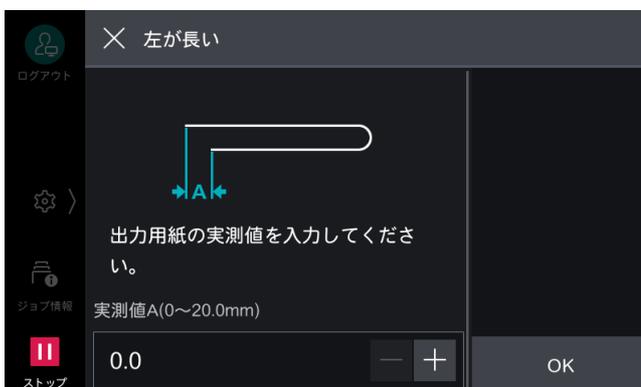
- 印字されていないページのほうが大きいとき



8. [左が長い] または [右が長い] のどちらかを選びます。



9. 手順7で計測した値を入力して、[OK] をタップします。



10. [確認プリント] をタップします。

11. [プリント] をタップします。

12. プリントが終了したら、 をタップします。

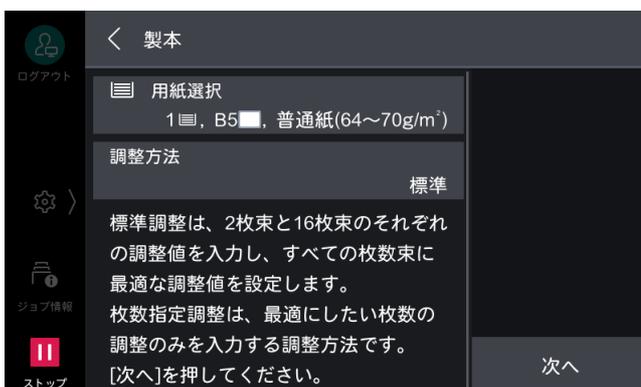
13. 出力されたサンプルの調整結果を確認します。必要があれば、もう一度、調整し直します。

14. [OK] をタップします。

製本の位置調整

1. [製本] をタップします。

2. [用紙選択] をタップして、調整する用紙を選んで、[OK] をタップします。



3. [調整方法] で [標準] または [枚数指定] のどちらかを選んで、[次へ] をタップします。

 補足

- [枚数指定] を選んだ場合は、枚数を設定します。

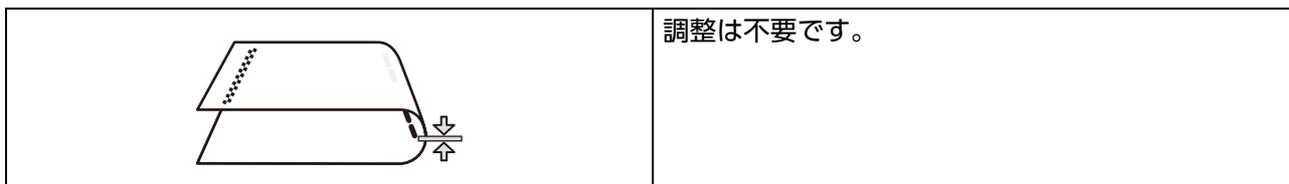
4. [確認プリント] をタップします。

5. [プリント] をタップします。

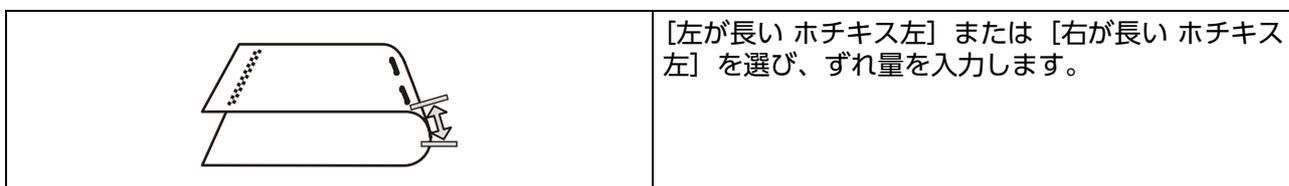
6. プリントが終了したら、画面上部の  をタップします。

7. プリントされた出力サンプルを確認して、ずれ量を計測します。

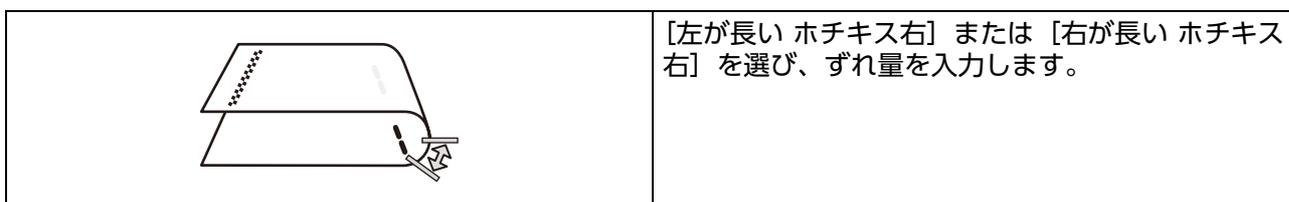
- ずれていないとき



- 印字されているページ側にホチキスが打たれているとき



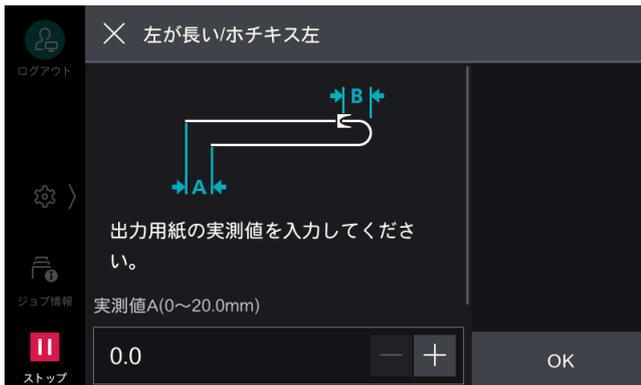
- 印字されていないページ側にホチキスが打たれているとき



8. 手順7で確認した出力用紙の折りとホチキスの位置を選びます。



9. 手順7で計測した値を入力して、[OK] をタップします。



10. [確認プリント] をタップします。

11. [プリント] をタップします。

12. プリントが終了したら、をタップします。

13. 出力されたサンプルの調整結果を確認します。必要があれば、もう一度、調整し直します。

14. [調整方法] が [標準] の場合は [次へ] をタップして手順 15 に進みます。[枚数指定] の場合は [OK] をタップして終了です。

15. [確認プリント] をタップします。

16. [プリント] をタップします。

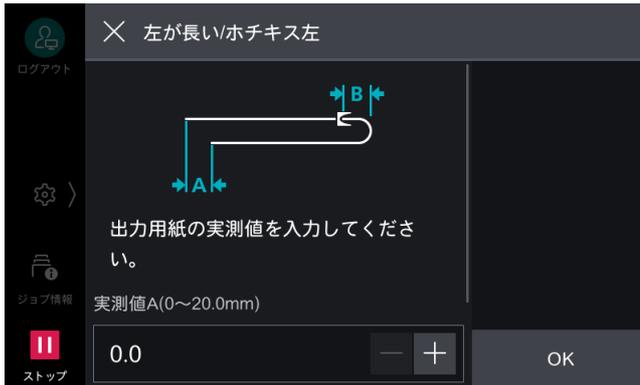
17. プリントが終了したら、をタップします。

18. プリントされた出力サンプルを確認して、ずれ量を計測します。

19. 手順 18 で確認した出力用紙の折りとホチキスの位置を選びます。



20. 手順 18 で計測した値を入力して、[OK] をタップします。



21. [確認プリント] をタップします。

22. プリントが終了したら、 をタップします。

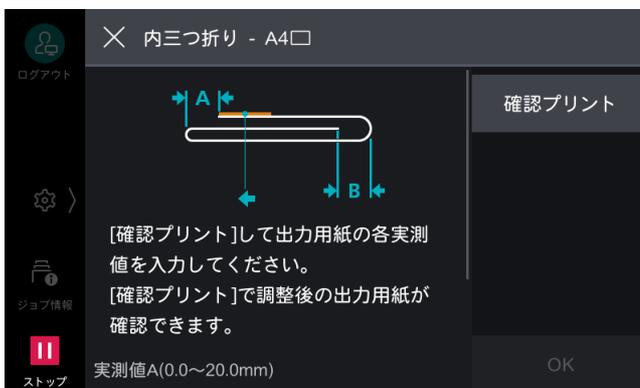
23. 出力されたサンプルの調整結果を確認します。必要があれば、もう一度、調整し直します。

24. [OK] をタップします。

内三つ折りの位置調整

1. [内三つ折り - A4] または [内三つ折り - 8.5x11"] をタップします。

2. [確認プリント] をタップします。



3. [用紙選択] をタップして、調整する用紙を選んで、[OK] をタップします。

4. [プリント] をタップします。

5. プリントが終了したら、画面上部の  をタップします。

6. プリントされた出力サンプルを確認して、折り位置移動量 A、B を計測します。



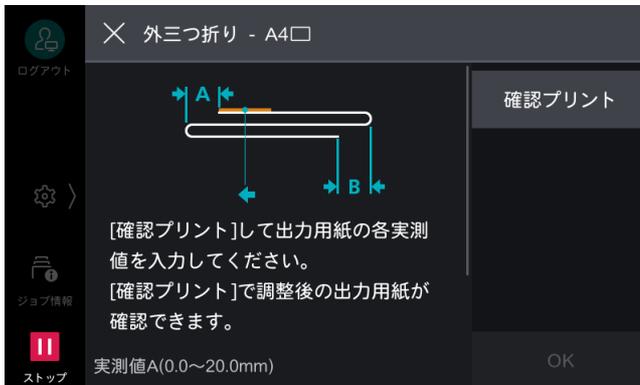
7. 手順 6 で計測した値を入力して、再度 [確認プリント] をタップします。

8. 出力されたサンプルの調整結果を確認します。必要があれば、もう一度、調整し直します。

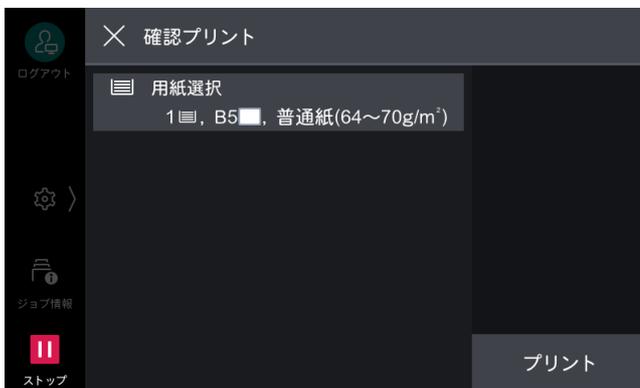
9. [OK] をタップします。

外三つ折りの位置調整

1. [外三つ折り - A4] または [外三つ折り - 8.5x11"] をタップします。
2. [確認プリント] をタップします。



3. [用紙選択] をタップして、調整する用紙を選んで、[OK] をタップします。



4. [プリント] をタップします。
5. プリントが終了したら、画面上部の×をタップします。
6. プリントされた出力サンプルを確認して、折り位置移動量 A、B を計測します。



7. 手順6で計測した値を入力して、再度 [確認プリント] をタップします。
8. 出力されたサンプルの調整結果を確認します。必要があれば、もう一度、調整し直します。
9. [OK] をタップします。

Z折りの位置調整

1. [Z折り - A3]、[Z折り - B4]、[Z折り - 11x17"] または [Z折り - 八開] をタップします。

2. [確認プリント] をタップします。



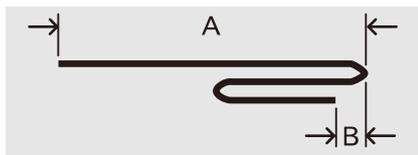
3. [用紙選択] をタップして、調整する用紙を選んで、[OK] をタップします。



4. [プリント] をタップします。

5. プリントが終了したら、画面上部の×をタップします。

6. プリントされた出力サンプルを確認して、折り位置移動量 A、B を計測します。



7. 手順6で計測した値を入力して、再度[確認プリント] をタップします。

8. 出力されたサンプルの調整結果を確認します。必要があれば、もう一度、調整し直します。

9. [OK] をタップします。

パンチユニットの設定

2/4 穴パンチユニットか 2/3 穴パンチユニット (US 規格) かを設定します。

1. 機械管理者でログインします。

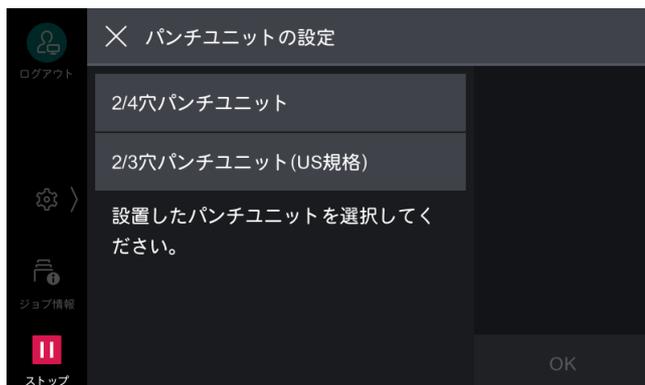
6d 参照

- ログインの方法については、「ログイン」(P.39) を参照してください。

2. ホーム画面で⚙️をタップします。

3. [設定] をタップします。

4. [保守] > [フィニッシャーの調整] > [パンチユニット設定] をタップします。
5. [2/4 穴パンチユニット] または [2/3 穴パンチユニット (US 規格)] のどちらかを選びます。



6. [OK] をタップします。
7. ホーム画面に戻ります。

補足

- 再起動画面が表示された場合は、[はい (再起動する)] をタップします。

折りを補助する筋の設定

中とじ製本時、冊子が開く場合に、折りを補助する筋を入れることができます。

補足

- 筋の本数が多いほど、製本速度が遅くなります。
- 用紙サイズや用紙種類によっては、折りを補助する筋を入れても冊子が開いてしまう場合があります。

1. 機械管理者でログインします。

参照

- ログインの方法については、「ログイン」(P.39) を参照してください。

2. ホーム画面で  をタップします。
3. [設定] をタップします。
4. [保守] > [フィニッシャーの調整] > [折りを補助する筋] をタップします。
5. 必要に応じて、次のどれかを設定します。
 - [しない]
 - [片側 1 本]
 - [片側 2 本]

- [片側 3 本]



6. [OK] をタップします。

7. ホーム画面に戻ります。



- 再起動画面が表示された場合は、[はい (再起動する)] をタップします。

9.6 清掃する



警告

- 本機の性能の劣化を防ぎ安全を確保するため、清掃には指定されたものをご使用ください。スプレータイプのクリーナーは、引火や爆発の危険がありますので、絶対に使用しないでください。



注意

- 本機の清掃を行う場合は、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源を切らずに本機の清掃を行うと、感電の原因となるおそれがあります。



注記

- 電源を切って作業する場合は、データランプが消えていることを確認してから行ってください。本機の電源を切ると、メモリー内のプリントデータや蓄積データは消去されます。

本体外部を清掃する



注記

- ベンジン、シンナーなどの揮発性のものを使用したり、殺虫剤をかけたりすると、カバー類の変色、変形、ひび割れの原因になります。
- 水でぬらしすぎると、機械が故障するおそれがあります。

1. 水でぬらして固く絞った柔らかい布で、本体の外側を拭きます。



注記

- 水または中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。



補足

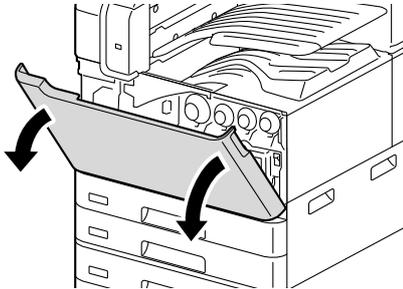
- 汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めの中性洗剤を少量含ませ、軽く拭いてください。

2. 柔らかい布で、水分を拭き取ります。

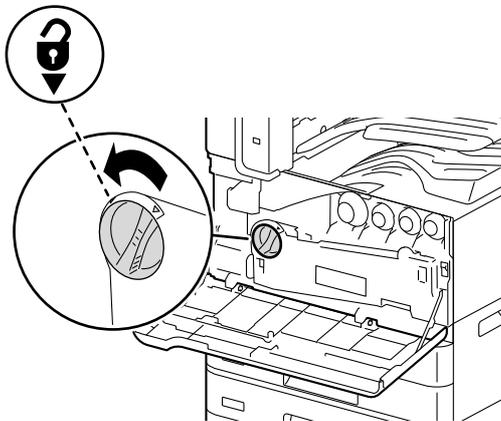
本体内部（LEDプリントヘッド部）の清掃

LEDプリントヘッド部の清掃は、通常、ドラムカートリッジの交換時、およびトナー回収ボトルの交換時に行います。ただし、プリントに白筋や色筋がでるなど画質に影響がある場合は、LEDプリントヘッド部を清掃してください。

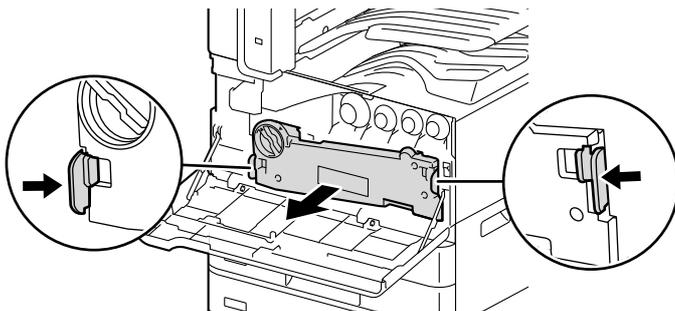
1. 本機が停止していることを確認し、正面カバーを開けます。



2. 正面から見て左側にあるハンドルを左側に回します。

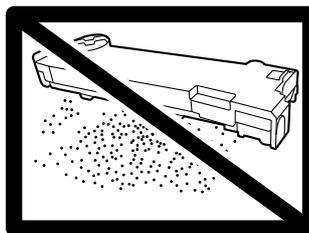
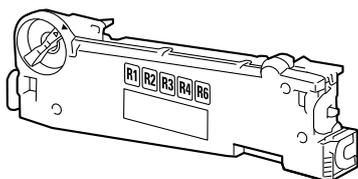


3. 搬送ボックスの両端のつまみをつまんで、ボックスを外します。



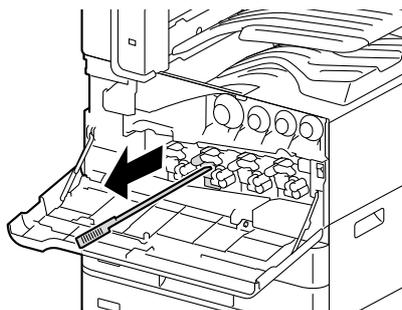
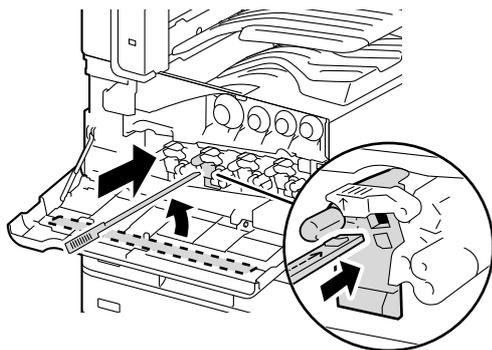
補足

- 外したボックスは立てた状態で平らな場所に置いてください。



4. 正面カバーの裏側に付属している清掃棒を取り出し、LEDプリントヘッド部内をそれぞれ清掃します。

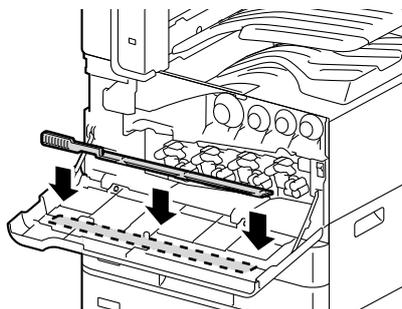
清掃棒の矢印（↑）部を上に向けて、奥に突き当たるまで差し込み、ゆっくりと引き抜きます。



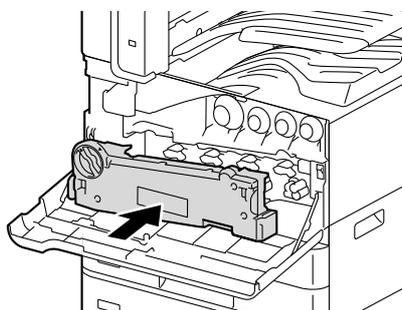
 補足

• 4か所（R1～R4）を、すべて往復2～3回ずつ清掃してください。

5. 清掃棒を正面カバーの裏側にある元の場所に戻します。



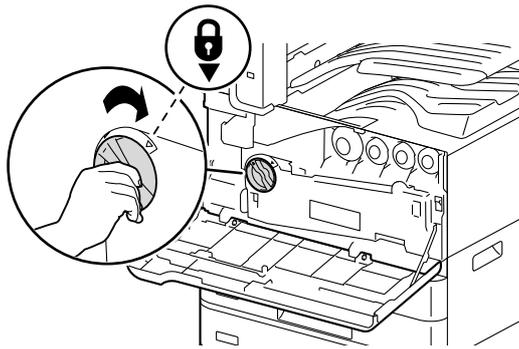
6. 搬送ボックスを元に戻します。



 補足

• ボックス本体を押して、ボックスが確実に閉じるのを確認してください。

7. ハンドルを右側に回して、ロックします。



8. 正面カバーを閉じます。

10 困ったときには

10.1 紙詰まりの処置

用紙が詰まると、機械が停止してアラームが鳴ります。また、タッチパネルディスプレイには、メッセージが表示されます。表示されているメッセージに従って、詰まっている用紙を取り除いてください。

用紙は破れないように、ゆっくりと取り除いてください。取り出す途中で紙が破れたときも紙片を機械の中に残さないで、すべて取り除いてください。

処置を終了しても紙詰まりのメッセージが表示される場合は、ほかの箇所でも用紙が詰まっています。メッセージに従って処置してください。

紙詰まりの処置が終了すると、自動的に用紙が詰まる前の状態からプリントが再開されます。

警告

- 用紙トレイを引き抜いて紙詰まり処理を行う場合には、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。お客様自身で行うと思わぬケガをするおそれがあります。

注意

- 本機内部に詰まった用紙や紙片は無理に取り除かないでください。特に、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときは無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。ただちに電源を切り、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

注記

- 紙詰まりが発生したとき、紙詰まり位置を確認しないで用紙トレイを引き出すと、用紙が破れて機械の中に紙片が残ってしまうことがあります。故障の原因になるので、紙詰まりの位置を確認してから処置をしてください。
- 紙詰まりの処置をするときは、本機の電源を入れたまま行ってください。
- 本機内部の部品には触れないでください。印字不良の原因になります。

10.2 ホチキスカートリッジの針が詰まった場合

注記

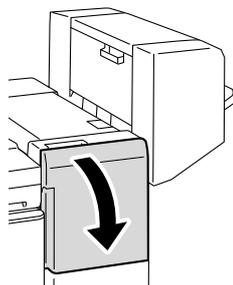
- 詰まったホチキス針を取り除くときには、指などにケガをしないように十分注意してください。
- 針詰まりの処置をするときは、本機の電源を入れたまま行ってください。

補足

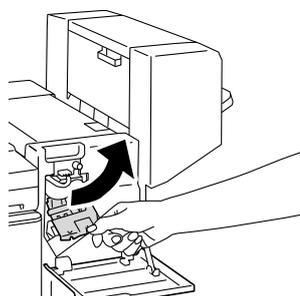
- 針が取り除けないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

ホチキスカートリッジの針詰まり (フィニッシャー B)

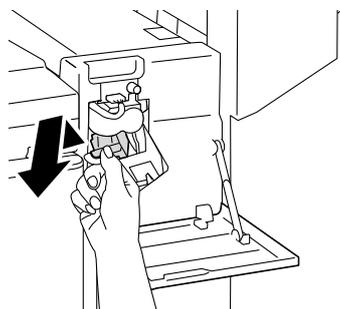
1. 本機が停止していることを確認し、フィニッシャーの正面カバーを開けます。



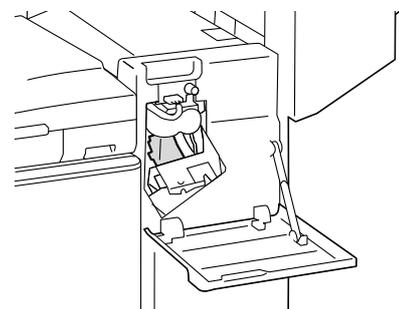
2. ホチキスカートリッジ「R1」のつまみを持って、ホチキスカートリッジを右端 (手前) に引き寄せます。



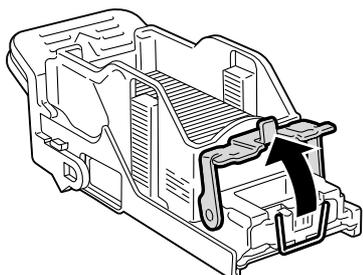
3. 上方向へ引き上げ、ホチキスカートリッジを取り出します。



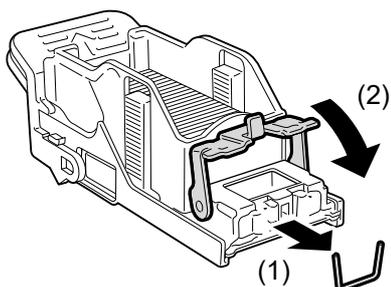
4. ホチキスカートリッジを取り出したあと、フィニッシャー内部に針がないか確認します。



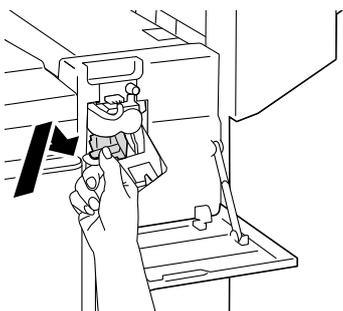
5. ホチキスカートリッジの、図の位置にある金属部分を押し上げます。



6. 詰まっているホチキス針を取り除き (1)、手順5で押し上げた金属部分を元に戻します (2)。



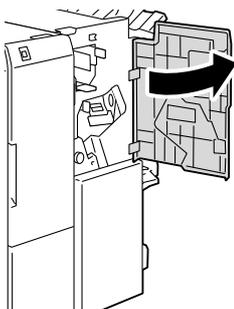
7. 「カチッ」と音がするまで、ホチキスカートリッジを押し込みます。



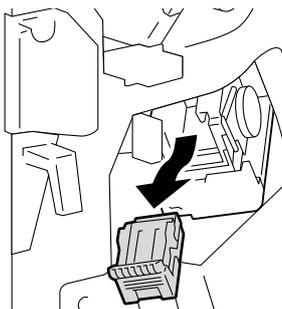
8. フィニッシャーの正面カバーを閉じます。

平とじホチキスカートリッジの針詰まり (フィニッシャー C/中とじフィニッシャー C)

1. 本機が停止していることを確認し、フィニッシャーの正面カバーを開けます。

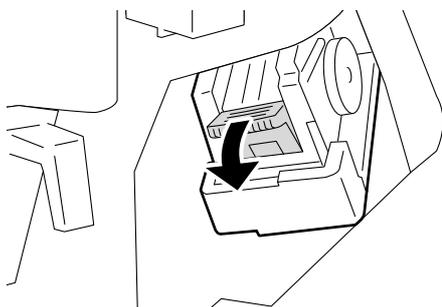


2. レバーを持って、ホチキスカートリッジを取り出します。



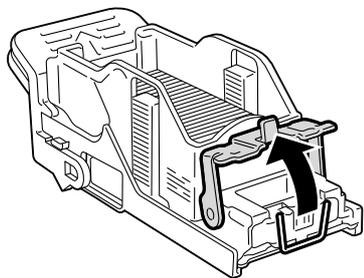
補足

- 65 枚用ホチキスカートリッジを装着している場合は、レバーを下方向に倒して、ホチキスカートリッジを引き出してください。

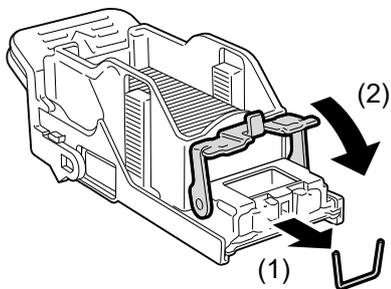


3. ホチキスカートリッジを取り出したあと、フィニッシャー内部に針がないか確認します。

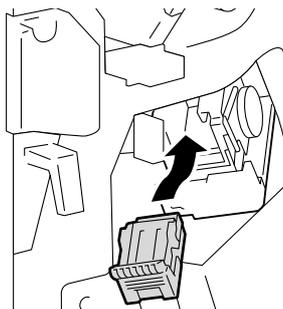
4. ホチキスカートリッジの金属部分を押し上げます。



5. 詰まっているホチキス針を取り除き (1)、手順 4 で押し上げた金属部分を元に戻します (2)。



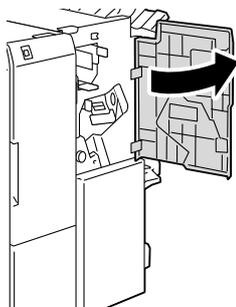
6. ホチキスカートリッジのレバーを持って、元の位置に戻し、「カチッ」と音がするまで押し込みます。



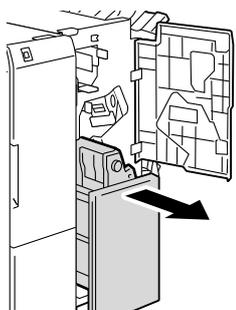
7. フィニッシャーの正面カバーを閉じます。

中とじホチキスカートリッジの針詰まり (中とじフィニッシャー C)

1. 本機が停止していることを確認し、フィニッシャーの正面カバーを開けます。



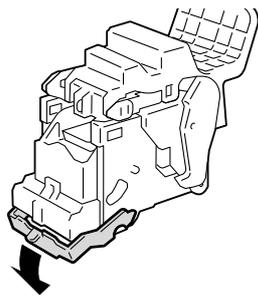
2. 中とじユニットを引き出します。



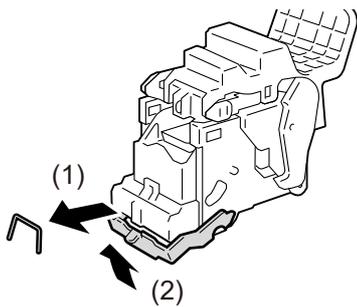
3. 中とじホチキスカートリッジのレバーを持ち、下方方向に倒してから、上に引いて取り出します。



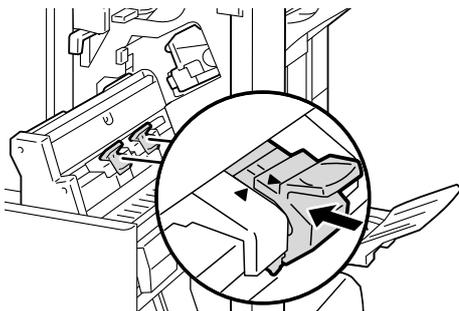
4. ホチキスカートリッジの金属部分を押し下げます。



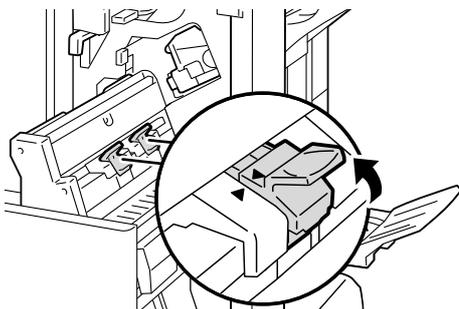
5. 詰まっているホチキス針を取り除き (1)、手順 4 で押し下げた金属部分を元に戻します (2)。



6. 中とじホチキスカートリッジを元の位置に戻します。



7. 軽く押し上げて、「カチッ」と音がすることを確認します。



 補足

- 中とじホチキスカートリッジの▶と、中とじユニットの◀が合うように戻します。

8. 中とじユニットを元の位置に戻します。



9. フィニッシャーの正面カバーを閉じます。

10.3 トラブルを解決する

本機にトラブルが発生した場合の処置について説明します。

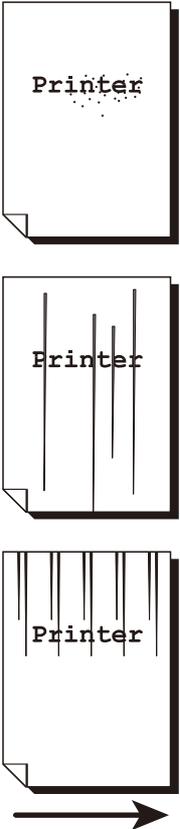
機器本体のトラブル

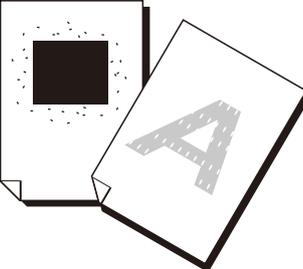
| 症状 | 原因 / 処置 |
|--------------|--|
| 電源が入らない | 電源コードが抜けていたり、またはゆるんでいたりする可能性があります。 本機の電源を切り、電源コードを電源コンセントと本機に差し込み直してください。そのあとで、本機の電源を入れてください。 本機を、適切な定格電圧および定格電流のコンセントに接続してください。 |
| パネルに何も表示されない | 節電状態になっている可能性があります。操作パネルの   (電源 / 節電) ボタンを押して、節電状態を解除してください。 |
| 異常な音がする | 本機を安定した平面の上に移動してください。 トレイを本機の奥までしっかり押し込んでください。 本機内部に異物が入っていることがあります。 電源を切り、本機内部の異物を取り除いてください。本機を分解しないと取り除けない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。 |
| 本機内部に結露が発生する | スリープモードに移行する時間を 60 分に設定し、電源を入れたまま放置してください。本機内部（ローラー、金属部分など）に水滴がないことを十分確認したうえでお使いください。また、頻繁に結露が発生する場合は、機械管理者でログインし、操作パネルで  > [設定] > [システム設定] > [システム時計 / タイマー設定] > [暖機モード動作] を [する] に設定して電源を入れたままにしてください。結露が改善することがあります。 |

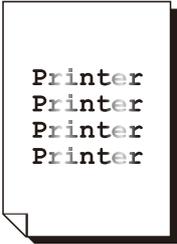
| 症状 | 原因 / 処置 |
|------------|--|
| 節電状態に移行しない | <p>次のようなときは、本機に発生している現象をお客様にお知らせするため、また、本機のパフォーマンスを発揮するために低電力モードやスリープモードに移行しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> 操作パネルで何らかの操作をしているとき 消耗品や定期交換部品の交換メッセージが表示されているとき 紙詰まりが起きた、カバーが開いているなどお客様の操作を必要としているとき 故障などによりエラーが発生しているとき [暖機モード動作] が [する] に設定されていて、本機が結露防止処理中のとき |

画質のトラブル

| 症状 | 原因 / 処置 |
|---|---|
| プリントがうすい (かすれる、不鮮明) | <p>使用している用紙が適切ではありません。用紙トレイの設定を確認の上、適切な用紙をセットしてください。</p> |
|  | <p>用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。</p> |
| | <p>別の用紙種類の設定に変更して、プリントしてください。</p> |
| | <p>トナーカートリッジ内にトナーが残っていないことがあります。残量を確認の上、新しいトナーカートリッジと交換してください。</p> |
| | <p>プリンタードライバーからプリントした場合は、階調補正を行ってください。詳しくは、「階調を補正する」(P.176)を参照してください。</p> |
| | <p>ドラムカートリッジまたは定着ユニットが、劣化または損傷しています。 ドラムカートリッジおよび定着ユニットの状態によっては、交換が必要な場合があります。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p> |
| | <p>トナーセーブ機能が有効になっています。 プリンタードライバーの [グラフィックス] タブで [トナー節約] をしないように設定してください。</p> |
| <p>6d 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。 | |

| 症状 | 原因 / 処置 |
|---|---|
| <p>黒点や黒線または色線がプリントされる 等間隔に汚れが発生する 等間隔に汚れが起きる</p>  | <p>用紙搬送路に汚れが付着していることがあります。 数枚プリントしてください。</p> <p>定着器が汚れていることがあります。 ⚙️ > [設定] > [保守] > [定着器クリーニング] で定着器に付着した汚れをクリーニングしてください。</p> <p>ドラムカートリッジまたは定着ユニットが、劣化または損傷しています。 ドラムカートリッジと定着ユニットの状態によっては、交換が必要な場合があります。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p> |
| <p>指でこするとかすれる トナーが定着しない 用紙がトナーで汚れる</p>  | <p>選択されているトレイの用紙種類が適切ではありません。別の用紙種類の設定に変更して、プリントしてください。</p> <p>特殊な用紙では定着ができないことがあります。適切な用紙に交換してください。</p> <p>用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。</p> |
| <p>用紙全体が黒くプリントされる</p>  | <p>ドラムカートリッジが劣化または損傷しています。 ドラムカートリッジの状態によっては、交換が必要な場合があります。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p> <p>電源または高圧電源の故障が考えられます。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p> |

| 症状 | 原因 / 処置 |
|--|---|
| <p>何もプリントされない</p>  | <p>一度に複数枚の用紙が搬送されています。用紙をよくさばいてからセットし直してください。</p> <p>ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。ドラムカートリッジの状態によっては、交換が必要な場合があります。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p> <p>電源または高圧電源の故障が考えられます。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p> |
| <p>白抜けや白筋、または色筋が出る</p>  | <p>使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。</p> <p>用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。</p> <p>本体内部（LED プリントヘッド部）が汚れています。本体内部を清掃してください。</p> <p>6D 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、「本体内部（LED プリントヘッド部）の清掃」（P.203）を参照してください。 <p>ドラムカートリッジまたは定着ユニットが劣化、または損傷しています。</p> <p>ドラムカートリッジと定着ユニットの状態によっては、交換が必要な場合があります。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p> |
| <p>画像の一部が抜けて白点になる 画像の一部が白く抜ける 画像周辺にトナーが飛び散る 画像全体に青みがかったり</p>  | <p>別の用紙種類の設定に変更して、プリントしてください。</p> <p> > [設定] > [保守] > [画質調整] > [転写出力調整] > [サンプルプリント番号指定調整] で転写出力を調整してください。白点になる / 白く抜ける場合は、転写出力の値を下げます。</p> <p>トナーが飛び散る場合は、転写出力の値を上げます。</p> |
| <p>文字がにじむ</p>  | <p>使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。</p> <p>用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。</p> |

| 症状 | 原因 / 処置 |
|---|---|
| <p>文字化けする 画面表示とプリント結果が一致しない</p>  | <p>TrueType フォントをプリンターフォントに置き換える設定になっています。 プリンタードライバーの、[詳細設定] タブで、TrueType フォントを置き換えないように設定してください。</p> |
| <p>斜めにプリントされる</p>  | <p>用紙ガイドが正しい位置にセットされていません。用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、「用紙をセットする」(P.54)を参照してください。 |
| <p>用紙送り方向に対して垂直方向に濃度のムラがある</p>  | <p>機械管理者モードにログインし、 > [設定] > [保守] > [画質調整] > [面内ムラ調整] で濃度ムラを調整してください。詳しくは、「出力イメージの手動濃度調整 (手動面内ムラ調整)」(P.188)を参照してください。</p> |
| <p>周期的な縦方向の濃度ムラがある</p>  | <p>機械管理者モードにログインし、 > [設定] > [保守] > [画質調整] > [面内ムラ調整] で濃度ムラを調整してください。詳しくは、「出力イメージの手動濃度調整 (手動面内ムラ調整)」(P.188)を参照してください。</p> |
| <p>色味がおかしい</p> | <p>プリンタードライバーからプリントした場合は、階調補正を行ってください。詳しくは、「階調を補正する」(P.176)を参照してください。</p> |

| 症状 | 原因 / 処置 |
|---------------------|---|
| はがきや封筒にきれいにプリントされない | 本機で使用できない種類のはがきや封筒がセットされています。適切な用紙をセットしてください。 |
| | プリンタードライバーのプロパティや操作パネルで、用紙の種類が適切に設定されていることを確認してください。 |
| | トナーセーブ機能が有効になっています。プリンタードライバーの [グラフィックス] タブで [トナー節約] をしないように設定してください。 6d 参照 • 詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。 |

トレイや用紙送りのトラブル

| 症状 | 原因 / 処置 |
|--|--|
| 用紙が送られない 紙詰まりが起こる 用紙が重送される 用紙が斜めに送られる 用紙にしわが付く | 用紙を正しくセットしてください。また、ラベル紙、はがきなどの厚い紙、封筒などをセットする場合は、用紙の間に空気が入るように、紙をよくさばいてください。 |
| | 用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。 |
| | 使用できる用紙をセットしてください。 用紙の種類や用紙の状態によっては、用紙にしわが付くことがあります。 |
| | トレイを本機の奥までしっかり押し込んでください。 |
| | 本機を安定した平面の上に移動してください。 |
| | 用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。 トレイにセットしてある用紙を使い切る前に、用紙を継ぎ足さないで、セットしている用紙をよくさばいてから、もう一度セットしてください。用紙を補給するときは、セットしている用紙を使い切ってから補給してください。 |
| トレイが正しく選択されない | 用紙ガイドの位置がずれていると、本機はセットされている用紙のサイズを正しく検知できないことがあります。用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。 |
| | プリンタードライバーのプロパティや操作パネルで、トレイの設定、用紙サイズ、および用紙種類が適切に設定されていることを確認してください。 |
| 用紙の角が折れる | 用紙が反って（カールして）いると、角が折れることがあります。次の対処をしても改善しない場合は、新しい用紙と交換してください。 <ul style="list-style-type: none"> • 反りが直るように、用紙を平らにならしてください。 • 用紙を裏返してください。 • トレイ 1～4 を使用している場合は、トレイ 5（手差し）を使用してください。 |
| トレイ 5（手差し）から用紙が送られない | プリンタードライバーの [トレイ / 排出] タブで [用紙トレイ選択] を [自動] に設定しています。[トレイ 5（手差し）] を選択するか、[自動] の場合はトレイ 5（手差し）を自動選択トレイの対象に設定してください。 |
| トレイ 5（手差し）から用紙を送った際、用紙の先端が折れる | 用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。トレイ 5（手差し）の用紙セット枚数を 30 枚以下に減らしてください。 用紙のセット方向を変更してください。用紙トレイ 1～4 から用紙を送ってください。 |

プリントのトラブル

| 症状 | 原因 / 処置 |
|--|--|
| 状態表示ランプが点滅している | 操作パネルに表示されているエラーメッセージを確認して、エラーの対処をしてください。 |
| プリントできない | <p>本機の IP アドレスが正しく設定されているか確認してください。</p> <p>6d 参照 <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、「IP アドレスを変更する」(P.36) を参照してください。 </p> <p>受信制限の設定を確認してください。</p> <p>一度に送信されるプリントデータの容量が、本機の受信容量の上限を超えている可能性があります。受信バッファ容量の設定をメモリスプールにしている場合に、この現象が発生することがあります。 プリントデータを本機の受信容量上限より小さいサイズに分割してください。 プリントデータが複数ある場合は、一度にプリントするファイルの量を減らしてプリントしてください。</p> |
| プリントに時間がかかる | <p>受信バッファ容量の不足が考えられます。解像度の高い文書をプリントするときは、操作パネルの [メモリー設定] で使用しない項目のメモリー容量を減らし、受信バッファ容量が大きくなるようにしてください。 受信バッファ容量を増やすと、プリント処理が速くなる場合があります。プリントデータの容量に応じて、受信バッファ容量を調整してください。また、使用していないポートを停止して、ほかの用途向けにメモリーを割り当てることをおすすめします。</p> <p>プリンタードライバーの [印刷モード] の設定で、[グラフィックス] タブの [印刷モード] の設定を [標準] に変更すると、プリントにかかる時間を短縮できることがあります。</p> <p>6d 参照 <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。 </p> <p>TrueType フォントのプリント方法によっては、プリントに時間がかかることがあります。プリンタードライバーの [詳細設定] タブにある [フォントの設定] で、TrueType フォントのプリント方法を変更してください。</p> <p>厚紙、コート紙など用紙の種類によりプリント速度が遅くなる場合があります。 また、連続運転をしていて、本機内部の温度が一定以上になった場合は、プリント速度を落としてプリントします。そのまま、連続運転したり、さらに温度が上がったりした場合は、エラーで停止します。そのときは、電源を切って、しばらく待ってプリンター内部の温度を下げた後、電源を入れ直してください。</p> |
| プリントを指示していないのに、[プリントしています。] が表示される (USB インターフェイス使用時) | 本機の電源を入れたあとに、コンピューターの電源を入れた場合は、プリントを中止してください。 |

| 症状 | 原因 / 処置 |
|----------------------------------|---|
| 印字された文書の上部が欠ける 思った位置にプリントされない | 用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。 |
| | プリンタードライバーで余白の設定が正しいかどうかを確認してください。 |
| |  > [設定] > [保守] > [画質調整] > [アライメント調整] でプリントする位置を調整してください。 |

無線 LAN 接続時のトラブル

| 症状 | 原因 / 処置 |
|---|---|
| 無線 LAN に接続できない | Wi-Fi の設定が無効になっています。 機械管理者でログインし、  > [設定] > [ネットワーク設定] > [無線 LAN 設定] > [基本設定] を [有効] に設定し、[Wi-Fi 接続設定] を設定してください。 |
| | 無線 LAN アクセスポイントの SSID が間違っています。 機械管理者でログインし、  > [設定] > [ネットワーク設定] > [無線 LAN 設定] > [Wi-Fi 接続設定] の一覧から正しい SSID を選択するか、[手動設定] から正しい SSID を入力してください。 |
| | コンピューターのファイアウォール設定により、本体との通信が遮断されていることがあります。ファイアウォールの設定を確認してください。 |
| | 無線 LAN アクセスポイントが IEEE802.11a/b/g/n/ac に準拠していることを確認してください。 |
| 無線 LAN アクセスポイントの SSID は正しいのに接続できない Wi-Fi 設定の通信状態が未接続になっている | 無線 LAN アクセスポイントの SSID とパスワードが本機に誤って入力されていることがあります。 機械管理者でログインし、  > [設定] > [ネットワーク設定] > [無線 LAN 設定] > [Wi-Fi 接続設定] から該当する SSID を選択し、正しいパスワードを入力してください。 |
| | 本機の Wi-Fi 設定の動作周波数帯が固定 (2.4/5 GHz) で、無線 LAN アクセスポイントの SSID と異なっていることがあります。 本機の Wi-Fi 設定の周波数帯を、無線 LAN アクセスポイントに合わせて変更してください。 |
| | 本機の Wi-Fi の暗号化設定がアクセスポイントの設定と異なっていることがあります。 機械管理者でログインし、  > [設定] > [ネットワーク設定] > [無線 LAN 設定] > [Wi-Fi 接続設定] > [手動設定] > [暗号化設定] から正しい暗号情報を設定してください。 |
| | 無線 LAN アクセスポイントの MAC アドレス制限により、本機の MAC アドレスが許可されていないことがあります。 本機の MAC アドレスが無線 LAN アクセスポイントのフィルタで許可されていることを確認してください。MAC アドレスは本機の操作パネルで確認できます。 |

| 症状 | 原因 / 処置 |
|---|--|
| [Wi-Fi 接続設定] の一覧に接続する無線 LAN アクセスポイントが表示されない | <p>本機の [Wi-Fi 接続設定] の一覧に表示されるアクセスポイントは 5 件までです。アクセスポイントが表示されない場合は、機械管理者でログインし、 > [設定] > [ネットワーク設定] > [無線 LAN 設定] > [Wi-Fi 接続設定] > [手動設定] から SSID とパスワードを設定してください。</p> <p>無線 LAN アクセスポイントがステルスモードになっています。機械管理者でログインし、 > [設定] > [ネットワーク設定] > [無線 LAN 設定] > [Wi-Fi 接続設定] > [手動設定] から SSID とパスワードを設定してください。</p> <p>ルーターで以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 無線 LAN 機能があるか ルーターの動作モード (ルーター / ブリッジ / AP / 中継機) が正しく設定されているか ルーターの入れ替えや設定を変更していないか モバイルルーターの接続可能台数を超えた機器が接続されていないか |
| [Wi-Fi 接続設定] で WPS で接続できない | 無線 LAN アクセスポイントのセキュリティー設定が WPA または WPA2 であることを確認してください。 |
| [Wi-Fi 接続設定] で WPS-PBC (押しボタン方式) で設定できない | 本機の WPS 操作を開始してから 2 分以内に無線 LAN アクセスポイントの WPS ボタンを押してください。機械管理者でログインし、  > [設定] > [ネットワーク設定] > [無線 LAN 設定] > [Wi-Fi 接続設定] > [WPS 設定 (押しボタン)] から設定してください。 |
| [Wi-Fi 接続設定] で WPS-PIN (PIN コード方式) で設定できない | 無線 LAN アクセスポイントに入力した PIN コードが正しいことを確認してください。機械管理者でログインし、  > [設定] > [ネットワーク設定] > [無線 LAN 設定] > [Wi-Fi 接続設定] > [WPS 設定 (PIN コード)] から設定してください。 |
| Wi-Fi 設定の通信状態が「弱」になっている | <p>無線 LAN アクセスポイントと本機の設置距離を近づけてください。</p> <p>複数の無線 LAN アクセスポイントがあり、同じ SSID を設定していることがあります。本機に近い無線 LAN アクセスポイントの SSID とパスワードを本機に設定してください。ローミング機能を使用する場合は、複数の無線 LAN アクセスポイントで同じ SSID とパスワードを設定してください。</p> <p>複数の無線 LAN アクセスポイントがあつてチャンネルが混雑しているか、周囲に電子レンジや防犯カメラなどの電波に干渉する機器があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 5 GHz で無線 LAN アクセスポイントと接続してください。 本機と無線 LAN アクセスポイントを近づけてください。 |

外部認証 (LDAP) の設定

| 症状 | 原因 / 処置 |
|---------------------------------------|---|
| ログインに時間がかかり、同じユーザーでログインに成功したり、失敗したりする | <ul style="list-style-type: none"> LDAP サーバーの検索範囲が大きすぎる 検索範囲に含まれるエントリー数が多すぎる <p>[検索起点エントリー (DN)] と [起点からの検索範囲] を見直します。詳しくは、「[外部認証サーバー設定]」(P.130) を参照してください。</p> <p>また、本機の LDAP サーバーへの通信時の待ち時間を十分長い時間に設定することでログインの失敗を回避できることがあります。ただし、ログインにかかる時間は短縮されないため、あくまでも暫定的な回避方法です。</p> <p>次の手順で通信時の待ち時間を設定できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ホーム画面で  をタップします。 2. [設定] をタップします。 3. [ネットワーク設定] > [外部認証サーバー設定] > [認証システムの設定] をタップします。 4. 次の設定を確認し、必要に応じて変更します。 <ul style="list-style-type: none"> • [認証応答待ち時間の上限] LDAP サーバーに認証要求を行った場合の、サーバーからの応答に対する待ち時間の上限を設定します。 ネットワークへの負荷が疑われる場合には、この値を変更します。 • [ユーザー情報検索時間の上限] LDAP サーバーに検索要求を行った場合の、サーバーからの応答に対する待ち時間の上限を設定します。 LDAP サーバーへの負荷が疑われる場合には、この値を変更します。 |

IC カード登録のトラブル

IC カード登録の操作中に、タッチパネルディスプレイにエラーコードが表示された場合は、次の表を参照して対処してください。

| エラーコード | 対処方法 |
|--|---|
| - | ユーザー ID、またはパスワードが正しくないメッセージが表示された場合は、入力内容を確認してから操作し直してください。 |
| 001, 003, 004, 007, 008, 009, 011, 012, 013, 017, 019, 035, 036, 051, 052, 053, 054, 065, 066, 067, 070, 071, 076, 080, 083, 084, 085, 086, 090, 092, 093, 094, 095, 097 | 外部認証に使用する LDAP サーバーの情報が正しいかどうか確認してください。 Active Directory の設定を確認してください。 |
| 002, 033, 089 | 外部認証に使用する LDAP サーバーの情報が正しいかどうか確認してください。 |
| 087 | 外部認証に使用する LDAP サーバーの情報が正しいかどうか確認してください。 [入力ユーザー名の属性]、または [認証用ユーザー名の属性] が正しいかどうか確認してください。 |

| エラーコード | 対処方法 |
|---|--|
| 016, 018, 032, 048, 049, 150, 151 | ID とパスワードを確認してから、入力し直してください。 外部認証に使用する LDAP サーバーの情報が正しいかどうか確認してください。 Active Directory に、該当ユーザーの情報が登録されているかどうか確認してください。 Active Directory で有効なユーザーかどうか確認してください。 Active Directory でパスワードの有効期限が切れていないか確認してください。 Active Directory で初回にパスワードを変更するよう設定されている場合は、コンピューターなどで Active Directory にアクセスして、パスワードを変更してください。 |
| 021, 034 | ID とパスワードを確認してから、入力し直してください。 外部認証に使用する LDAP サーバーの情報が正しいかどうか確認してください。 Active Directory でパスワードの有効期限が切れていないか確認してください。 Active Directory で初回にパスワードを変更するよう設定されている場合は、コンピューターなどで Active Directory にアクセスして、パスワードを変更してください。 |
| 050 | IC カード登録を利用するユーザーに、Active Directory サーバーの書き込み権限がありません。 ユーザー自身が自分の情報を変更できるように、読み取り権限、および書き込み権限を設定してください。 |
| 081, 091 | 外部認証に使用する LDAP サーバーの情報が正しいかどうか確認してください。 Active Directory サーバーの電源が入っていることを確認してください。 Active Directory の設定を確認してください。 ネットワークが接続されていることを確認してください。 |
| 110, 202, 704 | 最初から登録し直してください。 |
| 122 | ユーザー ID を確認してから、入力し直してください。 |
| 201 | ID とパスワードを入力し直してください。 |
| 301 | 次の内容を確認し、最初から登録し直してください。 • パスワードを 4 ～ 12 文字の範囲で指定する。パスワードを指定しない場合は空白にする。 • ユーザー名を、半角 32 文字（全角 10 文字）以内で指定する。 • メールアドレスを、半角英数字と記号で 128 文字以内で指定する。 |
| 302, 303, 304 | 機械管理者にユーザー情報の削除を依頼し、再度登録してください。 |
| 307, 308, 309, 404, 500, 600, 707, 709, 900 ～ 999 | 機械を再起動してください。 改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。 |
| 401, 706 | 機械管理者に初期設定を依頼してください。 |
| 702 | カードの管理者に、カードの確認を依頼してください。 |
| 705 | 認証ボタンを押して、ログアウトしてください。 |
| 710 | 機械管理者に認証設定の確認を依頼してください。 |
| 711 | ユーザー ID を変更してください。 |

| エラーコード | 対処方法 |
|------------|--|
| 801, 802 | 弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。 |
| 1002, 3061 | 認証ボタンを押してログアウトしてから、操作し直してください。 |
| 3060, 3065 | しばらく時間を置いてから、再度実行してください。 |
| 3062 | いったんログアウトし、カードをかざして認証してから、IC カード登録を起動してください。 |
| 3063 | 本機がジョブを実行中、または割り込み中でないことを確認してから、操作し直してください。 |
| 3064 | 機械管理者 ID でログインし直してから、IC カード登録を起動し直してください。 |

追加型アプリケーション更新のトラブル

| メッセージ | 対応方法 |
|--|---|
| サーバーに接続できません | <p>インターネットを使用したサーバーとの接続で通信エラーが発生しました。</p> <p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • LAN ケーブルの接続 • DNS サーバーアドレス設定 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 • プロキシサーバー設定 <p>また、フィルタリングソフトなどでブロックされている場合はブロックを解除してください。</p> <p>上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害、またはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者にご相談ください。</p> |
| ネットワークの設定を確認してください | |
| 接続できないサービスがあります | |
| ネットワークの設定、プロキシの設定、フィルタリングソフトウェアの設定を確認してください。 | |
| サービスが停止しています | |
| しばらく待ってから再度実行してください | しばらく待ってから、再度実行してください。 |
| エラーが発生しました | |
| ダウンロードに失敗しました (# エラーコード) | |
| 再度実行してください。 | |
| 症状が変わらない場合は、本機を再起動してみてください。 | |
| この機種には設置できません | 該当の追加型アプリケーションは設置できません。 |
| 設置できないバージョンです | 該当の追加型アプリケーションは更新できません。 |
| バージョン不整合が発生しました | 2 つ以上の追加型アプリケーションで共有しているモジュールで不整合が発生しています。設置、または更新しようとした追加型アプリケーションの更新はできません。 |
| XXX が既に設置されています | ほかの追加型アプリケーションと競合しているため、該当の追加型アプリケーションは設置できません。 |
| XXX を削除してから設置してください | 該当の追加型アプリケーションを削除してください。 |

10.4 エラーコード

エラーコードとは、エラーが発生してプリントが正常に終了しなかった場合や、本体に故障が発生した場合に、本機のタッチパネルに表示される6桁の数字です。

エラーコードが表示されたときはエラーコードを公式サイトで確認してください。

1. 弊社公式サイトにアクセスします。

<https://www.fujifilm.com/fb/>

2. ページ上部の検索ボックスにエラーコードを入力して検索します。

3. ページ内の指示に従って設定し、[エラーコード検索] をクリックします。

エラーコード検索

弊社複合機およびプリンターの様々な問題発生時に表示されるエラーコードの原因と処置方法を検索することができます。
ご利用の前にごちをお読みください。

1. エラーコードを入力してください。

例：012-345

エラーコード： -

注記：094の場合、「94」ではなく「094」と必ず「0」を含んだコードを入力してください。
また、コードは半角文字で入力してください。

2. ご使用の商品を入力してください。

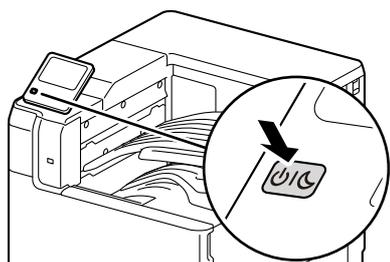
商品名：

11 オプション製品の取り付け

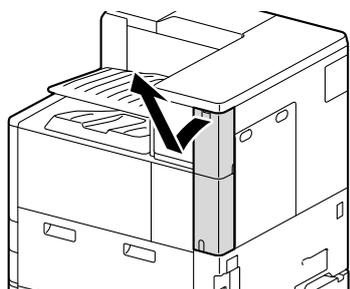
オプション製品の最新情報については、弊社公式サイトをご覧ください。
<https://www.fujifilm.com/fb/>

11.1 無線キットの取り付け

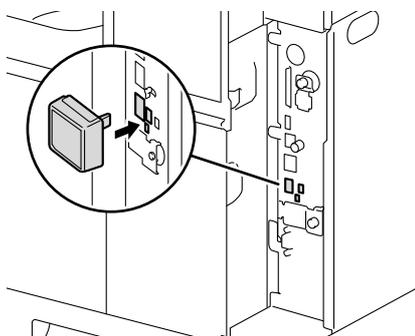
1. 電源/節電ボタンを押し、[電源を切る]を選んで、電源を切ります。



2. 電源コードをコンセントおよび本機から抜きます。
3. 本機の右奥カバーを外します。



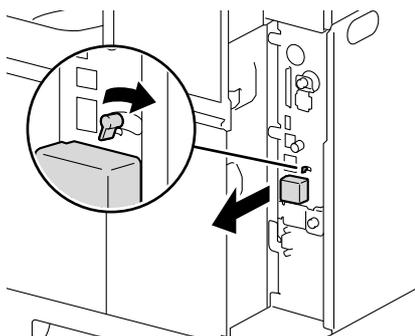
4. 無線キットのコネクターを無線キットソケットにまっすぐ差し込みます。



補足

- 無線キットを取り外す場合は、ロックレバーを矢印の方向に動かしたまま、無線キットを取り外してください。

- ロックレバーを矢印の方向に動かした状態で、無線キットが取り外せない場合は、無理な操作はしないで弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。



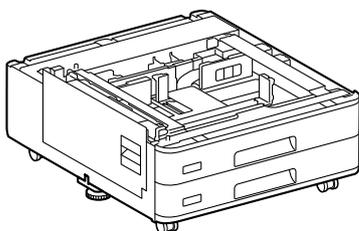
5. 本機の右奥カバーを取り付けます。
6. 電源コードを接続します。
7. 電源/節電ボタンを押して、電源を入れます。

11.2 2トレイモジュール、スタンド、キャスター台の取り付け

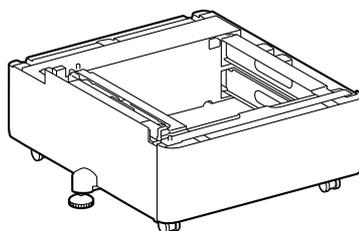
本機下部に次のオプション製品を取り付けることができます。

注記

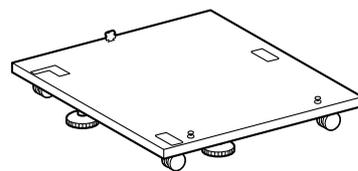
- 2トレイモジュールを取り付けるときは、本機の電源を入れる前に、トレイ内の内容物および梱包材（発泡スチロールおよび固定テープ）を取り出してください。
- オプション製品を取り付けた場合、本機を持ち上げるときは、オプション製品を外してください。



2トレイモジュール



スタンド



キャスター台

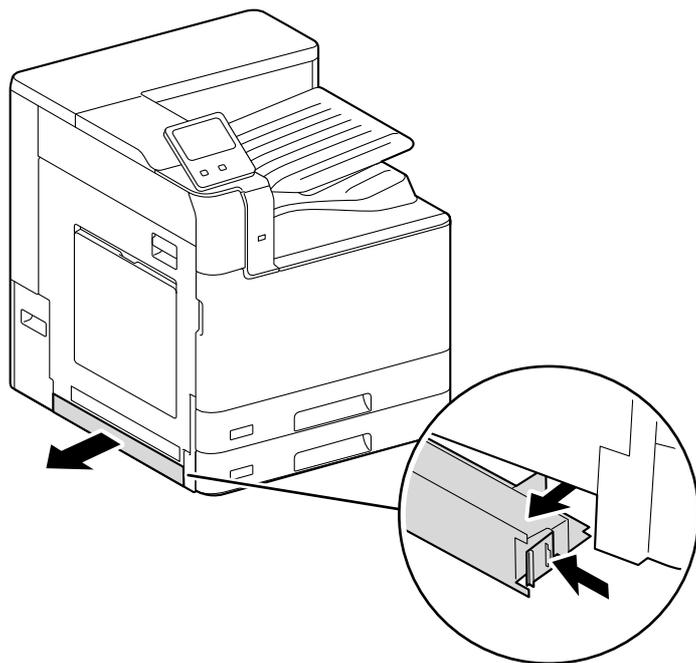
オプション製品は、次の人数で持ち上げてください。

- 2トレイモジュール：3人以上
- スタンド：2人以上
- キャスター台：2人以上

ここでは、2トレイモジュール（トレイ3、4）を取り付ける場合を例に説明します。

1. 電源/節電ボタンを押し、[電源を切る]を選んで、電源を切ります。
2. 電源コードをコンセントおよび本機から抜きます。

3. 本機の左側面のカバーを外します。

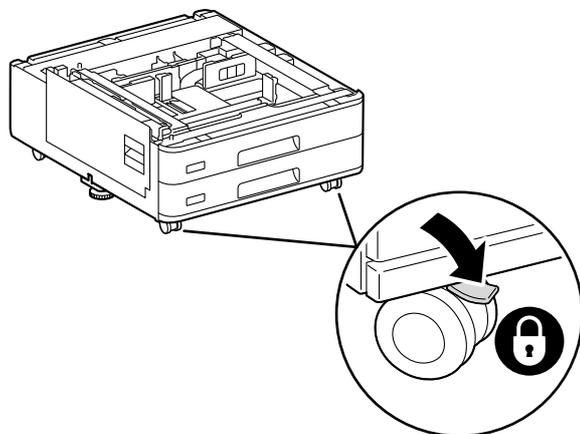


補足

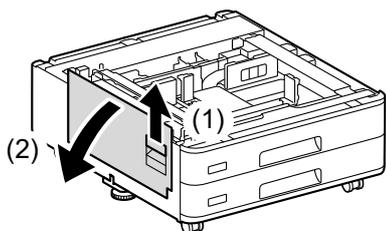
- 外したカバーは保管してください。カバーは、トレイモジュール（オプション）が取り付けられている間は使用しません。

4. 2トレイモジュールを設置場所に置きます。

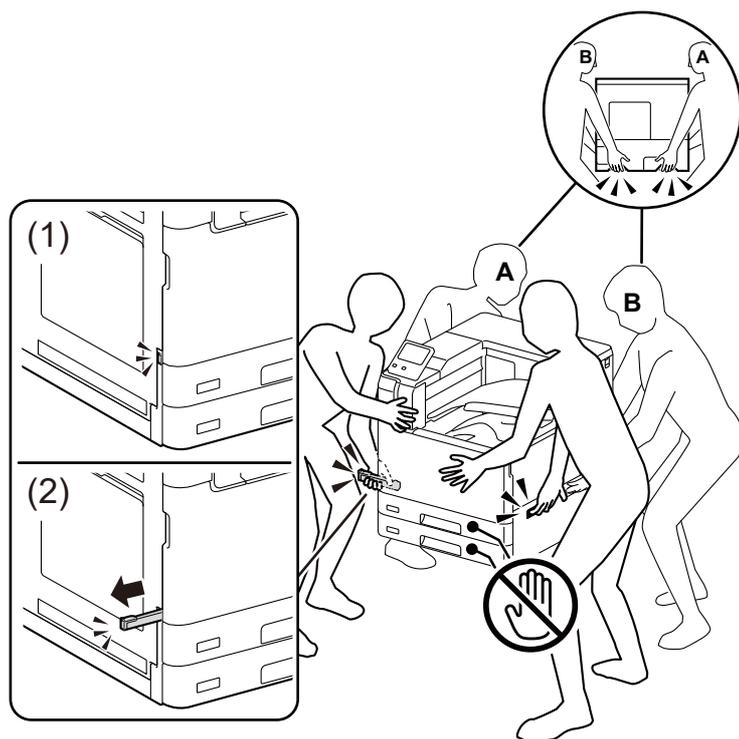
5. 前面のキャスターについている、移動防止用ストッパーをロックします。



6. 2トレイモジュールの場合は、左側面下部カバーを開けます。



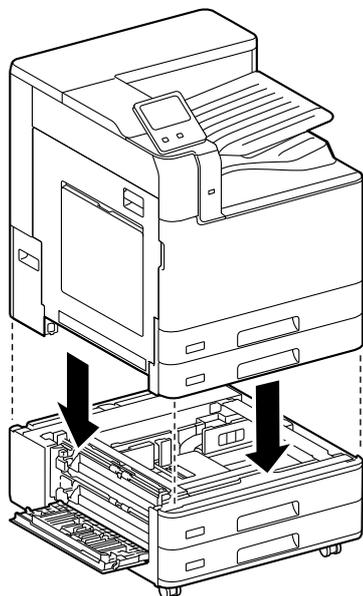
7. 本機の左側面から持ち手を引き出し、持ち手を持って、次の図のように本機を持ち上げます。



 **注記**

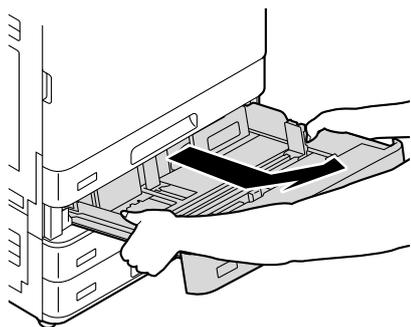
- 本機は、必ず4人以上で持ち上げてください。

8. 本機と2トレイモジュールの角を合わせ、静かに下ろします。

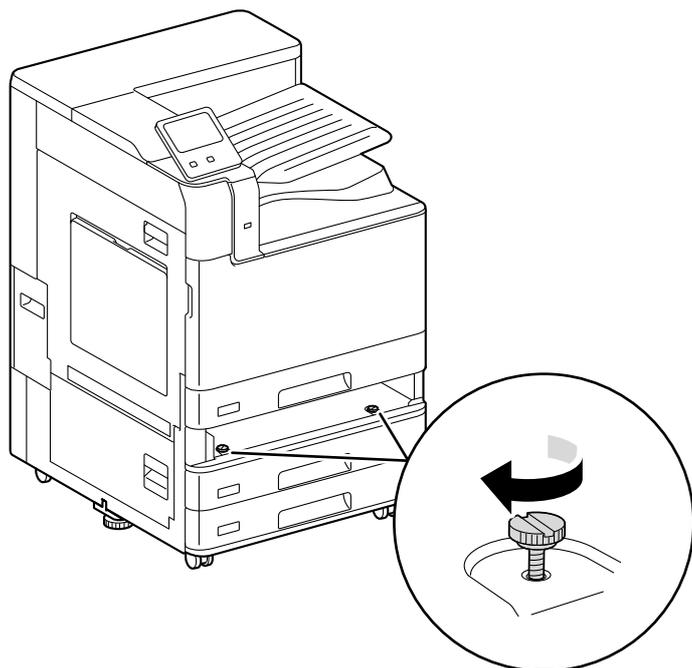


9. 2トレイモジュールの場合は、左側面下部カバーを閉じます。

10. トレイ 2 の両側を両手で支え、トレイの正面を少し上げて引き抜きます。

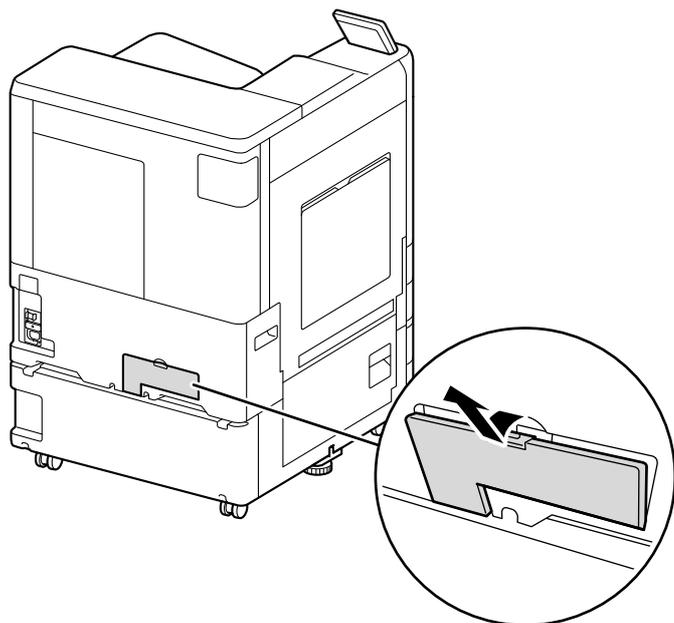


11. 付属のネジをコインなどで締め、本機を 2 トレイモジュールに固定します。

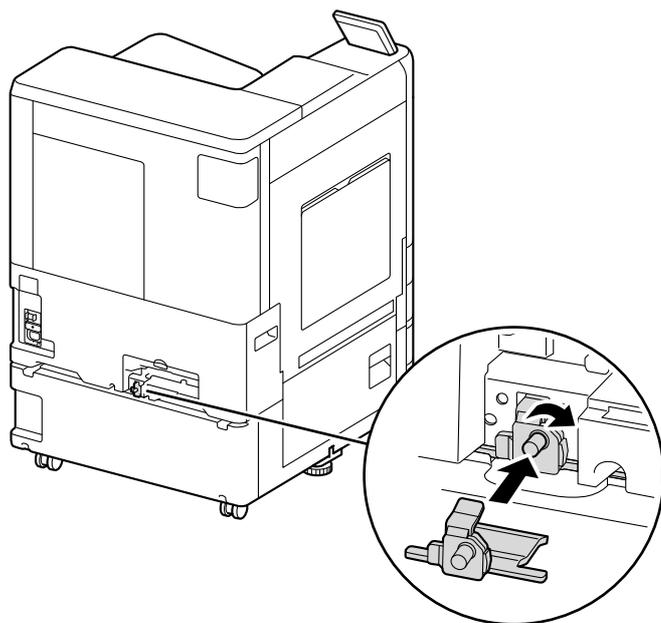


12. 本機にトレイ 2 を押し込みます。

13. 本機の背面のケーブルカバーを外します。

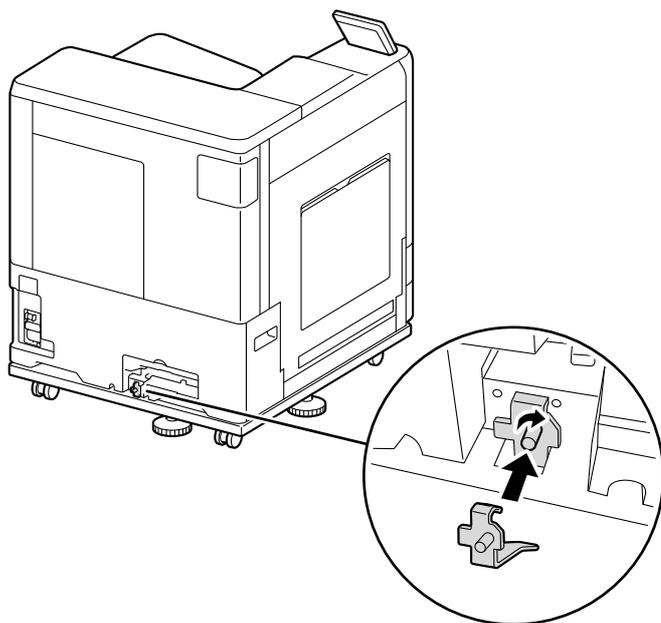


14. 付属のジョイントで本機と2トレイモジュールを固定します。

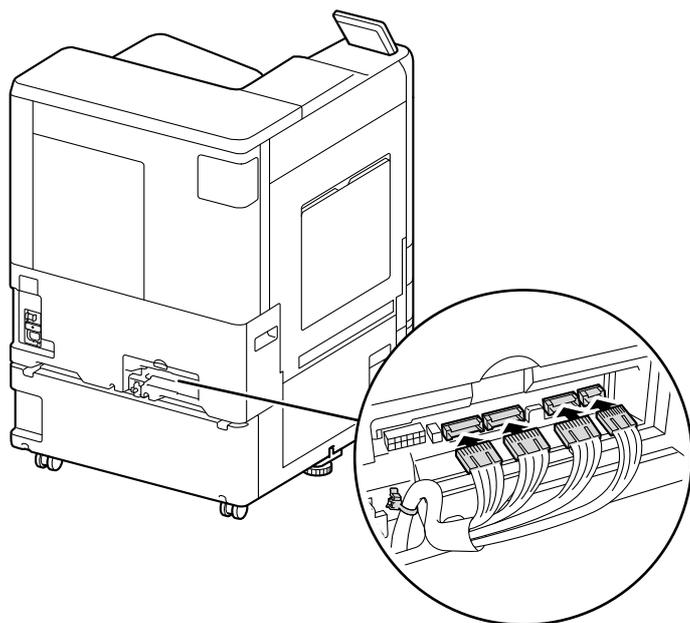


 補足

- キャスター台の付属のジョイントは形状が異なります。次のイラストを参考にしてください。



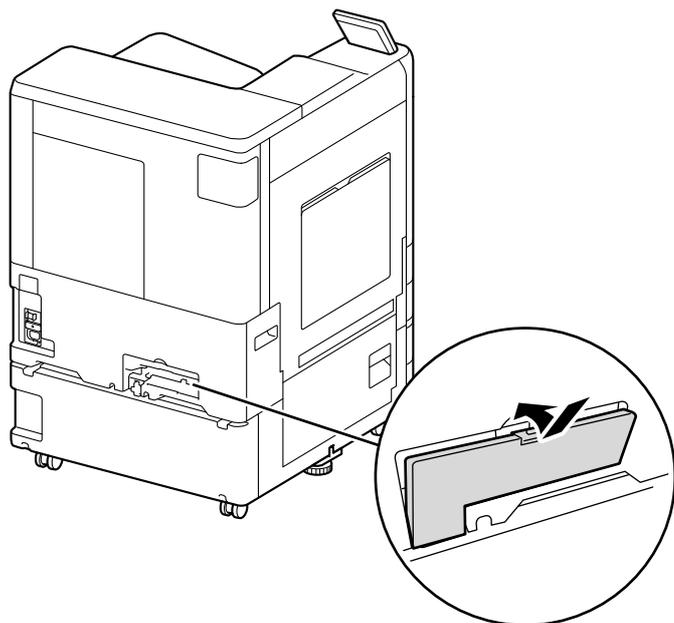
15. コネクターケーブルを接続します。



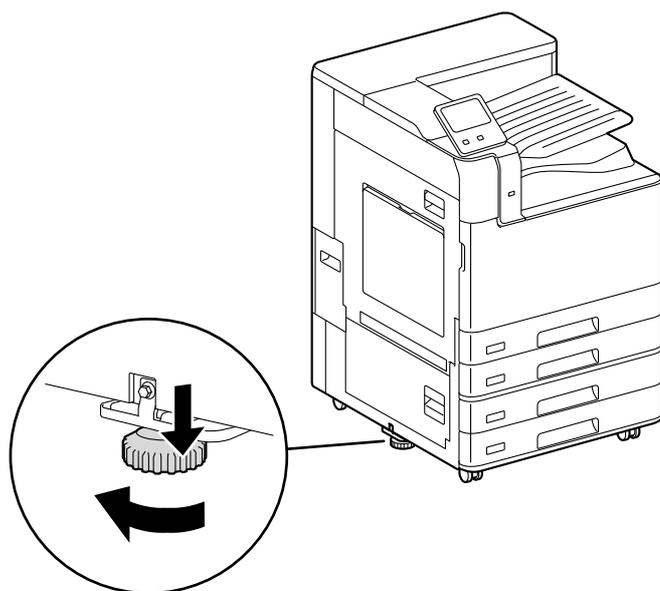
 補足

- スタンドとキャスター台ではこの手順は不要です。

16. ケーブルカバーを取り付けます。



17. 転倒防止ストッパーの高さを調節します。



18. 電源コードを接続し、**電源 / 節電** ボタンを押します。

19. プリンタードライバーのプロパティで、プリンター構成のオプションの設定を変更します。

補足

- スタンドとキャスター台はこの手順は不要です。

参照

- 変更方法については、「プリンタードライバーでオプション製品の設定をする」(P.32)を参照してください。

11.3 封筒 / はがきトレイの取り付け

封筒 / はがきトレイを取り付ける

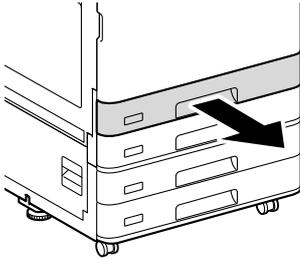
標準のトレイ 1 を本機から取り外して、オプション製品の封筒 / はがきトレイを本機に取り付けます。



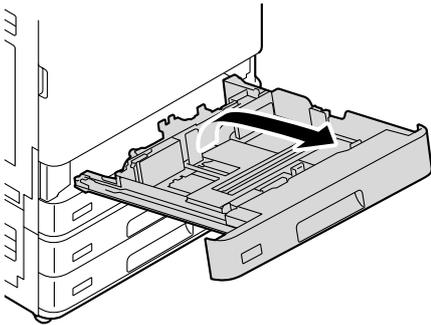
注記

- 封筒 / はがきトレイはトレイ 1 の場所に取り付けてください。他のトレイの場所には取り付けられません。

1. トレイ 1 を、手前に止まるまで引き出します。



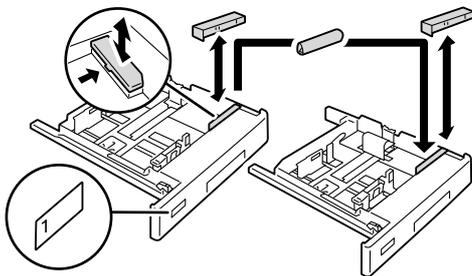
2. トレイ 1 の手前を少し持ち上げながら、トレイ 1 を本機から取り外します。



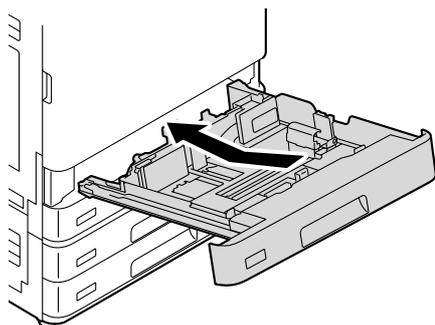
補足

- 用紙トレイを取り外すときは、手前側が少し持ち上がった状態で、後ろ側を高く持ち上げてください。

3. トレイの手前右側にあるカバー内に保管している書類を、トレイ 1 から封筒 / はがきトレイに移します。



4. 封筒 / はがきトレイを押し込みます。



6D 参照

- 封筒 / はがきトレイに用紙をセットする方法については、「トレイ 1（封筒 / はがきトレイ）（オプション）にセットする」(P.57) を参照してください。

5. 機械管理者でログインします。

6D 参照

- ログインの方法については、「ログイン」(P.39) を参照してください。

6. ホーム画面で をタップします。

7. [設定] をタップします。

8. [システム設定] > [その他の設定] をタップします。

9. [封筒トレイの使用] の をタップして有効にします。

10. を 2 回タップします。

11. [用紙トレイ設定] > [トレイ 1] をタップします。

12. [封筒トレイ] の をタップして有効にします。

13. [OK] をタップします。

14. (ホーム) ボタンを押します。

15. コンピューターで [スタート] > [設定] > [デバイス] > [プリンターとスキャナー] をクリックします。

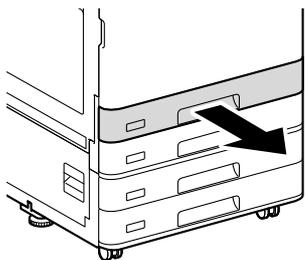
16. 本機を選んで [管理] > [プリンターのプロパティ] をクリックします。[プリンター構成] タブで、次のどちらかの設定をします。

- [プリンターとの通信設定] で [プリンター本体から情報を取得] をクリックします。
- [オプションの設定] > [封筒 / はがきトレイ] を [あり] にします。

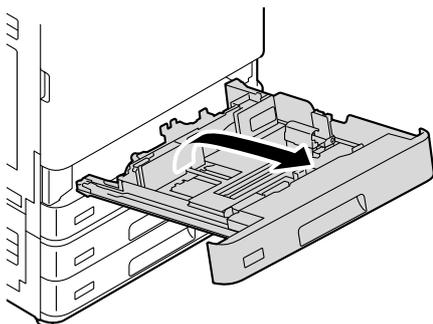
封筒 / はがきトレイを取り外す

オプション製品の封筒 / はがきトレイを本機から取り外して、標準のトレイ 1 を本機に取り付けます。

1. 封筒 / はがきトレイを、手前に止まるまで引き出します。

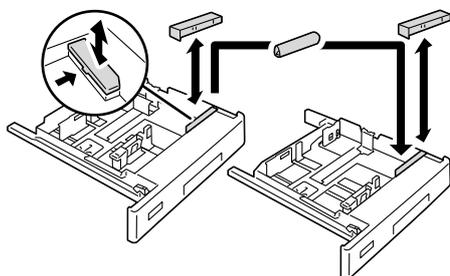


2. 封筒 / はがきトレイの手前を少し持ち上げながら、封筒 / はがきトレイを本機から取り外します。

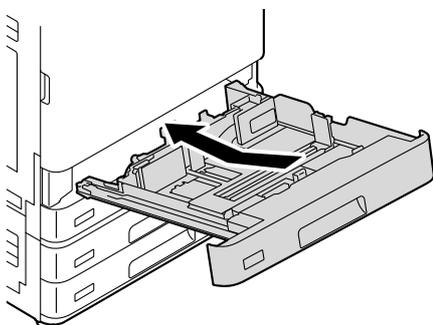


- 封筒 / はがきトレイを取り外すときは、手前側が少し持ち上がった状態で、後ろ側を高く持ち上げてください。

3. トレイの手前右側にあるカバー内に保管している書類を、封筒 / はがきトレイからトレイ 1 に移します。



4. トレイ 1 を押し込みます。



- トレイ 1 に用紙をセットする方法については、「トレイ 1 ～ 4 (3、4 はオプション) に用紙をセットする」(P.55) を参照してください。

5. 機械管理者でログインします。

63 参照

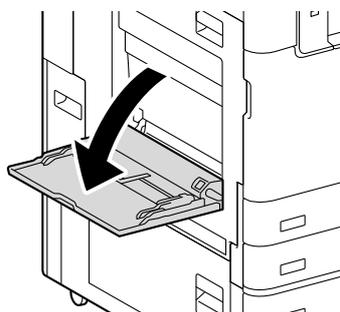
- ログインの方法については、「ログイン」(P.39)を参照してください。

6. ホーム画面で  をタップします。
7. [設定] をタップします。
8. [システム設定] > [その他の設定] をタップします。
9. [封筒トレイの使用] の  をタップして無効にします。
10. 𠃍(ホーム) ボタンを押します。
11. コンピューターで [スタート] > [設定] > [デバイス] > [プリンターとスキャナー] をクリックします。
12. 本機を選んで [管理] > [プリンターのプロパティ] をクリックします。[プリンター構成] タブで、次のどちらかの設定をします。
 - [プリンターとの通信設定] で [プリンター本体から情報を取得] をクリックします。
 - [オプションの設定] > [封筒/はがきトレイ] を [なし] にします。

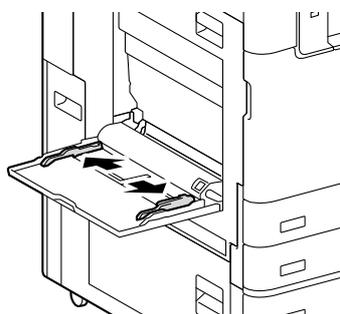
11.4 長尺用紙セットガイドの取り付け

長尺用紙セットガイドはトレイ5(手差し)に取り付けることができます。

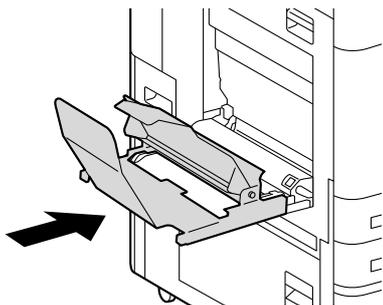
1. トレイ5(手差し)を開きます。



2. トレイ5(手差し)の用紙ガイドを、いっぱいまで開きます。

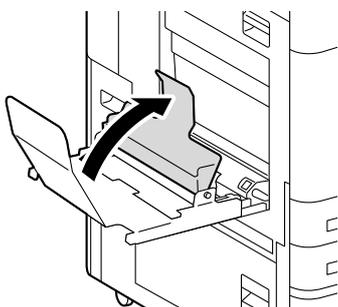


3. 長尺用紙セットガイドをトレイ5（手差し）に差し込みます。



補足
• 本体に突き当たるまで、しっかりと差し込んでください。

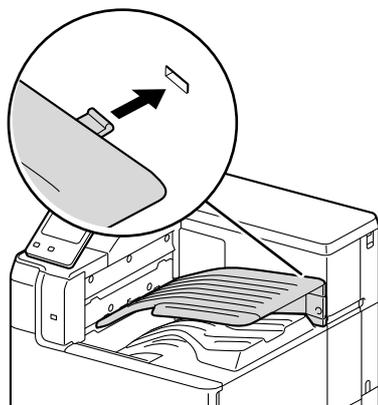
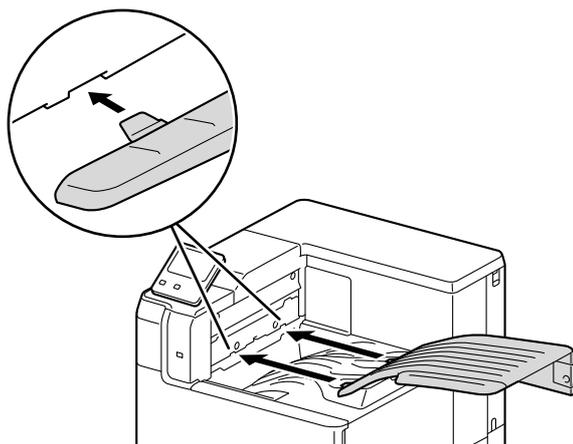
4. 用紙受けを、本体側に向けて立てます。



11.5 インナー排出トレイの取り付け

1. 電源/節電ボタンを押し、[電源を切る]を選んで、電源を切ります。

2. インナー排出トレイを本機に差し込みます。



3. 機械管理者でログインします。



参照

- ログインの方法については、「ログイン」(P.39)を参照してください。

4. ホーム画面でをタップします。

5. [設定] をタップします。

6. [システム設定] > [その他の設定] > [インナー排出トレイ] をタップします。

7. [あり] をタップします。

8. [OK] をタップします。

11.6 ストレージの取り付け



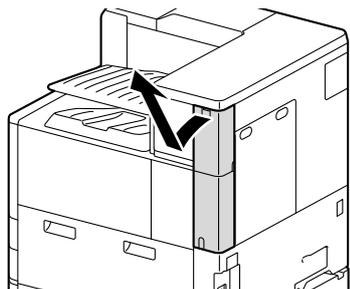
補足

- 一度取り付けしたストレージは、情報漏洩を防ぐため、そのプリンター専用のストレージになります。取り外して、ほかのプリンターに取り付けることはできません。

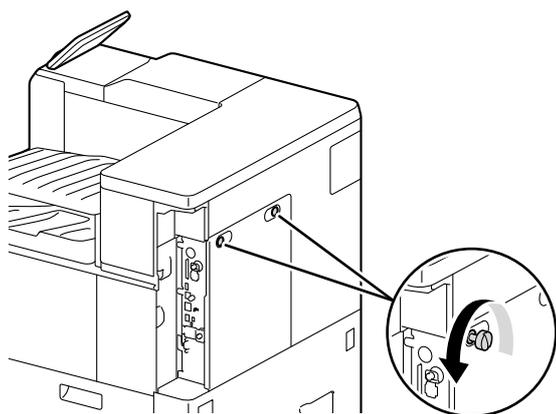
1. (電源 / 節電) ボタンを押し、[電源を切る] を選んで、電源を切ります。

2. 電源コードをコンセントおよび本機から抜きます。

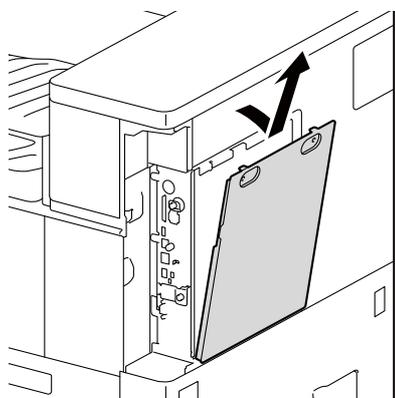
3. 本機の右奥カバーを外します。



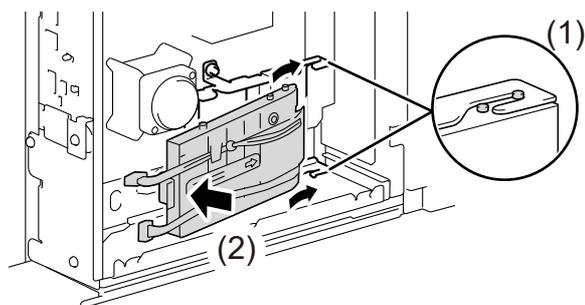
4. 背面カバーの2か所のネジを緩めます。



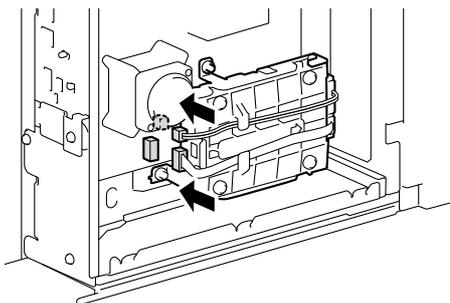
5. 背面カバーを、手前に引いて取り外します。



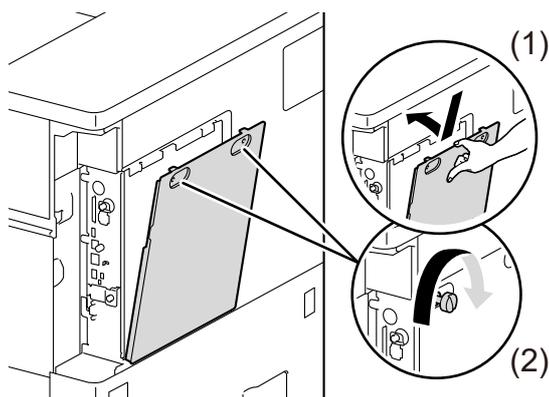
6. ストレージの突起部をフレームのくぼみに正しくはめ (1)、コネクターケーブルを外側にして、コントローラーボード上のフレームに差し込みます (2)。



7. ストレージのコネクターケーブル (2本) を、コントローラーボード上のコネクターに接続します。



8. 背面カバーを戻し、ネジで2か所を固定します。

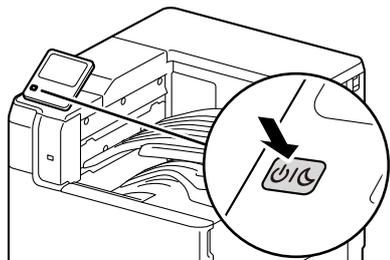


 補足

- 背面カバーは、図の (1) のとおり下に押し付けながら閉めてください。

9. 電源コードを接続します。

10.  (電源 / 節電) ボタンを押して、電源を入れます。



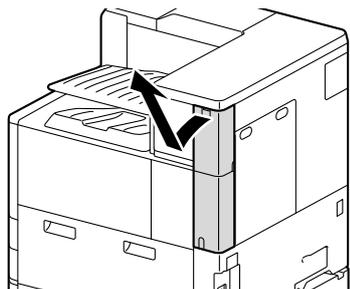
 補足

- ストレージの取り付けが完了したら、プリンタードライバーのプロパティでプリンター構成を変更してください。変更方法については、「プリンタードライバーでオプション製品の設定をする」(P.32) を参照してください。

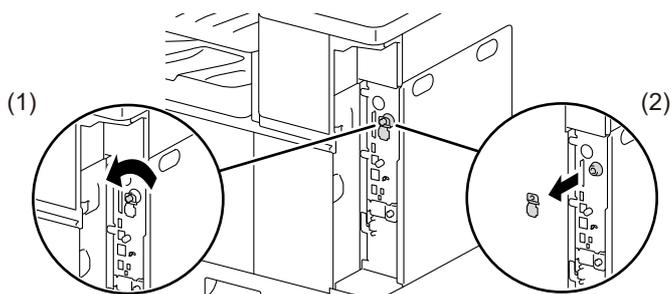
11.7 セカンダリーイーサネットキットの取り付け

1.  (電源 / 節電) ボタンを押し、[電源を切る] を選んで、電源を切ります。
2. 電源コードをコンセントおよび本機から抜きます。

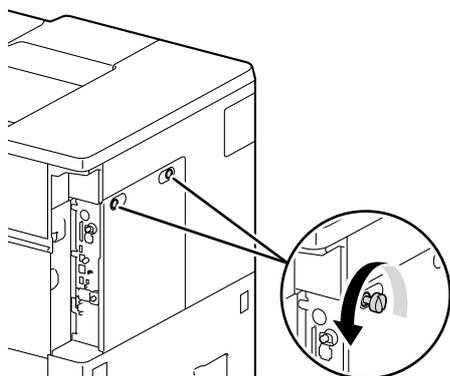
3. 本機の右奥カバーを外します。



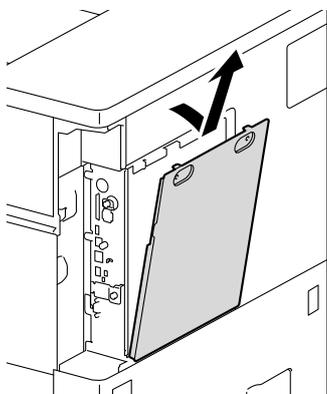
4. ネジを外し、イーサネットコネクターカバーを取り外します。



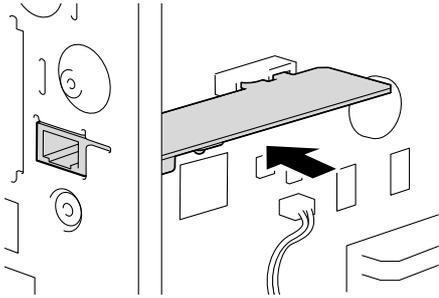
5. 背面カバーの2か所のネジを緩めます。



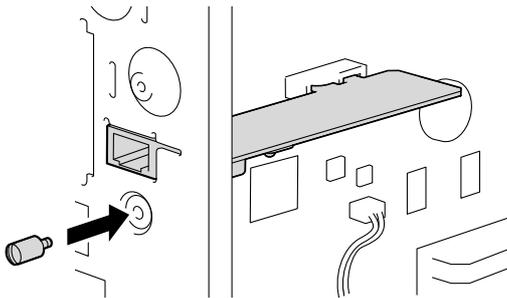
6. 背面カバーを、手前に引いて取り外します。



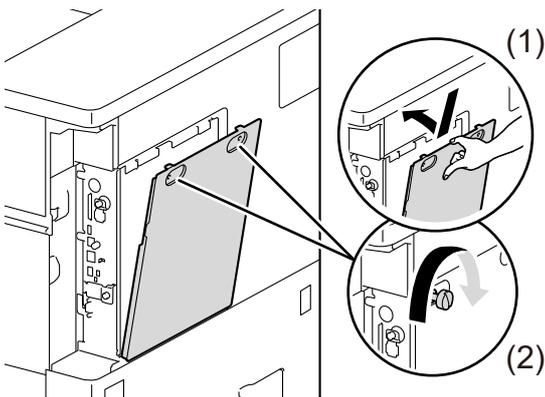
7. セカンダリーイーサネットキットをコントローラーボードのコネクタに差し込みます。



8. 付属のネジを締め、セカンダリーイーサネットキットを固定します。



9. 背面カバーを戻し、ネジで2か所を固定します。



 補足

• 背面カバーは、図の(1)のとおり下に押し付けながら閉めてください。

10. 本機の右奥カバーを取り付けます。

11.  ボタンを押して、電源を入れます。

11.8 ソフトウェアオプションの有効化

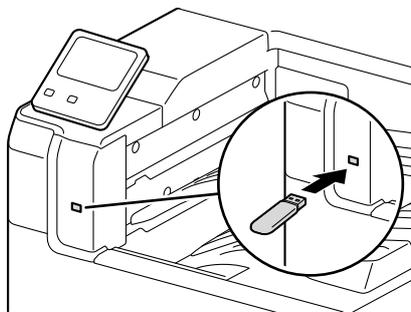
本機は次のソフトウェアオプション製品を利用できます。

- セキュリティ拡張キット
- Adobe® PostScript® 3™ キット (平成2書体)
- Adobe® PostScript® 3™ キット (モリサワ2書体)
- 外部認証キット
- 外部アクセスキット
- 多言語フォントキット

 補足

• セキュリティ拡張キット、外部アクセスキットの機能を利用するには、ストレージ（オプション）が必要です。
ここでは、セキュリティ拡張キットを取り付ける場合を例に説明します。

1.  (電源 / 節電) ボタンを押し、[電源を切る] を選んで、電源を切ります。
2. セキュリティ拡張キットを用意します。
3. キャップを外し、本機前面の USB コネクタに挿入します。



4. 本機の電源を入れます。
5. 機械管理者でログインします。

 参照

• ログインの方法については、「ログイン」(P.39) を参照してください。

6. ホーム画面で  をタップします。
7. [設定] をタップします。
8. [保守] > [ソフトウェアオプションの設定 - USB] をタップします。
9. [機能を有効化する] をタップします。
有効化処理が完了すると、自動的に本機が再起動します。
10.  (電源 / 節電) ボタンを押して電源を切り、セキュリティ拡張キットを取り外します。
11. 本機の電源を入れ、[機能設定リスト] を出力して、オプション製品が正しく取り付けられていることを確認します。

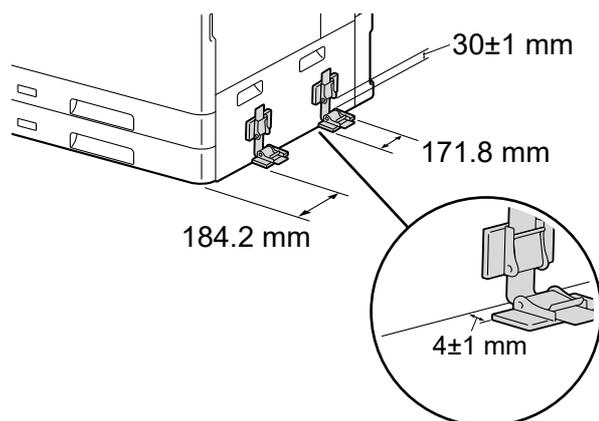
 参照

• [機能設定リスト] の出力については、「[機能設定リスト (共通項目)]」(P.48) を参照してください。

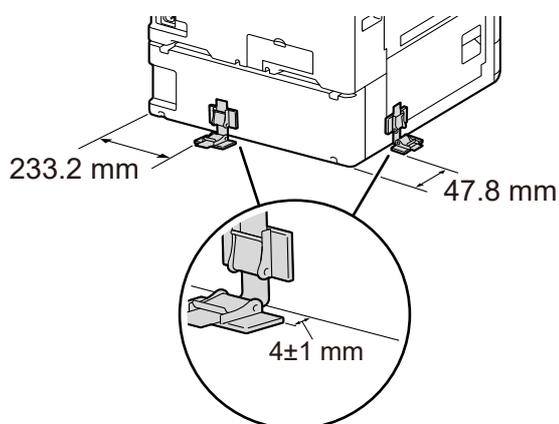
11.9 地震対策キット（バンドタイプ）の取り付け

1. 本機の設置場所を決めます。
2.  (電源 / 節電) ボタンを押して電源を切り、電源コードをコンセントおよび本機から抜きます。
3. 本機と接地面の、留め具を取り付ける面を乾いた柔らかい布で拭きます。
4. 留め具の粘着パッドの剥離紙をはがします。
5. 接地面側に留め具を貼り付けます。

• 右側面



• 左側面と背面



6. ベルトがたるまないようにして、本機側にもう一方の留め具を貼り付けます。

 **補足**

- ベルトがたるんだ場合は、本機側の留め具のロックレバーを解除してベルトを引っ張り、再度留め具を固定します。

7. 手順 4 ～ 6 を繰り返して、本機の左側面と右側面の合計 4 か所で固定します。

8. 留め具を強く押してしっかり接着し、24 時間放置します。

 **補足**

- 留め具の使用期限を守ってください。使用期限を超えた場合は、新品と交換してください。

12 付録

12.1 主な仕様

| 項目 | 内容 | | |
|---------------------------|--|---|---|
| | ApeosPrint C5570 | ApeosPrint C4570 | |
| 商品コード | NC100647 | NC100646 | |
| 形式 | デスクトップ | | |
| プリント方式 | LED 電子写真 | | |
| ウォームアップ時間 | 組み込みプラグイン機能 / カスタムサービス ^{*1} 有効時：27 秒以下（電源投入時：室温 23℃）（スリープモード時は 6 秒以下） 無効時：21 秒以下（電源投入時：室温 23℃）（スリープモード時は 6 秒以下） | | |
| 連続プリント速度 ^{*2} | 片面印刷時 | A4□: カラー 55 枚 / 分、モノクロ 55 枚 / 分 A3: カラー 27 枚 / 分、モノクロ 27 枚 / 分 | A4□: カラー 45 枚 / 分、モノクロ 45 枚 / 分 A3: カラー 22 枚 / 分、モノクロ 22 枚 / 分 |
| | 両面印刷時 | A4□: カラー 55 ページ / 分、モノクロ 55 ページ / 分 A3: カラー 19 ページ / 分、モノクロ 19 ページ / 分 | A4□: カラー 45 ページ / 分、モノクロ: 45 ページ / 分 A3: カラー 15 ページ / 分、モノクロ: 15 ページ / 分 |
| ファーストプリント時間 ^{*3} | A4□: カラー 5.0 秒、モノクロ 3.5 秒 | A4□: カラー 5.5 秒、モノクロ 4.2 秒 | |
| 解像度 | 標準 | 【ART EX ドライバー】 標準：1200×2400 dpi、高画質：1200×2400 dpi、高精細：1200×1200 dpi | |
| | オプション | 【Adobe® PostScript® 3™ ドライバー】 高速（標準）：600×600 dpi、高画質：1200×2400 dpi、高精細：1200×1200 dpi | |
| 階調 | 各色 256 階調（1670 万色） | | |

| 項目 | 内容 | |
|--------------|---------------------------|--|
| | ApeosPrint C5570 | ApeosPrint C4570 |
| 用紙サイズ | トレイ 1 | A3、11×17”、B4、A4、B5、A5、リーガル、レター、郵便はがき（日本郵便製）、ユーザー定義用紙（幅 100～297 mm×長さ 148～431.8 mm） |
| | トレイ 2 | SRA3（320×450 mm）、12×18”（305×457 mm）、A3、11×17”、B4、A4、B5、A5、リーガル、レター、郵便はがき（日本郵便製）、ユーザー定義用紙（幅 100～320 mm×長さ 148～457.2 mm） |
| | 手差しトレイ | SRA3（320×450 mm）、12×19”（305×483 mm）、12×18”（305×457 mm）、A3、11×17”、B4、A4、B5、A5、リーガル、レター、郵便はがき（日本郵便製）、封筒（長形 3号、洋長形 3号□、長形 4号、角形 2号、角形 6号、角形 20号、洋形 2号□、洋形 3号□、洋形 4号□）、長尺紙 A（297×900 mm）、長尺紙 B（297×1200 mm）、ユーザー定義用紙（幅 89～320 mm×長さ 98～1200 mm） |
| | オプション | 2トレイモジュール：SRA3（320×450 mm）、12×18”（305×457 mm）、A3、11×17”、B4、A4、B5、A5、リーガル、レター、郵便はがき（日本郵便製）、ユーザー定義用紙（幅 100～320 mm×長さ 148～457.2 mm） 大容量給紙トレイ B1 / B2：A4□、レター□、B5□ 封筒 / はがきトレイ：長形 3号*4、洋長形 3号□、長形 4号*4、角形 2号*4、角形 6号、角形 20号、洋形 2号□*4、洋形 3号□、洋形 4号□、ISO-C4、ISO-C5□、郵便はがき（日本郵便製）*4、2L*4、ユーザー定義用紙（幅 90～241 mm×長さ 98～372 mm） |
| | 両面印刷 | SRA3（320×450 mm）、12×19”（305×483 mm）、12×18”（305×457 mm）、A3、11×17”、B4、A4、B5、A5、リーガル、レター、ユーザー定義用紙（幅 128～320 mm×長さ 139.7～482.6 mm） |
| | 像欠け幅*5 | 先端 4.0 mm、後端 2.0 mm、左右端 2.0 mm |
| 用紙坪量*6 | 標準トレイ | 52～300 g/m ² |
| | 手差しトレイ | 52～300 g/m ² |
| | オプション | 2トレイモジュール：52～300 g/m ² 大容量給紙トレイ B1 / B2：55～216 g/m ² 封筒 / はがきトレイ：封筒 75～90 g/m ² 、はがき（2L含む）106～220 g/m ² 、上質紙 83～105 g/m ² |
| | 両面印刷 | 52～300 g/m ² |
| 給紙容量*7 | 標準 | 標準トレイ：600枚×2段、手差しトレイ：110枚 |
| | オプション | 2トレイモジュール：600枚×2段 大容量給紙トレイ B1：2470枚 大容量給紙トレイ B2：3370枚 封筒 / はがきトレイ：封筒*8 50枚×1段、はがき*9：200枚×1段 |
| | 最大 | 5880枚 標準+2トレイモジュール+大容量給紙トレイ B2 |
| 出力トレイ容量*7*10 | 400枚（A4□）、200枚（A3） | |
| 両面機能 | 標準 | |
| CPU | ARM A57 Quad Core-2.0 GHz | |
| メモリー容量 | 4 GB（最大 4 GB） | |
| ストレージ容量*11 | 3.6 GB、オプション：82 GB*12 | |

| 項目 | | 内容 | |
|--------------|--|---|------------------|
| | | ApeosPrint C5570 | ApeosPrint C4570 |
| 搭載フォント | 標準 | アウトラインフォント（平成明朝体™ W3、平成角ゴシック体™ W5、欧文 21 書体） ストロークフォント（日本語書体、欧文書体：HP-GL 用）、欧文 82 書体、シンボル 37 セット | |
| | オプション | 【Adobe® PostScript® 3™ キット】 平成 2 書体版：日本語 2 書体（平成明朝体™ W3、平成角ゴシック体™ W5）、欧文 136 書体 モリサワ 2 書体版：日本語 2 書体（リュウミン L-KL™、中ゴシック BBB™）、欧文 136 書体 | |
| ページ記述言語 | 標準 | ART EX | |
| | オプション | Adobe® PostScript® 3™ | |
| エミュレーション | 標準 | ART IV、ESC/P（VP-1000）、PDF、XPS、DocuWorks、TIFF、JPEG、PC-PR201H、HP-GL（HP7586B）、HP-GL2/RTL（HP Designjet 750C Plus）、PCL5/PCL6 | |
| 対応 OS*13 | 標準 | 【ART EX ドライバー】 Windows 11（64 ビット） Windows 10（32 ビット） Windows 10（64 ビット） Windows Server 2025（64 ビット） Windows Server 2022（64 ビット） Windows Server 2019（64 ビット） Windows Server 2016（64 ビット） 【macOS ドライバー】 macOS 15 / 14 / 13 / 12 / 11 | |
| | オプション | 【Adobe® PostScript® 3™ ドライバー】 Windows 11（64 ビット） Windows 10（32 ビット） Windows 10（64 ビット） Windows Server 2025（64 ビット） Windows Server 2022（64 ビット） Windows Server 2019（64 ビット） Windows Server 2016（64 ビット） macOS 15 / 14 / 13 / 12 / 11 | |
| インターフェイス | 標準 | Ethernet 1000BASE-T / 100BASE-TX / 10BASE-T、USB3.0 | |
| | オプション | Ethernet 1000BASE-T / 100BASE-TX / 10BASE-T、IEEE 802.11a / b / n / g / ac | |
| 対応プロトコル | TCP/IP（lpd、IPP、Port9100、WSD、ThinPrint） | | |
| 電源*14 | AC100 V±10 %、15 A、50/60 Hz 共用 | | |
| 騒音*15 | 稼働時（本体のみ）：6.79 B、51.3 dB（A） レディー時（本体のみ）：3.19 B、14.4 dB（A） | 稼働時（本体のみ）：6.50 B、48.4 dB（A） レディー時（本体のみ）：3.19 B、14.4 dB（A） | |
| 最大消費電力 | 最大：1320 W 平均：レディー時 47 W、稼働時 781 W、スリープモード時 0.5 W | 最大：1320 W 平均：レディー時 47 W、稼働時 717 W、スリープモード時 0.5 W | |
| エネルギー消費効率*16 | 121 kWh/年、区分：プリンター B | 96 kWh/年、区分：プリンター B | |
| 外形寸法*17 | 幅 620× 奥行 720.5× 高さ 699.1mm | | |

| 項目 | 内容 | |
|----|----------------------------------|------------------|
| | ApeosPrint C5570 | ApeosPrint C4570 |
| 質量 | 約 86 kg (消耗品含む)、約 81 kg (消耗品含まず) | |

- *1 :工場出荷時に組み込みプラグイン機能 / カスタムサービスが有効で設定されています。お客様のご使用に合わせて変更が可能です。
- *2 :同一原稿連続プリント時 (普通紙)。郵便はがき (日本郵便製) 等の用紙種類、サイズやプリント条件によっては速度が低下します。また、画質調整のため、速度が低下する場合があります。
- *3 :本体給紙トレイから給紙した場合。数値は出力環境によって異なります。
- *4 :自動検知可能。郵便はがき (日本郵便製) の検知にはカスタマーエンジニアによる設定が必要です。
- *5 :A3 サイズまでの場合。
- *6 :推奨用紙をご使用ください。用紙の種類 (紙質、サイズ等) によっては、正しく印刷できない場合があります。特にユーザー定義用紙サイズのご使用にあたっては、用紙走行性の事前確認をお願いします。日本郵便製以外のインクジェット専用用紙は使用しないでください。絵入りはがきや年賀状などの再生紙はがきは使用できない場合があります。使用済用紙の裏面および事前印刷用紙への印刷や、使用環境が乾燥地・寒冷地・高温多湿の場合、用紙によってはプリント不良などの品質低下が発生する場合があります。また、用紙の種類や環境条件により印刷品質に差異が生じる場合がありますので、事前に印刷品質の確認を推奨します。なお、推奨用紙や事前の用紙走行確認については、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店までお問い合わせください。
- *7 :当社 C² 紙 (70 g/m²)。
- *8 :当社指定紙の場合。
- *9 :郵便はがき (日本郵便製) (190 g/m²) の場合。
- *10:オプションのインナー排出トレイ装着時のトレイ容量はセンタートレイが 250 枚 (A4 \square)、インナー排出トレイが 250 枚 (A4 \square) になります。
- *11:表記されたストレージ容量のすべてをお客様が利用できるわけではありません。
- *12:オプションのストレージ (SSD) 装着時。
- *13:最新の対応 OS については、当社公式サイトをご覧ください。
- *14:推奨コンセント容量。機械側最大電流は、13.2 A。
- *15:ISO7779 に基づいた測定。単位 B : 音響パワーレベル (LWAd)、単位 dB : 放射音圧レベル (バースタンド位置)、本体のみ。
- *16:省エネ法 (平成 25 年 3 月 1 日付) で定められた測定方法による数値。
- *17:操作パネルを立てた場合の高さは 806.5 mm。

大容量給紙トレイ B1 (オプション)

| 項目 | 内容 |
|----------------|---|
| 用紙サイズ | A4 \square 、レター \square 、B5 \square |
| 用紙坪量 | 55 ~ 216 g/m ² |
| 給紙容量 *1 / 給紙段数 | 2470 枚 × 1 段 |
| 大きさ / 質量 | 幅 389 × 奥行 610 × 高さ 377 mm、29 kg |
| 本体接続時の占有寸法 *2 | 幅 1056 × 奥行 721 mm |

*1 :当社 C² 紙。

*2 :本体 + 2 トレイモジュール + 大容量給紙トレイ B1、手差しトレイを最大に伸ばした時。

大容量給紙トレイ B2 (オプション)

| 項目 | 内容 |
|----------------|---|
| 用紙サイズ | A4 \square 、レター \square 、B5 \square |
| 用紙坪量 | 55 ~ 216 g/m ² |
| 給紙容量 *1 / 給紙段数 | 3370 枚 × 1 段 |
| 大きさ / 質量 | 幅 476 × 奥行 618 × 高さ 433 mm、31 kg |
| 本体接続時の占有寸法 *2 | 幅 1099 × 奥行 721 mm |

*1 :当社 C² 紙。

*2 :本体 + 2 トレイモジュール + 大容量給紙トレイ B2、手差しトレイを最大に伸ばした時。

封筒 / はがきトレイ (オプション)

| 項目 | 内容 |
|--------------------------|--|
| 用紙サイズ | 長形 3 号 ^{*1} 、洋長形 3 号□、長形 4 号 ^{*1} 、角形 2 号 ^{*1} 、角形 6 号、角形 20 号、洋形 2 号□ ^{*1} 、洋形 3 号□、洋形 4 号□、ISO-C4、ISO-C5□、郵便はがき (日本郵便製) ^{*1} 、2L ^{*1} 非定形サイズ：幅 90 ~ 241 mm × 長さ 98 ~ 372 mm |
| 用紙坪量 | 封筒：75 ~ 90 g/m ² 、はがき (2L 含む)：106 ~ 220 g/m ² 、上質紙：83 ~ 105 g/m ² |
| 給紙容量 / 給紙段数 | 封筒 ^{*2} ：50 枚 × 1 段、はがき ^{*3} ：200 枚 × 1 段 |
| 大きさ / 質量 | 幅 620 × 奥行 566 × 高さ 87 mm、3 kg |
| 本体接続時の占有寸法 ^{*4} | 本体の機械占有寸法に準じる |

*1 : 自動検知可能。郵便はがき (日本郵便製) の検知にはカスタマーエンジニアによる設定が必要です。

*2 : 当社指定紙の場合。

*3 : 郵便はがき (日本郵便製) (190 g/m²) の場合。

*4 : 標準トレイ 1 と入れ替えて利用するため、本体仕様に準じる。

サイドトレイ (オプション)

| 項目 | 内容 |
|--------------------------|----------------------------|
| 用紙サイズ | 基本機能に準ずる |
| 用紙坪量 | 52 ~ 300 g/m ² |
| トレイ容量 ^{*1} | 100 枚 |
| 大きさ | 幅 327 × 奥行 414 × 高さ 179 mm |
| 本体接続時の占有寸法 ^{*2} | 幅 1056 × 奥行 721 mm |

*1 : 当社 C² 紙。

*2 : 本体 + サイドトレイ、手差しトレイを最大に伸ばした時。

フィニッシャー B4 / B5 (オプション)

| 項目 | 内容 | |
|---------------------|---------------------------|------------|
| | フィニッシャー B4 | フィニッシャー B5 |
| トレイ形式 | フィニッシャー | トレイ |
| 用紙サイズ ^{*3} | 最大：A3、11×17" 最小：A5 | |
| 用紙坪量 ^{*4} | 52 ~ 300 g/m ² | |

| 項目 | 内容 | | |
|---------------------------|--|---|--|
| | フィニッシャー B4 | フィニッシャー B5 | |
| トレイ容量 ^{*5} | ステープル無しの場合 A4：2000 枚、B4 以上：1000 枚、ミックススタック ^{*6} ：300 枚 ステープルした場合 A4：100 部または 1000 枚 ^{*7} 、B4 以上：75 部または 750 枚 中とじ / 二つ折りの場合^{*8} 50 部または 600 枚 二つ折りの場合^{*8} 500 枚 | | |
| ステープル | 最大ステープル枚数 | 50 枚 (90 g/m ² 以下) | 針あり：50 枚 (90 g/m ² 以下) 針なし ^{*9*10} ：10 枚 (80 g/m ² 以下) |
| | ステープル用紙サイズ ^{*11} | 最大：A3、11×17" 最小：A5□ | |
| | ステープル用紙坪量 | 52 ~ 256 g/m ² | 針あり：52 ~ 256 g/m ² 針なし ^{*9*10} ：64 ~ 105 g/m ² |
| | ステープル箇所 | 1 カ所、2 カ所 | |
| パンチ ^{*12} | パンチ数 | 2 穴 / 4 穴または 2 穴 / 3 穴 (US 規格) | |
| | パンチ用紙サイズ ^{*13} | 最大：A3、11×17" 最小：A5□ | |
| | 用紙坪量 | 52 ~ 220 g/m ² | |
| 中とじ / 二つ折り ^{*8} | 最大枚数 | 中とじ：15 枚、二つ折り：5 枚 | |
| | 用紙サイズ | 最大：A3、11×17" 最小：A4、レター | |
| | 用紙坪量 | 中とじ：64 ~ 80 g/m ² ^{*14} 、二つ折り：64 ~ 105 g/m ² | |
| 大きさ ^{*15} | 幅 592× 奥行 653× 高さ 1041 mm 中とじユニット装着時：幅 592× 奥行 673× 高さ 1076 mm | | |
| 質量 | 26 kg パンチユニット：+ 2 kg、中とじユニット：+ 10 kg | 28 kg パンチユニット：+ 2 kg、中とじユニット：+ 10 kg | |
| 本体接続時の占有寸法 ^{*16} | 幅 1642× 奥行 721 mm | | |

*1：工場出荷時の初期値は、「オフセット排出しない」に設定されています。お客様のご使用に合わせ変更が可能です。

*2：用紙坪量 257 g/m² 以上、および用紙幅 210 mm 未満は、オフセットせずに排出されます。

*3：A3、11×17" より大きいサイズ、A5 より小さいサイズはセンター部に排出されます。

*4：52 ~ 55 g/m²、257 g/m² 以上は、出力紙により正しく収容ができない場合があります。

*5：当社 C² 紙。

*6：小さいサイズの上に大きいサイズの用紙が積載された場合。

*7：2 カ所打ちの場合は、75 部または 750 枚になります。

*8：中とじ / 二つ折り機能はオプションのフィニッシャー B 中とじユニットが必要です。折りたたみやすいように折り目をつけます。中とじ / 二つ折りを指定した出力の後には、トレイから用紙を取り除かないと、次のジョブは出力されない場合があります。また、小さいサイズの上に中とじ / 二つ折りを指定した出力の場合も、トレイより用紙を取り除かないと排出されない場合があります。

*9：針なしステープルは、フィニッシャー B5 で利用可能。

*10：針なしステープルは、針ありステープルと同等のとじ力はありません。用紙、気温や湿度、めくり方によって、とじ部分がはがれやすくなる場合があります。

*11：処理可能なステープル箇所は、用紙サイズにより異なります。

*12：パンチ機能はオプションのフィニッシャー B パンチユニット 2/4 穴またはフィニッシャー B パンチユニット 2/3 穴 (US 規格) が必要です。

*13：処理可能なパンチ穴数は、用紙サイズにより異なります。

*14：中とじの表紙は最大 220 g/m² (厚紙 2) まで選択可能です。

*15：本体内に収まる接続部は除く。

*16：中とじユニット装着時と同じ。本体+フィニッシャー B4 / B5、延長トレイ引出し時、手差しトレイを最大に伸ばした時。

フィニッシャー C4 / C5、中とじフィニッシャー C4 / C5 (オプション)

| 項目 | | 内容 | |
|-------------|-------------------|--|--|
| | | フィニッシャー C4 / C5 | 中とじフィニッシャー C4 / C5 |
| トレイ形式 | 排出トレイ | ソート (オフセット可) / スタック (オフセット可) | |
| | フィニッシャー シャートレイ | ソート (オフセット可) / スタック (オフセット可) | |
| | 製本トレイ | － | ソート / スタック |
| 用紙サイズ | 排出トレイ | 最大：12×19" (305×483 mm)、A3 最小：郵便はがき (日本郵便製) | |
| | フィニッシャー シャートレイ | 最大：12×19" (305×483 mm)、A3 最小：A5□ | |
| 用紙坪量 | 排出トレイ | 52～300 g/m ² *1 | |
| | フィニッシャー シャートレイ | 52～300 g/m ² *1 | |
| トレイ容量 *2 | 排出トレイ | 500 枚 (A4) | |
| | フィニッシャー シャートレイ | ステープル無しの場合 A4：3000 枚、B4 以上：1500 枚、A5□：1000 枚、ミックススタック*3：300 枚 ステープルした場合 A4：200 部または 3000 枚、B4 以上：100 部または 1500 枚、A5□：100 部または 1000 枚、ミックススタック*3：70 部または 200 枚 | ステープル無しの場合 A4：1500 枚、B4 以上：1500 枚、A5□：1000 枚、ミックススタック*3：300 枚 ステープルした場合 A4：200 部または 1500 枚、B4 以上：100 部または 1500 枚、A5□：100 部または 1000 枚、ミックススタック*3：70 部または 200 枚 |
| | 製本トレイ | － | 20 部*4 |
| ステープル | 最大ステープル枚数 | 針あり：50 枚 (90 g/m ² 以下)*5、針なし*6*7：10 枚 (80 g/m ² 以下) | |
| | ステープル用紙サイズ*8 | 最大：A3、11×17" 最小：A5□ | |
| | ステープル用紙坪量 | 針あり：52～300 g/m ² 、針なし*6*7：64～105 g/m ² | |
| | ステープル箇所 | 1 カ所、2 カ所 | |
| パンチ*9 | パンチ数 | 2 穴 / 4 穴、または 2 穴 / 3 穴 (US 規格) | |
| | パンチ用紙サイズ*10 | 最大：A3、11×17" 最小：A5□ | |
| | 用紙坪量 | 52～220 g/m ² | |

| 項目 | | 内容 | |
|----------------|----------|---|--|
| | | フィニッシャー C4 / C5 | 中とじフィニッシャー C4 / C5 |
| 中とじ / 二つ折り | 最大枚数 *11 | — | 中とじ：20 枚 (90 g/m ² 以下) 二つ折り：5 枚 (90 g/m ² 以下) |
| | 用紙サイズ | — | 最大：SRA3 (320×450 mm)、 12×18" (305×457 mm)、A3 最小：B5 |
| | 用紙坪量 | — | 中とじ：60 ~ 300 g/m ² 二つ折り：60 ~ 300 g/m ² |
| 大きさ *12 | | 幅 644× 奥行 692× 高さ 1054 mm 紙折りユニット CD3 装着時：幅 883× 奥行 692× 高さ 1054 mm | 幅 649× 奥行 692× 高さ 1054 mm 紙折りユニット CD3 装着時：幅 888× 奥行 692× 高さ 1054 mm |
| 質量 *13 | | フィニッシャー C4 (パンチ機能なし)：41 kg フィニッシャー C4 (パンチ機能あり)：44 kg フィニッシャー C5 (パンチ機能あり)：49 kg 紙折りユニット CD3：+ 52 kg | 中とじフィニッシャー C4 (パンチ機能なし)：54 kg 中とじフィニッシャー C4 (パンチ機能あり)：57 kg 中とじフィニッシャー C5 (パンチ機能あり)：61 kg 紙折りユニット CD3：+ 52 kg |
| 本体接続時の占有寸法 *14 | | 幅 1700× 奥行 721 mm 紙折りユニット CD3 装着時：幅 1938× 奥行 721 mm | 幅 1704× 奥行 721 mm 紙折りユニット CD3 装着時：幅 1943× 奥行 721 mm |

*1 :52 ~ 55 g/m² は、出力紙により正しく収容できない場合があります。

*2 :当社 C² 紙。

*3 :小さいサイズの上に大きいサイズ用の紙が積載された場合。

*4 :同じサイズの用紙での出力時。

*5 :オプションのフィニッシャー C65 枚ステープルユニットを装着すると最大 65 枚まで可能です。ただし、用紙の種類によっては用紙がずれたり、正しくステープルされない場合があります。

*6 :針なしステープルは、フィニッシャー C5 および中とじフィニッシャー C5 で利用可能。

*7 :針なしステープルは、針ありステープルと同等のとじ力はありません。用紙、気温や湿度、めくり方によって、とじ部分がはがれやすくなることがあります。

*8 :処理可能なステープル箇所は、用紙サイズにより異なります。

*9 :パンチ機能あり / なしのフィニッシャーをそれぞれ用意しています。パンチ機能のみの追加はできません。

*10:処理可能なパンチ穴数は、用紙サイズにより異なります。

*11:利用する用紙坪量により枚数は変わります。用紙サイズや用紙種類によっては冊子が開いてしまう場合があります。

*12:延長トレイ引出し時。

*13:本体接続時の専用ユニットを含みます。

*14:本体+フィニッシャー C4 / C5 または中とじフィニッシャー C4 / C5、延長トレイ引出し時、手差しトレイを最大に伸ばした時。

紙折りユニット CD3 (オプション)

| 項目 | | 内容 |
|---------------|----------|--------------------------------------|
| Z 折り | 用紙サイズ | A3、11×17"、B4 |
| | 用紙坪量 | 60 ~ 90 g/m ² |
| 三つ折り | 用紙サイズ | A4、レター |
| | 用紙坪量 | 60 ~ 90 g/m ² |
| | トレイ容量 *1 | 40 枚 |
| 電源 *2/ 最大消費電力 | | AC100 V±10 %、1.0 A、50/60 Hz 共用、100 W |
| 大きさ / 質量 | | 幅 232× 奥行 588× 高さ 992 mm、52 kg |

*1 :当社 C² 紙。

*2 :紙折リユニット CD3 装着時は、本体とは別に電源が必要になります。

無線キット 2 (オプション)

| 項目 | 内容 |
|--------------|---|
| 規格 | IEEE 802.11 a / b / g / n / ac 1T×1R (理論値 65 Mbps) |
| 伝送方式 *1 | IEEE 802.11a 5 GHz (変調方式: OFDM) IEEE 802.11b 2.4 GHz (変調方式: DS-SS) IEEE 802.11g 2.4 GHz (変調方式: OFDM) IEEE 802.11n 5 GHz / 2.4 GHz (変調方式: OFDM) IEEE 802.11ac 5 GHz (変調方式: OFDM) • Aggregation 機能の A-MPDU および A-MSDU • HT20、HT40 モード (ハイスループットモード)、VHT80 モード (ベリハイスループットモード) |
| 認証 / 暗号方式 *2 | WPA2-PSK (AES) WPA/WPA2-PSK (AES / TKIP) WPA3-SAE (AES) WPA2/WPA3-SAE (AES) WPA2-Enterprise (AES) WPA/WPA2-Enterprise (AES / TKIP) WPA3-Enterprise (AES) WPA2/WPA3-Enterprise (AES) WEP (64 bit / 128 bit) IEEE 802.1x (PEAPv0 / EAP-TLS / EAP-TTLS) |
| 対応チャンネル *3 | 2.4 GHz 帯: 1 ~ 13 ch 5 GHz 帯: 36 ~ 64 ch、100 ~ 140 ch |
| アンテナ | 内蔵 2.4 GHz / 5 GHz デュアルバンド |
| 大きさ | 45×35×33 mm |

*1 :Wi-Fi Direct モードは IEEE 802.11b / g / n。

*2 :Wi-Fi Direct モードは WPA2-PSK (AES)。

*3 :Wi-Fi Direct モードは 2.4 GHz 帯のみ。

12.2 消耗品、定期交換部品の寿命について

消耗品の寿命について

| 消耗品 | 商品コード | プリント可能ページ数 |
|-----------------------|----------|-------------|
| 大容量トナーカートリッジ ブラック (K) | CT203887 | 約 26000 ページ |
| 大容量トナーカートリッジ シアン (C) | CT203888 | 約 18000 ページ |
| 大容量トナーカートリッジ マゼンタ (M) | CT203889 | 約 18000 ページ |
| 大容量トナーカートリッジ イエロー (Y) | CT203890 | 約 18000 ページ |
| トナーカートリッジ ブラック (K) | CT203883 | 約 10000 ページ |
| トナーカートリッジ シアン (C) | CT203884 | 約 8000 ページ |

| 消耗品 | 商品コード | プリント可能ページ数 |
|--------------------|----------|-------------|
| トナーカートリッジ マゼンタ (M) | CT203885 | 約 8000 ページ |
| トナーカートリッジ イエロー (Y) | CT203886 | 約 8000 ページ |
| ドラムカートリッジ | CT351369 | 約 80000 ページ |
| トナー回収ボトル | CWAA1051 | 約 55000 ページ |

注記

- トナーカートリッジについて
JIS X 6932 (ISO/IEC 19798) に基づく公表値です。実際のプリント可能ページ数は、プリント内容や用紙サイズ、用紙の種類、使用環境などや、本体の電源 ON/OFF に伴う初期化動作や、プリント品質保持のための調整動作などにより変動し、公表値と大きく異なることがあります。
- ドラムカートリッジについて
プリント可能ページ数は、A4□、片面プリント、像密度 5%、1 度にプリントする枚数を平均 3 枚として連続プリントした使用条件における参考値です。実際のプリント可能ページ数は、用紙の種類、用紙送り方向、給紙・排紙トレイの設定、白黒カラー自動選択、本体の電源 ON/OFF に伴う初期化動作、プリント品質維持のための調整動作などの使用環境により変動し、参考値の半分以下になることがあります。
プリンターで [カラー (自動判別)] を選択した場合は、モノクロページであっても、データによってはカラーのドラムが消耗する場合があります。
- トナー回収ボトルについて
プリント可能ページ数は、A4□サイズ、片面プリント、画像密度各色 5%、カラー・モノクロ比率 5:5 で連続プリントしたときの参考値です。実際の交換サイクルはプリント条件、出力内容、用紙サイズ、種類や環境によって異なります。
- 弊社が推奨する消耗品は、本機に適した規格で作られています。弊社が推奨していない消耗品を使用された場合、機械本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本機には、弊社が推奨する消耗品をご使用ください。

使用済み消耗品の回収

回収したトナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、およびトナー回収ボトルは、環境保護・資源有効活用のため、部品の再使用、材料としてのリサイクル、熱回収などの再資源化を行っています。不要となったトナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、およびトナー回収ボトルは、適切な処理が必要です。

詳しくは、次の URL を参照してください。

<https://www.fujifilm.com/fb/support/cru/printer>

定期交換部品の寿命について

プリンターには、その機能、性能を維持するために、定期的に交換しなければならない部品があります。これを定期交換部品といいます。詳しくは、弊社公式サイトを参照してください。

| 品名 | 部品名 | 交換寿命 |
|----------------------|-------------------|--------------|
| 48 万枚定期交換キット | 定着ユニット | 約 480000 ページ |
| | 転写ベルト | |
| 24 万枚定期交換キット | 転写ベルトクリーナー | 約 240000 ページ |
| | 第 2 バイアス転写ロール | |
| 用紙搬送ロールキット (標準トレイ用) | 用紙搬送ロール (標準トレイ用) | 約 300000 ページ |
| 用紙搬送ロールキット (手差しトレイ用) | 用紙搬送ロール (手差しトレイ用) | 約 100000 ページ |
| 用紙搬送ロールキット (大容量トレイ用) | 用紙搬送ロール (大容量トレイ用) | 約 300000 ページ |

補修用性能部品について

弊社は、本製品の補修用性能部品（機械の機能を維持するために必要な部品）を、機械本体の製造終了後7年間保有しています。

その他の消耗品について

フィニッシャー（オプション）用には、次の消耗品が用意されています。本機に適した規格で作られていますので、次の消耗品の使用をお勧めします。

| 消耗品の種類 | 形態 |
|----------------------------|----------------------|
| ホチキス針 タイプ XH (3PCS) *1 | 5000 針 × 3 セット / 1 箱 |
| ホチキス針 タイプ XE (2PCS) *2 | 5000 針 × 2 セット / 1 箱 |
| ホチキス針 中とじ用タイプ XG (4PCS) *3 | 2000 針 × 4 セット / 1 箱 |

*1 : フィニッシャー C4、中とじフィニッシャー C4 用。(65 枚ステープル)

*2 : フィニッシャー B4、フィニッシャー C4、中とじフィニッシャー C4 用。(50 枚ステープル)

*3 : フィニッシャー B4 中とじユニット用。

12.3 最新ソフトウェアを入手する

プリンタードライバー、ユーティリティ、ファームウェア（本機に組み込まれたソフトウェア）などの、最新版のソフトウェアは、弊社公式サイトから入手できます。次の URL にアクセスし、ダウンロードしてください。

<https://www.fujifilm.com/fb/download>

12.4 エミュレーションについて

プリントデータはある規則（文法）に従ったデータになっています。この規則（文法）をプリント言語といいます。

本機が対応しているプリント言語は、ページ単位にイメージを作るページ記述言語と、ほかのプリンターでのプリント結果に近い結果を得ることができるエミュレーションに分類できます。

エミュレーションモード

| エミュレーションモード | エミュレートするプリンター |
|-------------|-----------------------|
| ESC/P | VP-1000 |
| PC-PR201H | PC-PR201H |
| PCL | HP-CLJ5500 |
| HP-GL | 7586B、または DJ750C Plus |
| HP-GL/2 | DJ750C Plus |

補足

- それぞれのモードの詳細な内容については、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。

プリント言語の切り替え

本機は、マルチエミュレーションに対応しています。このため、対応するプリント言語の切り替えができるようになっています。

コマンド切り替え

対応するプリント言語を切り替えるコマンドを用意しています。

自動切り替え

ホストインターフェイスが受信したデータを分析し、プリント言語を自動的に特定します。

プロトコル従属

インターネットサービスを使用して、プロトコル (LPD、IPP、Port9100、WSD (Web Services on Devices)) ごとにプリント言語を固定化できます。



参照

- インターネットサービスについては、「インターネットサービスを使う」(P.149)を参照してください。

モードメニュー画面の表示

[プリンターモード] で、エミュレーションモードを選択すると、表示されます。



補足

- [メモリー呼び出し]、[メモリー登録 / 削除]、[立ち上げメモリー] は、ESC/P、HP-GL/2、PC-PR201H に表示されます。

メモリー呼び出し

メモリーに登録した設定を呼び出します。

詳細確認 / 変更

[項目番号] に機能の項目番号を入力すると、現在の設定値が表示されます。

設定値を変更するには、[変更値] に変更する値を入力し、[決定] をタップします。



参照

- 項目番号については、「設定項目」(P.266)を参照してください。

メモリー登録 / 削除

現在の設定項目の内容を [ユーザー登録メモリー] に登録したり、登録済みのメモリーを削除したりします。

立ち上げメモリー

起動したときの初期値を設定します。

使用できるフォント

[機械確認 (メーター確認)] > [レポート / リストの出力] > [プリンター設定] で、[フォントリスト]、または [PCL フォントリスト] をタップすると、確認できます。

ESC/P、PC-PR201H では、ユーザー定義文字 (外字) を使用できます。

ユーザー定義文字は、ビットマップフォントとして登録され、電源を切っても保持されます。各プリント言語の間で共有はできません。

プリント機能

| エミュレーションモード | N アップ | フォーム | バーコード |
|---------------|-------|------|-------|
| ART IV | － | 64 | あり |
| ESC/P | あり | 64 | あり |
| PC-PR201H | あり | 64 | あり |
| PCL | － | － | あり |
| HP-GL、HP-GL/2 | － | － | － |



- ART IV でストレージありの場合、フォームは 2048 個です。

N アップ

2 アップを利用できます。

フォーム

定形のフォームを登録し、登録されているフォームをプリントデータに合成してプリントできます。



- フォーム登録数の上限を超えてフォームを登録しようとした場合、またはフォーム用のメモリー容量がいっぱいになった場合、新しいフォームは登録されません。
- フォームの登録については、[機械確認 (メーター確認)] > [レポート/リストの出力] > [プリンター設定] > [ART IV, ESC/P ユーザー定義リスト] で確認してください。

バーコード

利用できるバーコード規格は、エミュレーションモードにより異なります。

ART IV、ESC/P、PC-PR201H の場合

- JAN
- Code39
- CODABAR
- Industrial 2 of 5
- Matrix 2 of 5
- Interleaved 2 of 5
- Code128
- Japanese Postal Customer Code
- QR Code Model 2

PCL の場合

- UPC-A, UPC-A+2, UPC-A+5
- UPC-E, UPC-E+2, UPC-E+5
- EAN/JAN-8, EAN/JAN-8+2, EAN/JAN-8+5
- EAN/JAN-13, EAN/JAN-13+2, EAN/JAN-13+5
- Interleaved 2 of 5
- Interleaved 2 of 5 + CHK
- Code39, Code39 + CHK
- Code128 Autoswitch, Code128 A, Code128 B, Code128 C
- CODABAR (NW-7), CODABAR + CHKmod16
- QR Code Model 2
- Japanese postal Customer Code

コマンドの指定方法は、[機械確認 (メーター確認)] > [レポート/リストの出力] > [プリンター設定] > [PCL フォントリスト] で確認できます。

設定メニュー

機械管理者モードにログインして行います。

| エミュレーションモード | ポート設定 | メモリー設定 | フォーム削除 |
|---------------|-------|--------|--------|
| ART IV | あり | あり | あり |
| ESC/P | あり | あり | あり |
| PC-PR201H | あり | あり | あり |
| PCL | あり | — | — |
| HP-GL、HP-GL/2 | あり | あり | — |

ポート設定

[設定] > [ネットワーク設定] > [ポート設定] をタップすると、ポートが起動 / 停止します。

- ポートの起動 (USB/LPD/IPP/Port9100/WSD (Web Services on Devices))
エミュレーションモードで使用するポートにタップします。
- USB- プリントモード指定
ホスト装置から受信したデータの処理方法を設定します。ここでエミュレーションモードを選択すると、「プリント言語の切り替え」(P.256) で説明している自動切り替えは行われません。

補足

- インターネットサービスを使用して、プロトコルごとにプリントモードを指定することもできます。インターネットサービスの起動方法については、「インターネットサービスを使う」(P.149) を参照してください。

メモリー設定

[設定] > [アプリ設定] > [プリンター設定] > [メモリー設定] をタップします。

補足

- ストレージ (オプション) が取り付けられている場合、設定は変更できません。
- ART IV ユーザー定義用メモリー
ART IV のユーザー定義で使用するメモリー容量を設定します。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。

参照

- 詳しくは、「[メモリー設定]」(P.114) を参照してください。

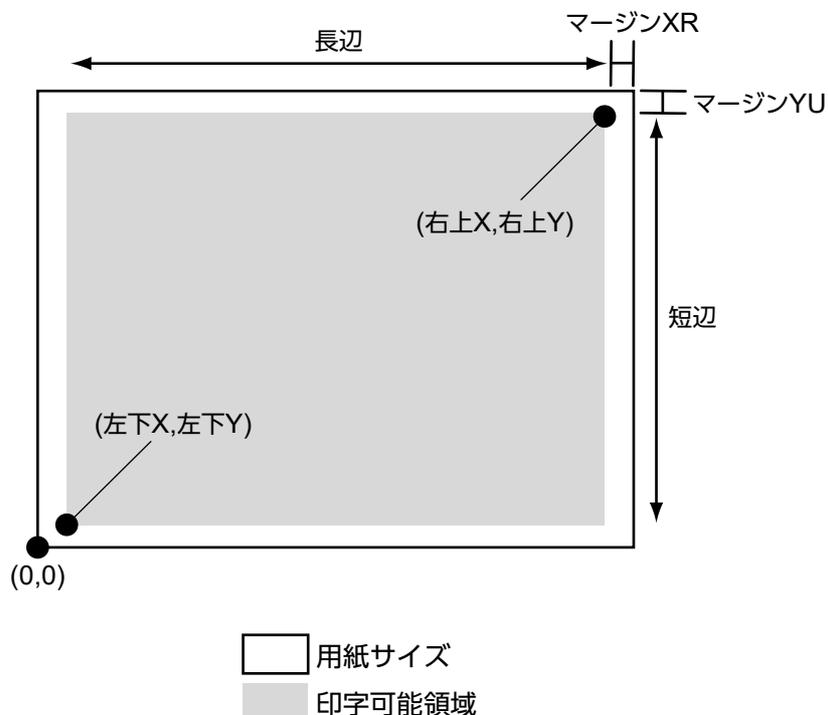
フォーム削除

[設定] > [アプリ設定] > [プリンター設定] > [フォーム削除] をタップし、フォームを削除するモードを選びます。

HP-GL、HP-GL/2 エミュレーション固有の事項

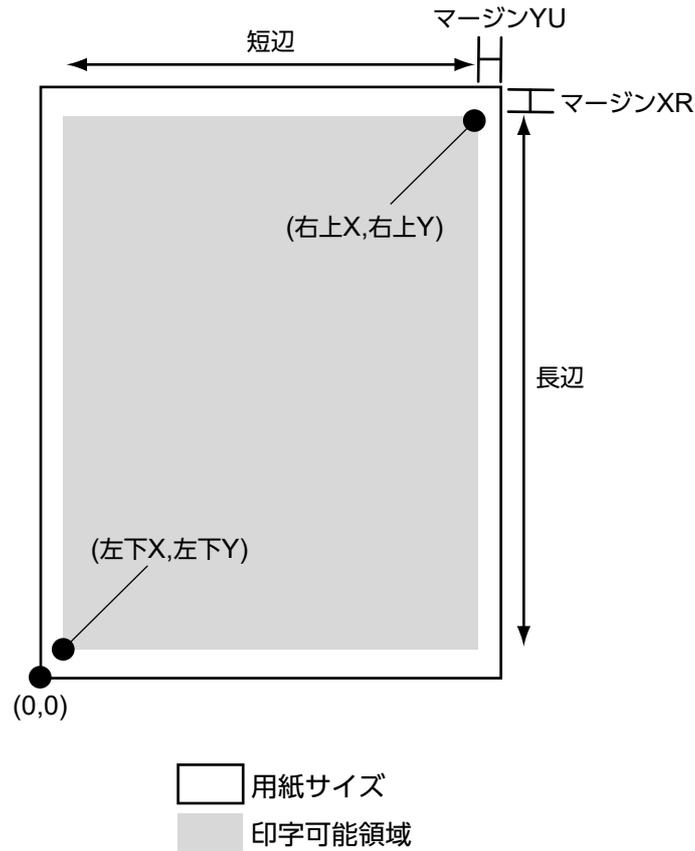
印字可能領域

■ よこ置き



| 用紙サイズ | 用紙長 (1/7200 インチ) | | 座標値 (1/7200 インチ) | | | | | | | |
|--------|---------------------|-------|---------------------|------|--------|-------|--------|-------|------|------|
| | X 方向 | Y 方向 | マージン | | 印字可能領域 | | 右上端 | | マージン | |
| | 幅 | 高さ | 左下 X | 左下 Y | 長辺 | 短辺 | 右上 X | 右上 Y | XR | YU |
| A3 | 119052 | 84168 | 1260 | 1260 | 116532 | 81648 | 117792 | 82908 | 1260 | 1260 |
| A4 | 84168 | 59508 | 1260 | 1260 | 81648 | 56988 | 82908 | 58248 | 1260 | 1260 |
| A5 | 59508 | 41940 | 1260 | 1260 | 56988 | 39420 | 58248 | 40680 | 1260 | 1260 |
| JIS B4 | 103176 | 72828 | 1260 | 1260 | 100656 | 70308 | 101916 | 71568 | 1260 | 1260 |
| JIS B5 | 72828 | 51588 | 1260 | 1260 | 70308 | 49068 | 71568 | 50328 | 1260 | 1260 |

■ たて置き



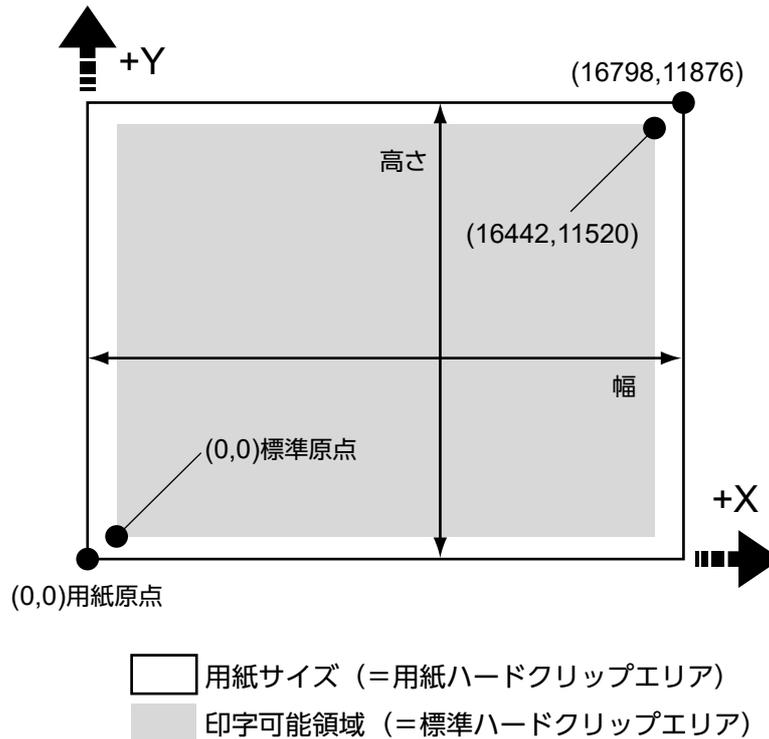
| 用紙サイズ | 用紙長 (1/7200 インチ) | | 座標値 (1/7200 インチ) | | | | | | | |
|--------|---------------------|--------|---------------------|------|--------|--------|-------|--------|------|------|
| | X 方向 | Y 方向 | マージン | | 印字可能領域 | | 右上端 | | マージン | |
| | 幅 | 高さ | 左下X | 左下Y | 長辺 | 短辺 | 右上X | 右上Y | XR | YU |
| A3 | 84168 | 119052 | 1260 | 1260 | 81648 | 116532 | 82908 | 117792 | 1260 | 1260 |
| A4 | 59508 | 84168 | 1260 | 1260 | 56988 | 81648 | 58248 | 82908 | 1260 | 1260 |
| A5 | 41940 | 59508 | 1260 | 1260 | 39420 | 56988 | 40680 | 58248 | 1260 | 1260 |
| JIS B4 | 72828 | 103176 | 1260 | 1260 | 70308 | 100656 | 71568 | 101916 | 1260 | 1260 |
| JIS B5 | 51588 | 72828 | 1260 | 1260 | 49068 | 70308 | 50328 | 71568 | 1260 | 1260 |

ハードクリップ

座標値から決定される領域をハードクリップエリアと呼びます。

ハードクリップエリアは、印字可能領域、または用紙サイズから決定されます。

■ A3、原点位置が左下のとき



標準

本機の印字可能領域がハードクリップエリアになります。

用紙

用紙と同じサイズがハードクリップエリアになります。

オートレイアウト

原稿サイズ、用紙サイズなど、設定した項目から、自動で印字領域が決定されます。

原稿サイズ

「オート」(初期値)にすると「オートレイアウト」の設定が有効になります。

オートレイアウト

「ON」(初期値)にすると、「スケール」、「スケールモード」、「エリア判定モード」、「ペーパーマージン」が有効になります。

スケール

描画されるオブジェクト領域が用紙サイズに合うように、印字領域を拡大/縮小します。

スケールモード

■ 用紙サイズ

描画されるオブジェクト領域から原稿サイズが決定されます。決定されるサイズは、A系列のサイズ(A0～A5の6種類)です。

■ オブジェクト領域

描画されるオブジェクト領域の原点位置を基準に原稿サイズが決定されます。

エリア判定モード



- コマンドがない場合、Adapted でオブジェクト領域が決定されます。

■ 自動

優先順位が PS > IW > IP > Adapted で、自動的に選択されます。

■ PS

最初に PS コマンドで指定された領域を含む領域がオブジェクト領域になります。

■ IW

データ中の最後の IW コマンドで指定された領域がオブジェクト領域になります。

■ IP

すべての IP コマンドで指定された領域がオブジェクト領域になります。

■ Adapted

自動でオブジェクト領域が決定されます。

ペーパーマージン

余白の設定をします。

ペン属性

ハードクリップエリアの境界線を描画するペンの設定をします。

ペンは 16 種類 (No.00 ~ No.15)、設定できます。

■ 幅

「原稿サイズ」と「用紙サイズ」の組み合わせによって縮小された場合、ペンの幅も縮小します。

線の幅は線の中心から太くなります。

太さが 0.0 mm の場合は、何も描画されません。



- 「書体」が「ストローク」以外の文字には無効です。

■ ペン終端形状

ペンの終端形状を設定します。



- 「書体」が「ストローク」以外の文字には無効です。

■ ペン接続形状

ペンの線を接続した場合の処理を設定します。



- 「なし」は、処理時間がもっとも短く、確認用に適しています。
- シンボルモードコマンドによってシンボルが設定されている場合、連結処理は行われません。シンボルモードコマンドとは、シンボルを指定する HPGL コマンドです。
- 文字には無効です。

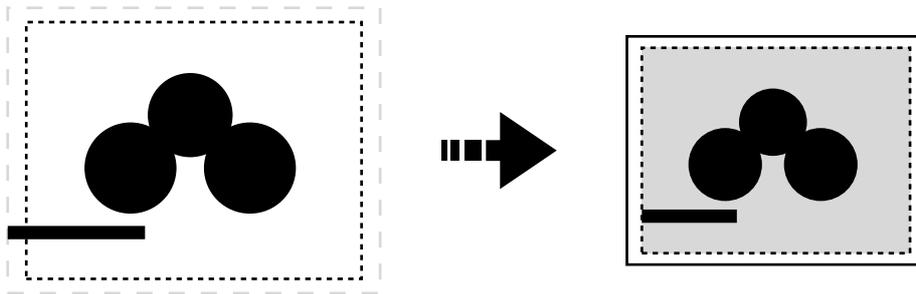
■ ペンカラー

ペンの色は RGB で指示します。

オートレイアウト時の設定項目組み合わせ例

■ スケールモード：用紙サイズ、スケール：ON

印字領域内で縮小 / 拡大されて、プリントされます。

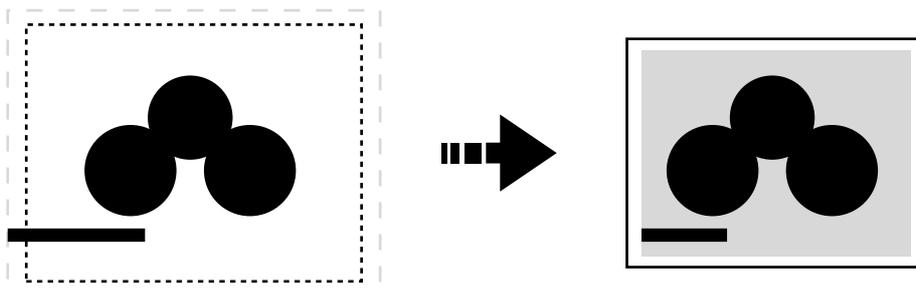


-  用紙サイズ
-  印字可能領域
-  「エリア判定モード」で決定されたオブジェクト領域
-  描画されたオブジェクト領域 (= 印字領域)

■ スケールモード：用紙サイズ、スケール：OFF

等倍でプリントされます。

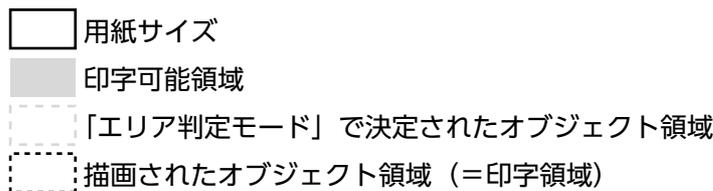
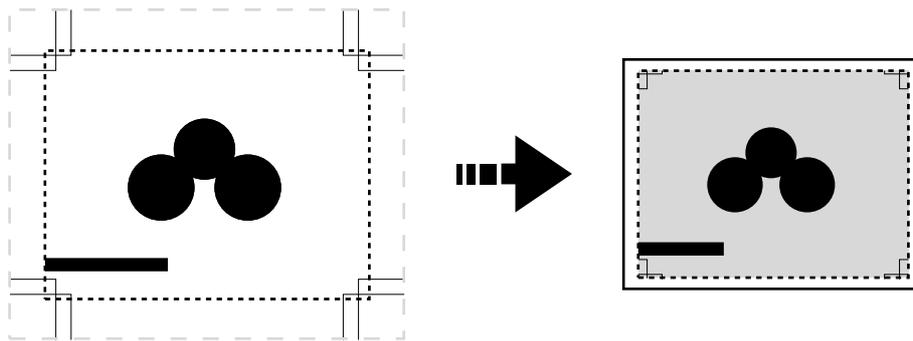
そのため、用紙サイズより大きい部分は印字されません。



-  用紙サイズ
-  印字可能領域
-  「エリア判定モード」で決定されたオブジェクト領域
-  描画されたオブジェクト領域 (= 印字領域)

■ スケールモード：オブジェクト領域、スケール：ON

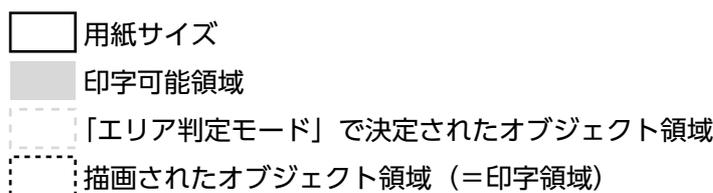
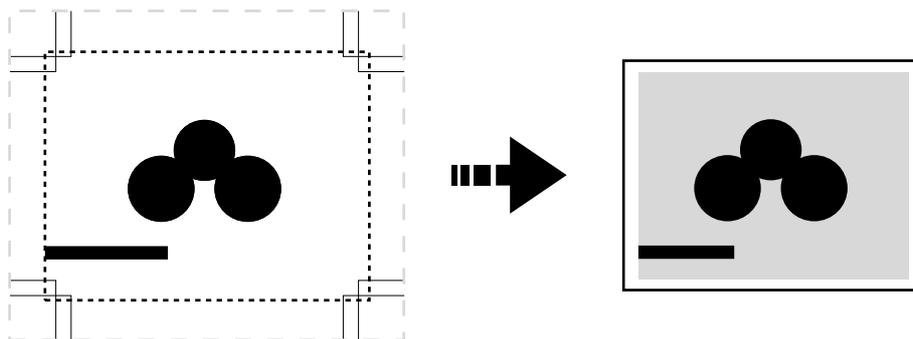
印字領域内で縮小 / 拡大されて、プリントされます。



■ スケールモード：オブジェクト領域、スケール：OFF

等倍でプリントされます。

そのため、用紙サイズより大きい部分は印字されません。



原稿サイズの決定方法

1. 「エリア判定モード」で決定されたオブジェクト領域に対し、次のどれかで値の大きいものをマージンとして加えます。
 - ページ内で指定された文字の大きさ
 - デフォルトの文字の大きさ
 - 指定されたペン幅の 1/2
2. 「エリア判定モードで決定されたオブジェクト領域」 + 「加わったマージン」 - 「設定したペーパーマージン」が描画されるオブジェクト領域になります。
3. 「スケールモード」が「用紙サイズ」の場合、描画されるオブジェクト領域から原稿サイズが決定されます。「スケールモード」が「オブジェクト領域」の場合、描画されるオブジェクト領域の原点位置を基準に原稿サイズが決定されます。

■ 判定方法の例

オートレイアウト = ON、原稿サイズ = オート、スケールモード = 用紙サイズ、エリア判定モード = IP、ペーパーマージン = 10 mm で、ペン幅 = 0.1 mm の場合

IN;

IP-8399,-5938,8399,5938;

IW-8399,-5938,8399,5938;

PU;

SP1;

:

:

SP0;



- 文字サイズ指定コマンドは存在せず、IP、IW で指定しているエリアは A3 です。

■ 例：の判定方法

1. IP コマンドで指定されたエリア [-8399,-5938,8399,5938] がオブジェクト領域になります。
2. 文字サイズ指定コマンドなし、ペン幅は 0.1 mm のため A3 サイズのデフォルト文字サイズの高さ /2 (75 プロッタユニット) のサイズがオブジェクト領域に加わります。
この時点でのオブジェクト領域：-8474,-6013,8474,6013
3. ペーパーマージン (10 mm) がオブジェクト領域から削除されます。
この時点でのオブジェクト領域：-8074,-5613,8074,5613
4. 描画されたオブジェクト領域 (= 印字領域) が A4 超 ~ A3 以下のため、原稿サイズは A3 になります。

用紙サイズの決定方法

■ 「原稿サイズ」が「オート」、「給紙トレイ」が「自動」の場合

- 「スケールモード」が「用紙サイズ」で、原稿サイズと同じ用紙サイズがトレイにセットされているときは、原稿サイズと同じサイズの用紙サイズ
- 「スケールモード」が「オブジェクト領域」のときは、エリア判定モードで決定されたオブジェクト領域が用紙サイズ



- 同じ用紙サイズがない場合、次のサイズが選ばれます。
 - 最大サイズを上回る：最大サイズ
 - 最小サイズを下回る：最小サイズ
 - 最小 ~ 最大サイズの間：収まるサイズ

縮小率の決定方法

■ 「原稿サイズ」が「オート」、「スケールモード」が「用紙サイズ」の場合

描画されるオブジェクト領域と「用紙サイズ」から縮小率が決定されます。また、ハードクリップエリアは「用紙」になります。

- オートレイアウトが「ON」のとき、原稿を用紙の中央に配置します。
- 原点位置が左下、または中央のとき、原稿と用紙の原点を合わせます。
- 縮小率が 22.5 % 未満のとき (A0 → A5 など)、等倍になります。

■ 「原稿サイズ」が「オート」、「スケールモード」が「オブジェクト領域」の場合

描画されるオブジェクト領域の原点位置と用紙サイズから縮小率が決定されます。また、ハードクリップエリアは「標準」になります。

倍率の最大値は 210.0 %、倍率の最小値は 22.5 % となります。

| 用紙サイズ | 0° | | | | 90° | | | |
|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | 最小値 | | 最大値 | | 最小値 | | 最大値 | |
| | P2x - P1x | P2y - P1y |
| A3 | 7829 | 5485 | 73075 | 51200 | 5485 | 7829 | 51200 | 73075 |
| A4 | 5485 | 3828 | 51200 | 35733 | 3828 | 5485 | 35733 | 51200 |
| A5 | 3828 | 2648 | 35733 | 24720 | 2648 | 3828 | 24720 | 35733 |
| JIS B4 | 6762 | 4723 | 63120 | 44088 | 4723 | 6762 | 44088 | 63120 |
| JIS B5 | 4723 | 3297 | 44088 | 30773 | 3297 | 4723 | 30773 | 44088 |

単位: プロッターユニット

設定項目

項目番号の表記は、ESC = ESC/P、PC = PC-PR201H、PCL = PCL、HP = HP-GL と HP-GL/2 です。

| 設定項目 | 項目番号 | | | | 設定値 |
|-------|------|-----|-----|----|--|
| | ESC | PC | PCL | HP | |
| 原稿サイズ | 1 | 301 | - | - | [0] : はがき [3] : A3 [4] : A4 [5] : A5 [14] : JIS B4 [15] : JIS B5 [21] : 8.5×14 [22] : 8.5×13 [23] : 8.5×11 [24] : 11×17 [99] (初期値) : 用紙サイズ [100] : 連続紙 (10×12) [101] : 連続紙 (10×11) [102] : 連続紙 (15×12) [103] : 連続紙 (15×11)  補足 • 連続紙に設定した場合、「用紙位置」の設定はできません。 • PC-PR201H では、プリント保証桁は、連続紙 (10×12) は 80 桁 / 72 行、連続紙 (10×11) は 80 桁 / 66 行、連続紙 (15×12) は 136 桁 / 72 行、連続紙 (15×11) は 136 桁 / 66 行です。 |

| 設定項目 | 項目番号 | | | | 設定値 |
|---|------|-----|-----|-----|---|
| | ESC | PC | PCL | HP | |
| 原稿サイズ | — | — | — | 101 | [0] : A0 [1] : A1 [2] : A2 [3] : A3 [4] : A4 [5] : A5 [10] : JIS B0 [11] : JIS B1 [12] : JIS B2 [13] : JIS B3 [14] : JIS B4 [15] : JIS B5 [99] (初期値) : オート [100] : 用紙サイズ |
| 用紙サイズ 「給紙トレイ」が 「自動」、または 「トレイ 5 (手差 し)」の場合 | 2 | 302 | — | — | [0] : はがき [3] : A3 [4] : A4 [5] : A5 [14] : JIS B4 [15] : JIS B5 [21] : 8.5×14 [22] : 8.5×13 [23] : 8.5×11 [24] : 11×17 |
| 用紙サイズ 「給紙トレイ」が 「自動」、または 「トレイ 5 (手差 し)」の場合 | — | — | — | 102 | [3] : A3 [4] : A4 [5] : A5 [14] : JIS B4 [15] : JIS B5 [99] : オート [101] (初期値) : A サイズ |
| 用紙サイズ 「給紙トレイ」が 「自動」の場合 | — | — | 202 | — | [3] : A3 [4] (初期値) : A4 [5] : A5 [14] : JIS B4 [15] : JIS B5 [21] : 8.5×14 [22] : 8.5×13 [23] : 8.5×11 [24] : 11×17 [25] : ユーザー定義用紙 [30] : 8K |
| 用紙サイズ 「給紙トレイ」が 「手差しトレイ」の 場合 | — | — | 203 | — | [3] : A3 [4] (初期値) : A4 [5] : A5 [14] : JIS B4 [15] : JIS B5 [21] : 8.5×14 [22] : 8.5×13 [23] : 8.5×11 [24] : 11×17 [25] : ユーザー定義用紙 |

| 設定項目 | 項目番号 | | | | 設定値 |
|----------|------|-----|-----|-----|---|
| | ESC | PC | PCL | HP | |
| 給紙トレイ | 3 | 303 | 201 | 103 | [0] : (初期値 : PCL、HP-GL/2) 自動 [1] : (初期値 : ESC/P、PC-PR201H) トレイ 1 [2] : トレイ 2 [3] : トレイ 3 [4] : トレイ 4 [5] : トレイ 5 (手差し) [6] : トレイ 6  補足 ・「自動」に設定した場合、同じサイズ of 用紙が同じ用紙方向で複数のトレイにセットされているときは、トレイ 1 → トレイ 2 → トレイ 3 → トレイ 4 → トレイ 6 の順に給紙されます。また、同じサイズ of 用紙が異なる向きで複数のトレイにセットされているときは、よこにセットされている用紙が優先されます。 |
| 座標回転 | — | — | — | 104 | [0] (初期値) : 0° [1] : 90° |
| カラーモード | 5 | 304 | — | — | [0] : カラー [1] (初期値) : モノクロ |
| | — | — | 216 | — | [0] (初期値) : 自動 [1] : カラー [2] : モノクロ |
| | — | — | — | 105 | [0] : カラー [1] (初期値) : グレースケール [2] : 黒ペン |
| 階調モード | — | — | — | 105 | [1] (初期値) : グレースケール [2] : 黒ペン |
| オートレイアウト | — | — | — | 106 | [0] (初期値) : ON [1] : OFF |
| 有効パレット | — | — | — | 107 | [0] (初期値) : コマンド [1] : パネル |
| 出力部数 | 8 | 305 | — | 108 | [1] ~ [250] (初期値 : 1) : 1 ~ 250 部  補足 ・クライアントPCからプリント部数の指定があった場合、その値が反映されてプリントされます。プリント後、操作パネルの設定もその値になります。ただし、lpd ポートから指定された部数は、変わりません。 |
| | — | — | 212 | — | [1] ~ [999] (初期値 : 1) : 1 ~ 999 部 |
| 排出先 | 9 | 306 | 204 | 109 | [0] (初期値) : センタートレイ (下段) [1] : サイドトレイ (オプション) [2] : センタートレイ (上段) (オプション) [80] : フィニッシャートレイ (オプション) [81] : フィニッシャー排出トレイ (オプション) |
| 両面 | 12 | 307 | — | 110 | [0] (初期値) : なし [1] : 左右開き [2] : 上下開き |
| | — | — | 206 | — | [0] (初期値) : オフ [1] : オン |

| 設定項目 | 項目番号 | | | | 設定値 |
|--|------|-----|-----|----|---|
| | ESC | PC | PCL | HP | |
| 両面時のとじ方 | — | — | 217 | — | [0] (初期値) : 長辺とじ [1] : 短辺とじ |
| 用紙方向 | 19 | 314 | 205 | — | [0] (初期値) : 縦 [1] : 横 |
| 用紙位置  補足 • 「原稿サイズ」で「連続紙」に設定した場合は設定できません。 | 20 | 338 | — | — | [0] (初期値) : カットシートフィーダーなし (左) [1] : カットシートフィーダーあり (中央)  補足 • カットシートフィーダーなしの場合は、FF (改ページコマンド) を受信すると、VFU で設定された値だけ行送りをします。カットシートフィーダーありの場合は、改ページします。 |
| | — | 315 | — | — | [0] (初期値) : 左置き [1] : 中央置き |
| 倍率モード | 54 | 321 | — | — | [0] (初期値) : 固定倍率 [1] : 任意倍率 [2] : カット紙全面  補足 • 「固定倍率」とは、設定されている「原稿サイズ」と「用紙サイズ」から自動算出される倍率のことで、原稿サイズの印字可能領域が用紙サイズの印字可能領域に収まるように印字されます。このため、原稿サイズと用紙サイズが同じであれば 100% (等倍) 印字となります。また、2 アップが設定されている場合には、2 枚分の原稿サイズが 1 枚の用紙サイズの印字可能領域に収まるように印字されます。 • 「任意倍率」とは、「倍率」 > 「任意倍率」で設定される倍率のことです。倍率の基準値は印字可能領域の左上です。これは文字、イメージ、グラフィックスすべてにおける基準点になります。 • カット紙全面領域が印字可能領域に印字されます。 「カット紙全面」とは、設定されている「原稿サイズ」と「用紙サイズ」から自動算出される倍率のことで、設定されている原稿サイズの物理的な紙の大きさが用紙サイズの印字可能領域に収まるよう印字されます。 • 「原稿サイズ」で連続紙が設定されている場合、「固定倍率」と「カット紙全面」は同じ印字結果となります。 |
| 縦倍率 | 17 | 312 | — | — | [45] ~ [210] (初期値 : 100) : 45 ~ 210 % |
| 横倍率 | 18 | 313 | — | — | |
| 罫線 | 22 | 317 | — | — | [0] (初期値) : イメージ [1] : フォント  補足 • 2 バイトの罫線フォントの印字方法を設定します。 |

| 設定項目 | 項目番号 | | | | 設定値 |
|---|------|-----|-----|-----|--|
| | ESC | PC | PCL | HP | |
| フォント  補足 ・拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。 | 13 | — | — | — | 【3】(初期値)：書宋 【4】：俣宋 【5】：黒体 【6】：楷書  補足 ・2バイトの半角文字もこの書体が適用されます。 ・お使いの機種によっては、設定できない場合があります。 |
| 漢字書体  補足 ・拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。 | 13 | 308 | — | — | 【0】(初期値)：明朝 【1】：ゴシック  補足 ・2バイトの半角文字もこの書体が適用されます。 |
| | — | — | — | 111 | 【0】(初期値)：ストローク 【1】：明朝 【2】：ゴシック  補足 ・2バイトの半角文字もこの書体が適用されます。 |
| 英数字書体 | 14 | 309 | — | — | 【0】(初期値)：ローマン 【1】：サンセリフ |
| | — | — | — | 112 | 【0】(初期値)：ストローク 【1】：ローマン 【2】：サンセリフ |

| 設定項目 | 項目番号 | | | | 設定値 |
|-----------|------|----|-----|----|---|
| | ESC | PC | PCL | HP | |
| デフォルトフォント | — | — | 207 | — | [0] : CG Times [1] : CG Times Italic [2] : CG Times Bold [3] : CG Times Italic Bold [4] : Univers Medium [5] : Univers Medium Italic [6] : Univers Bold [7] : Univers Bold Italic [8] : Univers Medium Condensed [9] : Univers Medium Condensed Italic [10] : Univers Bold Condensed [11] : Univers Bold Condensed Italic [12] : Antique Olive [13] : Antique Olive Italic [14] : Antique Olive Bold [15] : CG Omega [16] : CG Omega Italic [17] : CG Omega Bold [18] : CG Omega Bold Italic [19] : Garamond Antiqua [20] : Garamond Kursiv [21] : Garamond Halbfett [22] : Garamond Kursiv Halbfett [23] (初期値) : Courier [24] : Courier Italic [25] : Courier Bold [26] : Courier Bold Italic [27] : Letter Gothic [28] : Letter Gothic Italic [29] : Letter Gothic Bold [30] : Albertus Medium [31] : Albertus Extra Bold [32] : Clarendon Condensed [33] : Coronet [34] : Marigold [35] : Arial [36] : Arial Italic [37] : Arial Bold [38] : Arial Bold Italic [39] : Times New [40] : Times New Italic [41] : Times New Bold [42] : Times New Bold Italic [43] : Symbol [44] : Wingdings [45] : Line Printer [46] : Times Roman [47] : Times Italic [48] : Times Bold [49] : Times Bold Italic [50] : Helvetica [51] : Helvetica Oblique [52] : Helvetica Bold [53] : Helvetica Bold Oblique [54] : CourierPS [55] : CourierPS Oblique |

| 設定項目 | 項目番号 | | | | 設定値 |
|------|------|----|-----|----|---|
| | ESC | PC | PCL | HP | |
| | — | — | 207 | — | 【56】 : CourierPS Bold 【57】 : CourierPS Bold Oblique 【58】 : SymbolPS 【59】 : Palatino Roman 【60】 : Palatino Italic 【61】 : Palatino Bold 【62】 : Palatino Bold Italic 【63】 : ITC Bookman Light 【64】 : ITC Bookman Light Italic 【65】 : ITC Bookman Demi 【66】 : ITC Bookman Demi Italic 【67】 : Helvetica Narrow 【68】 : Helvetica Narrow Oblique 【69】 : Helvetica Narrow Bold 【70】 : Helvetica Narrow Bold Oblique 【71】 : New Century Schoolbook Roman 【72】 : New Century Schoolbook Italic 【73】 : New Century Schoolbook Bold 【74】 : New Century Schoolbook Bold Italic 【75】 : ITC Avant Garde Book 【76】 : ITC Avant Garde Book Oblique 【77】 : ITC Avant Garde Demi 【78】 : ITC Avant Garde Demi Oblique 【79】 : ITC Zapf Chancery Medium Italic 【80】 : ITC Zapf Dingbats |

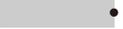
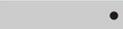
| 設定項目 | 項目番号 | | | | 設定値 |
|------------|------|-----|-----|-----|--|
| | ESC | PC | PCL | HP | |
| デフォルトシンボル | — | — | 208 | — | [0] (初期値) : Roman 8 [1] : ISO 8859-1 Latin 1 [2] : ISO 8859-2 Latin 2 [3] : ISO 8859-9 Latin 5 [4] : ISO 8859-10 Latin 6 [5] : PC-8 [6] : PC-8 DN [7] : PC-775 [8] : PC-850 [9] : PC-852 [10] : PC-1004(OS/2) [11] : PC Turkish [12] : Windows 3.1 Latin 1 [13] : Windows 3.1 Latin 2 [14] : Windows 3.1 Latin 5 [15] : DeskTop [16] : PS Text [17] : MC Text [18] : Microsoft Publishing [19] : Math 8 [20] : PS Math [21] : Pi Font [22] : Legal [23] : ISO 4 United Kingdom [24] : ISO 6 ASCII [25] : ISO 11 Swedish:names [26] : ISO 15 Italian [27] : ISO 17 Spanish [28] : ISO 21 German [29] : ISO 60 Norwegian v1 [30] : ISO 69 French [31] : Windows 3.0 Latin 1 [32] : Windows Baltic [33] : Symbol [34] : Wingdings [35] : UCS-2 |
| フォントサイズ | — | — | 209 | — | [400] ~ [5000] (初期値 : 1200) : 4.00 ~ 50.00 ポイント |
| フォントピッチサイズ | — | — | 210 | — | [600] ~ [2400] (初期値 : 1000) : 6.00 ~ 24.00 ポイント |
| フォント行数 | — | — | 211 | — | [5] ~ [128] (初期値 : 64) : 5 ~ 128 行 |
| 縦位置補正 | 15 | 310 | — | 113 | [0] (初期値) : しない [1] ~ [500] : -250 ~ +250 mm  補足 ・プリント位置 (またはハードクリップエリア) を設定します。 |
| 横位置補正 | 16 | 311 | — | 114 | |
| 2アップモード | 21 | 316 | — | — | [0] (初期値) : なし [1] : 順方向 [2] : 逆方向  補足 ・「原稿サイズ」でよこ向きを指定している場合、「順方向」と「逆方向」のどちらを設定しても同じ結果となります。 |

| 設定項目 | 項目番号 | | | | 設定値 |
|---|------|-----|-----|-----|--|
| | ESC | PC | PCL | HP | |
| 漢字コード  補足 • 拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。 | 50 | — | — | — | 【0】 (初期値) : エプソン 【1】 : 東芝 |
| 白紙排出  補足 • 拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。 | 51 | 318 | — | — | 【0】 (初期値) : しない 【1】 : する  補足 • 空白ページの白紙の排出を設定します。 • 「しない」に設定した場合、2 アッププリント、または両面プリントでは、空白ページは作成されません。 • 「しない」に設定した場合でも、外字で作成されたスペースや白いオブジェクトが存在するときは、白紙が排出されます。 |
| 印字桁範囲 | 52 | 319 | — | — | 【0】 (初期値) : 標準 【1】 : 拡張  補足 • 右マージンの位置を拡張できます。 • コマンドで右マージン位置が設定された場合は、その位置が右端になります。 |
| イメージエンハンス | 53 | 320 | 213 | 163 | 【0】 : OFF 【1】 (初期値) : ON |
| 文字品位 | 55 | — | — | — | 【0】 (初期値) : 高品位 【1】 : ドラフト |
| 縮小文字 | 56 | — | — | — | 【0】 (初期値) : しない 【1】 : する  補足 • 半角英数字を印字する場合、文字を縮小できません。 |
| 文字コード表 | 57 | — | — | — | 【0】 (初期値) : カタカナ 【1】 : 拡張グラフィックス 【2】 : スラント  補足 • 半角英数字を印字する場合のコード表の種類を設定します。 • 日本国内のアプリケーションを使用している場合はカタカナを、日本以外の国または地域のアプリケーションを使用している場合は、拡張グラフィックスに設定してください。 |
| ページ長 | 58 | 329 | — | — | 【0】 (初期値) : 11 インチ 【1】 : 12 インチ |

| 設定項目 | 項目番号 | | | | 設定値 |
|---------------|------|-----|-----|-----|---|
| | ESC | PC | PCL | HP | |
| 1 インチミシン目スキップ | 59 | — | — | — | [0] (初期値) : しない [1] : する  補足 <ul style="list-style-type: none"> ページとページの間を 1 インチ空けることができます。 「用紙位置」で「カットシートフィーダーなし」に設定されている場合だけ設定が有効になります。 |
| 給紙位置 | 60 | — | — | — | [0] (初期値) : 8.5 mm [1] : 22 mm |
| 国別文字 | — | 322 | — | — | [0] (初期値) : 日本 [1] : アメリカ [2] : イギリス [3] : ドイツ [4] : スウェーデン |
| 自動改行 | — | 323 | — | — | [0] : CR [1] (初期値) : CR/LF  補足 <ul style="list-style-type: none"> 右マージン位置を超えたときの自動改行の動作を設定します。 「CR」は印字復帰だけします。「CR/LF」は印字復帰したあと改行します。 |
| 印字指令 | — | 324 | — | — | [0] (初期値) : CR [1] : すべて  補足 <ul style="list-style-type: none"> 「CR」は印字指令のコマンドを CR だけ、「すべて」は印字指令のコマンドを、CR、LF、VT、FF、US、ESC a、ESC b にします。 |
| CR の機能 | 61 | 325 | — | — | [0] (初期値) : 復帰 [1] : 復帰改行  補足 <ul style="list-style-type: none"> 拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。 8 ビットドットイメージ印字コマンドの印字結果に影響します。 |
| グラフィックドット数 | — | 327 | — | — | [0] (初期値) : ネイティブ [1] : コピー |
| データサイズ | — | 328 | — | — | [0] : 7 ビット [1] (初期値) : 8 ビット |
| HP-GL モード | — | — | — | 150 | [0] (初期値) : HP-GL [1] : HP-GL/2  補足 <ul style="list-style-type: none"> IW、OW、UC コマンドに影響します。 BP コマンドを含まない HP-GL/2 コマンドを印字する場合は「HP-GL/2」に設定してください。 |
| ハードクリップ | — | — | — | 151 | [0] : 標準 [2] (初期値) : 用紙 |

| 設定項目 | 項目番号 | | | | 設定値 |
|----------|------|-----|-----|--------------|--|
| | ESC | PC | PCL | HP | |
| 排出コマンド | — | — | — | 152 (SP) | 【0】：OFF 【1】：ON  補足 ・描画の終了を示すコマンドを設定します。 ・ここで指定したコマンドを受信すると描画を終了し、用紙が排出されます。 ・初期値は、SP0 は「ON」、SP0 以外のコマンドは「OFF」に設定されています。 ・複数のコマンドが指定された場合は、どれか1つのコマンドを受信した時点で、描画を終了して用紙が排出されます。 |
| | — | — | — | 153 (SP0) | |
| | — | — | — | 154 (NR) | |
| | — | — | — | 155 (FR) | |
| | — | — | — | 156 (PG) | |
| | — | — | — | 157 (AF) | |
| | — | — | — | 158 (AH) | |
| スケール | — | — | — | 159 | 【0】：OFF 【1】（初期値）：ON |
| スケールモード | — | — | — | 160 | 【0】（初期値）：用紙サイズ 【1】：オブジェクト領域 |
| エリア判定モード | — | — | — | 161 | 【0】（初期値）：自動 【1】：PS 【2】：IW 【3】：IP 【4】：Adapted |
| ペーパーマージン | — | — | — | 162 | 【0】～【99】（初期値：0）：0～99 mm |
| 拡張子指定 | 62 | 330 | — | — | 【0】（初期値）：無効 【1】：有効  補足 ・通常の拡張コマンドは、コマンドを識別するための拡張子として、先頭に16進法で1BHであるESCとそれに続く；（セミコロン=3BH）を指定しています。 ホストコンピュータでESCコードやセミコロンを使用できない場合は、それに代わる特定の文字列を拡張子として使用できます。 |
| 拡張子 | 63 | 331 | — | — | 【&%】（初期値）：0×21～0×7e  補足 ・テキストコードで制御できるようにしたい場合は、拡張コマンドの拡張子（先頭2バイト）を指定します。画面に表示されるキーボードから2文字を入力します。 |
| フォーム合成 | 64 | 332 | — | — | 【0】（初期値）：しない 【1】～【64】：No.1～No.64  補足 ・フォームを指定したあと、フォームが削除された場合でも、そのフォーム名が表示されています。この場合はフォームが合成されません。 |
| | | | | |  補足 ・拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。 |

| 設定項目 | 項目番号 | | | | 設定値 |
|------------------------------------|------|-----|----------|-----|---|
| | ESC | PC | PCL | HP | |
| ステーブル | 66 | 333 | — | 164 | [0] (初期値) : しない [1] : 左上 1 か所 [2] : 上辺 2 か所 [3] : 右上 1 か所 [4] : 左辺 2 か所 [5] : 右辺 2 か所 [6] : 左下 1 か所 [7] : 下辺 2 か所 [8] : 右下 1 か所 |
| 手差し給紙の一時停止 | 67 | 335 | — | 165 | [0] : (初期値) しない [1] : する |
| フォーム種類 | 68 | — | — | — | [0] (初期値) : ESC/P [1] : ART IV |
| | — | 336 | — | — | [0] (初期値) : PC-PR201H [1] : ART IV |
| パンチ | 69 | 334 | — | 166 | [0] (初期値) : しない [1] : 上辺 [2] : 下辺 [3] : 左辺 [4] : 右辺 |
| パンチ穴数 | 70 | 337 | — | 167 | [0] (初期値) : 2 穴 [1] : 3 穴 [2] : 4 穴 |
| 文字コード | 71 | — | — | — | [0] (初期値) : JIS [1] : ShiftJIS |
| バイナリーデータ (16 進表記でコマンドを入力する) の指定文字列 | 72 | — | — | — | [0] (初期値) : OFF [1] : &\$%\$ [2] : \$?!# |
| 0 の字体 | 73 | 326 | — | — | [0] (初期値) : 0 [1] : ∅ |
| HexDump | — | — | 214 | — | [0] (初期値) : OFF [1] : ON |
| 薄墨印刷 | — | — | 215 | — | [0] (初期値) : OFF [1] : ON |
| 行末処理 | — | — | 218 | — | [0] (初期値) : OFF [1] : LF を後につける [2] : CR を前につける [3] : CR-××  補足 • 「CR-××」は、CR のとき LF を後につけ、LF と FF のとき CR を前につけます。 |
| ユーザー定義用紙サイズの初期値 | — | — | 219 (短辺) | — | [0] ~ [9999] (初期値 : 2100) : 0 ~ 999.9 mm |
| | — | — | 220 (長辺) | — | [0] ~ [9999] (初期値 : 2970) : 0 ~ 999.9 mm |

| 設定項目 | 項目番号 | | | | 設定値 |
|------------|------|-----|-----|-----------------|--|
| | ESC | PC | PCL | HP | |
| 有効出力部数 | 74 | 339 | 221 | 115 | 【0】(初期値:HP-GL/2):プロトコル 【1】:パネル 【2】(初期値:ESC/P、PC-PR201H、PCL):コマンド |
| バーコードモード | 75 | - | - | - | 【0】(初期値):OFF 【1】:ON 補足 •バーコードモードをONに設定すると、バーコードの輪郭がはっきりとプリントされます。 |
| 対象機 | - | - | - | 169 | 【0】(初期値):HP750 【1】:FX4036 |
| ペン幅 | - | - | - | 800 ~ 815 | No.00の項目番号が800です。 【0】~【255】(初期値:3):0~25.5mm |
| ペン終端形状 | - | - | - | 850 ~ 865 | No.00の項目番号が850です。 【0】(初期値):切断  【1】:丸め  【2】:矩形  |
| ペン接続形状 | - | - | - | 900 ~ 915 | No.00の項目番号が900です。 【0】(初期値):なし  【1】:交差  【2】:丸め  【3】:切断  |
| ペンカラー | - | - | - | 950 ~ 965 | No.00の項目番号が950です。 【0】~【255】:0~255 |
| 紙折り/原稿回転機能 | - | - | - | 168 | 【0】:Z折りなし 【1】:Z折りあり(右とじ/上とじ) 【2】:Z折りあり(左とじ/下とじ) 【3】:Z折りなし(180°回転あり) 【4】:Z折りあり(右とじ/上とじ、180°回転あり) 【5】:Z折りあり(左とじ/下とじ、180°回転あり) |

12.5 ダイレクトプリント

ファイルをプリンタードライバーではなく、直接 lpr コマンドなどを使用してプリントする機能です。PDF ダイレクトプリントには、Adobe 純正の PDF ダイレクトプリントと弊社製の PDF ダイレクトプリント (PDF Bridge) の 2 種類があります。

補足

- Adobe 純正の PDF ダイレクトプリントを使用するには、Adobe® PostScript® 3™ キット (平成 2 書体) (オプション) または Adobe® PostScript® 3™ キット (モリサワ 2 書体) (オプション) が必要です。
- lpr コマンドを使用するときは、[設定] > [ネットワーク設定] > [ポート設定] > [LPD] で、[LPD-ポート] を [起動] にしてください。

モードメニュー画面

ホーム画面で、 > [機械確認 (メーター確認)] > [プリンターモード] を選択すると、表示されます。

詳細確認 / 変更

[項目番号] に機能の項目番号を入力すると、現在の設定値が表示されます。

設定値を変更するには、[変更値] に変更する値を入力し、[決定] をタップします。

弊社のソフトウェア、ContentsBridge Utility を使用しないで PDF ファイルをプリントする場合は、ここでの設定が有効になります。

補足

- ContentsBridge Utility を使用する場合、「プリント処理モード」のみ有効になります。

参照

- 項目番号については、「設定項目」(P.279) を参照してください。

パスワード

パスワードを設定しておく、パスワードによるセキュリティーが設定された PDF ファイルをプリントできます。

補足

- パスワードは、半角英数字、または記号で 32 文字以内に設定してください。
- PDF ファイルのセキュリティーの設定によっては、プリントできないことがあります。

設定項目

| 設定項目 | 項目番号 | | 設定値 |
|-------|----------------------|------------------------------|---|
| | PDF : PDF エミュレーション設定 | DocuWorks : DocuWorks プリント設定 | |
| 出力部数 | 401 | 501 | [1] ~ [999] (初期値 : 1) : 1 ~ 999 枚  補足 • lpr コマンドを使用してプリントする場合、出力部数の指定は lpr コマンドで行うため、ここでの設定は無効になります。 |
| 両面 | 402 | 502 | [0] (初期値) : しない [1] : 長辺とじ [2] : 短辺とじ |
| 印刷モード | 403 | 503 | [0] (初期値) : 標準 [1] : 高速 [2] : 高画質 |

| 設定項目 | 項目番号 | | 設定値 |
|--|----------------------|------------------------------|--|
| | PDF : PDF エミュレーション設定 | DocuWorks : DocuWorks プリント設定 | |
| ソート | 404 | 504 | 複数部数を、1 部ごとにソート (1、2、3...1、2、3...) します。 【0】 (初期値) : しない 【1】 : する |
| レイアウト  補足 • この項目は、「プリント処理モード」で「PDF Bridge」に設定した場合だけ、設定が有効になります。 | 405 | 505 | 【0】 (初期値) : 自動倍率 【1】 : カタログ (製本) 【2】 : 2 アップ 【3】 : 4 アップ 【4】 : 100% (等倍)  補足 • 「カタログ (製本)」は、PDF ダイレクトプリントの場合に設定できます。 • ページ構成によっては、カタログ (製本) プリントができない場合があります。この場合「自動倍率」でプリントされます。 |
| 用紙サイズ | 406 | 506 | 【0】 (初期値 : DocuWorks) : 自動 【1】 (初期値 : PDF) : A4 |
| カラーモード | 407 | 507 | 【0】 (初期値) : 自動 【1】 : 白黒 |
| プリント処理モード  補足 • Adobe® PostScript® 3™ キット (平成 2 書体) (オプション) または Adobe® PostScript® 3™ キット (モリサワ 2 書体) (オプション) を取り付けている場合に表示されます。 | 408 | — | 【0】 (初期値) : PDF Bridge 【1】 : PS  補足 • 「PS」に設定した場合は、「レイアウト」の設定は無効になります。 |

12.6 外部アクセスについて

本機に組み込まれたブラウザからネットワークを介して Web サーバーにアクセスし、データを格納したり、表示したりできる機能です。

- 外部サービスにアクセスして、Web アプリケーション画面を表示する
- 外部のサーバーに格納してあるファイルをプリントする

補足

- 表示できる Web アプリケーションは、連携済みのものだけです。インターネットのホームページなどにはアクセスできません。

接続先を登録する

1. 機械管理者でログインします。

6.3 参照

- ログインの方法については、「ログイン」(P.39)を参照してください。

2. ホーム画面でをタップします。
3. [設定] をタップします。
4. [アプリ設定] > [外部アクセス設定] をタップします。
5. [接続先の登録] をタップし、登録するサーバー番号を選びます。
6. サーバーの URL を入力し、[OK] をタップします。

補足

- 外部アクセス用 Web ブラウザーのバージョンを特定した接続にしたい場合は、プロトコルの種類 (http や https) とコロンの間にバージョンを指定します。たとえば、V5 で接続したいときは「http-v5://www.example.com」と入力します。
- Web ブラウザーのバージョンを URL に指定して接続したときは、[外部アクセスバージョンの選択] の設定は無効になります。

7. 必要に応じて、ほかの項目を設定します。

[接続先名]

接続先の表示名を設定します。

[URL]

手順 6 で入力したサーバーの URL が表示されます。

[説明]

接続先の説明を設定します。

[接続用ユーザー ID の使用]

外部サービスにアクセスするためのユーザー ID を使用するかどうかを設定します。

補足

- [使用しない] に設定しても、アクセス時にユーザー ID とパスワードの入力が必要になることがあります。
- [認証 / 集計の設定] が [外部認証 / 集計] の場合、本項目を [使用しない] に設定すると、本機で認証されているユーザー情報を使用して、外部サービスにアクセスします。
- 外部サービスへアクセスしたときに、認証の確認画面を表示するかしないかを設定できます。「[認証情報送信時の確認画面]」(P.119)を参照してください。

[接続用ユーザー ID]

外部サービスに認証するためのユーザー ID を設定します。

補足

- 外部サービスの種類によっては、[接続用ユーザー ID] を設定しても、設定が無効になることがあります。使用する外部サービスの設定を確認してください。

[接続用ユーザー ID のパスワード]

認証に使用するパスワードを設定します。

[本体 / 認証情報の通知]

本体を特定するための情報や、利用するユーザーの認証情報を、外部サービスに接続するたびに接続先に通知するかどうかを設定します。

補足

- 通常は設定しません。

[ユーザー権限情報の通知]

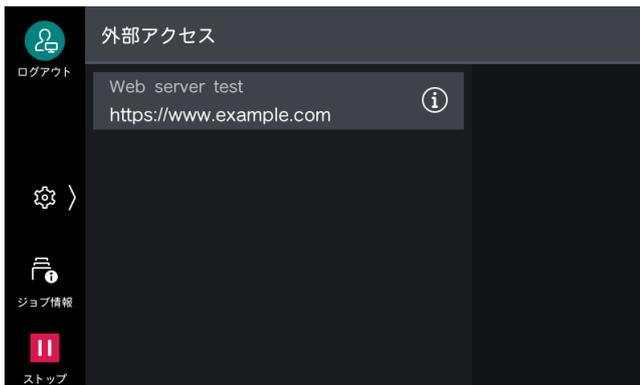
利用するユーザーの権限情報を、外部サービスに接続するたびに接続先に通知するかどうかを設定します。

[機能コード]

連携サービス使用時に必要に応じて設定します。

外部サービスに接続する

1. ホーム画面で [外部アクセス] をタップします。
2. 接続先をタップします。



サーバー証明書の検証を行う場合の設定

外部サーバー（ASP）との接続時、Windows の Web ブラウザーと同様に、サーバー証明書を検証する設定にしてフィッシングを抑止できます。

サーバー証明書の検証には、サーバー証明書を発行しているルート証明機関のルート証明書（CA 証明書）を使います。

補足

- CA 証明書ファイルの対応形式は次のとおりです。
 - DER encoded binary X.509 形式 (.CER)
 - Base64 encoded X.509 形式 (.CER)
 - Cryptographic Message Syntax Standard - PKCS #7 証明書形式 (.P7B)

12.7 IC カード登録

IC カード登録の設定

IC カード登録を設定すると、本機のメニュー画面に [IC カード登録] が表示されます。

補足

- ユーザー ID とは異なるカード ID を使用しているユーザーだけが使用できます。
- 次の機能やサービスは本機能と併用できません。
 - Smart WelcomEyes
 - 指静脈認証
 - [本体認証 / 集計] または [外部認証 / 集計] 以外の運用を前提とするサービス
- 次のユーザー ID は、使用できません。

- 半角スペースだけのユーザー ID
- 「!」、「+」、「:」、「<」、「>」、「?」、「[」、「]」、「{」、「}」、「|」、「#」、「(」、「)」、「¥」、「/」、「*」、「/」、「=」の記号のうちどれかを含むユーザー ID
- 「」で始まるユーザー ID
- 一度登録したユーザーを、認証先を変えて再登録することはできません。

環境設定

IC カード登録を利用するための環境を設定します。

| 項目 | 設定内容 |
|-----------|---|
| [ポート設定] |  > [設定] > [ネットワーク設定] > [ポート設定] > [SOAP] <ul style="list-style-type: none"> • [SOAP- ポート] : [起動] • [SOAP- ポート番号] : [80] |
| [プロトコル設定] |  > [設定] > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [TCP/IP- ネットワーク設定] <ul style="list-style-type: none"> • IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスなど、TCP/IP 環境で本機を使用するための設定 |

認証モードが [本体認証 / 集計] の場合は、999 人以内で IC カード情報を登録できます。[外部認証 / 集計] の場合は、Active Directory サーバーの制限に依存します。

認証先として Active Directory を利用する場合は、Active Directory の管理者に次のことを確認してください。

- IC カード登録を利用するユーザーの認証情報が登録されていること。
- 認証方式が [外部認証 / 集計] の場合は、IC カード登録を利用するユーザー自身に、書き込み許可の権限が設定されていること。

補足

- Active Directory サーバーを利用する場合は、Active Directory サーバーに保存された認証情報が複合機本体に複製保存されます。
-  > [設定] > [認証 / 集計管理] > [集計管理] > [認証 / 集計の設定] で [認証しない]、または [本体認証 / 集計] を設定します。認証方式が [外部認証 / 集計] の場合、集計管理の設定は任意です。
- また、 > [設定] > [認証 / 集計管理] > [認証 / セキュリティー設定] > [認証の設定] で次のように設定します。

| 項目 | 設定内容 | |
|--------------|-----------------------------|---|
| [認証 / 集計の設定] | [本体認証 / 集計]、または [外部認証 / 集計] | |
| [認証情報の設定] | [IC カードの使用] | [する] |
| | [IC カード認証時のユーザー登録] | [自動登録する]  補足 <ul style="list-style-type: none"> • [本体認証 / 集計] の場合に設定します。 • [サービスの利用制限] は仮登録ユーザーの利用を制限する場合に設定します。 |
| | [IC カード連携モード] | [パスワード入力不要]  補足 <ul style="list-style-type: none"> • [外部認証 / 集計] の場合に設定します。 |

Active Directory サーバー設定

Active Directory サーバーの認証情報を使用する場合は、Active Directory サーバーの設定をしてください。

 > [設定] > [ネットワーク設定] > [外部認証サーバー設定] で設定します。

- [認証用ユーザー名の属性] : ユーザー ID に使用されます。

- [メールアドレスの属性型]：メールアドレスに使用されます。

 **補足**

- ユーザー名は、操作パネルまたはインターネットサービスでは設定できません。Active Directory サーバーに設定されている display Name 属性を取得し、ユーザー情報に設定します。

ユーザー登録

本機に登録されたユーザーが本機能を使用する場合は、操作パネルまたはデバイス設定ツールで、本機にユーザー情報（ユーザー ID、パスワード）を登録してください。

 **補足**

- ユーザー本人に ID、パスワード、および認証先が [本体] であることを通知してください。

機械管理者情報の設定

IC カード登録に、機械管理者の情報を設定します。

 **補足**

- 本体の仕様設定画面で機械管理者 ID、機械管理者パスワードを変更した場合は、本機能の設定も変更してください。本機能が正常に動作しなくなります。

1. 機械管理者でログインします。

 **参照**

- ログインの方法については、「ログイン」(P.39) を参照してください。

2. ホーム画面で [IC カード登録] をタップします。

3. [機械管理者 ID] に機械管理者の ID を入力し、[次へ] をタップします。

4. [パスワード] に機械管理者のパスワードを入力し、[OK] をタップします。

5. 認証方式に応じて、次の操作をします。

認証方式が [本体認証 / 集計] の場合

1) [認証先] を選びます。

2) [本体]、[Active Directory® サーバー]、または [本体および Active Directory® サーバー] のどれかをタップします。

 **補足**

- [本体および Active Directory® サーバー] を選ぶと、IC カード登録するときに標準で表示する認証先を、[標準認証先] で設定できます。

3) をタップします。

4) [IC カード ID の照合] > [する] をタップします。

5) をタップします。

6) [保存] をタップします。

- 本機が再起動します。

認証方式が [外部認証 / 集計] の場合

1) 本機で認証するときに IC カード登録の画面を表示するには、[外部認証時の IC カード登録] を [する] に設定します。

2) [保存] をタップします。

IC カードの登録

補足

- 仮登録ユーザーでジョブを実行している間は、IC カードの登録、再登録をしないでください。
- IC カード登録を操作中に、メニューボタンなどで設定画面を閉じたり、放置して自動リセットが動作したりした場合は、仮登録ユーザーが残ることがあります。その場合は、機械管理者が操作パネル、またはデバイス設定ツールで削除できます。仮登録ユーザーのユーザー名は [IC カード認証時のユーザー登録] の初期値に設定されています。

新規登録

Active Directory アカウントを持つユーザー（認証方式が [外部認証 / 集計]）の場合

1. 未登録の IC カードを本機の IC カード読み取り装置（オプション）にかざします。
2. Active Directory の ID とパスワードを入力して、[登録] をタップします。

Active Directory アカウントを持つユーザー（認証方式が [本体認証 / 集計]）の場合

1. 未登録の IC カードを本機の IC カード読み取り装置（オプション）にかざし、[仮登録ユーザー] として認証します。
2. [IC カード登録] をタップします。
3. 認証先に [Active Directory® サーバー] を選び、Active Directory の ID とパスワードを入力して、[登録] をタップします。

補足

- サービスの利用をユーザーごとに制限したい場合は、機械管理者が設定してください。
- この手順で入力したパスワードが、本機のパスワードとして登録されます。Active Directory のパスワードを変更しても、本機のパスワードは自動で更新されません。Active Directory のパスワードを変更する場合は、本機の操作パネルでパスワードを変更してください。

Active Directory アカウントを持たないユーザー（[一般ユーザー]）の場合

1. 事前にユーザー情報（ID・パスワード）が登録されていることを、機械管理者に確認します。
2. 未登録の IC カードを本機の IC カード読み取り装置（オプション）にかざし、[仮登録ユーザー] として認証します。
3. [IC カード登録] をタップします。
4. 認証先に [本体] を選び、機械管理者から通知された ID とパスワードを入力して、[登録] をタップします。

カードの再登録

カードを再発行する場合など、今まで使用していたカードとは異なるカードを上書き登録する場合は、次のように設定します。

1. 未登録の IC カードを本機の IC カード読み取り装置（オプション）にかざします。
2. 次の画面が表示されたら、[はい（登録する）] をタップします。
3. [確認] をタップします。

12.8 追加型アプリケーション更新

追加型アプリケーションと証明書を、自動または手動で更新できます。

本機の設定

機械管理者でログインし、次のように設定します。

| 項目 | 設定内容 |
|-----------|--|
| [ポート設定] |  > [設定] > [ネットワーク設定] > [ポート設定] > [SOAP] <ul style="list-style-type: none">• [SOAP- ポート] : [起動]• [SOAP- ポート番号] : [80] |
| [プラグイン設定] |  > [設定] > [システム設定] > [プラグイン設定] <ul style="list-style-type: none">• [組み込みプラグイン機能] : [有効] |

自動更新を設定する

1. 機械管理者でログインします。



- ログインの方法については、「ログイン」(P.39)を参照してください。

2. ホーム画面で [追加型アプリケーション更新] をタップします。

3. [設定] をタップします。

4. 更新内容の重要度 (A) ごとに、更新方法 (B) を設定します。



- 追加型アプリケーションのバージョンを固定して運用している場合は、すべての重要度を [自動更新しない] に設定してください。
- 追加型アプリケーションの更新内容に機能追加や変更が含まれる場合、設定や機能に影響が生じることがあります。
- 自動更新が実行されるタイミングは、プリンターおよび複合機ごとに異なります。複数のプリンターおよび複合機の追加型アプリケーションを同時に更新する場合は、手動更新を実行してください。

(A) 更新内容の重要度

| 項目 | 説明 |
|------------|--|
| [緊急メンテナンス] | セキュリティ対策や動作安定化のためにすべてのお客様に適用いただきたい重要な更新です。 |
| [重要な更新] | 機能追加・変更を含む安定版の更新です。 |
| [通常メンテナンス] | 機能改善による安定版の更新です。 |

(B) 更新方法

| 項目 | 説明 |
|-----------|--|
| [自動更新する] | 自動更新で指定した曜日と時刻に新しいバージョンが確認できれば、更新を実行します。 |
| [自動更新しない] | 更新するためには、[手動更新] を実行する必要があります。 |

5. 自動更新の詳細を設定します。

| 項目 | 説明 |
|-----------|--|
| [実施する曜日] | 自動更新を実行する曜日を選択します。 |
| [更新開始時刻] | 自動更新の開始時刻を指定します。  補足 <ul style="list-style-type: none">• 重要度ごとに設定を変更することはできません。• 本機に電源が入っていない場合は、次回の更新日に更新されます。 |
| [リトライの設定] | 更新が失敗した場合の、リトライの動作について設定します。  補足 <ul style="list-style-type: none">• 更新内容の重要度ごとに設定を変更することはできません。• 本機を操作している場合、ジョブを実行している場合、またはそのほかのエラーが発生している場合に、更新が失敗します。• [リトライ強制終了時刻] を設定すると、指定した時刻を過ぎた場合に、リトライ動作が終了します。 |

6. [OK] をタップします。

自動更新の結果の確認

1. 機械管理者でログインします。



- ログインの方法については、「ログイン」(P.39)を参照してください。

2. ホーム画面で [追加型アプリケーション更新] をタップします。

3. [最新の処理結果] をタップします。

自動更新の結果が表示されます。

追加型アプリケーションを手動で更新

1. 機械管理者でログインします。



- ログインの方法については、「ログイン」(P.39)を参照してください。

2. ホーム画面で [追加型アプリケーション更新] をタップします。

3. [手動更新] をタップします。

4. 更新する追加型アプリケーション、またはシステムアプリをタップし、[更新] をタップします。



- システムアプリには複数のアプリケーションや証明書が含まれることがありますが、個々の更新はできません。本機の安定稼働のため、システムアプリが表示された場合は更新を行ってください。

12.9 複合機追加型アプリケーション設定複製

追加型アプリケーションの設定情報を、ほかの複合機またはプリンター機に複製できます。



- 詳しくは、インターネットサービスのヘルプを参照してください。

12.10 ライセンス

ここでは、ソフトウェアライセンスについて説明します。必ずご確認ください。

本製品は、第三者が権利を有するオープンソースソフトウェア（以降、OSS と呼びます。）が含まれています。各 OSS の適用ライセンス、著作権表示および個別のライセンス条件については、インターネットサービスの [ホーム] タブ > [サポート] > [OSS ライセンス情報のダウンロード] から取得できます。

本製品は、GNU Library General Public License 2.0 など、OSS ライセンスに基づき許諾されるソフトウェアを含んでいます。

OSS ライセンスに基づき、対象となるソフトウェアのソースコードの入手を希望される方は、次のサイトより入手が可能です。

https://www.fujifilm.com/fb/etc/oss/prt/aprt_c5570/v1_0



- インターネットサービスについては、「インターネットサービスを使う」(P.149) を参照してください。

12.11 使用権許諾条項

アドビ社のソフトウェアの使用に関する条項

第 1 条（使用権）

弊社は、お客様にお買い上げいただいた弊社製品に含まれる Adobe PostScript（ポストスクリプト）・ソフトウェア、コード化されたフォントプログラムおよび Adobe ドライバー・ソフトウェア（以下総称して本ソフトウェアといいます）の非独占的使用権を、本許諾条項に従ってお客様に許諾いたします。

- お客様は、Adobe PostScript ソフトウェアを搭載した複数のプリンター、複合機、プリントサーバーにおいて、本ソフトウェアを使用できます。
- お客様は、本ソフトウェアの使用権を第三者に譲渡することができます。ただし、当該第三者が本許諾条項のすべてに同意することを条件とし、かつお客様が所持する本ソフトウェアおよびすべての複製物を当該第三者に引き渡すことを条件とします。
- お客様は、特定の一機の機械で使用する場合に限り、本ソフトウェアを複製できるものとします。ただし、お客様は当該複製物に、本ソフトウェアに記載された著作権、商標、その他の知的財産権の表示を行うものとします。

第 2 条（ソフトウェアの権利）

- 本ソフトウェア、ドキュメンテーションおよびそれらの複製品に関する著作権等を含む一切の無体財産権は、Adobe（アドビ）またはアドビへの供給者に帰属します。
- 前条に定める権利を除き、お客様は本ソフトウェアに関していかなる権利または知的財産権も取得するものではありません。

第 3 条（禁止事項）

お客様は、本ソフトウェアについて改変、リバースエンジニアリングまたは逆アSEMBル等の行為を行わないものとします。

第4条（責任）

弊社は、本ソフトウェアをお客様に現状有姿の状態で使用許諾します。弊社または弊社への供給者は、本ソフトウェアがお客様の特定の使用目的のために適切または有用であること、本ソフトウェアの実行が中断されないことおよびその実行に誤りがないことを保証しません。弊社または弊社への供給者は、法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示または黙示の保証責任および本ソフトウェアに起因するお客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害、データ等に対する損害および第三者からなされた損害賠償請求に基づく賠償責任等、一切の責任を負いません。

第5条（商標）

- 1 お客様が使用する商標は、それらの所有者に帰属します。
- 2 商標は、コード化されたフォントプログラムによる印刷結果を特定する目的にのみ使用できます。
- 3 お客様が商標を使用する場合、商標の所有者の名前を明示することも含め、一般的な商標の使用方法に従うものとします。

第6条（輸出規制）

本ソフトウェアを外国へ輸出する場合、お客様は、日本政府の輸出許可（さらに他国へ再輸出する場合は、当該国の再輸出許可）およびアメリカ合衆国の再輸出許可等の必要な手続を遵守するものとします。

第7条（使用権の消滅）

- 1 お客様が本許諾条項に違反した場合、本ソフトウェアの使用権は自動的に消滅します。
- 2 お客様の本ソフトウェアの使用権が消滅した場合、お客様は本ソフトウェアおよびその複製物を必ず抹消または破壊するものとします。

第8条（原権利者）

アドビは、本許諾条項によってその権利および知的財産が保護されるべき本ソフトウェアの原権利者であり、本許諾条項にもとづく弊社の権利と同一の権利を独自に行使できるものとします。

以上

13 商品のお問い合わせ先について

- この商品の保守、操作、修理（内容、期間、費用）のお問い合わせ、および消耗品をご購入される場合は、商品に貼られている保守サポートの問い合わせ先カードの裏面に記載のあるカスタマーコンタクトセンターにお問い合わせください。



表面



裏面

お問い合わせ先が不明の場合は、弊社プリンターサポートデスクにお問い合わせください。(各アプリケーションの操作につきましては、各ソフトウェアメーカーの問い合わせ窓口にお問い合わせください。)

フリーダイヤル：0120-66-2209

FAX：0120-14-1046

フリーダイヤル受付時間：土・日・祝日 および弊社指定休業日を除く 9時～17時30分

フリーダイヤルは、海外からはご利用いただけません。また、一部のIP電話からはつながらない場合があります。お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

本機を廃却する場合は、お買い上げいただいた各販売会社の担当営業にお問い合わせいただき、お申し込みください。

担当営業が不明な場合には、弊社お客様相談センターにお問い合わせください。

TEL：0120-27-4100

受付時間：9時～12時、13時～17時（土・日・祝日および弊社指定休業日を除く）

弊社へのお問い合わせの際には、機種名と機械番号を確認させていただきます。

保守サポートの問い合わせ先カードの裏面の「機種」「機種 No.」、もしくは商品の背面または側面の銀色のシールに記載されている「商品名」「商品コード」「SER #」を事前にご確認ください。

- 弊社に対するご意見、ご相談などは、お客様相談センターにご連絡ください。

フリーダイヤル：0120-27-4100

フリーダイヤル受付時間：土・日・祝日および弊社指定休業日を除く 9時～12時、13時～17時

フリーダイヤルは、海外からはご利用いただけません。また、一部のIP電話からはつながらない場合があります。お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

- 公式サイトで弊社の商品全般に関する情報、最新ソフトウェア等を提供しています。

<https://www.fujifilm.com/fb/>